Power Systems

IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードのインストール およびサービスのガイド



Power Systems

IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードのインストール およびサービスのガイド

IBM

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 v ページの『安全上の注意』、 555 ページの『特記事項』、「*IBM Systems Safety Notices*」(G229-9054) 資料、および「*IBM Environmental Notices and User Guide*」(Z125–5823) に記載されている情報をお読みください。

本製品およびオプションに電源コード・セットが付属する場合は、それぞれ専用のものになっていますので他の電気機器には使用しないでください。

本書は、POWER7 プロセッサーを搭載した IBM Power Systems サーバーおよびすべての関連モデルに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： Power Systems
IBM Flex System p260 and p460
Compute Nodes Installation and
Service Guide

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

第1刷 2013.7

© Copyright IBM Corporation 2012, 2013.

目次

安全上の注意 v

第 1 章 概要 1
製品の登録 2
関連資料. 3
IBM documentation CD 4
ハードウェア要件とソフトウェア要件 4
Documentation Browser の使用 4
特記事項および商標 5
機能および仕様 6
IBM Flex System p260 コンピュート・ノードの機能および仕様 6
IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの機能および仕様 8
ご使用のコンピュート・ノードの機能 10

第 2 章 電源、コントロール、インディケーター、およびコネクター 13
コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタンと LED 13
コンピュート・ノードの電源オン 14
コンピュート・ノードの電源をオフにする 15
システム・ボードのレイアウト 16
システム・ボード・コネクター 16
システム・ボード LED 19
入出力コネクターおよび装置 21

第 3 章 コンピュート・ノードの構成 . . 23
ファームウェアの更新 24
TEMP イメージの始動. 26
システム・ファームウェア・レベルの検査 . . . 26
SMS ユーティリティーの使用 27
SMS ユーティリティーの開始 27
SMS ユーティリティーのメニュー選択 27
CE ログインの作成. 28
プロセッサー・コアの構成 28
内蔵イーサネット・コントローラーの MAC アドレス 29
RAID アレイの構成 30

第 4 章 オペレーティング・システムのインストール 31
「インストールの説明」の位置の確認 31
Linux のサービス・ツールと生産性向上ツールのインストール 33

第 5 章 サービス・プロセッサーへのアクセス 35

第 6 章 コンポーネントの取り付けと取り外し 37
装置またはコンポーネントの返却 37
取り付けのガイド 37
システムの信頼性についてのガイド 38
静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い . . . 38
IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し 39
Tier 1 CRU の取り外しと交換 40
コンピュート・ノードのカバーの取り外し . . . 40
コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ. 43
ベゼル・アセンブリーの取り外し 45
ベゼル・アセンブリーの取り付け 47
SAS ハード・ディスクの取り外し. 49
SAS ハード・ディスクの取り付け. 50
ソリッド・ステート・ドライブ・キャリアの取り外し. 52
ソリッド・ステート・ドライブ・キャリアの取り付け. 53
SATA ソリッド・ステート・ドライブの取り外し 56
SATA ソリッド・ステート・ドライブの取り付け 57
DIMM の取り外し 59
DIMM の取り付け 62
サポートされる DIMM 64
ネットワーク・アダプターの取り外し 66
ネットワーク・アダプターの取り付け 68
バッテリーの取り外し. 70
バッテリーの取り付け. 71
IBM Flex System p460 コンピュート・ノード上の温度センサーの交換. 72
Tier 2 CRU の取り外しと交換 74
DIMM の取り外し 75
DIMM の取り付け 78
管理カードの取り外し. 80
管理カードの取り付け. 82
PowerVM Virtualization Engine システム・テクノロジーのアクティベーション・コードの取得 . . 85
Light Path 診断パネルの取り外し 89
Light Path 診断パネルの取り付け 90
FRU の取り外しと交換 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ). 92
システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換 92
取り付けの完了 96
コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ. 97

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け 99

第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト 103

第 8 章 トラブルシューティング . . . 111

問題解決の概要. 111
問題の解決 111
診断プログラム. 114
診断ツール 114
ダンプ・データの収集 117
ロケーション・コード 118
参照コード 124
システム参照コード (SRC) 125
1xxxyyyy SRC 126
6xxxyyyy SRC 139
A1xxyyyy サービス・プロセッサー SRC 145
A2xxyyyy 論理区画 SRC 146
A6xxyyyy ライセンス内部コードまたはハードウェア・イベント SRC. 147
A7xxyyyy ライセンス内部コード SRC . . 150
AAxxyyyy パーティション・ファームウェアのアテンション・コード 152
B1xxyyyy サービス・プロセッサー SRC 156
B2xxyyyy 論理区画 SRC. 158
B6xxyyyy ライセンス内部コードまたはハードウェア・イベント SRC. 180
B7xxyyyy ライセンス内部コード SRC . . 183
BAxxyyyy パーティション・ファームウェア SRC 205
POST 進行コード (チェックポイント) . . . 254
C1xxyyyy サービス・プロセッサー・チェックポイント 254
C2xxyyyy 仮想サービス・プロセッサー・チェックポイント 271
IPL 状況進行コード 284
C7xxyyyy コンピュート・ノード・ファームウェア IPL 状況チェックポイント . . 285
CAxxyyyy パーティション・ファームウェア・チェックポイント 285
D1xx1yyy サービス・プロセッサー・ダンプ状況コード 316
D1xx3yzz サービス・プロセッサー・ダンプ・コード 326
D1xx9yyy から D1xxCyyy のサービス・プロセッサー・パワーオフ・チェックポイント 329
サービス要求番号 (SRN) 331
SRN 表の使用 331
101-711 から FFC-725 までの SRN . . . 332
A00-FF0 から A24-xxx までの SRN . . . 485
SCSD 装置の SRN (ssss-102 から ssss-640) 486
障害機能コード. 495
コントローラーの保守分析手順 497
エラー・ログ 500
チェックアウト手順 501
チェックアウト手順について 501
チェックアウト手順の実行 501
パーティション構成の検査 503
診断プログラムの実行 503
AIX 並行診断の開始 504
スタンドアロン診断の開始 504
NIM サーバーからのスタンドアロン診断の開始 505
診断プログラムの使用 507
ブート問題の解決 508
現象別のトラブルシューティング. 509
再現性の低い問題 509
接続の問題 511
PCI 拡張カード (PIOCARD) の問題分離手順 514
ハイパーバイザーの問題. 516
サービス・プロセッサーの問題 520
ソフトウェアの問題 536
Light Path 診断. 537
Light Path 診断 LED の表示 537
Light Path 診断 LED 540
ファームウェア問題の切り分け 545
vfchost マップ・データの保存 545
vfchost マップ・データの復元 546
システム・ファームウェアの回復. 547
PERM イメージの始動 547
TEMP イメージの始動 548
TEMP イメージを PERM イメージでリカバリーする 548
システム・ファームウェア・レベルの検査 549
TEMP システム・ファームウェア・イメージのコミット 549
共用 IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ・リソース問題の解決 550
共用ネットワーク接続問題の解決. 551
共用電源問題の解決 551
未解決問題の解決 552

付録. 特記事項 555

商標 556
電波障害自主規制特記事項 557
VCCI クラス A 情報技術装置. 557
VCCI クラス B 情報技術装置. 561
使用条件 564

安全上の注意

安全上の注意は、このガイド全体を通じて記載されています。

- **危険**の注記は、人間に致命的または極めて危険な損傷を与える可能性のある状態について注意を促します。
- **注意**の注記は、何らかの状態が存在しているために、人間に危険な損傷を与える可能性のある状態について注意を促します。
- **重要**の注記は、プログラム、装置、システム、あるいはデータに損傷を与える可能性があることを示します。

ワールド・トレードの安全上の注意

国によっては、製品資料に記載される安全上の注意を自国語で提示するよう要求しています。 この要求がお客様の国に適用される場合は、製品に付属の資料パッケージ (印刷された資料または DVD で、あるいは製品の一部として) に安全上の注意についての文書が含まれます。この文書には、英語原典に準拠した、各国語による安全上の注意が記載されています。この製品のインストール、操作、または保守のために英語の資料をご使用になる場合は、まず、関連している安全上の注意についての文書をよくお読みください。また、英語版資料の安全上の注意が明確に理解できない場合も、必ずこの安全上の注意についての文書を参照してください。

安全上の注意についての文書の差し替え版または追加のコピーについては、IBM ホットライン (1-800-300-8751) に連絡して入手することができます。

German safety information

Das Produkt ist nicht für den Einsatz an Bildschirmarbeitsplätzen im Sinne § 2 der Bildschirmarbeitsverordnung geeignet.

レーザーに関する安全上の注意

サーバーは、レーザーまたは LED を使用する、光ファイバー・ベースの I/O カードまたはフィーチャーを使用することができます。

レーザーに関する準拠

サーバーは、IT 装置ラックの内部または外部に取り付けることができます。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

危険

システムまたはその周辺で作業をする場合は、以下の予防措置を確認してください。

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電圧および電流は危険です。感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- **電源と装置を接続する場合は、必ず IBM 提供の電源コードを使用してください。 IBM 提供の電源コードを他の製品に使用しないでください。**
- **電源装置アセンブリーを開いたり、保守しないでください。**
- **雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。**
- **この製品は複数の電源コードを備えていることがあります。危険な電圧をすべて除去するには、すべての電源コードを取り外してください。**
- **すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。コンセントがシステム定格プレートに従った正しい電圧および相回転を供給していることを確認してください。**
- **ご使用の製品に接続するすべての装置を、正しく配線されたコンセントに接続してください。**
- **信号ケーブルの接続または取り外しは可能なかぎり片手で行ってください。**
- **火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。**
- **取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、装置のカバーを開く場合はその前に必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。**
- **ご使用の製品または接続されたデバイスの取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の手順に従ってケーブルの接続および取り外しを行ってください。**

  ケーブルの切り離し手順:
  1. **すべての電源をオフにします (別に指示される場合を除く)。**
  2. **電源コードを電源コンセントから取り外します。**
  3. **シグナル・ケーブルをコネクターから取り外します。**
  4. **すべてのケーブルを装置から取り外します。**

  ケーブルの接続手順:
  1. **すべての電源をオフにします (別に指示される場合を除く)。**
  2. **すべてのケーブルをデバイスに接続します。**
  3. **シグナル・ケーブルをコネクターに接続します。**
  4. **電源コードをコンセントに接続します。**
  5. **デバイスの電源をオンにします。**

  (D005)

危険

IT ラック・システムやその周辺で作業をする場合は、以下の予防措置を確認してください。

- **重量のある装置の場合、取り扱いを誤ると身体傷害または設備の損傷を引き起こす可能性があります。**
- **ラック・キャビネットのレベル・パッドは必ず下げてください。**
- **ラック・キャビネットには必ずスタビライザー・ブラケットを取り付けてください。**
- **釣り合いがとれていない機械的荷重による危険な状態を避けるため、最も重いデバイスを常に、ラック・キャビネットの下部に取り付けます。必ず、サーバーおよびオプション・デバイスはラック・キャビネットの下部側から取り付けてください。**
- **ラック・マウント型デバイスを棚やワークスペースとして使用しないでください。ラック・マウント型デバイスの上には何も置かないでください。**



- **各ラック・キャビネットには複数の電源コードが付いていることがあります。保守する際に電源を切断するように指図された場合、ラック・キャビネットのすべての電源コードを抜いてください。**
- **ラック・キャビネット内のすべてのデバイスは、同一ラック・キャビネットに取り付けられている電源デバイスに接続します。あるラック・キャビネットに取り付けられているデバイスの電源コードを、別のラック・キャビネットにある電源デバイスに接続しないでください。**
- **正しく配線されていない電源コンセントは、システムまたはシステムに接続されたデバイスの金属部品に危険な電圧をかける可能性があります。感電を避けるためにコンセントが正しく配線および接地されていることの確認は、お客様の責任で行ってください。**

注意

- **ラック内部の温度が、すべてのラック・マウント型デバイスに対する製造者推奨の周辺温度を超えるようなラック内には、装置を取り付けないでください。**
- **空気の流れが妨げられているラック内には、装置を取り付けないでください。装置内で空気の流れのために使用される装置のいずれかの側面、前面、または背面で、空気の流れが妨げられたり減速されたりしないようにしてください。**
- **回路の過負荷によって電源配線や過電流保護が破損しないように、電源回路への機器の接続には十分注意してください。ラックに正しく電源を接続するには、ラック内の機器の定格ラベルで、電源回路の総消費電力を確認してください。**
- *(引き出し式ドロワーの場合。)* **ラック・スタビライザー・ブラケットがラックに取り付けられていない場合は、ドロワーまたはフィーチャーを引き出したり、取り付けたりしないでください。一度に複数のドロワーを引き出さないでください。一度に複数のドロワーを引き出すと、ラックが不安定になる可能性があります。**
- *(固定式ドロワーの場合。)* **このドロワーは固定ドロワーなので、製造元の指定がない限り、保守のために動かさないでください。ラックからドロワーの一部または全部を引き出そうとすると、ラックが不安定になったり、ドロワーがラックから落下する可能性があります。**

(R001)

注意:
ラック・キャビネット内の上の方の位置からコンポーネントを取り外すと、再配置中のラックの安定性が改善されます。格納されたラック・キャビネットを部屋または建物内で再配置するときは必ず、以下の一般ガイドラインに従ってください。

- **ラック・キャビネットの上部から順に装置を取り外すことにより、ラック・キャビネットの重量を減らします。可能な場合は、ラック・キャビネットを納品時のラック・キャビネットの構成に復元します。この構成がわからない場合は、以下の手順を実行する必要があります。**
  - **32U 位置以上にあるすべてのデバイスを取り外します。**
  - **最も重いデバイスがラック・キャビネットの下部に取り付けられていることを確認します。**
  - **ラック・キャビネット内で 32U レベルより下に取り付けられたデバイス間に空の U レベルがないことを確認します。**
- **再配置しているラック・キャビネットが、一組のラック・キャビネットの一部である場合は、そのスイートからラック・キャビネットを切り離します。**
- **通る予定の経路を検査して、障害になる可能性があるものを取り除きます。**
- **選択する経路が、搭載されたラック・キャビネットの重量を支えることができるか検査します。搭載されたラック・キャビネットの重量については、ラック・キャビネットに付属の資料を参照してください。**
- **すべてのドアの開口部が少なくとも 760 x 230 mm 以上であることを確認します。.**
- **すべてのデバイス、シェルフ、ドロワー、ドア、およびケーブルが安定していることを確認します。**
- **4 つのレベル・パッドが最も高い位置に上がっていることを確認します。**
- **移動時にスタビライザー・ブラケットがラック・キャビネットに取り付けられていないことを確認します。**
- **傾斜が 10 度を超えるスロープは使用しないでください。**
- **ラック・キャビネットが新しい場所に置かれたら、次の手順を実行します。**
  - **4 つのレベル・パッドを下げます。**
  - **スタビライザー・ブラケットをラック・キャビネットに取り付けます。**
  - **ラック・キャビネットからデバイスを取り外してあった場合は、ラック・キャビネットの最も低い位置から最も高い位置へと格納していきます。**
- **長距離の移動が必要な場合は、ラック・キャビネットを納品時のラック・キャビネットの構成に復元します。ラック・キャビネットを元の梱包材、またはそれと同等のもので梱包します。また、レベル・パッドを下げて、キャスターをパレットから離れるように持ち上げ、ラック・キャビネットをパレットにボルトで止めます。**

(R002)

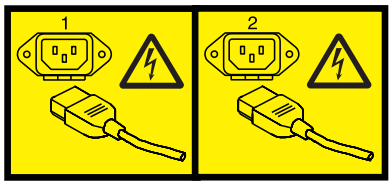
(L001)



(L002)



(L003)



または



すべてのレーザーは、クラス 1 のレーザー製品について規定している米国の保健社会福祉省連邦規則 21 副章 J (DHHS 21 CFR Subchapter J) の要件に準拠していることが認証されています。米国以外の国では、レーザーは、クラス 1 レーザー製品として IEC 60825 に準拠していることが認証されています。レーザー認証番号および承認情報については、各部品のラベルをご覧ください。

注意:
この製品には、クラス 1 のレーザー製品である CD-ROM ドライブ、DVD-ROM ドライブ、DVD-RAM ドライブ、またはレーザー・モジュールの各デバイスのうち 1 つ以上が含まれていることがあります。次の情報に注意してください。

- **カバーを外さないこと。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。この装置の内部には保守が可能な部品はありません。**
- **本書に記述されている以外の手順、制御または調節を行うと有害な光線を浴びることがあります。**

(C026)

注意:
データ処理環境には、クラス 1 のパワー・レベルより高いレベルで作動するレーザー・モジュールを備えるシステム・リンク上で伝送する装置が含まれることがあります。この理由から、光ファイバー・ケーブルの先端、またはコンセントの差込口を覗き込まないでください。(C027)

注意:
この製品には、クラス 1M のレーザーが含まれています。光学装置を用いて直接見ないでください。
(C028)

注意:
一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次の点に注意してください。カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。 (C030)

注意:
このバッテリーにはリチウムが含まれています。爆発することがありますので、バッテリーを火中に入れたり、充電したりしないでください。

次の行為は絶対にしないでください。

- **___ 水に投げ込む、あるいは浸す**
- **___ 100℃ (華氏 212 度) を超える過熱**
- **___ 修理または分解**

IBM 承認の部品のみと交換してください。バッテリーのリサイクルまたは廃棄については、地方自治体の条例に従ってください。米国では、IBM がこのバッテリーの回収プロセスを設けています。詳しくは、1-800-426-4333 にお問い合わせください。お問い合わせの前に、このバッテリー・ユニットの IBM 部品番号をご用意ください。(C003)

NEBS (Network Equipment-Building System) GR-1089-CORE の電源および配線の情報

次のコメントは、NEBS (Network Equipment-Building System) GR-1089-CORE に準拠するように指定されたサーバーに適用されます。

装置は、以下の場所にインストールできます。

- ネットワーク通信設備
- NEC (National Electrical Code) が適用される場所

この装置の屋内用ポートは、屋内または屋外に露出していない配線またはケーブル接続にのみ適しています。 この装置の屋内用ポートを OSP (屋外施設) やその配線に接続されているインターフェースの金属部と接続しないでください。 これらのインターフェースは、屋内用としてのみ使用するように設計されており (GR-1089-CORE のタイプ 2 ポートまたはタイプ 4 ポートで説明されているように)、屋外に露出した OSP 配線とは分離する必要があります。 1 次保護装置を追加しても、これらのインターフェースと OSP 配線の金属部の接続を十分に保護することはできません。

注: すべてのイーサネット・ケーブルは、シールドされ、両端が接地されている必要があります。

AC 電源システムに、外部サージ保護装置 (SPD) を使用する必要はありません。

DC 電源システムは、分離 DC 帰還 (DC-I) 設計を採用しています。 DC バッテリーの帰還端子をシャーシまたはフレーム・アースに接続しないでください。

第 1 章 概要

IBM® Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノードは、IBM POWER® テクノロジーをベースとしています。これらのコンピュート・ノードは、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ・ユニット内で稼働し、拡張処理テクノロジーを使用して、高密度、高性能のコンピュート・ノード環境を提供します。

IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ *Documentation* CD の「インストールおよびユーザーズ・ガイド」には、コンピュート・ノードに関する情報が記載されています。本書での以下の情報は、すべてインフォメーション・センターにもあります。

- コンピュート・ノードのセットアップ
- コンピュート・ノードの始動および構成
- オプションのハードウェア装置の取り付け
- サポートされているオペレーティング・システムのインストールの詳しい説明への参照
- コンピュート・ノードの基本的なトラブルシューティングの実行

印刷された「インストールおよびユーザーズ・ガイド」には、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバーのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールを支援するソフトウェア CD が同梱されています。

コンピュート・ノード には限定保証が付いています。 保証の条件とサービスおよび支援を受けるための情報については、インフォメーション・センター、または *IBM Flex System* エンタープライズ・シャーシ *Documentation* CD に入っている「*保証およびサポート情報*」資料を参照してください。

コンピュート・ノードには、コンピュート・ノードに付属の資料に記載されていない、機能が備わっている場合があります。資料は、それらの機能に関する情報を記載するために時々更新されることがあります。コンピュート・ノードの当初の資料に記載されていない追加情報を提供するための技術更新が使用可能になる場合もあります。 IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ資料のすべての最新バージョンは、IBM Flex System インフォメーション・センターにあります。

IBM Flex System エンタープライズ・シャーシのオンライン情報は、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/index.jspで入手可能です。

関連情報:

http://www14.software.ibm.com/webapp/set2/sas/f/lopdiags/home.html

http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/index.jsp

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

製品の登録

コンピュート・ノードについての重要データを記録します。

重要プロダクト・データ

表 1 を印刷して、ご使用のコンピュート・ノードについての情報を記録するために使用してください。

この情報は、コンピュート・ノードを IBM に登録するときに必要になります。 コンピュート・ノードは http://www.ibm.com/support/mynotifications で登録することができます。

ご使用のコンピュート・ノードの値を決定するには、マネージメント・モジュールおよび **lsvpd** コマンドを使用します。 Linux オペレーティング・システムを実行する場合は、Linux オペレーティング・システム用のサービス・ツールおよび生産性向上ツールをダウンロードして、インストールし、**lsvpd** コマンドをインストールします。

モデル番号およびシリアル番号は、コンピュート・ノード前面のコントロール・パネル・ドアの裏側にある ID ラベルと、コンピュート・ノード側面のラベル (コンピュート・ノードが IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに取り付けられていない場合に確認できます) に記載されています。

コンピュート・ノードには、空白のラベルが 1 セット付属しています。コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに取り付けるときに、識別情報をラベルに記入し、そのラベルをベゼルに貼ります。ラベルの貼り付け位置については、ご使用の IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの資料を参照してください。

重要: ラベルは、コンピュート・ノードや IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの通気孔をふさぐ場所に貼らないでください。

表 1. 重要プロダクト・データ

重要プロダクト・データ・フィールド	重要プロダクト・データ	データの確認方法
製品名	IBM Flex System p260 コンピュート・ノードおよび IBM Flex System p460 コンピュート・ノード	
タイプ・モデル番号	IBM Flex System p260 コンピュート・ノード: 7895-22X、7895-23A、7895-23X IBM Flex System p460 コンピュート・ノード: 7895-42X、7895-43X	• FSM の場合: – IBM Flex System Manager • ハードウェア管理コンソール (HMC) の場合: 1. ナビゲーション領域で「**システム管理 > サーバー**」をクリックします。 2. コンテンツ・ペインで、作業するサーバーを選択します。 3. 「**タスク**」>「**プロパティー**」をクリックします。 • Integrated Virtualization Manager (IVM) については、IVM lssyscfg コマンド (http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/powersys/v3r1m5/topic/p7hcg/lssyscfg.htm) を参照してください。

表 1. 重要プロダクト・データ (続き)

重要プロダクト・データ・フィールド	重要プロダクト・データ	データの確認方法
シリアル番号	_____ (7 文字)	• FSM の場合: – IBM Flex System Manager • HMCの場合: 1. ナビゲーション領域で「**システム管理 > サーバー**」をクリックします。 2. コンテンツ・ペインで、作業するサーバーを選択します。 3. 「**タスク**」>「**プロパティー**」をクリックします。 • IVM については、IVM lssyscfg コマンドを参照してください。
システム固有 ID	_____ (12 文字)	**lsvpd | grep SU** コマンド
ワールド・ワイド・ポート番号	_____ (12 文字)	**lsvpd | grep WN** コマンド
ブランド	B0 (B の後に数字のゼロ)	**lsvpd | grep BR** コマンド

関連資料

IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの資料には、*IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ Documentation* CD に収録された PDF ファイルとインフォメーション・センターがあります。

IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ資料のすべての最新バージョンは、IBM Flex System インフォメーション・センターにあります。

以下の資料の PDF 版は、*IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ Documentation* CD およびインフォメーション・センターにあります。

- *問題判別の手引き*

  この資料には、問題を解決するための情報、およびサービス技術員のための情報が記載されています。

- *Safety Information*

  本書には、各国語に翻訳された「注意」および「危険」の注記が収録されています。 本書に表示される「注意」と「危険」の注記には番号が付いており、この番号を使用して、「*Safety Information*」内でご使用の言語で書かれた該当の注記を見つけることができます。

- *保証およびサポート情報*

  この資料には、保証の条件に関する情報や、サービスおよび支援を受けるために必要な情報が記載されています。

コンピュート・ノードには、コンピュート・ノードに付属の資料に記載されていない、機能が備わっている場合があります。資料は、そのような機能についての情報を記載するために時々更新されることがあります。あるいは、コンピュート・ノードに付属の資料にない追加情報を提供するための技術更新が使用可能になることもあります。

ご使用の IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに関する IBM Flex System インフォメーション・センター、あるいは「*計画ガイド*」および「*インストール・ガイド*」を参照してください。この情報は、システムのインストールおよび構成を準備する際に役立ちます。各資料の最新バージョンは、IBM Flex System インフォメーション・センターから入手可能です。

関連情報:

IBM Flex System インフォメーション・センター

IBM documentation CD

IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ *Documentation* CD は、ハードウェアおよびソフトウェアの要件を満足するものであれば、どのパーソナル・コンピューター上でも実行できます。

この CD には、コンピュート・ノードの資料が PDF ファイルで収録されています。また、情報を迅速に見つけるのに役立つ IBM Documentation Browser も収録されています。

ハードウェア要件とソフトウェア要件

IBM *Documentation* CD は、少なくとも以下のハードウェアおよびソフトウェアを必要とします。

- Microsoft Windows XP Professional、Windows 2000、または Red Hat Enterprise Linux
- 100 MHz マイクロプロセッサー
- 32 MB の RAM
- Adobe Acrobat Reader 3.0 (以降)、または Linux オペレーティング・システムに付属の xpdf ビューアー

Documentation Browser の使用

Documentation Browser を使用すると、CD の内容をブラウズしたり、資料の概要を読んだり、Adobe Acrobat Reader や xpdf ビューアーを使用して資料を表示することができます。

このタスクについて

Documentation Browser は、コンピューターで地域設定を自動的に検出し、その地域の言語を使用して (その地域の言語がある場合) 資料を表示します。 その地域の言語で資料を表示できない場合は、英語版の資料が表示されます。

Documentation Browser を開始するには、以下のいずれかの手順を使用します。

- 自動始動が使用可能になっている場合は、CD または DVD ドライブに CD を挿入します。Documentation Browser が自動的に開始します。
- 自動始動が使用不可の場合、またはユーザーによって使用可能になっていない場合は、以下のいずれかの手順に従います。
  - Windows オペレーティング・システムを使用している場合、CD を CD または DVD ドライブに挿入し、「**スタート**」 > 「**ファイル名を指定して実行**」をクリックします。「**名前**」フィールドで、以下のストリングを入力 (ここで、*e* は CD または DVD ドライブのドライブ名) し、「**OK**」をクリックします。

```
e:¥win32.bat
```

– Red Hat Enterprise Linux を使用している場合、CD を CD または DVD ドライブに挿入し、/mnt/cdrom ディレクトリーから以下のコマンドを実行します。

```
sh runlinux.sh
```

「**Product**」メニューから コンピュート・ノードを選択します。 「**Available Topics**」リストに、ご使用のコンピュート・ノードの全資料が表示されます。資料はフォルダー内にある場合もあります。 正符号 (+) が表示されていると、その下にはフォルダーまたは資料があり、そこに追加の資料が入っています。 正符号をクリックすると、それらの追加資料が表示されます。

資料を選択すると、その資料の説明が「**Topic Description**」の下に表示されます。 複数の資料を選択するには、Ctrl キーを押したままにして、各資料を選択します。 「**View Book**」をクリックすると、Acrobat Reader または xpdf ビューアーに選択した資料が表示されます。

すべての資料を検索するには、「**Search**」フィールドにワードまたはテキスト・ストリングを入力して、「**Search**」をクリックします。 入力したワードまたはテキスト・ストリングをその中に含んでいる資料が、そのワードの発生頻度が多い順に一覧表示されます。 資料をクリックして表示し、資料内で Ctrl+F を押して Acrobat Reader の検索機能を使用するか、Alt+F を押して xpdf ビューアーの検索機能を使用します。

特記事項および商標

本書で使用する「注意」と「危険」の注記は、マルチリンガルの「*Safety Information*」資料にも記載されています。 各注記には、「*Safety Information*」資料の中の対応する注記を参照できるように番号がついています。

本書では、以下の注記が使用されます。

- **注:** この注記には、重要なヒント、ガイダンス、助言が書かれています。
- **重要:** この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。また、この注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **アテンション:** また、これらの注記は、プログラム、装置、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。 「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **注意:** この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。 「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。
- **危険:** これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。「危険」の注記は、致死的またはきわめて危険となりうる手順または状態の直前に書かれています。

機能および仕様

以下のトピックでは、IBM Flex System p260 コンピュート・ノードおよび IBM Flex System p460 コンピュート・ノード の機能および仕様の要約を示しています。

IBM Flex System p260 コンピュート・ノードの機能および仕様

この概要には、IBM Flex System p260 コンピュート・ノード の機能および仕様を要約しています。

IBM Flex System p260 コンピュート・ノードは 1 ベイのコンピュート・ノードで、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシで使用されます。

注:

- 電源、冷却装置、取り外し可能メディア・ドライブ、外部ポート、および拡張システム管理 (ASM) は、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシによって提供されます。
- コンピュート・ノードのオペレーティング・システムが USB をサポートすることで、コンピュート・ノードが取り外し可能メディア・ドライブおよびフロント・パネル USB ポートを認識し、内部的に通信することが可能になります。

主要電子部品:

64 ビット 2 x POWER7® プロセッサー

IBM Flex System p260 コンピュート・ノード 1 ベイ:
- モデル 7895-22X 16Way SMP 1 ベイ: 2 ソケット、4 コアまたは 8 コア (3.2、3.3、または 3.5 GHz)
- モデル 7895-23A 4Way SMP 1 ベイ: 2 ソケット、2 コア (4.0 GHz)
- モデル 7895-23X 16Way SMP 1 ベイ: 2 ソケット、4 コア (4.0 GHz) または 8 コア (3.6 または 4.1 GHz)
- 16 個の DIMM DDR3 スロット。最大容量は 512 GB です。 ハード・ディスク (HDD) またはソリッド・ステート・ドライブ (SSD) が取り付けられている場合、4 GB および 8 GB の Very Low Profile (VLP) DIMM をサポート。 SSD が取り付けられている構成、またはディスクレス構成の場合は、2 GB、16 GB、および 32 GB Low Profile (LP) DIMM もサポート。

POWER7 IOC I/O ハブ x 2 (IBM Flex System p260 コンピュート・ノードの場合)

オンボード、内蔵機能:
- サービス・プロセッサー: IPMI、Serial over LAN (SOL)
- SAS コントローラー
- USB 2.0

ローカル・ストレージ:
- 0 個、1 個、または 2 個の SAS 2.5 型 300 GB、600 GB、または 900 GB HDD
- 0 個、1 個、または 2 個の SATA 1.8 型 177 GB SSD (SAS から SATA への変換対応)
- ハードウェア・ミラーをサポート

ネットワークおよびストレージ・アダプター・カード I/O オプション:

ロケーション・コードのマッピングについては、 16 ページの『システム・ボード・コネクター』を参照してください。
- IBM Flex System p260 コンピュート・ノードの I/O 拡張カード・スロット (P1-C18、P1-C19) 内に、1 Gb イーサネット 4 ポートまたは 10 Gb イーサネット KR 4 ポート・カード、あるいは 8 ポート 10 Gb コンバージド・ネットワーク・アダプター・カード
- IBM Flex System p260 コンピュート・ノードの I/O 拡張カード・スロット P1-C19 内に、8 Gb 2 ポート、16 Gb 2ポート、および 16 Gb 4 ポートのファイバー・チャネル・カード
- IBM Flex System p260 コンピュート・ノードの P1-C19 スロット内に、2 ポート 4X InfiniBand QDR ネットワーク・アダプター form-factor 拡張カード
- IBM Flex System p260 コンピュート・ノードの P1-C19 スロット内に、2 ポート 10 Gb RoCE カード form-factor 拡張カード

内蔵機能:
- 2 個の 1 Gb イーサネット・ポート (マネージメント・モジュールとの通信用)
- コンピュート・ノードの自動再始動
- 管理ネットワーク経由の SOL
- 基本システム・ボード上に 1 個の USB 2.0 (取り外し可能メディア・ドライブとの通信用)
- 共用シャーシ機構によって使用可能な光メディア

環境:これらの コンピュート・ノードは、ASHRAE クラス A3 仕様に準拠します。詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.8721.doc/features_and_specifications.htmlの環境仕様を参照してください。

サイズ:
- 高さ: 55 mm
- 奥行き: 492 mm
- 幅: 215 mm

システム管理:
- IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ・マネージメント・モジュールによるサポート
- フロント・パネル LED
- 管理コンソール: IBM Flex System Manager、ハードウェア管理コンソール (HMC)、または Integrated Virtualization Manager (IVM)
  注: コンピュート・ノードは、一度に 1 つの管理コンソールのみで管理することができます。
- 電力管理、電力超過 (スロットル)、および環境センシングのための Energy Scale 温度管理
- コアを使用不可にしてライセンス交付コストを節約するためのフィールド・コア・オーバーライド
- IBM Flex System Manager 更新マネージャー、インベントリー収集、複数 VIOS、および PowerVM® Enterprise の使用による、コードの同時更新

信頼性とサービスのフィーチャー:
- デュアル AC パワー・サプライ
- IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ: シャーシの冗長およびホット・プラグの電源モジュールおよび冷却モジュール
- ブート時のプロセッサー割り振り解除
- コンピュート・ノードのホット・プラグ
- お客さまによるセットアップと拡張
- 電源損失時の自動リブート
- 内部温度およびシャーシ外部温度のモニター
- ECC、Chipkill メモリー
- システム管理のアラート
- Light Path 診断
- Electronic Service Agent™ のコール・ホーム機能

電源入力: 12V DC

サポートされているオペレーティング・システムのバージョン、および、コンピュート・ノードのすべてのオプション・デバイスについては、ServerProven® の Web サイト を参照してください。

IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの機能および仕様

この概要には、IBM Flex System p460 コンピュート・ノード の機能および仕様を要約しています。

IBM Flex System p460 コンピュート・ノードは、2 ベイの SMP (対称マルチプロセッサー) ユニットであり、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内で使用されます。

注:

- 電源、冷却装置、取り外し可能メディア・ドライブ、外部ポート、および拡張システム管理 (ASM) は、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシによって提供されます。
- コンピュート・ノードのオペレーティング・システムが USB をサポートすることで、コンピュート・ノードが取り外し可能メディア・ドライブおよびフロント・パネル USB ポートを認識し、内部的に通信することが可能になります。

主要電子部品:

64 ビット 2 x POWER7 プロセッサー

IBM Flex System p460 コンピュート・ノード 2 ベイ:
- モデル 7895-42X 32Way SMP 2 ベイ: 4 ソケット、4 コアまたは 8 コア (3.2、3.3、または 3.5 GHz)
- モデル 7895-43X 32Way SMP 2 ベイ: 4 ソケット、4 コア (4.0 GHz) または 8 コア (3.6 または 4.1 GHz)
- 32 個の DIMM DDR3 スロット。最大容量は 1024 GB。 ハード・ディスク (HDD) またはソリッド・ステート・ドライブ (SSD) が取り付けられている場合、4 GB および 8 GB の Very Low Profile (VLP) DIMM をサポート。SSD が取り付けられている構成、またはディスクレス構成の場合は、2 GB (7895-42X のみ)、16 GB、および 32 GB Low Profile (LP) DIMM もサポート。

POWER7 IOC I/O ハブ x 4 (IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの場合)

オンボード、内蔵機能:
- サービス・プロセッサー: IPMI、Serial over LAN (SOL)
- SAS コントローラー
- USB 2.0

ローカル・ストレージ:
- 0 個、1 個、または 2 個の SAS 2.5 型 300 GB、600 GB、または 900 GB HDD
- 0 個、1 個、または 2 個の SATA 1.8 型 177 GB SSD (SAS から SATA への変換対応)
- ハードウェア・ミラーをサポート

ネットワークおよびストレージ・アダプター・カード I/O オプション:

ロケーション・コードのマッピングについては、 16 ページの『システム・ボード・コネクター』を参照してください。
- IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの I/O 拡張カード・スロット (P1-C34 から P1-C37) 内に、1 Gb イーサネット 4 ポートまたは 10 Gb イーサネット KR 4 ポート・カード、あるいは 8 ポート 10 Gb コンバージド・ネットワーク・アダプター・カード
- IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの M2 および M4 スロット (P1-C35、P1-C37) 内に、8 Gb 2 ポート、16 Gb 2ポート、および 16 Gb 4 ポートのファイバー・チャネル・カード
- IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの M2 および M4 スロット (P1-C35、P1-C37) 内に、2 ポート 4X InfiniBand QDR ネットワーク・アダプター form-factor 拡張カード
- IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの M2、M3、および M4 スロット (P1-C35 から P1-C37) 内に、2 ポート 10 Gb RoCE カード form-factor 拡張カード

内蔵機能:
- 2 個の 1 Gb イーサネット・ポート (マネージメント・モジュールとの通信用)
- コンピュート・ノードの自動再始動
- 管理ネットワーク経由の SOL
- 基本システム・ボード上に 1 個の USB 2.0 (取り外し可能メディア・ドライブとの通信用)
- 共用シャーシ機構によって使用可能な光メディア

環境:これらの コンピュート・ノードは、ASHRAE クラス A3 仕様に準拠します。詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.8721.doc/features_and_specifications.htmlの環境仕様を参照してください。

サイズ:
- 高さ: 55 mm
- 奥行き: 492 mm
- 幅: 437 mm

システム管理:
- IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ・マネージメント・モジュールによるサポート
- フロント・パネル LED
- 管理コンソール: IBM Flex System Manager、ハードウェア管理コンソール (HMC)、または Integrated Virtualization Manager (IVM)
  注: コンピュート・ノードは、一度に 1 つの管理コンソールのみで管理することができます。
- 電力管理、電力超過 (スロットル)、および環境センシングのための Energy Scale 温度管理
- コアを使用不可にしてライセンス交付コストを節約するためのフィールド・コア・オーバーライド
- IBM Flex System Manager 更新マネージャー、インベントリー収集、複数 VIOS、および PowerVM Enterprise の使用による、コードの同時更新

信頼性とサービスのフィーチャー:
- デュアル AC パワー・サプライ
- IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ: シャーシの冗長およびホット・プラグの電源モジュールおよび冷却モジュール
- ブート時のプロセッサー割り振り解除
- コンピュート・ノードのホット・プラグ
- お客さまによるセットアップと拡張
- 電源損失時の自動リブート
- 内部温度およびシャーシ外部温度のモニター
- ECC、Chipkill メモリー
- システム管理のアラート
- Light Path 診断
- Electronic Service Agent のコール・ホーム機能

電源入力: 12V DC

サポートされているオペレーティング・システムのバージョン、および、コンピュート・ノードのすべてのオプション・デバイスについては、ServerProven の Web サイト を参照してください。

ご使用のコンピュート・ノードの機能

コンピュート・ノードは、チップ・テクノロジー、メモリー管理、およびデータ・ストレージに関する高度化した技術の利点を生かすように設計されています。

コンピュート・ノードは、以下の機能およびテクノロジーを使用しています。

- **サービス・プロセッサー**

  IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノードのサービス・プロセッサーは、以下の機能をサポートします。

  – Intelligent Platform Management Interface (IPMI)
  – オペレーティング・システム
  – 電源制御および Advanced Power Management
  – 信頼性、可用性、保守容易性 (RAS) 機能
  – Serial over LAN (SOL)
  – 連続ヘルス・モニターおよび制御
  – 構成可能な通知およびアラート
  – タイム・スタンプされ、不揮発性メモリーに保管された、E メール・アラートに添付可能なイベント・ログ
  – Point-to-Point Protocol (PPP) サポート
  – リモート電源制御
  – リモート・ファームウェア更新と、重要なコンピュート・ノード設定へのアクセス

- **ディスク・ドライブ・サポート**

  コンピュート・ノードは、以下のいずれかの構成で、Serial Advanced Technology Attachment (SATA) ソリッド・ステート・ドライブ (SSD) またはシリアル接続 SCSI (SAS) ハード・ディスク (HDD) のいずれかをサポートします。

  – 最大 2 個の 1.8 型 SATA SSD
  – 最大 2 個の 2.5 型 SAS HDD

- **最新のマイクロプロセッサー・テクノロジーの使用による優れたパフォーマンス**

  コンピュート・ノードには、IBM Flex System p260 コンピュート・ノードの場合は 2 個の POWER7 マイクロプロセッサー、IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの場合は 4 個の POWER7 マイクロプロセッサーが標準で搭載されています。

- **I/O 拡張**

  コンピュート・ノードには、システム・ボード上にオプションの PCI Express (PCIe) ネットワーク・アダプター・カード用のコネクターがあり、コンピュート・ノードにネットワーク通信機能を追加することができます。

- **大容量システム・メモリー**

  IBM Flex System p260 コンピュート・ノード のメモリー・バスは、最大 512 GB のシステム・メモリーをサポートし、IBM Flex System p460 コンピュート・ノードは、最大 1024 GB のシステム・メモリーをサポートします。 サポートされている DIMM の正式リストについては、http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/ (http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/) を参照してください。

- **Light Path 診断**

  Light Path 診断は、問題の診断に役立つ発光ダイオード (LED) を備えています。 異常状態や問題が発生すると、コンピュート・ノードのコントロール・パネル上の LED が点灯します。 この場合、ユーザーはシステム・ボード上の LED を調べて、問題の発生源を突き止めることができます。

- **電力スロットル**

  ご使用の IBM Flex System エンタープライズ・シャーシが電源管理をサポートする場合、マネージメント・モジュールからコンピュート・ノードの電力消費量を動的に管理することができます。詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.cmm.doc/cmm_product_page.html または IBM サポート・サイト (http://www.ibm.com/support/entry/portal/Overview) を参照してください。

第 2 章 電源、コントロール、インディケーター、およびコネクター

コントロール・パネルを使用してコンピュート・ノードをオン/オフすること、およびコントロールおよびインディケーターの一部を見ることができます。 その他のインディケーターはシステム・ボードにあります。 システム・ボードには、さまざまなコンポーネントが使用するコネクターもあります。

コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタンと LED

コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタンと LED は、操作制御と状況インディケーターを提供します。

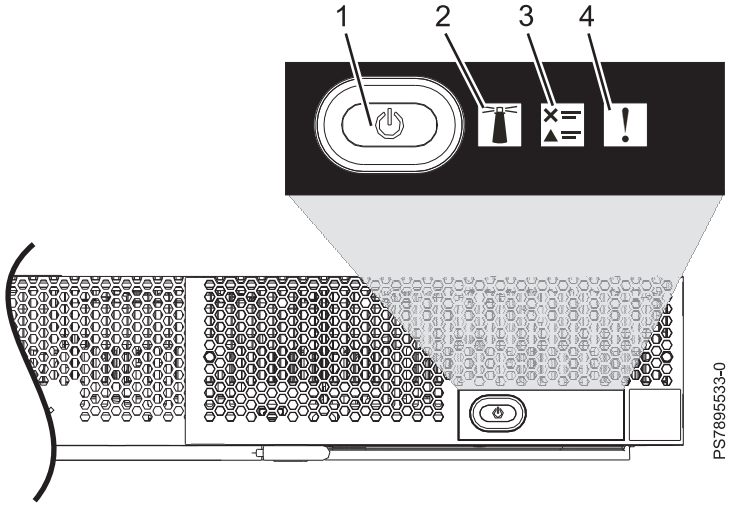


図 1. コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタンと LED

1. **電源制御ボタンおよび Light Path LED**: コンピュート・ノードの電源をオン/オフしたり Light Path 診断 LED を確認するには、このボタンを押します。

   この電源制御ボタンは、コンピュート・ノードのローカル電源制御が使用可能になっている場合にのみ有効です。ローカル電源制御は、Web インターフェースのマネージメント・モジュールによって使用可能/使用不可にします。

   電源制御ボタンを 5 秒間押すと、コンピュート・ノードの電源遮断が開始されます。

   緑色の Light Path LED は、コンピュート・ノードの電源状況を次のように示します。
   - 高速で点滅: サービス・プロセッサーがコンピュート・ノードを初期化しています。
   - 低速で点滅: コンピュート・ノードは初期化を完了し、パワーオン・コマンドを待っています。
   - 点灯: コンピュート・ノードに電源が接続され、電源が入っています。

   注: コンピュート・ノードを取り付けた後、拡張システム・プロセッサーが初期化を完了するのに 3 分間かかり、その後 LED が低速で点滅を開始します。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

2. **ロケーション LED**: この青色の LED が点灯しているときは、コンピュート・ノードの位置を目で確認できるように、システム管理者によって点灯されたことを示しています。ロケーション LED は、管理コンソールからオフにすることができます。
3. **チェック・ログ LED**: このオレンジ色の LED が点灯している場合、ユーザーが対処する必要があるエラーがコンピュート・ノードで検出されたことを示します。エラー・ログ・リポジトリーを参照し、この保守可能イベントについてさらに調査してください。この LED は、管理コンソールからオフにすることができます。
4. **格納装置障害 LED**: このオレンジ色の LED が点灯しているときは、コンピュート・ノードでシステム・エラーが発生したことを示しています。コンピュート・ノード LED は、以下のイベントのいずれかが起こるとオフになります。
   - エラーを訂正する。
   - IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内のコンピュート・ノードを取り付け直す。
   - IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの電源をサイクルする。

関連タスク:

537 ページの『Light Path 診断 LED の表示』

必要な安全情報を読み終えたら、コントロール・パネルを見て、LED が次善状態を示しているのか、エラーを示しているのかを判別します。

コンピュート・ノードの電源オン

IBM Flex System エンタープライズ・シャーシを介してコンピュート・ノードを電源に接続した後、検出および初期化プロセスが完了するとコンピュート・ノードを始動することができます。

このタスクについて

コンピュート・ノードを始動するには、以下のいずれかの方法を使用します。

手順

- コンピュート・ノードの前面にある電源制御ボタンを押してコンピュート・ノードを始動します。

  電源制御ボタンを押した後、パワーオン LED は約 15 秒間低速で点滅を続けます。その後、パワーオン・プロセスが完了すると点灯します。

  コンピュート・ノードのパワーオン LED が低速で点滅するまで待ってから、コンピュート・ノードの電源制御ボタンを押します。パワーオン LED が高速で点滅している場合、サービス・プロセッサーがコンピュート・ノードを初期化しています。初期化中は、電源制御ボタンは応答しません。

  注: コンピュート・ノードを取り付けた後、拡張システム・プロセッサーが初期化を完了するのに 3 分間かかり、その後 LED が低速で点滅を開始します。

- 電源障害後の電源の復旧時に、コンピュート・ノードを自動的に始動させます。

  電源障害が発生した場合、電源が復旧すると、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ、コンピュート・ノードの順に自動的に始動します。マネージメント・モジュールを使用して、コンピュート・ノードが再始動するように構成する必要があります。
- マネージメント・モジュールを使用して、コンピュート・ノードをリモート側で始動させます。

  パワーオン・プロセスを開始すると、パワーオン LED が約 15 秒間低速で点滅します。その後、パワーオン・プロセスが完了すると点灯します。

コンピュート・ノードの電源をオフにする

コンピュート・ノードの電源をオフにしても、管理ノードは IBM Flex System エンタープライズ・シャーシを経由して電源に接続されたままです。コンピュート・ノードは、コンピュート・ノードをオンにするためのサービス・プロセッサーからのリモート要求などの要求に応答できます。コンピュート・ノードからすべての電力をオフにするには、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外す必要があります。

始める前に

コンピュート・ノードの電源をオフにする前に、オペレーティング・システムをシャットダウンしてください。オペレーティング・システムのシャットダウンについては、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

このタスクについて

コンピュート・ノードの電源をオフにし、以下のいずれかの方法を使用します。

手順

- コンピュート・ノードの電源制御ボタンを少なくとも 5 秒間押して、ブレード・サーバーをオフにします。

  注: 電源制御ボタンを押してから最長で 1 分間は、電源制御 LED を完全にオンにしたままにできます。 コンピュート・ノードの電源をオフにした後、電源制御 LED が低速で点滅するまで待ってから、電源制御ボタンを押してコンピュート・ノードの電源を再びオンにします。

  オペレーティング・システムが機能を停止している場合、電源制御ボタンを 5 秒より長く押したままにして、コンピュート・ノードをオフにしてください。
- マネージメント・モジュールを使用してコンピュート・ノードをオフにします。

  パワーオフ処理を開始してから最長で 1 分間は、電源制御 LED を完全にオンにしたままにできます。コンピュート・ノードの電源をオフにした後、電源制御 LED が低速で点滅するまで待ってから、シャーシ・マネージメント・モジュールからパワーオン処理を開始して、コンピュート・ノードの電源を再びオンにします。

  マネージメント・モジュール Web インターフェースを使用して、システムが正しく作動していない場合はマネージメント・モジュールがコンピュート・ノードをオフにするよう構成できます。

  詳しくは、『http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.cmm.doc/cmm_product_page.html』を参照してください。

システム・ボードのレイアウト

図は、システム・ボードにあるコネクターと LED を示しています。 図は、ご使用のハードウェアと少し異なっている場合があります。

システム・ボード・コネクター

コンピュート・ノードのコンポーネントは、システム・ボードのコネクターに接続します。

次の図は、IBM Flex System p260 コンピュート・ノード の基本ユニットのシステム・ボード上にあるコネクターを示しています。

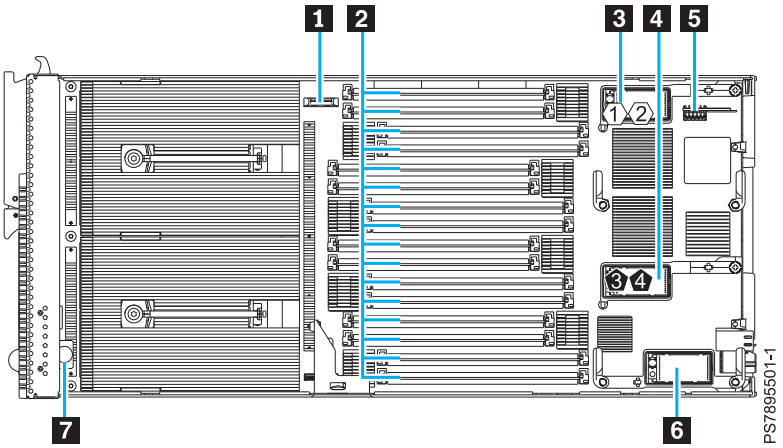


図 2. IBM Flex System p260 コンピュート・ノードのシステム・ボード・コネクター

次の表では、IBM Flex System p260 コンピュート・ノード のコネクターを識別して説明します。

表 2. IBM Flex System p260 コンピュート・ノード

付記	IBM Flex System p260 コンピュート・ノード のコネクター
1	3 V リチウム・バッテリー・コネクター (P1-E1)
2	DIMM コネクター (個別のコネクターについては、 18 ページの図 4 を参照)
3	シャーシ・ベイ 1 および 2 (P1-C18) の I/O 拡張カード上部コネクター
4	シャーシ・ベイ 3 および 4 (P1-C19) の I/O 拡張カード下部コネクター
5	管理カード・コネクター (P1-C21)
6	ETE (Everything-to-Everywhere) コネクター (P1-C20)
7	Light Path カード

次の図は、IBM Flex System p460 コンピュート・ノード の基本ユニットのシステム・ボード上にあるコネクターを示しています。

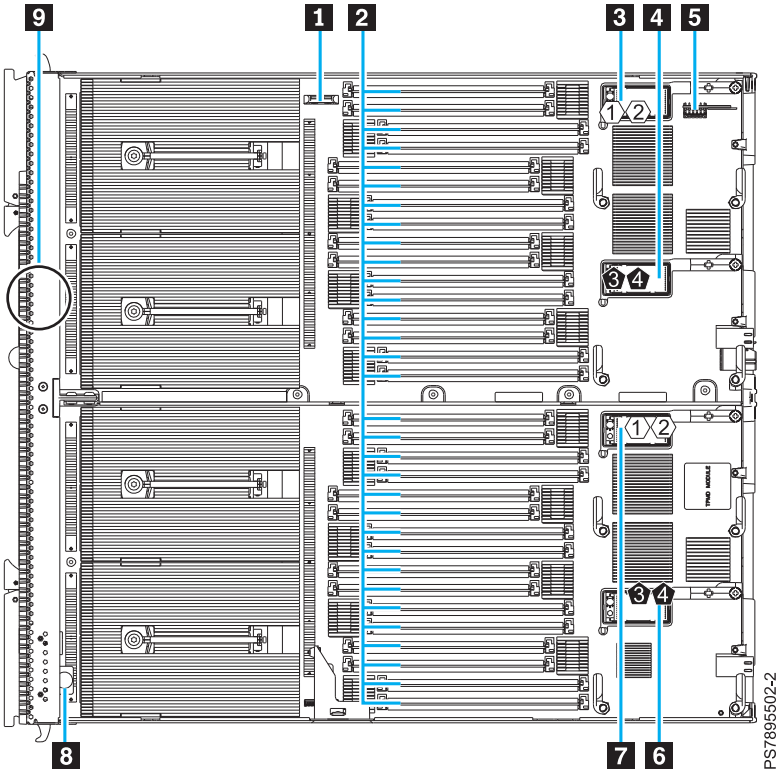


図 3. IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの基本ユニット・コネクター

次の表では、IBM Flex System p460 コンピュート・ノード のコネクターを識別して説明します。

表 3. IBM Flex System p460 コンピュート・ノードのコネクター

付記	**IBM Flex System p460 コンピュート・ノード コネクター**
1	3 V リチウム・バッテリー・コネクター (P1-E1)
2	DIMM コネクター (個別のコネクターについては、 18 ページの図 5 を参照)
3	シャーシ・ベイ 1 および 2 (P1-C34) の I/O 拡張カード M1 コネクター
4	シャーシ・ベイ 3 および 4 (P1-C35) の I/O 拡張カード M2 コネクター
5	管理カード・コネクター (P1-C38)
6	シャーシ・ベイ 3 および 4 (P1-C37) の I/O 拡張カード M4 コネクター
7	シャーシ・ベイ 1 および 2 (P1-C36) の I/O 拡張カード M3 コネクター
8	Light Path カード
9	温度センサー

次の図は、 IBM Flex System p260 コンピュート・ノード のシステム・ボードの各 DIMM コネクターを示しています。

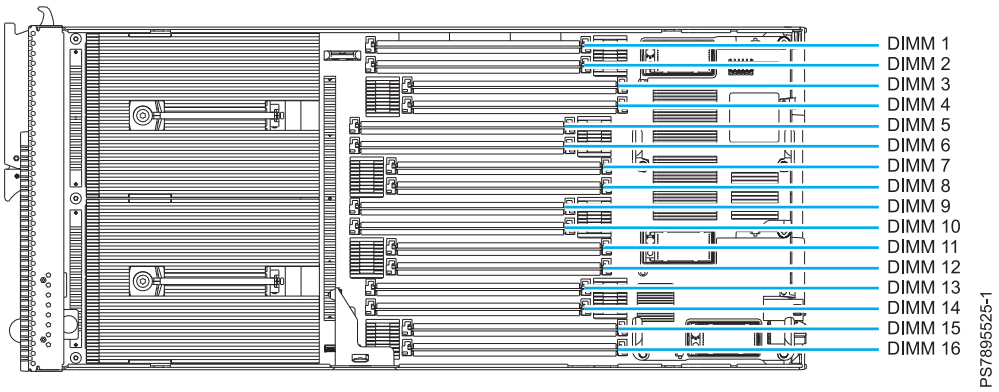


図 4. IBM Flex System p260 コンピュート・ノード の DIMM コネクター

次の図は、IBM Flex System p460 コンピュート・ノード のシステム・ボードの各 DIMM コネクターを示しています。

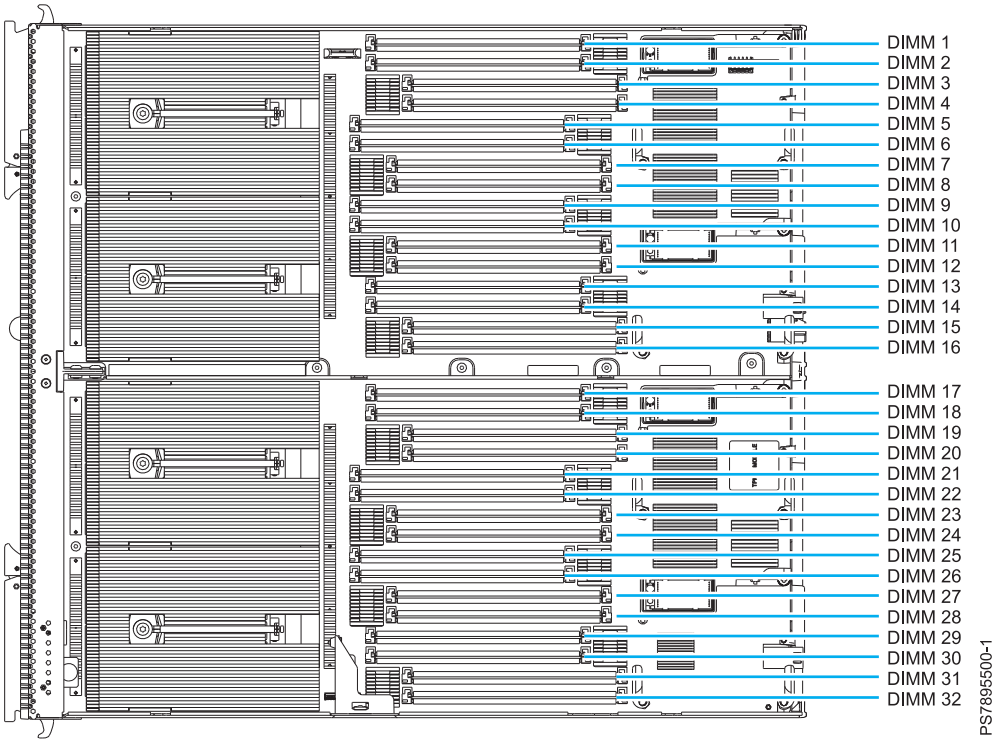


図 5. IBM Flex System p460 コンピュート・ノード 用の DIMM コネクター

システム・ボード LED

システム・ボード上の LED のイラストを使用して、発光ダイオード (LED) を識別してください。

前面の電源制御ボタンを押したまま保持し、エラー処理中にオンになった Light Path 診断 LED がないかを確認します。次の図を使用して、障害のあるコンポーネントを識別します。

次の図は、 IBM Flex System p260 コンピュート・ノード 上の LED を示しています。 次の図および表は、システム・ボード LED を示しています。

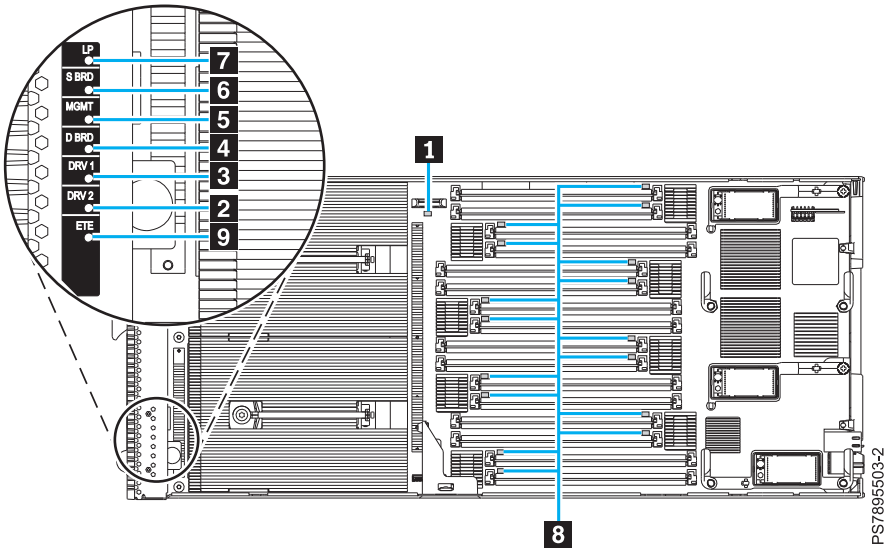


図 6. IBM Flex System p260 コンピュート・ノード のシステム・ボード上にある LED の位置

次の図は、IBM Flex System p460 コンピュート・ノードのシステム・ボードの LED を示しています。

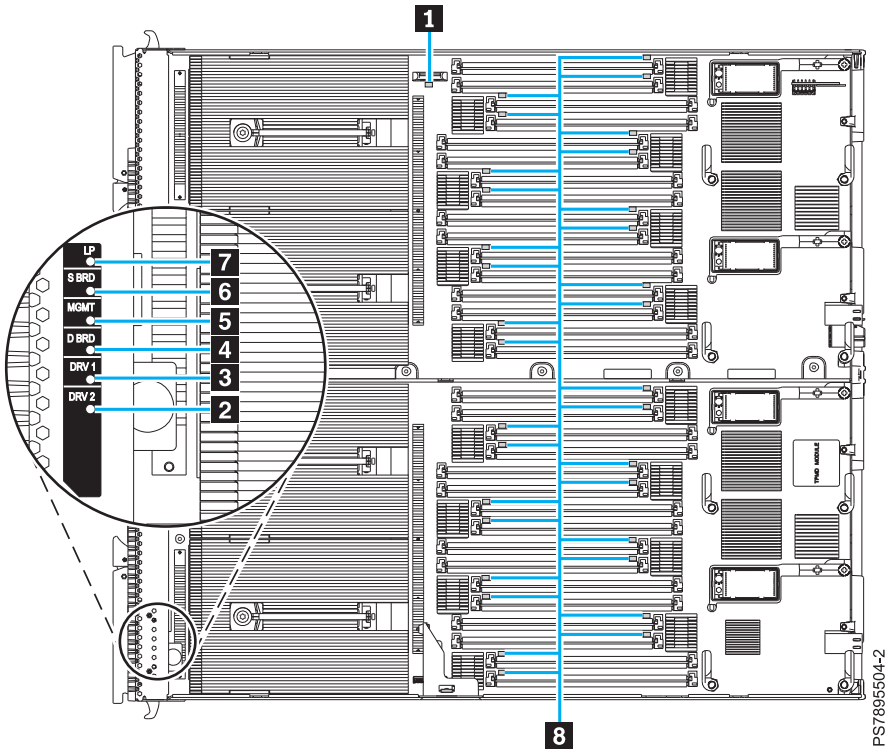


図 7. IBM Flex System p460 コンピュート・ノード のシステム・ボード上にある LED の位置

次の表は、Light Path 診断を識別しています。

表 4. IBM Flex System p260 コンピュート・ノードおよび IBM Flex System p460 コンピュート・ノード の LED

付記	装置 LED
1	3 V リチウム・バッテリー LED
2	DRV2 LED (HDD または SSD)
3	DRV1 LED (HDD または SSD)
4	ドライブ・ボード LED (カバーに組み込まれているソリッド・ステート・ドライブ変換コネクター)
5	管理カード LED
6	システム・ボード LED
7	Light Path 電源 LED
8	DIMM LED
9	ETE コネクター LED

入出力コネクターおよび装置

コンピュート・ノードが使用可能な入出力コネクターは、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシによって提供されます。

入出力コネクターについては、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに付属の資料を参照してください。

コンピュート・ノード上のイーサネット・コントローラーは、 IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ上のイーサネット互換 I/O モジュールを通じてネットワークと通信します。

第 3 章 コンピュート・ノードの構成

ファームウェアが POST (パワーオン・セルフテスト) を実行中で、オペレーティング・システムが始動する前は、POST メニューと POST インディケーターが表示されます。 POST インディケーターは、*Memory*、*Keyboard*、*Network*、*SCSI*、および *Speaker* というワードで、各コンポーネントのテストに応じて表示されます。次に、ユーザーは、POST メニューで構成ユーティリティーを選択できます。

このタスクについて

POST メニューから以下の構成ユーティリティーを使用可能です。

- **System Management Services (SMS)**

  System Management Services (SMS) ユーティリティーを使用すると、システムまたはパーティション情報の表示、およびリモート IPL のセットアップ、自己構成 SCSI デバイス (SCSD) の設定の変更、ブート・オプションの選択などのタスクを実行できます。 SMS ユーティリティーは AIX® または Linux パーティションに使用可能です。

- **デフォルト・ブート・リスト**

  このユーティリティーを使用して、デフォルト保守モード・ブート・リストを通じてシステム・ブートを保守モードで開始します。 このモードでは、リストにある各タイプの最初の装置からブートが試行されます。

  注: これは、スタンドアロン AIX 診断を CD から開始する際の推奨方式です。

- **ストアード・ブート・リスト**

  このユーティリティーを使用すると、AIX オペレーティング・システムが最初にブートされたときに、AIX オペレーティング・システムによってセットアップされたカスタマイズ済み保守モード・ブート・リストを使用して保守モードで、あるいは AIX 保守援助機能を使用して手動で、システム・ブートを開始することができます。

- **オープン・ファームウェア・プロンプト**

  このユーティリティーは、IEEE 1275 規格の上級者のみを対象としています。

- **マネージメント・モジュール**

  マネージメント・モジュールを使用して、ブート・リストを変更してブートするファームウェア・イメージを決定したり、その他の構成タスクを実行したりすることができます。

関連タスク:

27 ページの『SMS ユーティリティーの使用』
システム管理サービス (SMS) ユーティリティーを使用して、 IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノードを構成します。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

ファームウェアの更新

IBM は、お客様がコンピュート・ノード、マネージメント・モジュール、あるいはコンピュート・ノード内の拡張カードにインストールするためのファームウェア更新を定期的に提供します。

始める前に

重要: 誤ったファームウェア更新をインストールすると、コンピュート・ノードが誤動作する可能性があります。ファームウェア更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェア・バージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

重要:

- 問題を回避し、適切なシステム・パフォーマンスを維持するために、コンピュート・ノード BIOS、サービス・プロセッサー、および診断ファームウェア・レベルが、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内のすべてのコンピュート・ノードで整合していることを常に確認してください。
- すべての IBM Flex System コンポーネントの更新手順の詳細な要約については、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5091991を参照してください。

コンピュート・ノードのファームウェアを更新するには、以下のいずれかの方法を使用します。

- IBM Flex System Manager。 http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.8731.doc/updating_firmware_and_software.htmlを参照してください。
- ハードウェア管理コンソール (HMC)。 管理対象システムの更新を参照してください。
- Integrated Virtualization Manager (IVM) については、Integrated Virtualization Manager の更新を参照してください。
- オペレーティング・システムのインバンド機能。これには、Linux オペレーティング・システムおよび AIX オペレーティング・システムの **update_flash** コマンド、あるいは Virtual I/O Server の **ldfware** コマンドなどがあります。
- AIX 診断のファームウェア更新機能。
- スタンドアロン診断ブート・イメージ のファームウェア更新機能。

重要: 新規ファームウェアの一時サイドへのインストールが始まる前に、一時サイドの内容が永続サイドにコピーされます。 ファームウェアのインストールが始まると、永続サイドのファームウェアの前のレベルは使用可能でなくなります。

注:

- Power Systems™ コンピュート・ノードが収容されているシャーシを管理しているシャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) にアクセスするには、管理ソフトウェア内でデフォルトの USERID アカウントおよびパスワードを使用する必要があります。
- 1 つ以上の Power Systems コンピュート・ノードのファームウェアを更新する前に、デフォルトの USERID アカウントのパスワードが更新の完了前に有効期限切れにならないことを確認してください。コードの更新中にパスワードの有効期限が切れると、Power Systems コンピュート・ノードが管理ソフトウェアに再接続できない可能性があり、各 Power Systems コンピュート・ノードを新規パスワードで更新する必要がある場合があります。
- ファームウェア更新は、ロードするのに時間がかかる場合があります。初回セットアップ・プロセスを効率的に行うために、ファームウェア更新を待つ間にオペレーティング・システムのインストールを開始することができます。

このタスクについて

インバンド方式を使用してコンピュート・ノードのファームウェアをインストールするには、以下のステップを実行します。

手順

1. IBM Flex System p260 コンピュート・ノード 1 ベイのファームウェアまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノード 2 ベイのファームウェアをダウンロードします。
   a. http://www.ibm.com/software/brandcatalog/puresystems/centre/updateに進みます。
   b. 更新する IBM Flex System バージョンに一致する更新グループを選択します。例えば、Flex System 1.2.1 タブを選択します。
   c. 該当するコンピュート・ノードの更新を選択します。
   d. コンピュート・ノードのファームウェア、およびアダプターまたはデバイスなどのインストール済みデバイスに必要なファームウェアをダウンロードします。

      注: readme.txt ファイルだけでなく、.rpm、.xml、dd.xml および pd.sdd ファイルを含むファームウェア更新のファイルをすべてダウンロードしてください。
   e. FTP を使用して、コンピュート・ノード上のディレクトリーに更新をコピーします (例: `/tmp/fwupdate/fwrpms`)。
2. AIX または Linux システムに root としてログオンするか、Virtual I/O Server (VIOS) に padmin としてログオンします。
3. VIOS にログオンする場合、次のコマンドを実行して root アクセス権限を取得してください。

   ```
   run oem_setup_env
   ```
4. .rpm ファイルを解凍します。

   例えば、FW763 Service Pack FS763_052_043 をインストールするには、以下の手順を実行します。

   ```
   cd /tmp/fwrpms
   ```

   次のようにして .rpm から .img ファイルを解凍します。

   ```
   rpm2cpio 01AF763_052_043.rpm | cpio -ivd
      ./tmp/fwupdate/01AF763_052_043.img
   ```

   このコマンドからの出力は、次のようになります。

   ```
   ./tmp/fwupdate/01AF763_052_043.img
   ```

   この結果の .img ファイルは `tmp/fwupdate` サブディレクトリーに置かれます。
5. 以下の方式のいずれかを使用して、ファームウェアの更新をインストールします。
   - 次のように、AIX **update_flash** コマンドを使用して、ファームウェアをインストールします。

     ```
     cd /tmp/fwrpms/tmp/fwupdate
     /usr/lpp/diagnostics/bin/update_flash -f 01AFxxx_yyy_zzz.img
     ```
   - 次のように、Linux **update_flash** コマンドを使用して、ファームウェアをインストールします。

     ```
     cd /tmp/fwrpms/tmp/fwupdate
     /usr/sbin/update_flash -f 01AFxxx_yyy_zzz.img
     ```
   - VIOS に戻って、次のように VIOS 上で **ldfware** コマンドを使用してファームウェアをインストールします。

```
cd /tmp/fwrpms/tmp/fwupdate
#exit
ldfware -file 01AFxxx_yyy_zzz.img
```

ここで、*01AFxxx_yyy_zzz.img* はファームウェア・イメージの名前です。

注: AIX 診断またはスタンドアロン診断ブート・イメージのファームウェア更新機能も使用できます。詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/powersys/v3r1m5/topic/p7ha5/fix_aix_diags.htmを参照してください。

6. コンピュート・ノードを再始動して、ファームウェア更新を適用します。
7. AIX または Linux で次のコマンドを実行し、ファームウェア更新が正常に行われたかどうかを検査します。

```
lsmcode -A
```

VIOS で次のコマンドを実行し、ファームウェア更新が正常に行われたかどうかを検査します。

```
lsfware -all
```

TEMP イメージの始動

システム・ファームウェアは、コンピュート・ノードのフラッシュ・メモリー内の別個の一時イメージおよび永続イメージに含まれています。これらのイメージはそれぞれ TEMP および PERM と参照されます。通常、コンピュート・ノードは TEMP イメージから始動します。ファームウェアを更新する前に、TEMP イメージを始動します。

このタスクについて

TEMP イメージを始動するには、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.psm.hosts.doc/dpsm_managing_hosts_power_firmware.htmlを参照してください。

システム・ファームウェア・レベルの検査

診断プログラムは、一時 (TEMP) イメージおよび永続 (PERM) イメージについて、現行のシステム・ファームウェア・レベルを表示します。また、この機能は、コンピュート・ノードがどちらのイメージを使用して始動したかも表示します。

手順

1. 診断プログラムを開始します。
2. 「**機能の選択 (Function Selection)**」メニューで「**タスクの選択 (Task Selection)**」を選択し、Enter キーを押します。
3. 「**タスク選択リスト (Tasks Selection List)**」メニューで、「**システム・フラッシュの更新と管理 (Update and Manage System Flash)**」を選択し、「**Enter**」キーを押します。

   「**システム・フラッシュの更新と管理 (Update and Manage System Flash)**」メニューの上部に、PERM イメージおよび TEMP イメージのシステム・ファームウェア・レベルと、コンピュート・ノードが始動に使用したイメージが表示されます。

   注: TEMP イメージのレベルが PERM イメージより現行である場合、TEMP イメージをコミットします。

4. ファームウェア・レベルの検査をしたら、「診断操作指示 (Diagnostic Operating Instructions)」ウィンドウが表示されるまで F3 を押してください。次に、再び F3 を押して、診断プログラムを終了します。

SMS ユーティリティーの使用

システム管理サービス (SMS) ユーティリティーを使用して、 IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノードを構成します。

SMS ユーティリティーの開始

SMS ユーティリティーを開始して、コンピュート・ノードを構成します。

手順

1. コンピュート・ノードの電源を入れるか、またはブレード・サーバーを再始動し、ブレード・サーバーとの SOL セッションを確立します。

   詳しくは、「*IBM シャーシ・マネージメント・モジュール Command-Line インターフェース リファレンス・ガイド*」を参照してください。
2. POST メニューとインディケーターが表示されたら、ワード `Keyboard` が表示されてからワード `Speaker` が表示されるまでの間に 1 を押します。
3. ウィンドウの指示に従います。

SMS ユーティリティーのメニュー選択

SMS ユーティリティー・メインメニューから SMS タスクを選択します。 SMS ユーティリティー・メインメニューの選択項目は、コンピュート・ノード内のファームウェアのバージョンによって異なります。

メニュー選択項目の一部は、以下の説明と少し異なる場合があります。

- **言語の選択**

  SMS メニューの表示に使用する言語を変更します。
- **リモート IPL (Initial Program Load) のセットアップ**

  コンピュート・ノードまたはパーティションのリモート始動機能を使用可能にしてセットアップします。
- **SCSI 設定の変更**

  コンピュート・ノードに接続された自己構成 SCSI 装置 (SCSD) コントローラーのアドレスを変更します。
- **コンソールの選択**

  SMS メニューを表示するコンソールを選択します。
- **ブート・オプションの選択**

  インストール・デバイスおよびブート・デバイスに関する各種オプションを設定します。

  注: 選択しようとしているデバイスが「**Select Device Type**」メニューに表示されない場合は、「**List all Devices**」を選択して、表示されたメニューからデバイスを選択します。
- **ファームウェア・ブート・サイド・オプション**

永続サイドまたは一時サイドからのファームウェアのブートを制御します。

CE ログインの作成

コンピュート・ノードが AIX オペレーティング・システムを稼働している場合、技術員 (CE) ログインを作成することができます。 CE ログインを使用すると、root ユーザーとしてログインせずに、システムを保守するのに必要なオペレーティング・システム・コマンドを実行することができます。

このタスクについて

CE ログインをするには、「診断の実行 (Run Diagnostics)」の役割を持っている必要があり、システムの 1 次グループでなければなりません。この設定により、CE ログインで以下のタスクを実行することができます。

- 診断の実行 (保守援助機能、認証、およびフォーマット設定など)。
- システム・グループ・ユーザーによって実行される、すべてのオペレーティング・システム・コマンドの実行。
- 使用されていないデバイスの構成および構成解除。

さらに、このログインによってシャットダウン・グループが使用可能になり、「システム・マイクロコードの更新」保守援助機能、およびシャットダウンとリブート操作の使用を可能にします。

設定済みの CE ログインのユーザー名は qserv です。

プロセッサー・コアの構成

コンピュート・ノード内のアクティブ・プロセッサー・コアの数を増減する方法について説明します。

IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノードをオーダーするときに、コンピュート・ノードのアクティブ・プロセッサー・コアの数を減らすように工場に指示するフィーチャーを一緒にオーダーすることで、ソフトウェア・ライセンスのコストを削減することができます。工場では、新規システムと一緒に「フィーチャー・コード *2319: Factory deconfiguration of one core*」がオーダーされた場合、フィールド・コア・オーバーライド・オプションを使用して、プロセッサー・コアの数を減らします。このオプションは、Advanced System Management Interface (ASMI) で使用することができ、プロセッサー・コアの数を 1 つずつ減らします。

フィールド・コア・オーバーライド・オプションは、機能する (コンピュート・ノード内でアクティブになる) コアの数を指示します。フィールド・コア・オーバーライド・オプションは、コンピュート・ノード内のアクティブ・プロセッサー・コアの数を増減する機能を提供します。コンピュート・ノードのファームウェアは、アクティブ・プロセッサー・コアの数を入力された値に設定します。この値は、コンピュート・ノードがリブートされたときに有効になります。フィールド・コア・オーバーライド値は、コンピュート・ノードの電源がオフにされた状態でのみ変更することができます。

コンピュート・ノードでのワークロードが増加したためにアクティブ・プロセッサー・コアの数を増やすには、このオプションを使用する必要があります。

コンピュート・ノード内で機能するオーバーライド・コアの数を変更するには、ASMI にアクセスする必要があります。 http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.psm.hosts.doc/dpsm_managing_hosts_launch_asm.htmlを参照してください。

フィールド・コア・オーバーライド・フィーチャーについて詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/powersys/v3r1m5/topic/p7hby/fieldcore.htmを参照してください。

関連情報:

http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/powersys/v3r1m5/topic/p7hby/viewprocconfig.htm

内蔵イーサネット・コントローラーの MAC アドレス

IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノード上では、サービス・プロセッサーが 2 つの内蔵イーサネット・ポートを使用します。追加のイーサネット・ポートは、2 つの拡張カード・スロットに差し込まれたフィーチャー・カードによって提供されます。これらの拡張カード・イーサネット・ポートは、Virtual I/O Server (VIOS) と一緒に使用する場合、クライアント論理区画 (LPAR) に対して仮想*論理*イーサネットを提供します。VIOS ソフトウェアは、論理イーサネットを実際の物理ポートと同じように使用します。

このタスクについて

内蔵イーサネット・ポートのメディア・アクセス制御 (MAC) アドレスは、コンピュート・ノード上のラベルにリストされています。コンピュート・ノードのラベルには、2 つの MAC アドレスがリストされています。内蔵イーサネット・ポートの MAC アドレスは、IBM Flex System Manager、ハードウェア管理コンソール (HMC)、および Integrated Virtualization Manager (IVM) に表示されます。論理ポートの MAC アドレスは、VIOS によって生成されます。

HMC を使用してイーサネット・ポートの MAC アドレスを表示するには、**「HMC 管理」>「ネットワーク設定の変更」>「LAN アダプター」**をクリックします。

IVM を使用してイーサネット・ポートの MAC アドレスを表示するには、**「TCP/IP 設定の表示/変更」>「プロパティー」>「接続パーティション」**をクリックします。

表 5 に、相対アドレッシング・スキームを示します。

表 5. 物理および論理内蔵イーサネット・コントローラーの MAC アドレッシング・スキーム

ノード	マネージメント・モジュール内の名前	IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノードのラベルにリストされている MAC との関係	例
サービス・プロセッサーの組み込み Enet0		最初の MAC アドレスと同じ	00:1A:64:44:0e:c4
サービス・プロセッサーの組み込み Enet1		MAC + 1	00:1A:64:44:0e:c5
論理イーサネット・ポート		VIOS が生成	

1. Integrated Virtualization Manager (IVM) については、Integrated Virtualization Manager の更新を参照してください。

内蔵イーサネット・コントローラーの使用の計画、デプロイ、および管理について詳しくは、PowerVM Information Roadmap の構成セクションを参照してください。

RAID アレイの構成

以下の情報を使用して、RAID アレイを構成することができます。

このタスクについて

RAID アレイの構成は、ディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブが取り付けられているコンピュート・ノードに適用されます。

注: RAID アレイを構成する場合、ハード・ディスクは、インターフェースのタイプ、容量、および速度が同一でなければなりません。

ServerProvenのリスト にあるオペレーティング・システムでは、IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノード 内のディスク・ドライブおよびソリッド・ステート・ドライブを使用して、さまざまなタイプの RAID アレイをインプリメントして管理することができます。コンピュート・ノードの場合、AIX オペレーティング・システムの SAS RAID ディスク・アレイ・マネージャーである **smit sasdam** ユーティリティーを使用して、RAID アレイを構成する必要があります。 AIX ディスク・アレイ・マネージャーは、診断 CD に診断ユーティリティーと一緒にパッケージされています。 **smit sasdam** を使用して、SAS コントローラーと使用するためにディスク・ドライブを構成します。 詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systems/scope/hw/index.jsp?topic=/p7ebj/sasusingthesasdiskarraymanager.htmを参照してください。

重要: ご使用の RAID 構成に応じて、オペレーティング・システムをコンピュート・ノードにインストールする*前* に、アレイを作成しなければなりません。

RAID アレイを作成する前に、ドライブを再フォーマットし、ドライブのセクター・サイズを 512 バイトから 528 バイトに変更しておく必要があります。後でドライブを取り外す場合は、RAID アレイを削除してから、ドライブを取り外してください。 RAID アレイを削除してドライブを再利用する場合は、ドライブを再フォーマットし、ドライブのセクター・サイズを 528 バイトから 512 バイトに変更する必要があります。

関連情報:

http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/

http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systems/scope/hw/index.jsp?topic=/p7ebj/sasusingthesasdiskarraymanager.htm

第 4 章 オペレーティング・システムのインストール

コンピュート・ノードにオペレーティング・システムをインストールする前に、コンピュート・ノードが IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに取り付けられていること、マネージメント・モジュールのファームウェアが使用可能な最新レベルであること、およびコンピュート・ノードの電源がオンになっていることを確認します。

このタスクについて

オペレーティング・システムのインストールに自動ネットワーク・インストール方式を使用していない場合、オペレーティング・システムをインストールするには、まず Serial over LAN (SOL) 接続をコンピュート・ノードに対して提供する必要があります。 SOL セッションの開始について詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.cmm.doc/dw1kt_cmm_cli_book.pdfを参照してください。

重要:

- コンピュート・ノードにオペレーティング・システムをインストールした後、オペレーティング・システムに付属の Service Pack または更新パッケージをインストールする必要があります。 その他の詳細については、オペレーティング・システム、Service Pack または更新パッケージに付属の説明書を参照してください。
- イーサネット I/O 拡張カードを取り付ける予定の場合は、最初にオペレーティング・システムをインストールして、I/O 拡張カードのポートの前にオンボード・ポートを認識および構成できるようにしてください。オペレーティング・システムのインストールより先に イーサネット I/O 拡張カードを取り付けると、 I/O 拡張カード・ポートがオンボード・ポートより先に割り当てられます。

サポートされているオペレーティング・システムのバージョン、および、コンピュート・ノードのすべてのオプション・デバイスについては、ServerProven の Web サイト を参照してください。

「インストールの説明」の位置の確認

Virtual I/O Server (VIOS)、AIX オペレーティング・システム、あるいは IBM i オペレーティング・システムがインストール済みの IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノード を注文することができます。これらのオペレーティング・システムがインストールされたコンピュート・ノードをオーダーしなかった場合、これらのオペレーティング・システムをローカル・オペレーティング・システムとしてインストールすることができます。 VIOS をインストールした後、AIX、Linux、あるいは IBM i オペレーティング・システムをクライアント・オペレーティング・システムとして論理区画 (LPAR) にインストールすることができます。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

このタスクについて

コンピュート・ノード・ハードウェアを構成したら、オペレーティング・システムの資料にアクセスし、オペレーティング・システムの最新の「インストールの説明」がないか調べてください。 詳しくは、以下のオペレーティング・システムの説明を参照してください。

- **Virtual I/O Server のインストール**

  PowerVM Information Roadmap の『Installing』セクションを参照してください。

  VIOS ソフトウェアがインストールされたサーバーをオーダーしなかった場合、製品パッケージに含まれている「*Virtual I/O Server*」DVD を使用して VIOS をインストールし、論理区画内でクライアント・オペレーティング・システムをサポートする仮想環境をセットアップすることができます。次に、サポートされている任意のオペレーティング・システムをクライアントとして LPAR にインストールできます。

  VIOS とオペレーティング・システムのインストールの順序が重要です。 最初に、ファームウェアを Stand-alone *Diagnostics* CD を使用して更新できます。しかし、その他のソフトウェアは、 VIOS ソフトウェアをインストールしてからインストールしなければなりません。 VIOS ソフトウェアは、「*Integrated Virtual Manager*」管理者コンソールおよび最初の論理区画を作成します。これは、VIOS および Integrated Virtual Manager (IVM) が占有します。

  VIOS をインストールした後、IVM および Micro-Partitioning® 機能を使用して、クライアント・オペレーティング・システム用のクライアント・パーティションを作成することができます。

- **AIX のインストール**

  AIX オペレーティング・システムは、 IBM Systems Information Center にある「インストールの説明」を実行することによってインストールできます。

  詳しくは、オンラインの AIX インストールおよび移行 のトピックを参照してください。 AIX については、IBM Web サイトの IBM System p® Information Roadmap にさらに詳しい情報があります。

  注: キーボードとビデオ・インターフェースを使用して CD または DVD から AIX をインストールした後、**change console** コマンドを実行してコンピュート・ノードを再始動し、AIX コンソールを Serial over LAN (SOL) 接続に切り替えます。 (このコマンドは、パーティション・ファームウェアによって使用されているコンソールには影響しません。) 以下のコマンドを使用できます。

  ```
  chcons /dev/vty0
  shutdown -Fr
  ```

- **IBM i のインストール**

  IBM i オペレーティング・システムは、VIOS のクライアント・パーティションにインストールできます。

  IBM Web サイトにある「*IBM i on a POWER Blade Read-me First*」資料を参照してください。追加のインストール情報および IBM i の制約事項は、i5/OS™ クライアント区画の考慮事項に記述されています。

  IBM System i® Information Roadmap も参照してください。

- **Linux のインストール**

  Linux オペレーティング・システムは、 IBM Systems Information Center にある「インストールの説明」を実行することによってインストールできます。

オンラインの Linux インストール手順は、IBM Systems Information Center のトピック「*Linux on BladeCenter® JS22*」で入手可能です。

注:

1. 一部のオプション装置は、デバイス・ドライバーのインストールを必要とします。必要なデバイス・ドライバーのインストールについては、装置に付属の資料を参照してください。

   オペレーティング・システムに必要なデバイス・ドライバーが付属していない場合は、IBM の営業担当員または特約店にお問い合わせください。その他の詳細については、オペレーティング・システムの説明書を参照してください。

2. IBM Remote Deployment Manager (RDM) プログラムは、IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノードをサポートしません。しかし、次のプログラムをリモート・インストールに使用できます。
   - AIX、Red Hat Linux、または SUSE Linux オペレーティング・システム・デプロイメントの場合、Cluster Systems Management (CSM) を IBM から入手して使用できます。 http://www.ibm.com/systems/clusters/index.htmlに進みます。
   - AIX オペレーティング・システムのインストールには、Network Installation Manager (NIM) を IBM から入手して使用できます。 追加情報については、AIX オペレーティング・システムの資料を参照してください。
   - SUSE Linux オペレーティング・システム・デプロイメントの場合は、Novell, Inc. の AutoYast ユーティリティーを使用することができます。http://www.suse.com/~ug/ にアクセスしてください。

タスクの結果

オペレーティング・システムをインストールした後、オペレーティング・システムの更新をインストールします。その後、ご使用のオペレーティング・システムに適用されるユーティリティーがある場合は、インストールしてください。

Linux のサービス・ツールと生産性向上ツールのインストール

Linux のサービス・ツールと生産性向上ツールには、ハードウェア診断エイド、生産性向上ツール、およびインストール支援プログラムが含まれます。 Linux オペレーティング・システム用の IBM インストール・ツールキットには、インストール支援プログラムが提供されています。このツールキットは、IBM POWER7 アーキテクチャー・テクノロジーをベースにした IBM コンピュート・ノードへの Linux オペレーティング・システムのインストールを補助するツールのセットです。また、このツールを使用して、IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノード のファームウェアを更新することもできます。

このタスクについて

ハードウェアの診断エイドおよび生産性向上ツールは、Red Hat Enterprise Linux (RHEL) および SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 用の、ダウンロード可能な Red Hat Package Manager (RPM) ファイルとして使用可能です。 Linux 用の IBM インストール・ツールキットは、ISO コンパクト・ディスク (CD) イメージとして使用可能です。ユーザーは、これを使用してユーザー用の CD を作成できます。 Linux システム用のサービス・ツールおよび生産性向上ツールのサイト には、 CD の作成方法の説明があります。

ハードウェア診断エイドおよび生産性向上ツールは、最初の障害のデータ捕捉やエラー・ログ分析のような、ハードウェアの信頼性、可用性、および保守容易性 (RAS) 機能のために必要です。 このツールをインストールすると、問題判別と修正が大幅に強化され、システム障害の拡大の可能性が減少します。

例えば、システム・ファームウェアの更新をインストールするための **update_flash** コマンドは、ハードウェア診断エイドおよび生産性向上ツールがインストールされている場合にのみ実行できます。

その他のツールは、さまざまな保守容易性ポリシーを変更し、システム LED を取り扱い、ブート・リストを更新し、偶発的なエラーの分析を補助するために拡張エラー・データを取り込みます。

その他のコマンドおよびブート時のスキャン・スクリプトは、ハードウェア・インベントリー・システムを構成します。 **lsvpd** コマンドは、ハードウェア・コンポーネントについての重要プロダクト・データ (VPD) を提供します。

エラー・ログ分析 (ELA) ツールは、プラットフォーム・ファームウェアによって報告されるエラーの分析と通知を自動的に行います。 ELA は、分析されたエラー・データを、`/var/log/platform` と保守ログに書き込みます。 修正アクションが必要な場合は、通知イベントがイベントを登録済みツールおよび加入ユーザーに送信します。

Linux オペレーティング・システムをインストールしてから、 Linux のハードウェア診断エイドおよび生産性向上ツールをダウンロードして、インストールしてください。 Linux を稼働する Power Systems システム用のインストール・ツールキットは、現状のままでのみ提供されます。ユーザーは、インストール・ツールキットについて、IBM ソフトウェア・サポートは使用できません。

仮想環境を使用する予定がある場合は、Virtual I/O Server および Integrated Virtualization Manager をインストールしてから、Linux オペレーティング・システムをインストールしてください。

第 5 章 サービス・プロセッサーへのアクセス

リモートからサービス・プロセッサーにアクセスするには、この情報を使用します。

管理コンソールは、選択したシステムの Advanced System Management Interface (ASMI) に直接接続することができます。ASM はサービス・プロセッサーとのインターフェースで、これを使用して電源の自動再始動機能などのホストの操作を管理したり、エラー・ログや重要プロダクト・データなどのホストに関する情報を表示したりすることができます。

IBM Flex System Manager を使用して ASMI にアクセスするには、Advanced System Management の起動 (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.psm.hosts.doc/dpsm_managing_hosts_launch_asm.html) を参照してください。

ハードウェア管理コンソール (HMC) を使用して ASMI にアクセスするには、HMC を使用した ASMI へのアクセス (http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/powersys/v3r1m5/topic/p7hby/asmihmc.htm) を参照してください。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

第 6 章 コンポーネントの取り付けと取り外し

メモリー・モジュールまたは入出力拡張カードなどのハードウェア・コンポーネントの取り付けまたは取り外しを行います。 一部のインストール手順では、取り付けられているコンポーネントを取り外すことが必要です。

装置またはコンポーネントの返却

装置またはコンポーネントに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

取り付けのガイド

以下のガイドラインを実行して、コンピュート・ノード・コンポーネントの取り外しと取り替えを行います。

- 『安全』トピックの安全についての説明と、 38 ページの『静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い』のガイドラインをお読みください。この情報は、作業を安全に行うために役立ちます。
- 新しいコンピュート・ノードを取り付けるときは、最新のファームウェア更新をダウンロードして、適用してください。

  更新済みのデバイス・ドライバーと、コンピュート・ノードのファームウェアをダウンロードし、インストールします。 IBM サポートのサイト にアクセスして、更新をダウンロードします。 ご使用の製品、タイプ、モデル、およびオペレーティング・システムを選択して、「**Go**」をクリックします。 必要な場合は、デバイス・ドライバーおよびファームウェア更新の「**Download**」タブをクリックします。

  注: IBM Web サイトには定期的に変更が加えられています。ファームウェアおよび資料の検索手順は、本書の記載とは異なる場合があります。
- 作業を行っているエリアを整理整とんしてください。 取り外したカバーその他の部品を安全な場所に置いてください。
- ディスク・ドライブに変更を加える前に、すべての重要なデータのバックアップを取ってください。
- ホット・スワップのコンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外す前に、オペレーティング・システムをシャットダウンしてコンピュート・ノードの電源をオフにする必要があります。 IBM Flex System エンタープライズ・シャーシをシャットダウンする必要はありません。
- コンポーネントの青色の部分は、コンピュート・ノードのコンポーネントの取り付けや取り外しを行うとき、ラッチを開閉するときなどに、手を触れてよい部分を示しています。
- コンポーネントのオレンジ色の部分、またはコンポーネント上やその付近にあるオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントがホット・スワップ可能であることを示しています。これは、コンピュート・ノードとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしている場合、コンピュート・ノードの稼働中にそのコンポーネントの取り外しや取り付けを行えることを意味します。 (オレンジ色は、ホット・スワップ・コンポーネントの触ってもよい位置を示しています。) ホット・スワップ・コンポーネントの取り外しや取り付けについては、それぞれの説明書を参照して、コンポーネントの取り外しや取り付けに関する追加の手順がないかどうかを確認してください。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

- コンピュート・ノードでの作業を終えたら、すべての安全シールド、ガード、ラベル、および接地ワイヤーを再取り付けします。

サポートされているオペレーティング・システムのバージョン、および、コンピュート・ノードのすべてのオプション・デバイスについては、ServerProven の Web サイト を参照してください。

システムの信頼性についてのガイド

以下のガイドラインを実行して、冷却を適正に保ち、システムの信頼性を確保します。

- コンピュート・ノードの通気孔がふさがれていないことを確認してください。
- 装置内のシステム冷却を適切に維持しているか確認してください。

  各ベイにコンピュート・ノード、拡張ユニット、あるいはフィラー・ノードがいずれも取り付けられていない状態で IBM Flex System エンタープライズ・シャーシを稼働させないでください。追加情報については、ご使用の IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの資料を参照してください。
- IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの信頼性に関するガイドラインに従っていることを確認してください。
- コンピュート・ノード・バッテリーが作動可能か確認してください。 バッテリーに問題が生じた場合は、 70 ページの『バッテリーの取り外し』 および 71 ページの『バッテリーの取り付け』 にある説明にしたがって、即時に取り替えてください。

静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い

静電気によって、コンピュート・ノードや他の電子装置が損傷を受ける場合があります。 損傷を避けるために、静電気に敏感な部品は、取り付ける準備ができるまで帯電防止パッケージに入れておいてください。

このタスクについて

重要:

静電気の放電による損傷の可能性を減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを控えてください。 動くと、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- 部品は、縁またはフレームを持って慎重に取り扱ってください。
- はんだ接合部分、ピンまたは露出した回路に触らないでください。
- 部品を他の人が手で触ったり、損傷を与える可能性のあるような場所に放置しておかないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、 IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの塗装されていない金属部分、あるいは、部品を取り付けるラックの中の、接地されたコンポーネントの塗装されていない金属面に少なくとも 2 秒間接触させてください。これにより、パッケージとユーザーの身体から静電気が放出されます。
- パッケージから装置を取り外して、下に置かずに、直接コンピュート・ノードに取り付けてください。 部品を下に置く必要がある場合は、部品を帯電防止パッケージに戻してください。 コンピュート・ノードのカバー、または金属面の上に部品を置かないでください。
- 寒い季節には、部品の取り扱いには特に気を付けてください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気がさらに増加します。

IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し

オプション、コネクター、および、システム・ボード・インディケーターにアクセスするために、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。

このタスクについて

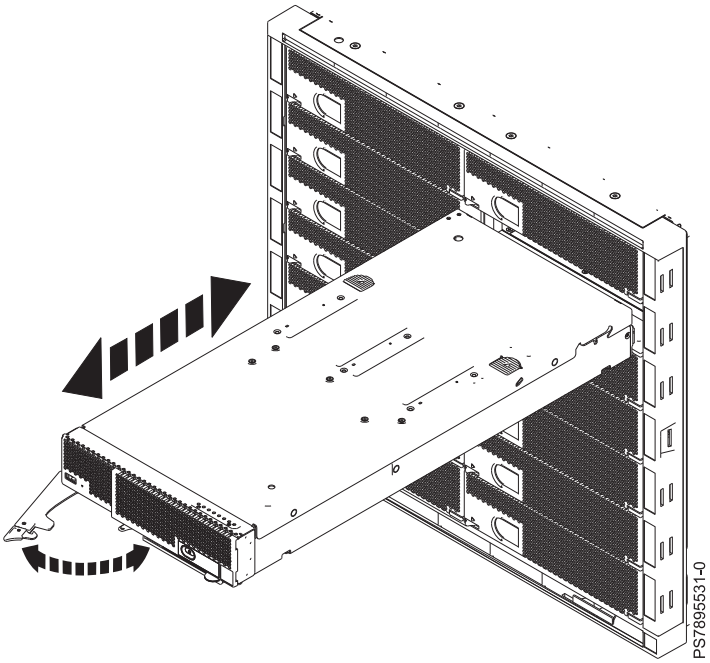


図 8. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し

重要:

- システムの冷却を適切に維持するために、各ベイにコンピュート・ノード拡張ユニットまたはコンピュート・ノード・フィラーがいずれも取り付けられていない状態で IBM Flex System エンタープライズ・シャーシを稼働させないでください。
- コンピュート・ノードを取り外すときは、ベイ番号に注意してください。 取り外したときとは異なるベイにコンピュート・ノードを再取り付けすると、予期しない結果をもたらす可能性があります。 一部の構成情報および更新オプションは、ベイ番号に従って設定されます。 コンピュート・ノードを別のベイに再取り付けする場合は、コンピュート・ノードを再構成する必要がある場合があります。

コンピュート・ノード を取り外すには、次の手順で行います。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
2. コンピュート・ノードが作動中の場合は、オペレーティング・システムをシャットダウンします。 ご使用のコンピュート・ノードに関するオペレーティング・システム資料を見つけるには、 31 ページの『「インストールの説明」の位置の確認』を参照してください。
3. 電源制御ボタンを押し、コンピュート・ノードの電源をオフにします。 15 ページの『コンピュート・ノードの電源をオフにする』を参照してください。
4. ハード・ディスクがスピンを停止するまで、少なくとも 30 秒待ちます。
5. 39 ページの図 8に示されているように、リリース・ハンドルを開きます。IBM Flex System p260 コンピュート・ノードには、1 つのリリース・ハンドルがあります。 IBM Flex System p460 コンピュート・ノードには、2 つのリリース・ハンドルがあります。 コンピュート・ノードは、ベイから約 0.6 cm 引き出すことができます。
6. コンピュート・ノードをベイから引き出します。
7. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。
8. ベイにコンピュート・ノード・フィラーまたは別のコンピュート・ノードを設置します。

Tier 1 CRU の取り外しと交換

Tier 1 のお客様による交換が可能な部品 (CRU) の交換は、お客様の責任で行ってください。

このタスクについて

お客様の要請により、IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書に示す図は、ご使用のハードウェアと少し異なっている場合があります。

コンピュート・ノードのカバーの取り外し

コンピュート・ノードをシャーシ・ユニットから取り外し、コンピュート・ノードのカバー・リリースを押して開き、コンピュート・ノードのカバーを取り外します。

このタスクについて

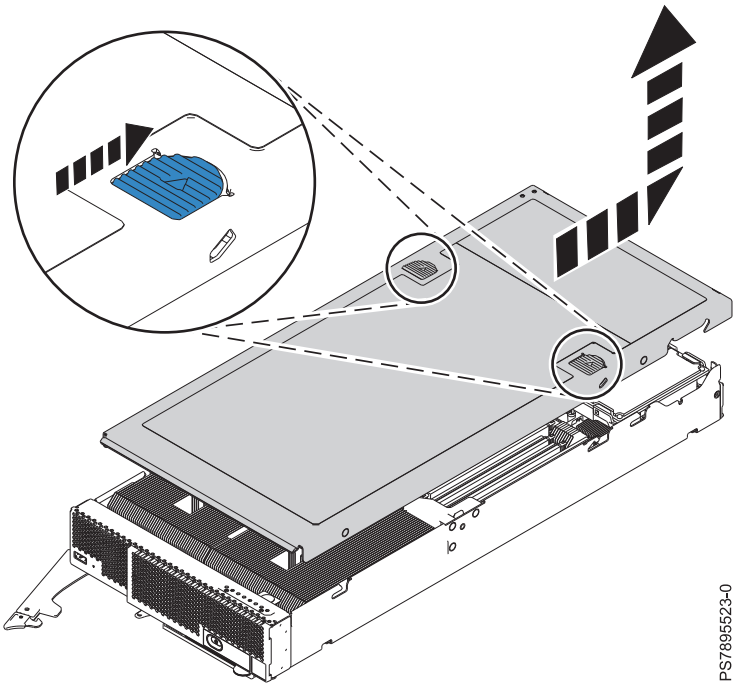


図 9. IBM Flex System p260 コンピュート・ノードからのカバーの取り外し

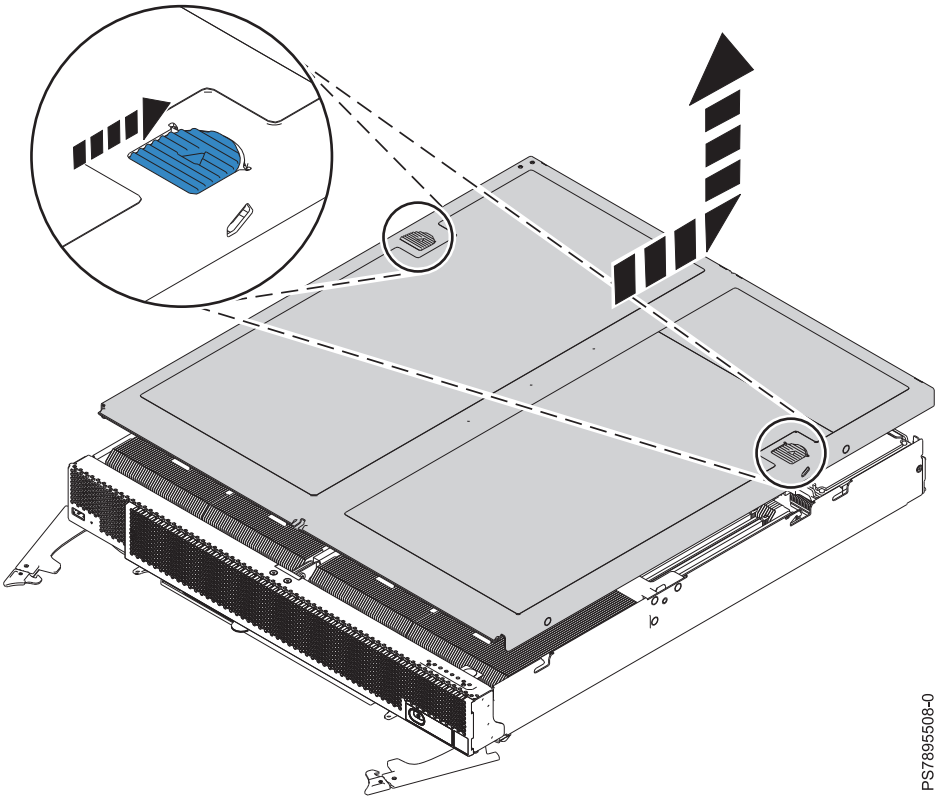


図 10. IBM Flex System p460 コンピュート・ノードからのカバーの取り外し

コンピュート・ノードのカバーを取り外すには、以下の手順を実行します。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
2. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
3. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. ユニットの正面から (上記の図に示すように) コンピュート・ノードの右側のカバー・リリースを押してカバーのラッチを外します。
5. 左側のカバー・リリースをつかみながら右側のカバー・リリースを押し、カバーをユニットの後方にスライドさせ、カバーを持ち上げて開きます。
6. カバーの内側にあるディスク・ドライブを保護するために、カバーを反転させて、カバー側を下にして帯電防止されている平らな面に置きます。

安全 12



注意:
このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。



安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ

コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに挿入する前に、コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じます。この重要な保護措置は変更しないでください。

このタスクについて

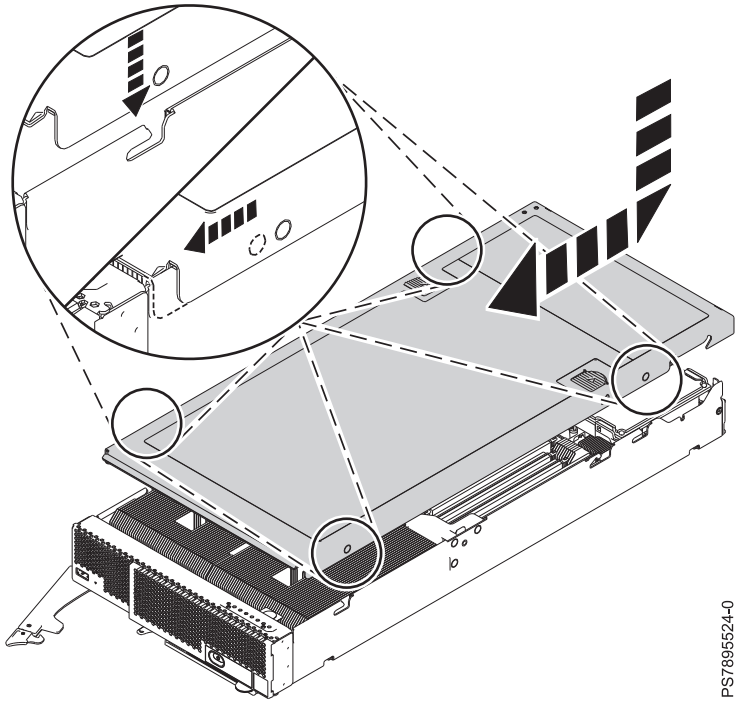


図 11. IBM Flex System p260 コンピュート・ノードのカバーの取り付け

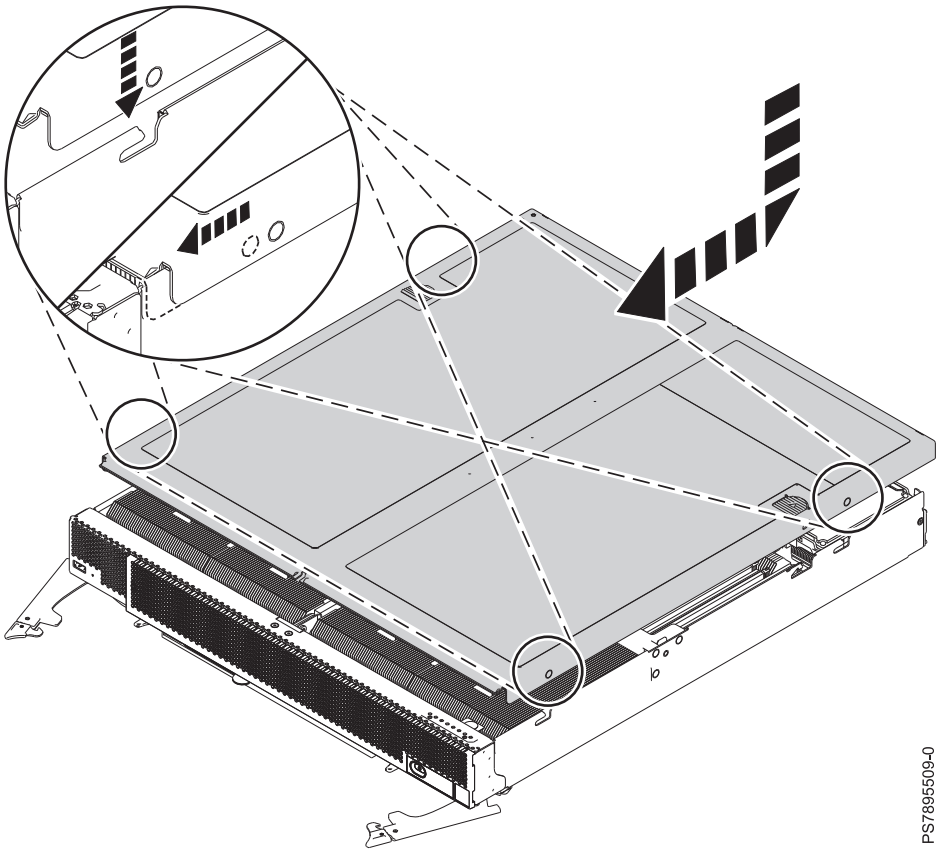


図 12. IBM Flex System p460 コンピュート・ノードのカバーの取り付け

安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

コンピュート・ノードのカバーを再取り付けして閉じるには、以下の手順を実行します。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。

2. カバーを下ろし、(前出の図に示されているように) コンピュート・ノードの前部および後部でカバーの両サイドのピンをスロットに差し込みます。カバーを閉じる前に、すべてのコンポーネントが取り付けられ、正しく固定されていること、および コンピュート・ノード内部に工具や部品を置き忘れていないことを確認してください。
3. リリースがカチッと音がしてカバーの所定の位置に収まるまで、カバーを前方にスライドさせて閉じた位置にします。
4. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。

ベゼル・アセンブリーの取り外し

ベゼルが損傷した場合、コンピュート・ノードから取り外すことができます。

このタスクについて

IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの内部コンポーネントを保守するために、ベゼル・アセンブリーを取り外す必要はありません。ベゼルが損傷した場合は、以下の手順を使用してベゼルを取り外すことができます。

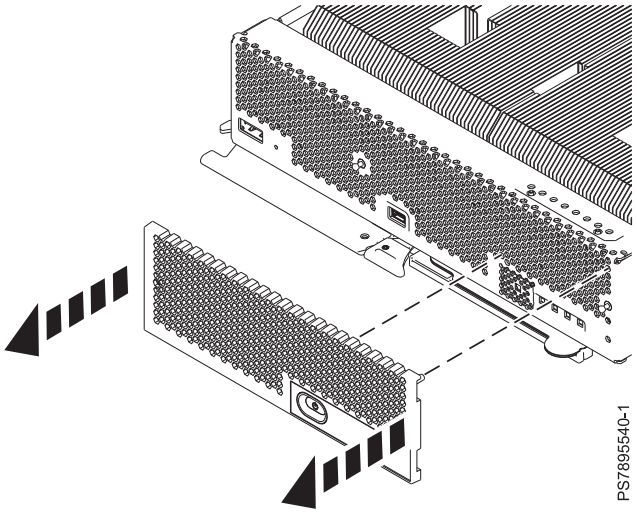


図 13. IBM Flex System p260 コンピュート・ノードからのベゼル・アセンブリーの取り外し

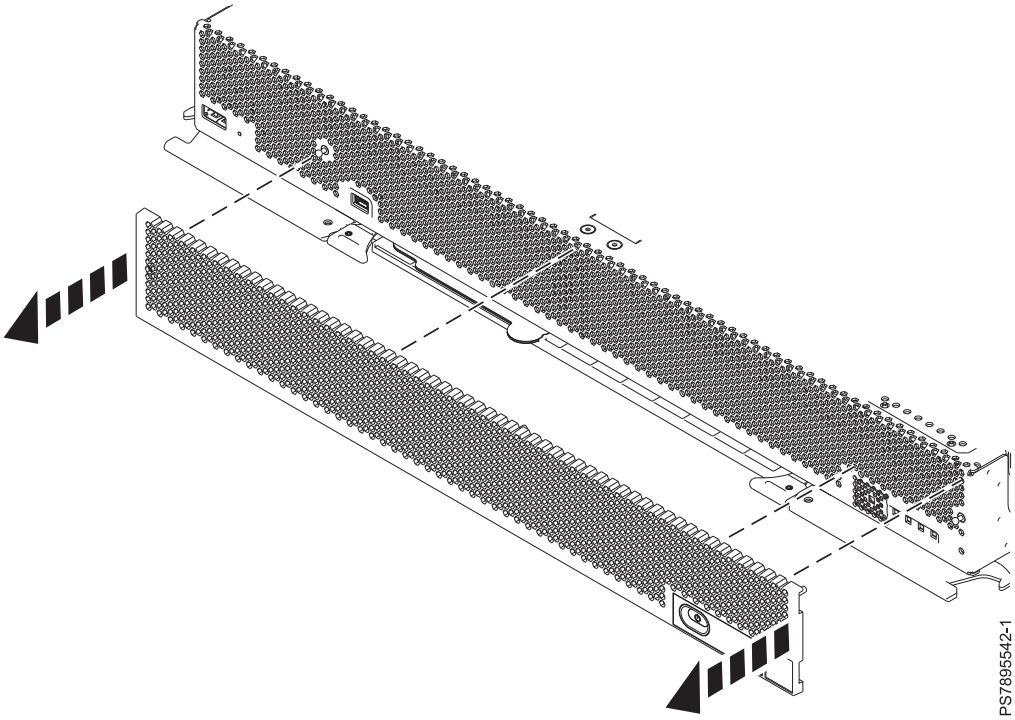


図 14. IBM Flex System p460 コンピュート・ノードからのベゼル・アセンブリーの取り外し

コンピュート・ノードのベゼルを取り外すには、以下の手順を実行します。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
2. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
3. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. コンピュート・ノードの右前部にあるベゼルを確認します。 45 ページの図 13 および 図 14 に示されているように、ベゼル・アセンブリーの両サイドを持ち、ベゼル・アセンブリーをコンピュート・ノードから引き離します。
5. ベゼル・アセンブリーに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

ベゼル・アセンブリーの取り付け

IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノード上の損傷したベゼルを交換することができます。

このタスクについて

ベゼルが損傷した場合、以下の手順を使用して新規のベゼルを取り付けることができます。

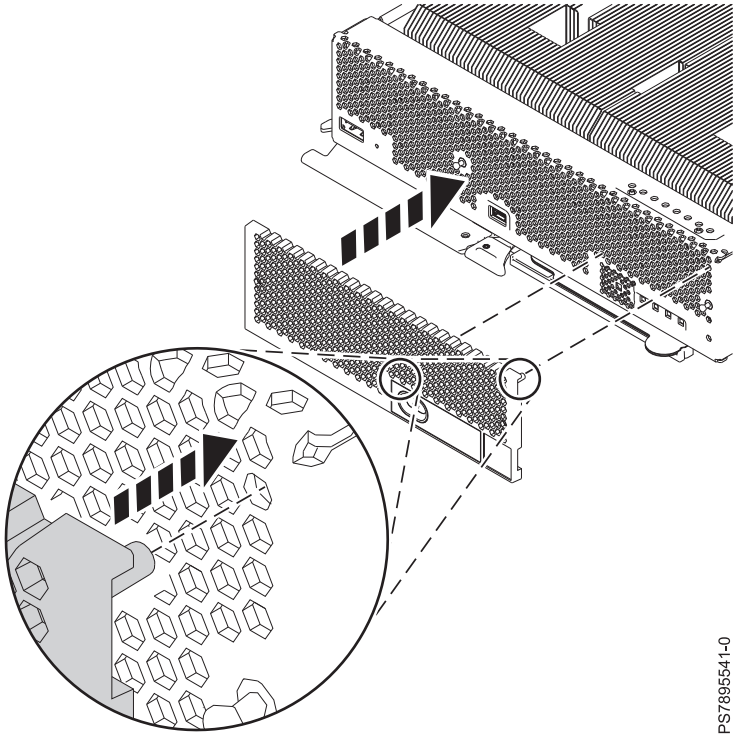


図 15. IBM Flex System p260 コンピュート・ノードへのベゼル・アセンブリーの取り付け

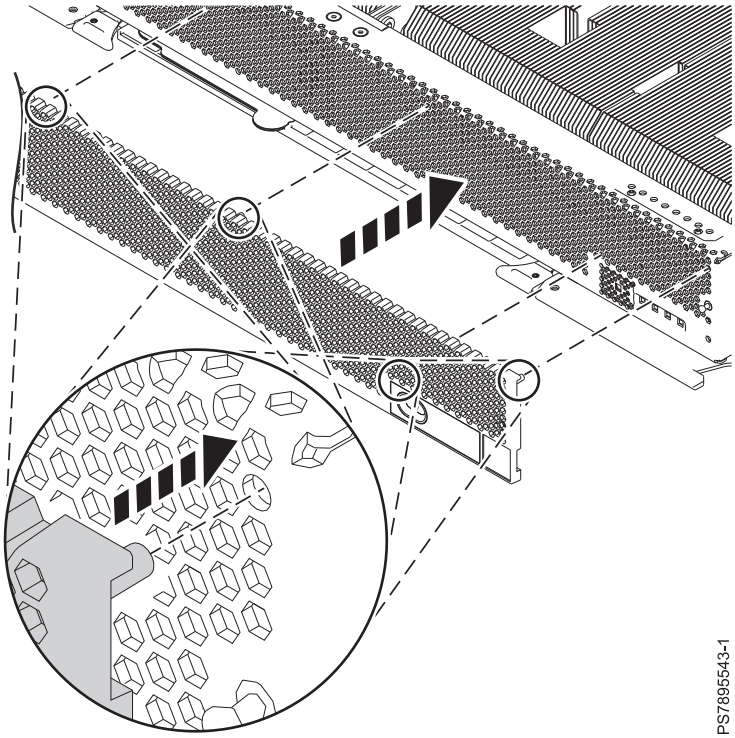


図 16. IBM Flex System p460 コンピュート・ノードへのベゼル・アセンブリーの取り付け

コンピュート・ノードのベゼルを交換するには、以下の手順を実行します。

手順

1. 47 ページの図 15 および 図 16の円で囲まれた場所で示すように、ベゼルをコンピュート・ノードと位置合わせします。
2. ベゼル・アセンブリーをコンピュート・ノードの前面と位置合わせします。コンピュート・ノードの表面から 2 つのピンが突き出ている位置にベゼルの両サイドをしっかりと押し、アセンブリーがカチッと音がして所定の位置に収まるまで押し込みます。
3. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。

SAS ハード・ディスクの取り外し

シリアル接続 SCSI (SAS) ハード・ディスクが損傷している場合、あるいは交換が必要な場合は、そのハード・ディスクをコンピュート・ノードから取り外すことができます。

このタスクについて

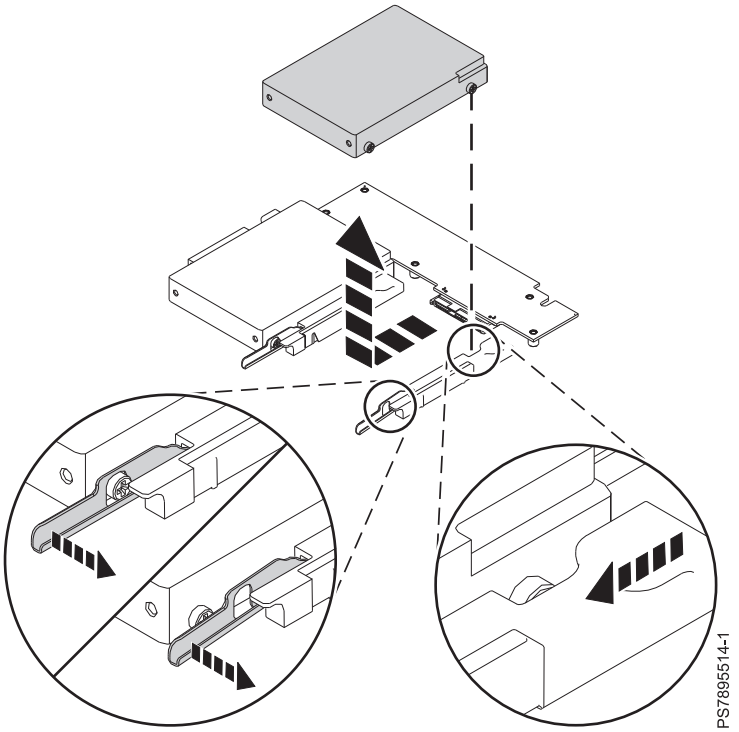


図 17. ハード・ディスクの取り外し

ハード・ディスクは、以下の手順で取り外してください。

手順

1. データをドライブから別のストレージ装置にバックアップしてください。
2. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
3. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。

4. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。
5. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
6. 次のように、カバーの内側にあるドライブを取り外します。

   注: システム・ボード LED およびカバーの内側に貼られているサービス・ラベルを使用して、交換する必要があるハード・ディスクを識別することができます。 19 ページの『システム・ボード LED』を参照してください。

   a. 49 ページの図 17の説明に従って、青色のリリース・レバーをドライブ・トレイの前方に移動して保持します。
   b. ドライブを前方にスライドさせてコネクターから外します。
   c. ドライブを持ち上げてドライブ・トレイから外します。
7. ハード・ディスクの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

SAS ハード・ディスクの取り付け

シリアル接続 SCSI (SAS) ハード・ディスクの交換が必要な場合は、別の SAS ハード・ディスクをコンピュート・ノードに取り付けます。

このタスクについて

図 18 に、ハード・ディスクの取り付け方法を示します。

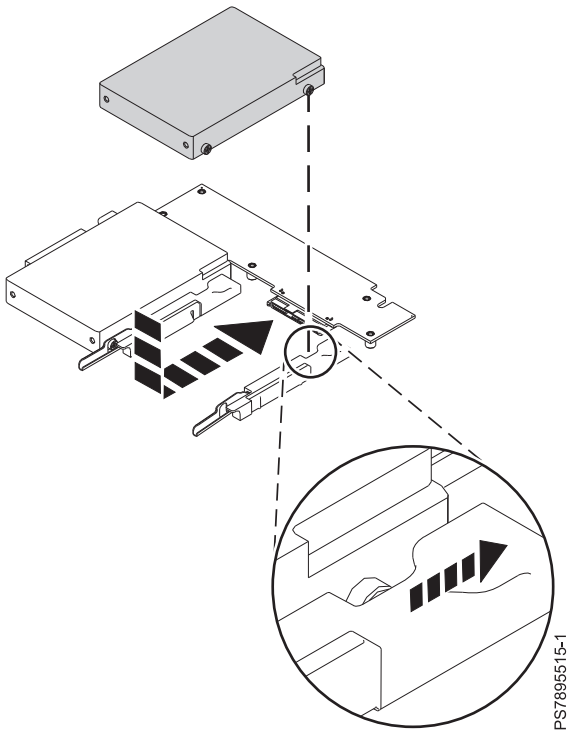


図 18. ハード・ディスクの取り付け

ドライブ・コネクターはすべて、同じコントローラーからのものです。 どちらのIBM Flex System p260 コンピュート・ノードおよび IBM Flex System p460 コンピュート・ノードを使用した場合も、RAID 機能を実装することができます。 RAID 構成について詳しくは、 30 ページの『RAID アレイの構成』を参照してください。

ハード・ディスクを取り付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
2. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
3. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
5. カバーの内側にあるドライブ用のコネクターを見つけます。
   - ドライブを交換する場合は、次のステップを続行します。
   - 新規ドライブを取り付ける場合は、フィラーを取り外します。
     a. 青色のリリース・レバーをドライブ・トレイの前方に移動して保持します。
     b. フィラーを前方にスライドさせて持ち上げ、ドライブ・トレイから取り外します。
6. 50 ページの図 18に示されているように、ドライブをドライブ・トレイに入れ、コンピュート・ノードの後部に向けて押し込みます。ドライブがトレイ前部のレバーを通り過ぎると、カチッと音がして所定の位置に収まります。

   重要: ドライブの上部を押さないでください。 上部を押すと、ドライブを損傷する可能性があります。
7. コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じます。 43 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ』を参照してください。

安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

8. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。
9. 保守アクションによって部品を交換した場合は、オレンジ色のエンクロージャー障害 LED がオフになっているかを確認し、修理が正常に完了したことを確認します。詳しくは、13 ページの『コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタンと LED』を参照してください。

ソリッド・ステート・ドライブ・キャリアの取り外し

ソリッド・ステート・ドライブ (SSD) キャリアを交換する必要がある場合は、コンピュート・ノードから取り外すことができます。

このタスクについて

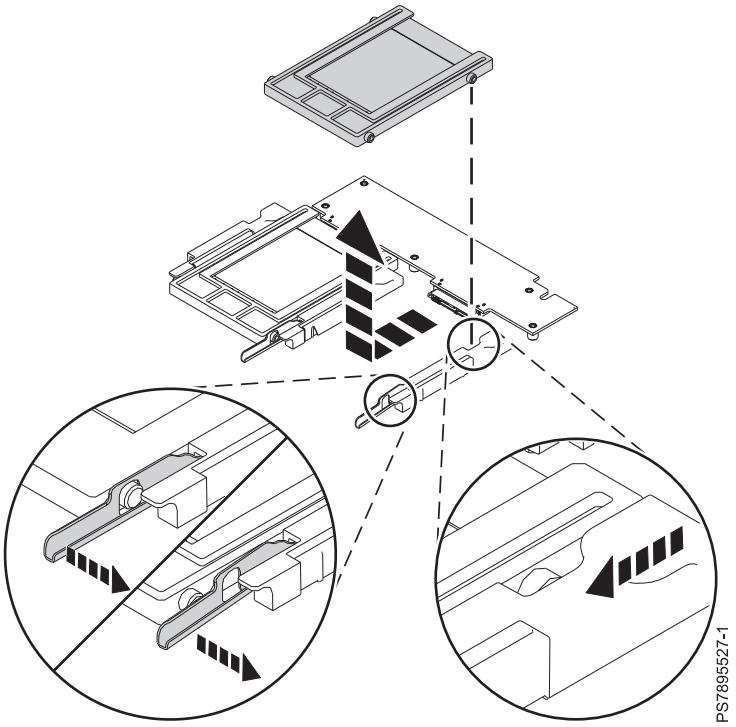


図 19. SSD キャリアの取り外し

ドライブを取り外すには、以下の手順を実行します。

手順

1. データをドライブから別のストレージ装置にバックアップしてください。

2. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
3. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
4. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。
5. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
6. 次のように、カバーの内側にあるドライブを取り外します。

   注: システム・ボード LED およびカバーの内側に貼られているサービス・ラベルを使用して、交換する必要があるソリッド・ステート・ドライブを識別することができます。 19 ページの『システム・ボード LED』を参照してください。

   a. 52 ページの図 19の説明に従って、青色のリリース・レバーをドライブ・トレイの前方に引いて保持します。
   b. キャリア・ケースを前方にスライドさせてコネクターから外します。
   c. キャリア・ケースを持ち上げてドライブ・トレイから外します。
7. キャリア・ケースからすべての SSD を取り外します。 56 ページの『SATA ソリッド・ステート・ドライブの取り外し』を参照してください。
8. SSD キャリアに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。

   注: ドライブ・スロットに別の SSD を取り付ける予定がない場合でも、SSD キャリアをスロットに再取り付けし、熱バッフルとして機能してマシンの損傷を防止するようにしてください。 『ソリッド・ステート・ドライブ・キャリアの取り付け』を参照してください。

ソリッド・ステート・ドライブ・キャリアの取り付け

ソリッド・ステート・ドライブ (SSD) キャリアを交換する必要がある場合は、別のキャリアをコンピュート・ノードに取り付けることができます。

このタスクについて

54 ページの図 20 に、ディスク・ドライブの取り付け方法を示します。

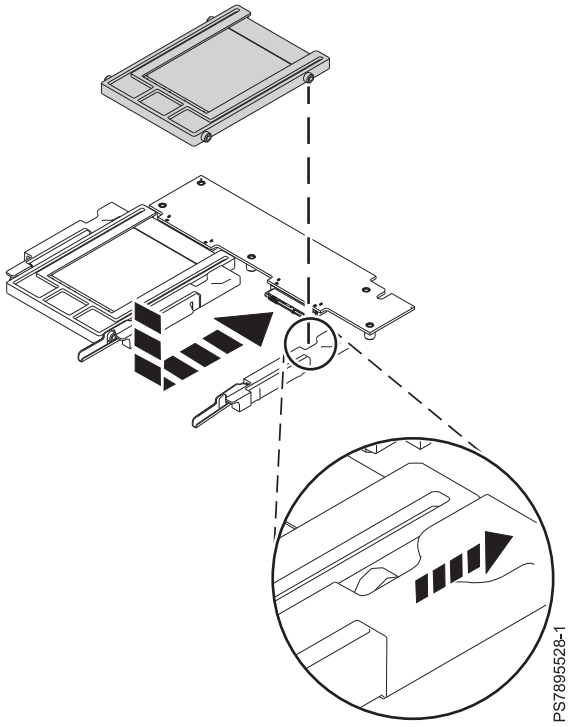


図 20. SSD キャリアの取り付け

SSD キャリアを取り付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
2. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
3. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
5. ドライブのコネクターの位置を確認します。

   注: SSD キャリアと HDD は個別に構成される 2 つのカードですが、SSD キャリア・ケースは 2.5 型 SAS HDD コネクターに差し込まれます。

6. SSD キャリアを交換する場合、次のステップを続行してください。新規の SSD キャリアを取り付ける場合は、フィラーを取り外して新規の SSD キャリアを取り付けるためのスペースを確保してください。
   a. ドライブ・トレイの前面にある青色のリリース・レバーを引いてホールドします。
   b. フィラーを前方にスライドさせてコネクターから外します。
   c. フィラーを持ち上げてドライブ・トレイから取り外します。
7. 交換する SSD キャリア・ケースをドライブ・トレイから取り外します。 52 ページの『ソリッド・ステート・ドライブ・キャリアの取り外し』を参照してください。
8. SSD を新規キャリア・ケースに取り付けます。 57 ページの『SATA ソリッド・ステート・ドライブの取り付け』を参照してください。
9. 54 ページの図 20に示されているように、キャリア・ケースをドライブ・トレイに入れ、コンピュート・ノードの後部に向けて押し込みます。 SSD キャリアがトレイ前部のレバーを通り過ぎると、カチッと音がして所定の位置に収まります。

   重要: キャリア・ケースの上部を押さないでください。 上部を押すと、ドライブを損傷する可能性があります。
10. コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じます。 43 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ』を参照してください。

安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

11. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。
12. 保守アクションによって部品を交換した場合は、オレンジ色のエンクロージャー障害 LED がオフになっているかを確認し、修理が正常に完了したことを確認します。詳しくは、 13 ページの『コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタンと LED』を参照してください。

SATA ソリッド・ステート・ドライブの取り外し

Serial Advanced Technology Attachment (SATA) ソリッド・ステート・ドライブ (SSD) を交換する必要がある場合は、コンピュート・ノードから取り外すことができます。

このタスクについて

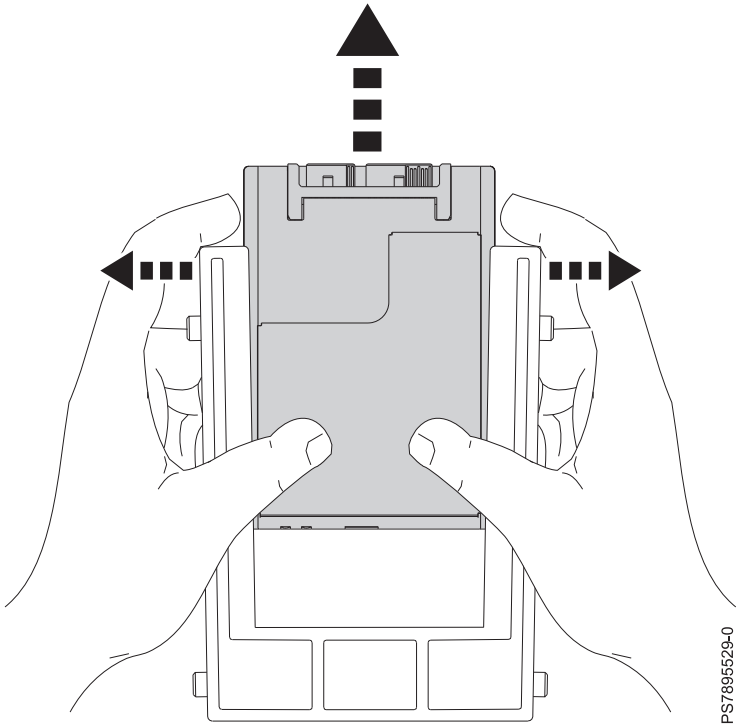


図 21. SATA SSD の取り外し

SATA SSD を取り外すには、次のステップを実行してください。

手順

1. データをドライブから別のストレージ装置にバックアップしてください。
2. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
3. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
4. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。

5. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
6. ドライブ・トレイから SSD キャリアを取り外します。 52 ページの『ソリッド・ステート・ドライブ・キャリアの取り外し』を参照してください。

   注: システム・ボード LED およびカバーの内側に貼られているサービス・ラベルを使用して、交換する必要があるソリッド・ステート・ドライブを識別することができます。 19 ページの『システム・ボード LED』を参照してください。
7. 指で慎重にキャリアを開きながら、親指でキャリア・ケースから SSD をスライドさせて引き出します。
8. ドライブを戻すように指示されている場合は、パッケージ化の指示に従い、ユーザーに提供されている配送用の材料を使用します。

SATA ソリッド・ステート・ドライブの取り付け

Serial Advanced Technology Attachment (SATA) ソリッド・ステート・ドライブ (SSD) をコンピュート・ノードに取り付けることができます。

このタスクについて

図 22 に、SATA SSD の取り付け方法を示します。

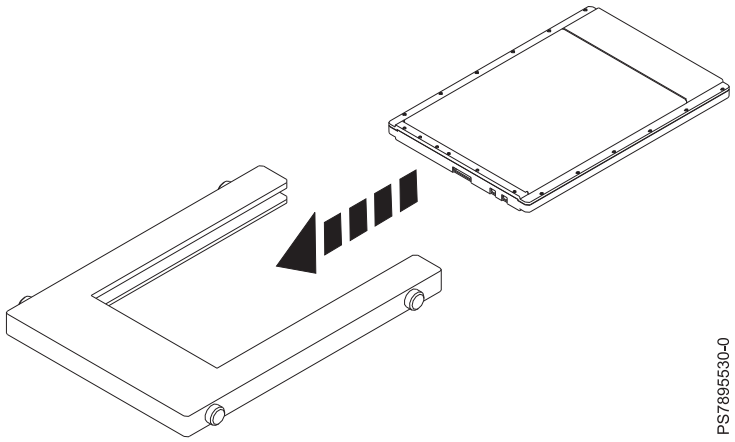


図 22. SATA SSD の取り付け

SATA SSD を取り付けるには、以下のステップを実行してください。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。

2. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
3. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
5. ドライブのコネクターの位置を確認します。
6. ドライブ・トレイから SSD キャリア・ケースを取り外します。 52 ページの『ソリッド・ステート・ドライブ・キャリアの取り外し』を参照してください。
7. SSD をキャリア・ケースにスライドさせ、カチッと音がして所定の位置に収まるまで差し込みます。
8. ドライブ・トレイでキャリア・ケースを交換します。 53 ページの『ソリッド・ステート・ドライブ・キャリアの取り付け』を参照してください。

   重要: ドライブの上部を押さないでください。 上部を押すと、ドライブを損傷する可能性があります。
9. コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じます。 43 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ』を参照してください。

安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

10. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。
11. 保守アクションによって部品を交換した場合は、オレンジ色のエンクロージャー障害 LED がオフになっているかを確認し、修理が正常に完了したことを確認します。詳しくは、 13 ページの『コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタンと LED』を参照してください。

DIMM の取り外し

Very Low Profile (VLP) デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) は、Tier 1 CRU です。お客様自身で取り外すことができます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の取り外しを行った場合は、その料金を請求させていただきます。 Low Profile (LP) DIMM は、Tier 2 CRU です。お客様ご自身で取り外すことも、コンピュート・ノードに指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り外しを要求することもできます。

このタスクについて

DIMM は、以下の手順で取り外してください。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
2. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
3. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
5. 交換する DIMM が取り付けられている DIMM コネクターを見付けます。

   注: システム・ボード LED およびカバーの内側に貼られているサービス・ラベルを使用して、交換する必要がある DIMM を識別することができます。 19 ページの『システム・ボード LED』を参照してください。

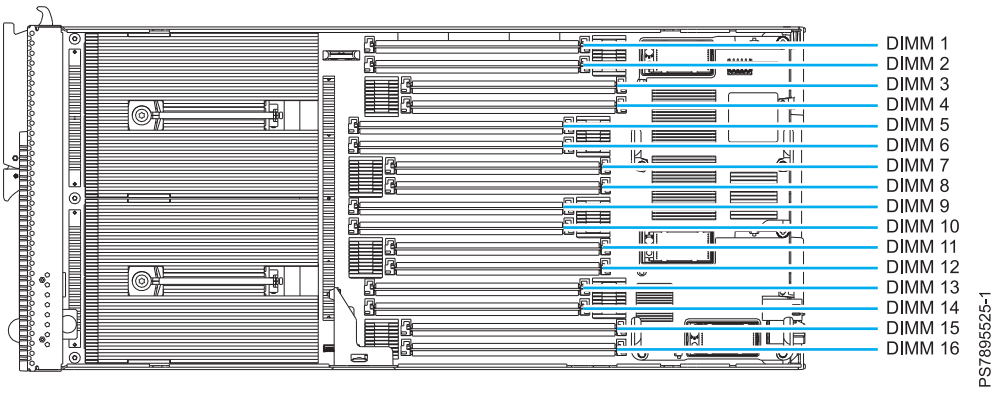


図 23. IBM Flex System p260 コンピュート・ノード の DIMM コネクター

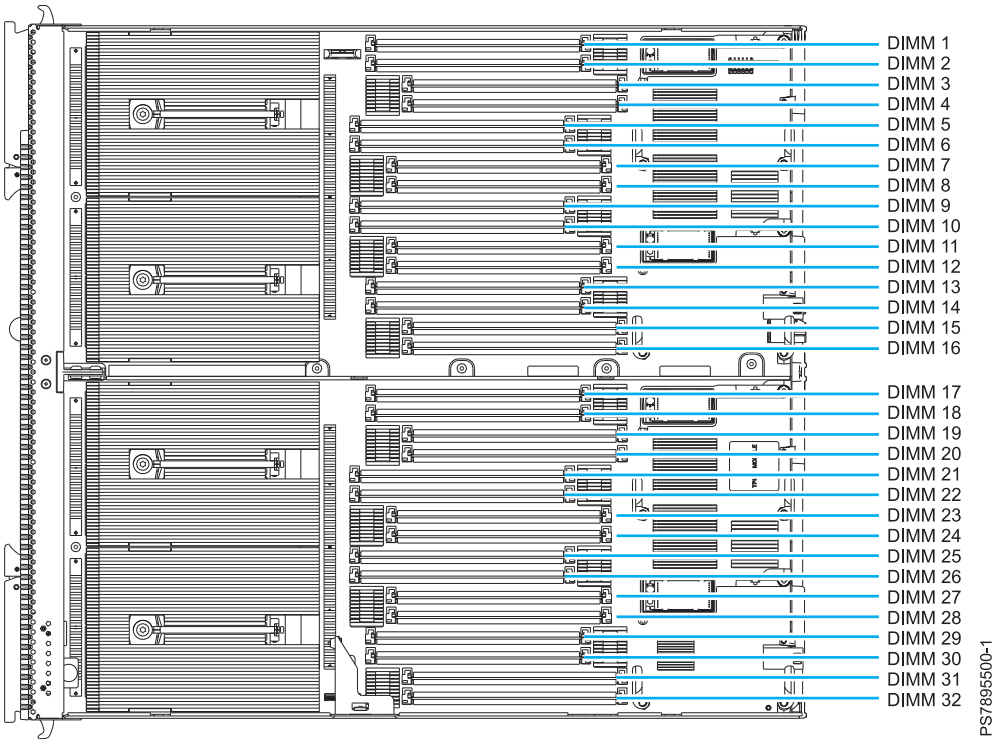


図 24. IBM Flex System p460 コンピュート・ノード 用の DIMM コネクター

重要: DIMM 保持クリップの破損や DIMM コネクターの損傷を防止するために、クリップは慎重に開閉してください。

6. DIMM コネクターの両端にある保持クリップ **(A)** を矢印の方向に押して慎重に開きます。 DIMM **(B)** を取り外します。

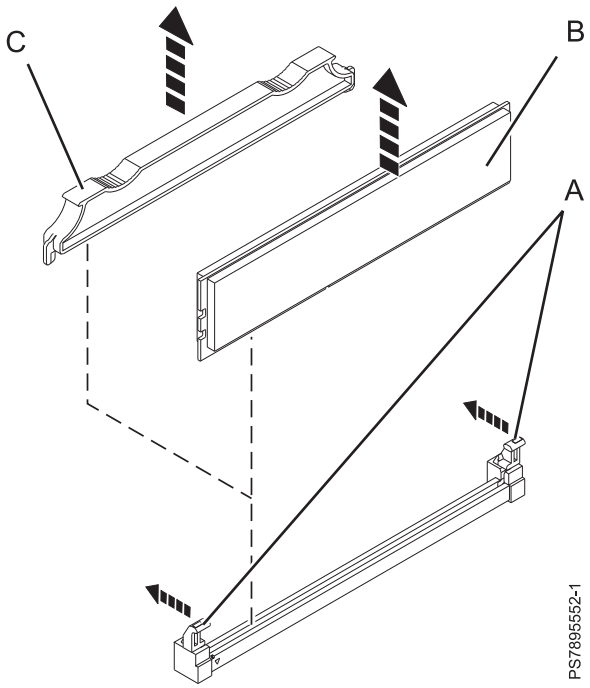


図 25. DIMM の取り外し

7. DIMM を取り付けていない位置には、マシンの損傷を避けるために、必ず DIMM フィラー **(C)** を取り付けてください。

   注: コンピュート・ノードのカバーを再取り付けする前に、コンピュート・ノードが正常に動作するために、最小構成以上の DIMM が取り付けられていることを確認してください。
8. DIMM を戻すように指示されている場合は、パッケージ化の指示に従い、ユーザーに提供されている配送用の材料を使用します。
9. コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じます。 43 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ』を参照してください。

安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

10. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。

DIMM の取り付け

Very Low Profile (VLP) デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) は、Tier 1 CRU です。お客様自身で取り付けることができます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。 Low Profile (LP) DIMM は、Tier 2 CRU です。お客様ご自身で取り付けることも、コンピュート・ノードに指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを要求することもできます。

このタスクについて

DIMM は、以下の手順で取り付けてください。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
2. DIMM に付属の資料をお読みください。
3. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
4. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。
5. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
6. システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を確認します。 DIMM を取り付けるコネクターを決めます。 64 ページの『サポートされる DIMM』を参照してください。
7. 部品が入った帯電防止パッケージを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの塗装されていない金属面、または他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない金属面に接触させます。その後、パッケージから新しい部品を取り出します。
8. コネクターの保持クリップが両方とも、完全に開いた位置になっていることを確認してください。
9. DIMM を回して、DIMM の切り欠きがシステム・ボード上のコネクターに正しく合うようにします。

   重要: DIMM 保持クリップの破損や DIMM コネクターの損傷を防止するために、クリップは慎重に取り扱ってください。
10. DIMM をガイドに沿って押して、DIMM **(B)** をコネクターに差し込みます。

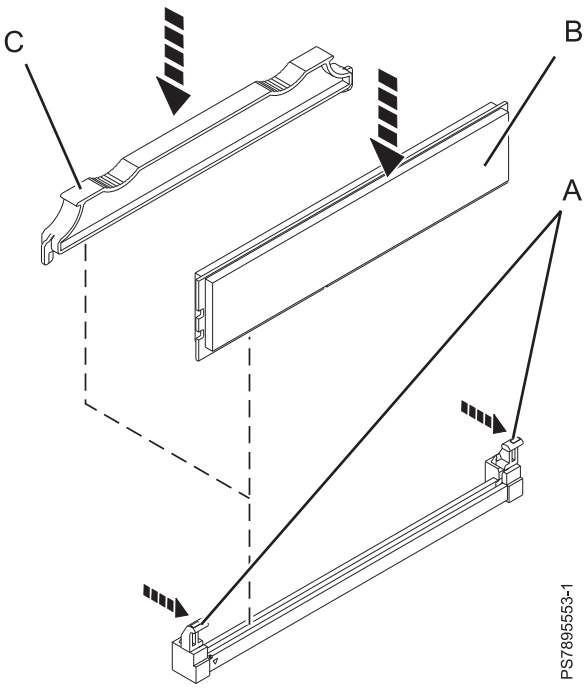


図 26. DIMM の取り付け

保持クリップ **(A)** のそれぞれが、閉じた位置にカチッとおさまっているか確認してください。

重要: DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合、DIMM は正しく取り付けられていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、再度 DIMM を差し込んでください。 DIMM を取り付けていない位置には、マシンの損傷を避けるために、必ず DIMM フィラー **(C)** を取り付けてください。

11. コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じます。 43 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ』を参照してください。

安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

12. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。
13. 保守アクションによって部品を交換した場合は、オレンジ色のエンクロージャー障害 LED がオフになっているかを確認し、修理が正常に完了したことを確認します。詳しくは、13 ページの『コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタンと LED』を参照してください。

関連概念:

『サポートされる DIMM』
コンピュート・ノードには、Registered デュアル・インライン・メモリー・モジュール (RDIMM) 用のコネクターがあります。

サポートされる DIMM

コンピュート・ノードには、Registered デュアル・インライン・メモリー・モジュール (RDIMM) 用のコネクターがあります。

IBM Flex System p260 コンピュート・ノードの各システム・ボードには、16 個の Low Profile (LP) または Very Low Profile (VLP) メモリー DIMM 用のコネクターが備わっています。 IBM Flex System p460 コンピュート・ノード は最大 32 個の DIMM をサポートします。

単一 DIMM の最大サイズは、VLP DIMM の場合は 8 GB、LP DIMM の場合は 32 GB です。IBM Flex System p260 コンピュート・ノードの最大メモリー容量は 512 GB、IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの最大メモリー容量は 1024 GB です。

メモリー・モジュールの規則:

- 適切な冷却のために、未使用の DIMM スロットには DIMM フィラーを取り付けます。
- DIMM はペアで取り付けます (1 と 4、5 と 8、9 と 12、13 と 16、2 と 3、6 と 7、10 と 11、および 14 と 15)。
- 対の DIMM は、両方とも同じサイズ、速度、タイプ、およびテクノロジーでなければなりません。さまざまなメーカーの互換性のある DIMM を混在させて使用できます。
- プロセッサー・サポート・グループ内の各 DIMM (1 から 4、5 から 8、9 から 12、13 から 16) は、サイズおよび速度が同じである必要があります。
- サポートされている DIMM のみを取り付けてください。これについては、ServerProven Web サイトに説明があります。
- DIMM の取り付け、取り外しを行うと、コンピュート・ノードの構成が変更されます。 DIMM の取り付けまたは取り外しを行った後、コンピュート・ノードは自動的に再構成され、新しい構成情報が保管されます。

次の表は、IBM Flex System p260 コンピュート・ノードで可能な DIMM モジュールの配置を示しています。 65 ページの表 7 には、IBM Flex System p460 コンピュート・ノード で可能な DIMM モジュールの配置を示します。

表 6. IBM Flex System p260 コンピュート・ノードのメモリー・モジュールの組み合わせ

DIMM の数	IBM Flex System p260 コンピュート・ノード															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
2	X			X												
4	X			X					X			X				
6	X			X	X			X	X			X				

表 6. IBM Flex System p260 コンピュート・ノードのメモリー・モジュールの組み合わせ (続き)

DIMM の数	IBM Flex System p260 コンピュート・ノード															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
8	X			X	X			X	X			X	X			X
10	X	X	X	X	X			X	X			X	X			X
12	X	X	X	X	X			X	X	X	X	X	X			X
14	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X			X
16	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X

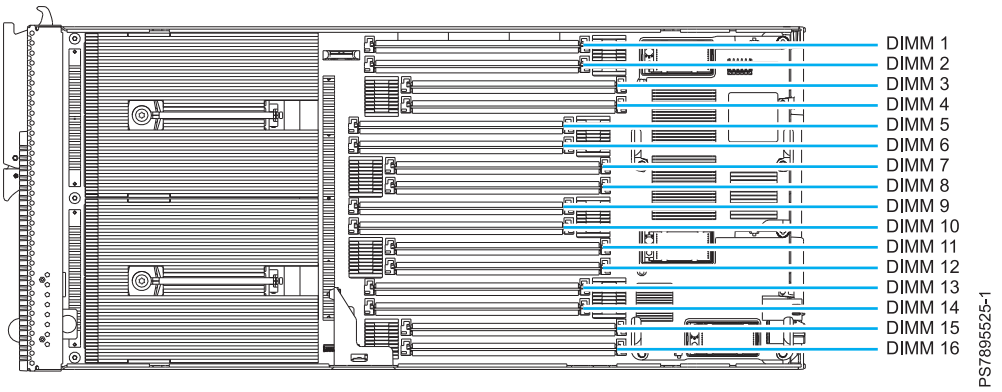


図 27. IBM Flex System p260 コンピュート・ノード の DIMM コネクター

表 7. IBM Flex System p460 コンピュート・ノードのメモリー・モジュールの組み合わせ

DIMM の数	IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの 2 ベイ DIMM スロット															
	1 (17)	2 (18)	3 (19)	4 (20)	5 (21)	6 (22)	7 (23)	8 (24)	9 (25)	10 (26)	11 (27)	12 (28)	13 (29)	14 (30)	15 (31)	16 (32)
2	X			X												
4	X (X)			X (X)												
6	X (X)			X (X)					X			X				
8	X (X)			X (X)					X (X)			X (X)				
10	X (X)			X (X)	X			X	X (X)			X (X)				
12	X (X)			X (X)	X (X)			X (X)	X (X)			X (X)				
14	X (X)			X (X)	X (X)			X (X)	X (X)			X (X)	X			X
16	X (X)			X (X)	X (X)			X (X)	X (X)			X (X)	X (X)			X (X)
18	X (X)	X	X	X (X)	X (X)			X (X)	X (X)			X (X)	X (X)			X (X)
20	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)			X (X)	X (X)			X (X)	X (X)			X (X)
22	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)			X (X)	X (X)	X	X	X (X)	X (X)			X (X)
24	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)			X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)			X (X)
26	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X	X	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)			X (X)
28	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)			X (X)
30	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X	X	X (X)
32	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)	X (X)

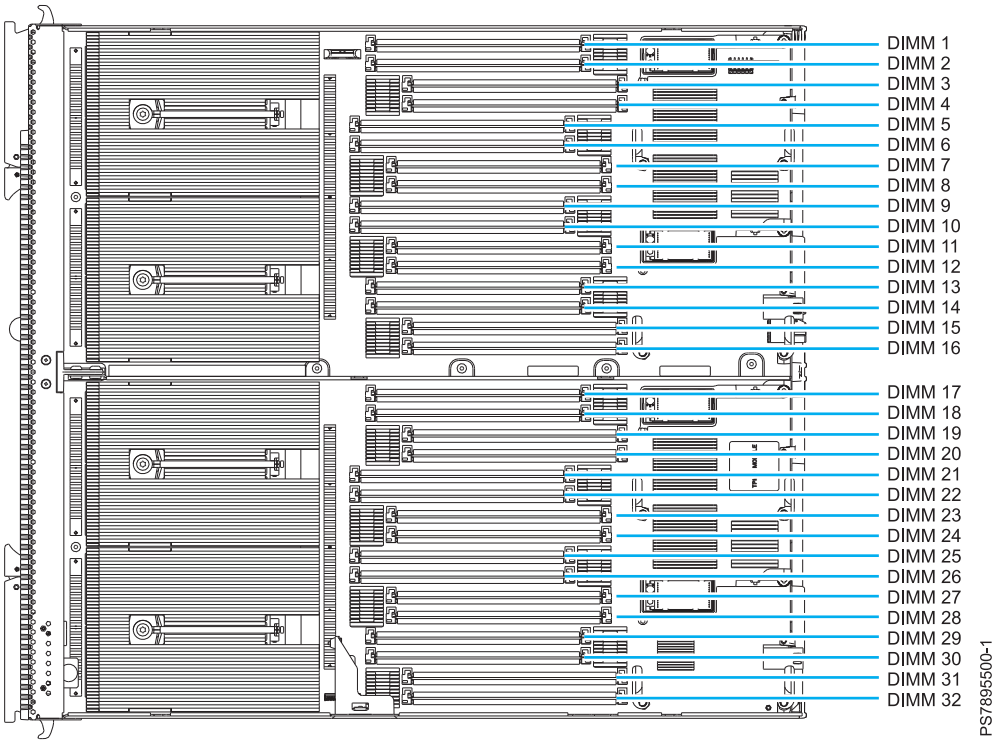


図 28. IBM Flex System p460 コンピュート・ノード 用の DIMM コネクター

関連資料:

103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』
部品リストは、各交換可能パーツおよび部品番号を識別します。

関連情報:

http://www.ibm.com/systems/info/x86servers/serverproven/compat/us/

ネットワーク・アダプターの取り外し

ネットワーク・アダプターを交換する必要がある場合、コンピュート・ノードのコネクターからそのネットワーク・アダプターを取り外すことができます。

このタスクについて

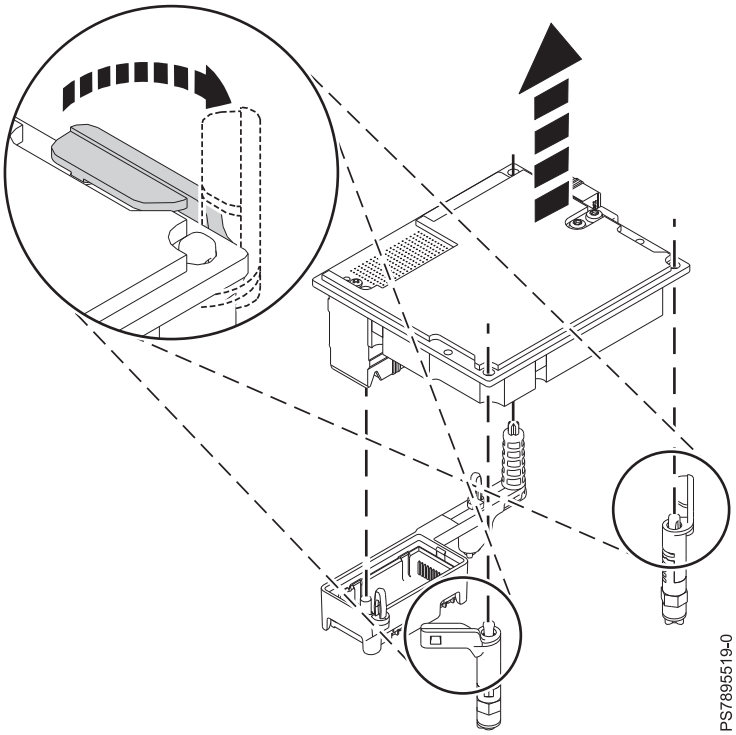


図 29. コネクターからのネットワーク・アダプターの取り外し

ネットワーク・アダプターを取り外すには、以下の手順を実行します。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
2. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
3. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
5. 図 29の説明に従って、スロットの 2 つの青色のリリース・タブを引いて開きます。
6. ネットワーク・アダプターを持ち上げてコネクターから取り外し、コンピュート・ノードから取り外します。

7. 拡張カードを戻すように指示されている場合は、パッケージ化の指示に従い、ユーザーに提供されている配送用の材料を使用します。
8. コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じます。 43 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ』を参照してください。

安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

9. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。

ネットワーク・アダプターの取り付け

ネットワーク・アダプターをそのコネクターに取り付けることができます。

このタスクについて

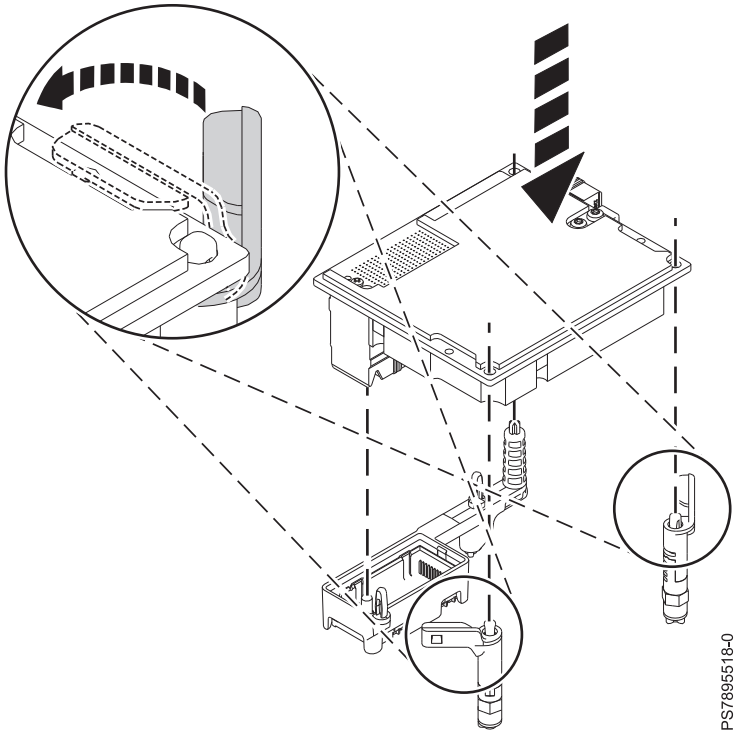


図 30. コネクターへのネットワーク・アダプターの取り付け

ネットワーク・アダプターを取り付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
2. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
3. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
4. 部品が入った帯電防止パッケージを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの塗装されていない金属面、または他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない金属面に接触させます。その後、パッケージから新しい部品を取り出します。
5. 68 ページの図 30の説明に従って、スロットの 2 つの青色のリリース・タブが開いた位置にあることを確認します。
6. システム・ボード上でネットワーク・アダプターの向きを合わせます。
7. カードをシステム・ボードに下ろし、カードのコネクターの位置をシステム・ボード上のコネクターに合わせます。カードがしっかりと装着されるまで、慎重に押し下げます。
8. スロットの 2 つの青色のリリース・タブを閉じた位置に移動して、アダプターを所定の位置にロックします。
9. コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じます。 43 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ』を参照してください。

安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

10. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。
11. 保守アクションによって部品を交換した場合は、オレンジ色のエンクロージャー障害 LED がオフになっているかを確認し、修理が正常に完了したことを確認します。詳しくは、 13 ページの『コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタンと LED』を参照してください。
12. 拡張カードに付属の資料を使用して、デバイス・ドライバーをインストールし、拡張カードが必要とする構成があれば、その構成を実行します。

バッテリーの取り外し

バッテリーを取り外し、交換することができます。

このタスクについて

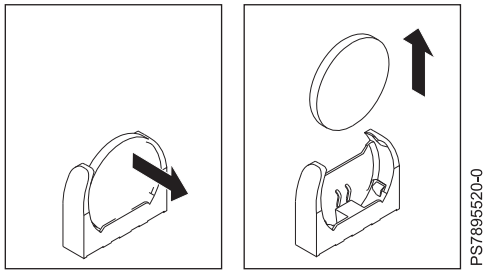


図 31. バッテリーの取り外し

バッテリーを取り外すには、以下のステップを実行します。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
2. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
3. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
5. システム・ボード上のバッテリーの位置を確認します。 バッテリー・コネクターの位置については、16 ページの『システム・ボード・コネクター』を参照してください。

   注: システム・ボード LED およびカバーの内側に貼られているサービス・ラベルを使用して、交換する必要があるバッテリーを識別することができます。 19 ページの『システム・ボード LED』を参照してください。
6. バッテリーをコンピュート・ノード・シャーシの外壁の反対側に向けて押します。
7. バッテリーを取り外します。
8. バッテリーを交換してください。 71 ページの『バッテリーの取り付け』を参照してください。

バッテリーの取り付け

バッテリーを取り付けることができます。

このタスクについて

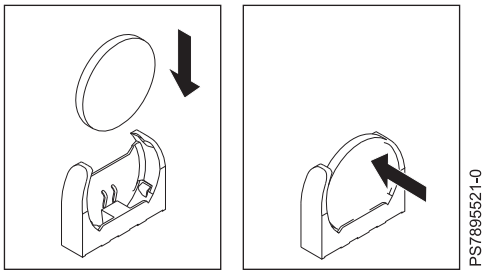


図 32. バッテリーの取り付け

コンピュート・ノードのバッテリーを交換するときに考慮すべき情報を以下に記述します。

- バッテリーを交換する場合は、同じ型、同じ製造メーカーのリチウム電池と交換します。
- 交換用バッテリーを注文するには、米国においては 1-800-426-7378 に、カナダにおいては 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に連絡してください。米国およびカナダ以外では、IBM 営業担当員、または許可された販売店に連絡してください。
- バッテリーを交換後、以下のようにします。
  1. 時刻と日付を設定します。
  2. ネットワーク IP アドレス (ネットワークから始動するコンピュート・ノードに対して) を設定します。
  3. その他のコンピュート・ノード設定値があればすべて再構成します。
- 危険防止のために、以下に示す安全上の注意を読み、それに従ってください。

安全 2:



注意:
リチウム・バッテリーを交換する場合は、 IBM 部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。 システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。 バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。

次のことはしないでください。

- **水に投げ込む、あるいは浸す**
- **100℃ (華氏 212 度) を超える過熱**
- **修理または分解**

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

バッテリーを取り付けるには、以下のステップを実行します。

手順

1. バッテリーに付属している特別な取り扱いや取り付け手順に従います。
2. バッテリーを傾けて、ソケットに挿入できるようにします。正符号 (+) 記号のある側が正しい方向を向いていることを確認します。
3. バッテリーをコンピュート・ノード・シャーシの外壁に向けて押し、バッテリー・ホルダーに完全に挿入します。
4. コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じます。 43 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ』を参照してください。

安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

5. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。
6. コンピュート・ノードをオンにして、インストール済みオペレーティング・システムからシステム日付を再設定します。 詳しくは、オペレーティング・システムの資料を参照してください。
7. 各論理区画でシステム時刻が正しいことを確認してください。その他の情報については、ご使用のオペレーティング・システムの資料を参照してください。
8. 保守アクションによって部品を交換した場合は、オレンジ色のエンクロージャー障害 LED がオフになっているかを確認し、修理が正常に完了したことを確認します。詳しくは、 13 ページの『コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタンと LED』を参照してください。

IBM Flex System p460 コンピュート・ノード上の温度センサーの交換

この Tier 2 の CRU はお客様ご自身で取り付けることも、対象のコンピュート・ノードに指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを要求することもできます。この手順を使用して、IBM Flex System p460 コンピュート・ノード上の温度センサーを取り外したり、新規の温度センサーと交換したりします。

このタスクについて

IBM Flex System p460 コンピュート・ノードには、各ベイに温度センサーが搭載されています。最初のベイ内にあるセンサーは Light Path パネルに接続されており、お客様交換可能ユニット (CRU) の一部として取り外しおよび交換を行う必要があります。このトピックでは、その他のベイのセンサーの交換について説明します。このセンサーは、個別の CRU です。コンピュート・ノードの温度超過を回避するために、障害のある温度センサーは交換してください。

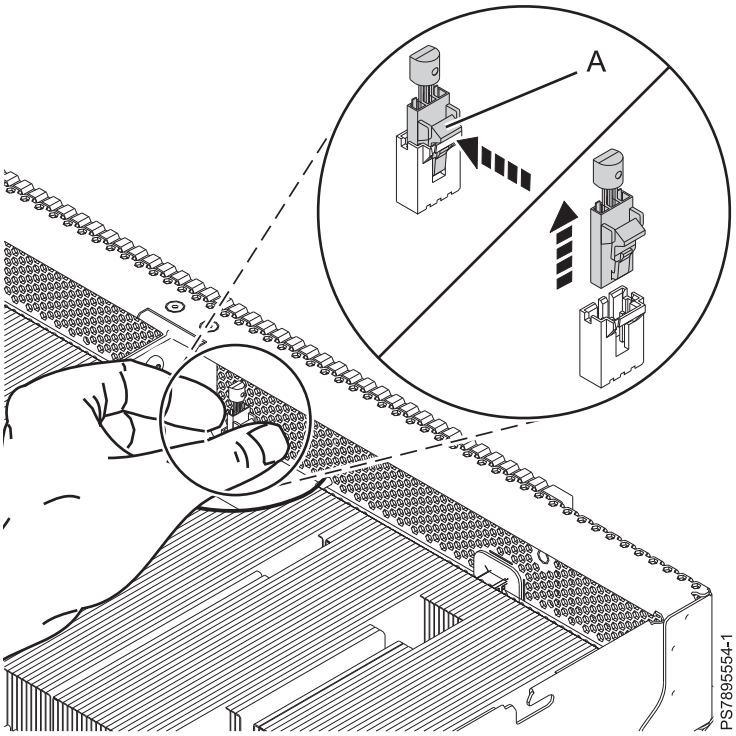


図 33. 温度センサーの取り外し

温度センサーを交換するには、以下の手順を実行します。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
2. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
3. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。

4. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
5. 73 ページの図 33 に示されているように、温度センサーを見つけます。
6. 視界を確保するために、コンピュート・ノードの左側から作業してください。
7. 左手を使用して (視界を確保するため)、センサー上のタブ **(A)** を強く握り、センサーをコネクターから取り外します。
8. センサーを引き抜きます。
9. 温度センサーの返却を求められた場合は、すべてのパッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。
10. 新規の温度センサーを、カチッと音がして所定の位置に収まるまでコネクターに押し込みます。
11. コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じます。 43 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ』を参照してください。

安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

12. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。
13. 保守アクションによって部品を交換した場合は、オレンジ色のエンクロージャー障害 LED がオフになっているかを確認し、修理が正常に完了したことを確認します。詳しくは、 13 ページの『コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタンと LED』を参照してください。

Tier 2 CRU の取り外しと交換

Tier 2 CRU の取り外しと交換を行うには、この情報を使用します。

このタスクについて

この Tier 2 の CRU はお客様ご自身で取り付けることも、対象のコンピュート・ノードに指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを要求することもできます。

DIMM の取り外し

Very Low Profile (VLP) デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) は、Tier 1 CRU です。お客様自身で取り外すことができます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の取り外しを行った場合は、その料金を請求させていただきます。 Low Profile (LP) DIMM は、Tier 2 CRU です。お客様ご自身で取り外すことも、コンピュート・ノードに指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り外しを要求することもできます。

このタスクについて

DIMM は、以下の手順で取り外してください。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
2. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
3. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
5. 交換する DIMM が取り付けられている DIMM コネクターを見付けます。

   注: システム・ボード LED およびカバーの内側に貼られているサービス・ラベルを使用して、交換する必要がある DIMM を識別することができます。 19 ページの『システム・ボード LED』を参照してください。

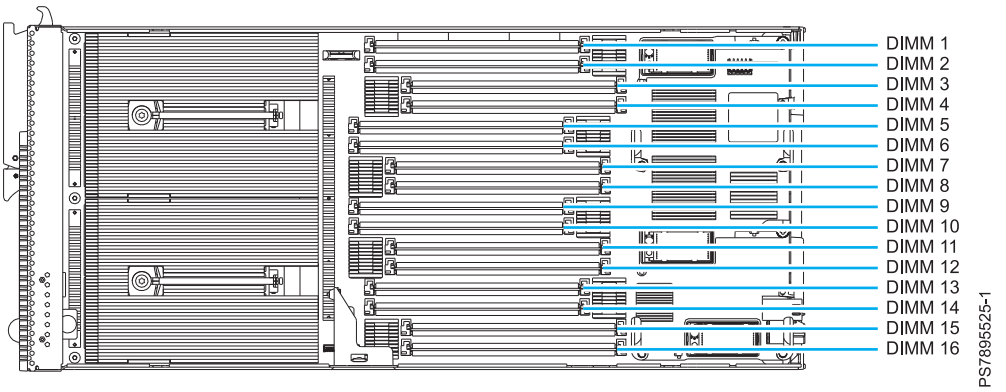


図 34. IBM Flex System p260 コンピュート・ノード の DIMM コネクター

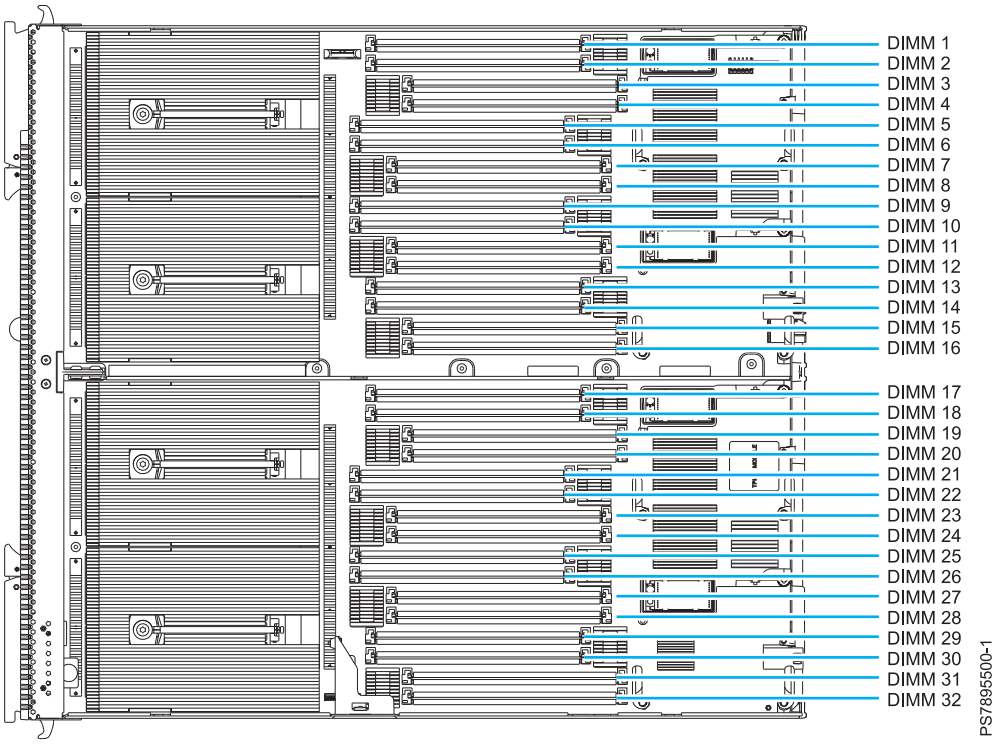


図 35. IBM Flex System p460 コンピュート・ノード 用の DIMM コネクター

重要: DIMM 保持クリップの破損や DIMM コネクターの損傷を防止するために、クリップは慎重に開閉してください。

6. DIMM コネクターの両端にある保持クリップ **(A)** を矢印の方向に押して慎重に開きます。 DIMM **(B)** を取り外します。

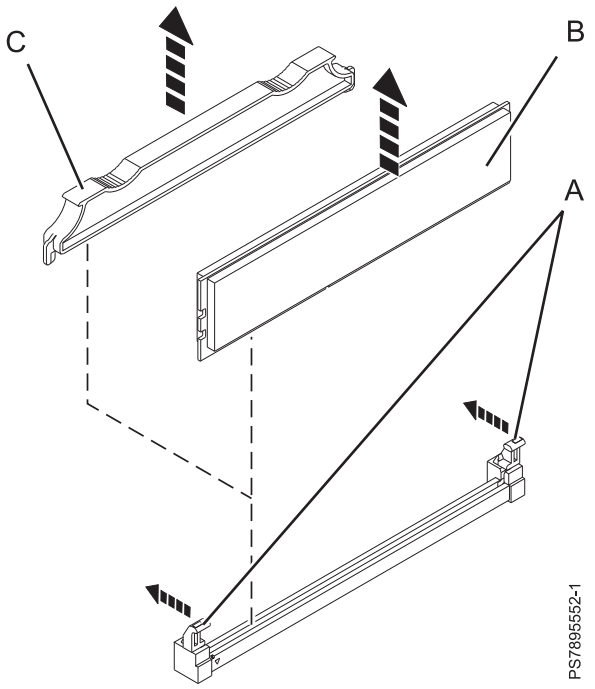


図 36. DIMM の取り外し

7. DIMM を取り付けていない位置には、マシンの損傷を避けるために、必ず DIMM フィラー **(C)** を取り付けてください。

   注: コンピュート・ノードのカバーを再取り付けする前に、コンピュート・ノードが正常に動作するために、最小構成以上の DIMM が取り付けられていることを確認してください。
8. DIMM を戻すように指示されている場合は、パッケージ化の指示に従い、ユーザーに提供されている配送用の材料を使用します。
9. コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じます。 43 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ』を参照してください。

安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

10. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。

DIMM の取り付け

Very Low Profile (VLP) デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) は、Tier 1 CRU です。お客様自身で取り付けることができます。お客様の要請により IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。 Low Profile (LP) DIMM は、Tier 2 CRU です。お客様ご自身で取り付けることも、コンピュート・ノードに指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを要求することもできます。

このタスクについて

DIMM は、以下の手順で取り付けてください。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
2. DIMM に付属の資料をお読みください。
3. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
4. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。
5. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
6. システム・ボード上の DIMM コネクターの位置を確認します。 DIMM を取り付けるコネクターを決めます。 64 ページの『サポートされる DIMM』を参照してください。
7. 部品が入った帯電防止パッケージを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの塗装されていない金属面、または他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない金属面に接触させます。その後、パッケージから新しい部品を取り出します。
8. コネクターの保持クリップが両方とも、完全に開いた位置になっていることを確認してください。
9. DIMM を回して、DIMM の切り欠きがシステム・ボード上のコネクターに正しく合うようにします。

   重要: DIMM 保持クリップの破損や DIMM コネクターの損傷を防止するために、クリップは慎重に取り扱ってください。
10. DIMM をガイドに沿って押して、DIMM **(B)** をコネクターに差し込みます。

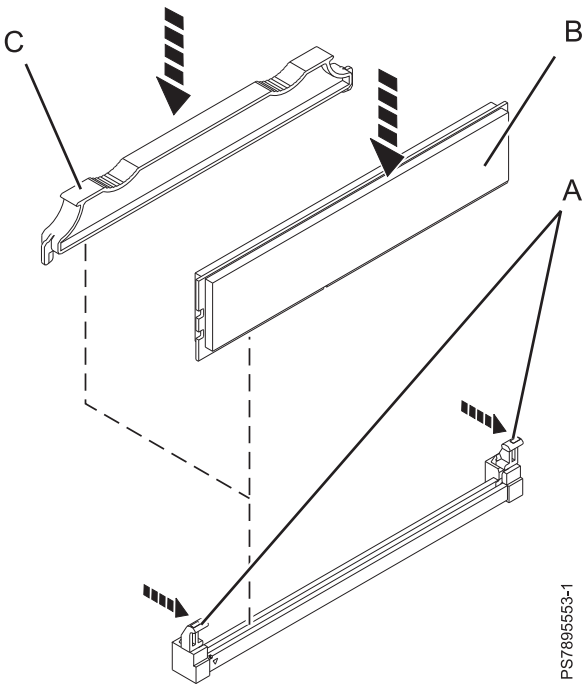


図 37. DIMM の取り付け

保持クリップ **(A)** のそれぞれが、閉じた位置にカチッとおさまっているか確認してください。

重要: DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合、DIMM は正しく取り付けられていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、再度 DIMM を差し込んでください。 DIMM を取り付けていない位置には、マシンの損傷を避けるために、必ず DIMM フィラー **(C)** を取り付けてください。

11. コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じます。 43 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ』を参照してください。

安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

12. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。
13. 保守アクションによって部品を交換した場合は、オレンジ色のエンクロージャー障害 LED がオフになっているかを確認し、修理が正常に完了したことを確認します。詳しくは、13 ページの『コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタンと LED』を参照してください。

関連概念:

64 ページの『サポートされる DIMM』
コンピュート・ノードには、Registered デュアル・インライン・メモリー・モジュール (RDIMM) 用のコネクターがあります。

管理カードの取り外し

この Tier 2 の CRU はお客様ご自身で取り外すことも、対象のコンピュート・ノードに指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り外しを要求することもできます。管理カードを交換するため、あるいは新規のシステム・ボードおよびシャーシ・アセンブリーで再使用するために、取り外します。

始める前に

重要: 管理カードとシステム・ボードを同時に交換すると、重要プロダクト・データ (VPD) およびアクティブ・プロセッサー・コアの数に関する情報が失われる可能性があります。管理カードをシステム・ボードの両方を交換する必要がある場合は、一度に 1 つずつ交換してください。さらに支援が必要な場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

このタスクについて

管理カード (82 ページの図 38 の **1** で示す) を取り外すには、次の手順に従ってください。

注: システム・ボード上の管理カードの位置については、16 ページの図 2 および 17 ページの図 3 の **5** を参照してください。

手順

1. 『安全』トピックと37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
2. システム・ボードおよびシャーシ・アセンブリーの交換手順からこの手順に進んできましたか?

   はい: ステップ 9 (82 ページ) に進みます。

   いいえ:

   次のステップを続行します。
3. コンピュート・ノードの論理区画がある場合、各論理区画内のすべてのデータを保存してから、コンピュート・ノードの各区画のオペレーティング・システムをシャットダウンします。この時点では、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ からコンピュート・ノードを削除しないでください。

4. Advanced System Management Interface (ASMI) にアクセスします。

   既に ASMI に接続している場合は、ステップ 5 に進みます。

   - IBM Flex System Manager (FSM) を介して ASMI にアクセスするには、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.psm.hosts.doc/dpsm_managing_hosts_launch_asm.htmlを参照してください。
   - ハードウェア管理コンソール (HMC) を介して ASMI にアクセスするには、以下のステップを実行してください。
     a. 作業を行うサーバーを選択します。
     b. **「タスク」>「操作」>「拡張システム管理 (ASM) の起動」**をクリックします。
   - 管理コンソールがない場合は、Web インターフェースを使用して ASMI にアクセスしてください。詳しくは、http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/powersys/v3r1m5/topic/p7eda/p7eda_access_asmi_web.htmを参照してください。

5. システム ID を保存します。

   注: この操作を完了するには、権限レベルが管理者または認定サービス・プロバイダーである必要があります。 ASMI の権限レベルについては、http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/powersys/v3r1m5/topic/p7hby/asmiauthority.htmを参照してください。

   a. まだログインしていない場合は、「ASM へようこそ」ペインでユーザー ID とパスワードを指定して、**「ログイン」**をクリックします。
   b. ナビゲーション領域で**「システム構成」>「プログラムの重要プロダクト・データ」>「システム・ブランド」**を選択します。
   c. 右側のペインに表示されるシステム・ブランドの値を手動で記録します。
   d. ナビゲーション領域で**「システム構成」>「プログラムの重要プロダクト・データ」>「システム・キーワード」**を選択します。
   e. 「マシン・タイプ・モデル」、「システムのシリアル番号」、「システム固有 ID」の値、「予約済み」、および「RB keyword0」を手動で記録します。
   f. ナビゲーション領域で**「システム構成」>「プログラムの重要プロダクト・データ」>「システム・エンクロージャー」**を選択します。
   g. 右側のペインで**「エンクロージャーのロケーション: *UXXXX.YYY.ZZZZ*」**を選択し、**「続行」**をクリックします。
   h. 「エンクロージャーのロケーション」、「フィーチャー・コード/シーケンス番号」、「エンクロージャーのシリアル番号」、および「予約済み」の値を手動で記録します。

6. コンピュート・ノードの電源をオフにし、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからコンピュート・ノードを取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
7. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。

8. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
9. I/O 拡張カードが最初のスロットに取り付けられている場合は、そのカードを取り外して管理カードにアクセスしてください。

   注: システム・ボード LED およびカバーの内側に貼られているサービス・ラベルを使用して、交換する必要がある管理カードを識別することができます。 19 ページの『システム・ボード LED』を参照してください。
10. 管理カードをつかみ、装置から垂直に引き出してコネクターから取り外します。

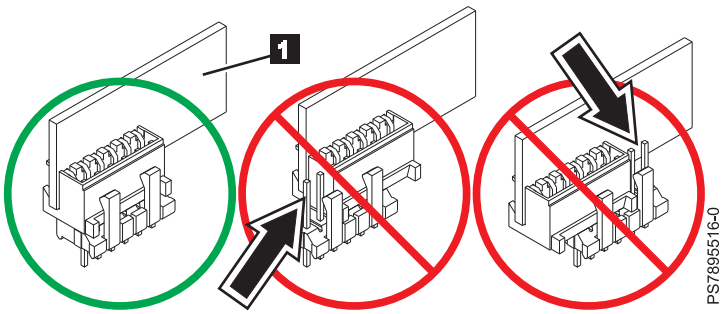


図 38. 管理カードの取り外し

11. 管理カードに返却の指示がある場合は、パッケージのしかたの説明に従い、配送されたときのパッケージ材を使用してください。
12. 管理カードを交換します。 『管理カードの取り付け』を参照してください。

管理カードの取り付け

この Tier 2 の CRU はお客様ご自身で取り付けることも、対象のコンピュート・ノードに指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを要求することもできます。管理カードを、現在取り付け済みのシステム・ボードに取り付けるには、次の手順を実行します。 同時に新規のシステム・ボードも取り付ける場合は、新規のシステム・ボードを取り付ける前にこの手順を完了してください。

始める前に

重要: 管理カードとシステム・ボードを同時に交換すると、重要プロダクト・データ (VPD) およびアクティブ・プロセッサー・コアの数に関する情報が失われる可能性があります。管理カードをシステム・ボードの両方を交換する必要がある場合は、一度に 1 つずつ交換してください。さらに支援が必要な場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

このタスクについて

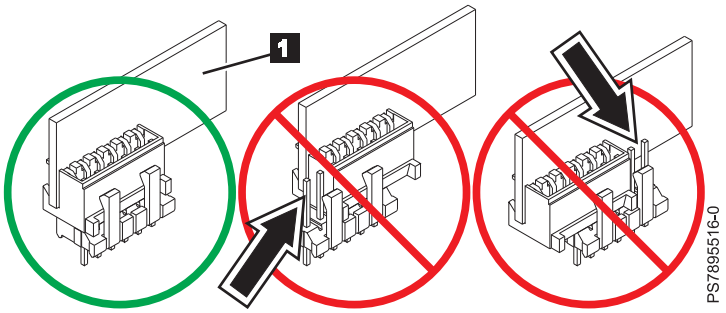


図 39. 管理カードの取り付け

管理カード (図 39 の **1** で示す) を取り付けるには、次の手順に従ってください。

手順

1. 取り替え用カードを発注した場合は、管理カードに付属の資料をお読みください。
2. 管理カードを取り付けるコネクターの位置を、現在取り付け済みのシステム・ボード上で見付けます。位置については、 16 ページの図 2 および 17 ページの図 3 の **5** を参照してください。

   注: I/O 拡張カードが最初のスロットに取り付けられている場合は、そのカードを取り外して管理カード・コネクターにアクセスしてください。
3. 管理カードが入った帯電防止パッケージを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの塗装されていない 金属面、または他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない 金属面に接触させます。その後、パッケージから管理カードを取り出します。
4. 管理カード (図 39 の **1** で示されています) を挿入し、カードがコネクター上にしっかりと差し込まれていることを確認して、メイン・ボードに向けて完全に押し下げます。
5. 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』の手順からこの手順に進んできましたか?

   はい: システム・ボードおよびシャーシ・アセンブリーの交換手順に戻ります。

   いいえ:
   次のステップを続行します。
6. コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じます。 43 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ』を参照してください。

安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

7. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。
8. コンピュート・ノードの電源をオンにします。仮想入出力サーバー (VIOS) パーティションがインストールされている場合は、VIOS パーティションの電源のみをオンにします。 VIOS がインストールされていない場合は、1 つのパーティションの電源をオンにします。管理コンソールによってコンピュート・ノードを管理している場合は、管理コンソールがコンピュート・ノードを検出するまで待ってから次のステップを続行してください。

   重要: 管理カードが正しく取り付けられていない場合、パワーオン LED が高速で点滅し、通信エラーが管理コンソールに報告されます。これが発生した場合は、 80 ページの『管理カードの取り外し』の説明に従って、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外してください。管理カードを取り付け直し、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに再取り付けします。
9. 新規の Virtualization Engine テクノロジー (VET) コードを生成してアクティブにする必要があります。 85 ページの『PowerVM Virtualization Engine システム・テクノロジーのアクティベーション・コードの取得』を実行します。 VET アクティベーション・コードが確実に管理カード上の重要プロダクト・データに保管されるように 5 分以上待ってから、オペレーティング・システムおよびコンピュート・ノードの電源をオフにします。この手順の次のステップを続行します。
10. Advanced System Management Interface (ASMI) にアクセスします。

    既に ASMI に接続している場合は、ステップ 11 に進みます。

    - IBM Flex System Manager (FSM) を介して ASMI にアクセスするには、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.psm.hosts.doc/dpsm_managing_hosts_launch_asm.htmlを参照してください。
    - ハードウェア管理コンソール (HMC) を介して ASMI にアクセスするには、以下のステップを実行してください。
      a. 作業を行うサーバーを選択します。
      b. 「**タスク**」>「**操作**」>「**拡張システム管理 (ASM) の起動**」をクリックします。
    - 管理コンソールがない場合は、Web インターフェースを使用して ASMI にアクセスしてください。詳しくは、http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/powersys/v3r1m5/topic/p7eda/p7eda_access_asmi_web.htmを参照してください。
11. 管理カードの VPD が正しいことを確認します。

    注: この操作を完了するには、権限レベルが管理者または認定サービス・プロバイダーである必要があります。 ASMI の権限レベルについては、http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/powersys/v3r1m5/topic/p7hby/asmiauthority.htmを参照してください。

    a. まだログインしていない場合は、「ASM へようこそ」ペインでユーザー ID とパスワードを指定して、「**ログイン**」をクリックします。
    b. ナビゲーション領域で「**システム構成**」>「**プログラムの重要プロダクト・データ**」>「**システム・ブランド**」を選択します。
    c. システム・ブランド情報が取り外し手順の際に記録したものと一致していることを確認します。そうでない場合は、次のレベルのサポートにお問い合わせください。
    d. ナビゲーション領域で「**システム構成**」>「**プログラムの重要プロダクト・データ**」>「**システム・キーワード**」を選択します。

e. システム・キーワード情報が取り外し手順の際に記録したものと一致していることを確認します。そうでない場合は、次のレベルのサポートにお問い合わせください。

f. ナビゲーション領域で「**システム構成**」>「**プログラムの重要プロダクト・データ**」>「**システム・エンクロージャー**」を選択します。

g. 右側のペインで「**エンクロージャーのロケーション: *UXXXX.YYY.ZZZZ***」を選択し、「**続行**」をクリックします。

h. システム・エンクロージャー情報が取り外し手順の際に記録したものと一致していることを確認します。そうでない場合は、次のレベルのサポートにお問い合わせください。

12. コンピュート・ノードおよびコンピュート・ノードの各区画のオペレーティング・システムの電源をオンにします。

13. 保守アクションによって部品を交換した場合は、オレンジ色のエンクロージャー障害 LED がオフになっているかを確認し、修理が正常に完了したことを確認します。詳しくは、13 ページの『コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタンと LED』を参照してください。

PowerVM Virtualization Engine システム・テクノロジーのアクティベーション・コードの取得

管理カードを交換した後、仮想化を有効にするには、PowerVM 機能用のアクティベーション・コードを再入力する必要があります。

この手順を完了する前に、管理カードの取り付けの説明に従って管理カードを取り付けます。

PowerVM は、Capacity on Demand 拡張機能の 1 つです。Capacity on Demand 拡張機能は、Virtualization Engine システム・テクノロジーあるいは Virtualization Engine テクノロジー (VET) とも呼ばれます。

VET コードを見つけて コンピュート・ノードにインストールするには、以下のステップを実行します。

1. コンピュート・ノードの電源をオンにします。仮想入出力サーバー (VIOS) パーティションがインストールされている場合は、VIOS パーティションの電源のみをオンにします。 VIOS がインストールされていない場合は、1 つのパーティションの電源をオンにします。

2. 以下のいずれかの方法を使用して、新規の VET アクティベーション・コードを注文するときに提供する必要があるアクティベーション情報をリストします。

   - Advanced System Management Interface (ASMI) を使用する場合:

     a. ASMI にアクセスします。

        既に ASMI に接続している場合は、ステップ 2c (86 ページ) に進みます。

        1) IBM Flex System Manager (FSM) を介して ASMI にアクセスするには、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.psm.hosts.doc/dpsm_managing_hosts_launch_asm.htmlを参照してください。

        2) ハードウェア管理コンソール (HMC) を介して ASMI にアクセスするには、以下のステップを実行します。

           a) 作業を行うサーバーを選択します。

           b) 「**タスク**」>「**操作**」>「**拡張システム管理 (ASM) の起動**」をクリックします。

        3) 管理コンソールがない場合は、Web インターフェースを使用して ASMI にアクセスしてください。詳しくは、http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/powersys/v3r1m5/topic/p7eda/p7eda_access_asmi_web.htmを参照してください。

b. まだログインしていない場合は、「ASM へようこそ」ペインでユーザー ID とパスワードを指定して、「**ログイン**」をクリックします。

c. ナビゲーション領域で「**オンデマンド・ユーティリティー**」>「**CoD VET 情報**」を選択します。

以下は、CoD VET 情報の出力例を示しています。

注: アクティベーション・コードを要求する場合、次の例で強調されている情報を提供する必要があります。

```
CoD VET Information
System type: 7895
System serial number: 12-34567
Card type: 52EF
Card serial number: 01-231S000
Card ID: 30250812077C3228
Resource ID: CA1F
Activated Resources: 0000
Sequence number: 0040
Entry check: EC
```

ステップ 3 に進みます。

- HMC を使用する場合:

a. ナビゲーション領域で「**システム管理**」を展開します。

b. 「**サーバー**」を選択します。

c. コンテンツ領域で、宛先コンピュート・ノードを選択します。

d. 「**タスク**」>「**Capacity on Demand (CoD)**」>「**PowerVM**」>「**コード情報の表示**」をクリックします。

以下は、PowerVM の出力例を示しています。

注: アクティベーション・コードを要求する場合、次の例で強調されている情報を提供する必要があります。

```
CoD VET Information
System type: 7895
System serial number: 12-34567
Anchor card CCIN: 52EF
Anchor card serial number: 01-231S000
Anchor card unique identifier: 30250812077C3228
Resource ID: CA1F
Activated Resources: 0000
Sequence number: 0040
Entry check: EC
```

ステップ 3 に進みます。

- FSM を使用する場合:

a. 「シャーシ・マネージャー」ページの「**共有アクション**」の下で「**一般アクション**」>「**Power Systems リソースの管理**」をクリックします。「Power Systems リソースの管理」ページが表示されます。

b. 宛先コンピュート・ノードを選択します。

c. 「**アクション**」をクリックし、「**システム構成**」>「**Capacity on Demand (CoD)**」を選択します。

d. 「Capacity on Demand」ウィンドウで「**オンデマンド・タイプの選択**」リストから「**拡張機能**」を選択します。

e. 表で「**タイプ**」として「**PowerVM**」を選択します。

f. 「**コード情報の表示**」をクリックします。

以下は、PowerVM の出力例を示しています。

注: アクティベーション・コードを要求する場合、次の例で強調されている情報を提供する必要があります。

```
CoD VET Information
System type: 7895
System serial number: 12-34567
Anchor card CCIN: 52EF
Anchor card serial number: 01-231S000
Anchor card unique identifier: 30250812077C3228
Resource ID: CA1F
Activated Resources: 0000
Sequence number: 0040
Entry check: EC
```

ステップ 3 に進みます。

- Integrated Virtualization Manager (IVM) を使用する場合:

a. また実行されていない場合、IVM を開始します。

b. IVM セッションで、`lsvet -t code` コマンドを入力します。

以下は、`lsvet` コマンドの出力例を示しています。

注: アクティベーション・コードを要求する場合、次の例で強調されている情報を提供する必要があります。

```
sys_type=7895,sys_serial_num=12-34567,anchor_card_ccin=52EF,
anchor_card_serial_num=01-231S000, anchor_card_unique_id=30250812077C3228,
resource_id=CA1F,activated_resources=0000,sequence_num=0040, entry_check=EC
```

ステップ 3 に進みます。

3. 交換用の管理カードの VET アクティベーション・コードに関する要求を System p Capacity on Demand のメールボックス (pcod@us.ibm.com) に送信します。

ASMI を使用して VET 情報を取得した場合は、その値に以下のフィールドが含まれています。

- システム・タイプ
- システムのシリアル番号
- カード・タイプ
- カードのシリアル番号
- カード ID

HMC または FSM を使用して VET 情報を取得した場合は、その値に以下のフィールドが含まれています。

- システム・タイプ
- システムのシリアル番号
- Anchor card の CCIN
- Anchor card のシリアル番号
- Anchor card の固有 ID

IVM `lsvet -t code` コマンドを使用して VET 情報を取得した場合は、その値に以下のフィールドが含まれています。

- sys_type
- sys_serial_num
- anchor_card_ccin
- anchor_card_serial_num
- anchor_card_unique_id

以下は、E メールに含むことができるステートメントの例を示しています。

```
Provide a VET activation code for the new
management card (anchor card) in my Flex power compute node.
```

これにより、System p Capacity on Demand サイトでコードが生成され、VET アクティベーション・コードが Web サイト上にポストされます。

4. Capacity on Demand Activation code Web ページにアクセスし、コードを取得します。
   a. システム・タイプを入力します。この値は、IVM の sys_type フィールド、あるいは ASMI、HMC、または FSMの「**システム・タイプ**」フィールドから得られます。
   b. シリアル番号を入力します。この値は、IVM の sys_serial_num フィールド、あるいは ASMI、HMC、または FSMの「**システムのシリアル番号**」フィールドから得られます。

   コードがまだ割り当てられていない場合は、次の注記が表示されます。

   ```
   No matching activation code found.
   ```

   それ以外の場合は、要求日に一致する日付の VET 項目を探します。見つかったら、対応する VET アクティベーション・コードを記録します。
5. 以下のいずれかの方法を使用して、VET アクティベーション・コードを入力して PowerVM 仮想化をアクティブにします。
   - ASMI、HMC、または IVM のグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) については、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5091991を参照してください。
   - FSM については、http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lndocid=MIGR-5091991を参照してください。
   - IVM コマンド行インターフェース (CLI) については、以下のステップを実行します。
     a. IVM セッションで次のコマンドを入力し、34 文字の VET アクティベーション・コードをアクティブにします。

        ```
        chvet -o e -k <activation_code>
        ```

        ここで、*<activation_code>* はアクティベーション・コードです。

        例えば、アクティベーション・コードが `4D8D6E7A81409365CA1F000028200041FD` である場合、次のコマンドを入力します。

        ```
        chvet -o e -k 4D8D6E7A81409365CA1F000028200041FD
        ```

     b. IVM セッションで、`lsvet -t hist` コマンドを使用してコード入力が正常に行われたことを検証します。

        以下は、コマンドの出力例を示しています。

```
time_stamp=03/06/2013 16:25:08,"entry=[VIOSI05000400-0331] CoD advanced
functions activation code entered, resource ID: CA1F, capabilities: 2820."
time_stamp=03/06/2013 16:25:08,entry=[VIOSI05000403-0332] Virtual I/O server
capability enabled.
time_stamp=03/06/2013 16:25:08,entry=[VIOSI05000405-0333] Micro-partitioning
capability enabled.
```

ここで手順は終了です。

この手順では、PowerVM 仮想化機能をアクティブにするためにコンピュート・ノードを再始動する必要はありません。

注: この手順を完了した後にコンピュート・ノードを再始動する場合は、5 分以上待ってからコンピュート・ノードの再始動あるいはコンピュート・ノードの電源オフ/オンを行ってください。そうすることで、アクティベーション・コードが確実に管理カード上の重要プロダクト・データに保管されます。

Light Path 診断パネルの取り外し

この Tier 2 の CRU はお客様ご自身で取り外すことも、対象のコンピュート・ノードに指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り外しを要求することもできます。 Light Path 診断パネルを、交換あるいは新規のシステム・ボードおよびシャーシ・アセンブリーで再使用するために、取り外します。

このタスクについて

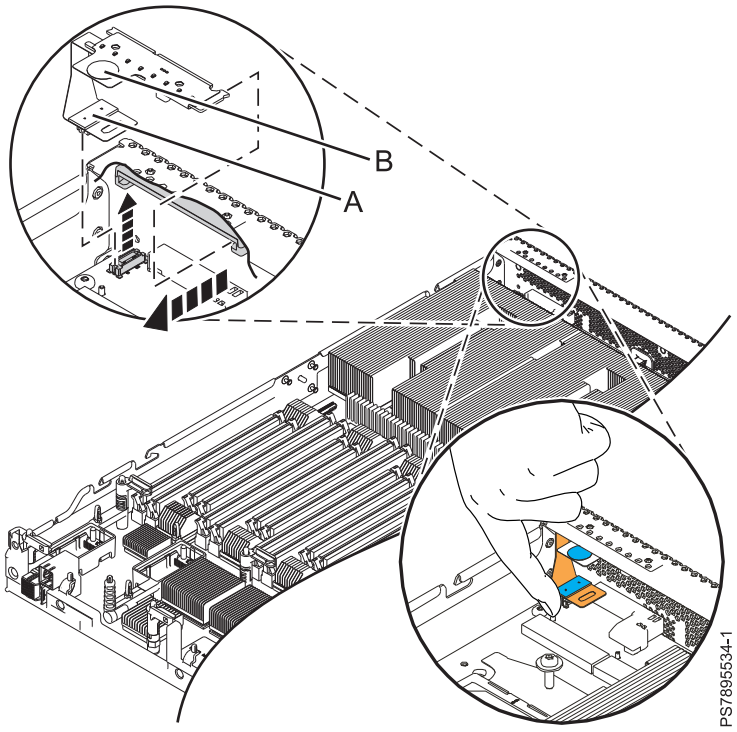


図 40. Light Path 診断パネルの取り外し

Light Path 診断パネル (図 40 で示す) を取り外すには、以下の手順を実行します。

注: システム・ボード上の Light Path パネルの位置については、 16 ページの図 2 の **7** および 17 ページの図 3 の **8** を参照してください。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
2. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
3. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
5. Light Path 診断パネルのプル・タブ **(B)** をつかみ、水平にブラケットから引き抜きます。
6. システム・ボードからケーブル **(A)** を切り離します。 操作性を確保するために、コンピュート・ノードの前方から作業してください。 89 ページの図 40 に示されているように、人差し指をケーブル接続の下に入れ、ケーブルを引き上げます。

   注: システム・ボード LED およびカバーの内側に貼られているサービス・ラベルを使用して、交換する必要がある Light Path 診断パネルを識別することができます。 19 ページの『システム・ボード LED』を参照してください。
7. Light Path 診断パネルの返却を求められた場合は、パッケージング方法の説明に従い、部品がお手元に届いたときの配送用パッケージ材がある場合は、それを使用してください。

Light Path 診断パネルの取り付け

この Tier 2 の CRU はお客様ご自身で取り付けることも、対象のコンピュート・ノードに指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを要求することもできます。 Light Path 診断パネルを、現在取り付け済みのシステム・ボードに取り付けるには、この手順を使用します。同時に新規のシステム・ボードも取り付ける場合は、新規のシステム・ボードを取り付ける前にこの手順を完了してください。

このタスクについて

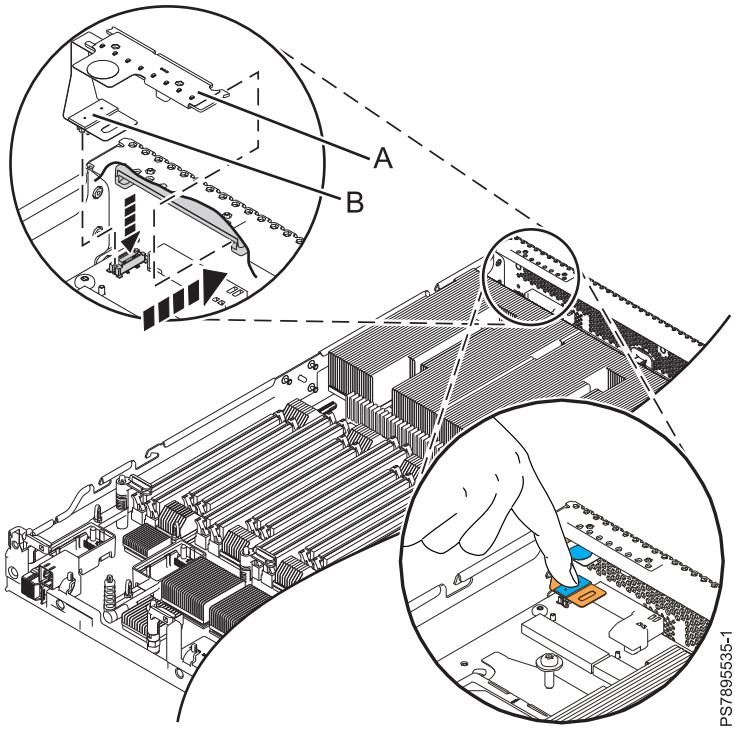


図 41. Light Path 診断パネルの取り付け

Light Path 診断パネル (図 41 で示す) を取り付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
2. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
3. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。
4. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
5. Light Path パネルを取り付けるコネクターを、現在取り付け済みのシステム・ボード上で見つけます。システム・ボード上の Light Path パネルの位置については、 16 ページの図 2 の **7** および 17 ページの図 3 の **8** を参照してください。

6. 操作性と視界を確保するために、コンピュート・ノードの右側から作業してください。
7. 右手を使用して、人差し指でシステム・ボードのコネクター・スロットにケーブル **(B)** を押し込んで接続します。
8. Light Path 診断パネル **(A)** とブラケットを位置合わせします。 青色のタッチ・ポイント・タブをコンピュート・ノードの後方に向けます。
9. Light Path 診断パネルをブラケットにしっかりと押し込みます。
10. コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じます。 43 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ』を参照してください。

安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

11. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。
12. 保守アクションによって部品を交換した場合は、オレンジ色のエンクロージャー障害 LED がオフになっているかを確認し、修理が正常に完了したことを確認します。詳しくは、 13 ページの『コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタンと LED』を参照してください。

FRU の取り外しと交換 (トレーニングを受けたサービス技術員のみ)

このタスクについて

FRU の取り付けは、必ずトレーニングを受けたサービス技術員が行う必要があります。

システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換

技術員により交換される部品 (FRU) は、トレーニングを受けたサービス技術員が交換する必要があります。システム・ボードを交換する場合は、システム・ボード、コンピュート・ノード・ベース (シャーシ)、マイクロプロセッサー、およびヒートシンクを 1 つのアセンブリーとして交換します。

始める前に

重要: 管理カードとシステム・ボードを同時に交換すると、重要プロダクト・データ (VPD) およびアクティブ・プロセッサー・コアの数に関する情報が失われる可能性があります。管理カードをシステム・ボードの両方を交換する必要がある場合は、一度に 1 つずつ交換してください。さらに支援が必要な場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

このタスクについて

注: システム・ボード上のコネクターおよび LED の位置については、16 ページの『システム・ボードのレイアウト』を参照してください。

システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを取り替えるには、以下の手順で行います。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
2. コンピュート・ノードは管理コンソールによって管理されていますか?

   はい ステップ 3 に続きます。

   いいえ ステップ 5 (94 ページ) に続きます。
3. コンピュート・ノードに VIOS がインストールされている場合、あるいは複数の区画を使用している場合は、以下のいずれかの方法を使用して区画プロファイル・データをバックアップしてください。
   - このシステムが IBM Flex System Manager (FSM) 管理コンソール によって管理されている場合、区画プロファイル・データをバックアップします。システム管理コマンド行インターフェース (SMCLI) を使用して、**bkprofdata** コマンドを入力します。 (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.director.cli.helps.doc/fqm0_r_cli_smcli.html) を参照してください。**bkprofdata** コマンドについて詳しくは、 (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.psm.reference.doc/manpages/psm.bkprofdata.html) を参照してください。
   - このシステムが ハードウェア管理コンソール (HMC) によって管理されている場合、HMC を使用して区画プロファイル・データをバックアップします。 (http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/powersys/v3r1m5/topic/p7hbm/backupprofdata.htm) を参照してください。
   - このシステムが Integrated Virtualization Manager (IVM) によって管理されている場合、区画プロファイル・データをバックアップします。 IVM コマンド行を使用して、**bkprofdata** コマンドを入力します。**bkprofdata** コマンドについて詳しくは、 (http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/powersys/v3r1m5/topic/p7hcg/bkprofdata.htm) を参照してください。

   注: FSM および HMC の管理コンソールでは、区画プロファイル・データ (ステップ 18 (95 ページ) でのリカバリーに使用) が自動的に保存されますが、予防措置およびベスト・プラクティスとして、システム・ボードを交換する前にステップ 3 で手動バックアップを完了することが推奨されます。

4. コンピュート・ノードにファイバー・チャネル・アダプターがありますか?

   はい 545 ページの『vfchost マップ・データの保存』. その後、次のステップを続行します。

   いいえ 次のステップを続行します。
5. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
6. カバーを上側にして、帯電防止されている平らな場所にコンピュート・ノードを注意して置きます。
7. コンピュート・ノードのカバーのオープンおよび取り外し方法を示しています。 40 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り外し』を参照してください。
8. ベゼル・アセンブリーを取り外します。 45 ページの『ベゼル・アセンブリーの取り外し』を参照してください。
9. システム・ボードに以下のコンポーネントが取り付けられている場合はすべて取り外し、それらを帯電防止された面に置くか、新しいシステム・ボードとシャーシ・アセンブリーに取り付けます。
   - I/O 拡張カード。 66 ページの『ネットワーク・アダプターの取り外し』を参照してください。
   - DIMM。 59 ページの『DIMM の取り外し』を参照してください。
   - 管理カード。 80 ページの『管理カードの取り外し』を参照してください。
10. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーが入った帯電防止パッケージを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの塗装されていない 金属面、または他の接地されたラック・コンポーネントの塗装されていない 金属面に接触させます。その後、パッケージからアセンブリーを取り出します。
11. 古いシステム・ボードとシャーシ・アセンブリーから取り外した以下のコンポーネントがある場合は、すべて取り付けます。
    - 管理カード。 82 ページの『管理カードの取り付け』を参照してください。
    - DIMM。 62 ページの『DIMM の取り付け』を参照してください。
    - I/O 拡張カード。 68 ページの『ネットワーク・アダプターの取り付け』を参照してください。

    注: DIMM を取り付けていない位置には、マシンの損傷を避けるために、必ず DIMM フィラーを取り付けてください。
12. ベゼル・アセンブリーを取り付けます。 手順については、 47 ページの『ベゼル・アセンブリーの取り付け』を参照してください。
13. コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じます。 43 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ』を参照してください。

安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

14. コンピュート・ノードのマシン・タイプ、型式番号、およびシリアル番号を、交換用のシステム・ボードとシャーシ・アセンブリーに付属の修理識別タグに書き込みます。この情報は、コンピュート・ノード前面のベゼルの右下隅にあり ID ラベル記載されています。

    重要: 修理識別タグにこれらの情報を書き込むことで、この後の保守の資格が保証されます。
15. コンピュート・ノード・シャーシの下部に修理識別タグを貼ります。
16. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。
17. コンピュート・ノードは管理コンソールによって管理されていますか?

    はい ステップ 18 に続きます。

    いいえ コンピュート・ノードの電源をオンにして、ステップ 19 を続行します。
18. コンピュート・ノードに VIOS がインストールされている場合、あるいは複数の区画を使用している場合は、以下のいずれかの方法を使用して区画プロファイル・データをリストアしてください。
    - このシステムが FSM によって管理されている場合、コンピュート・ノードが「リカバリー」状態になっているため、区画プロファイル・データをリカバリーします。手順については、(http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.psm.troubleshooting.doc/dpsm_troubleshooting_managedsystemstate_recovery.html)を参照してください。

      注: リカバリー・プロセスの一環として、コンピュート・ノードの電源がオンになります。
    - このシステムが HMC によって管理されている場合、コンピュート・ノードが「リカバリー」状態になっているため、区画プロファイル・データをリカバリーします。手順については、(http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/powersys/v3r1m5/topic/p7eav/aremanagedsystemstate_recovery.htm)を参照してください。

      注: リカバリー・プロセスの一環として、コンピュート・ノードの電源がオンになります。
    - このシステムが IVM によって管理されている場合、コンピュート・ノードの電源をオンにして、区画プロファイル・データをリストアします。 IVM コマンド行を使用して、**rstprofdata** コマンドを入力します。 **rstprofdata** コマンドについて詳しくは、 (http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/powersys/v3r1m5/topic/p7hcg/rstprofdata.htm) を参照してください。
19. コンピュート・ノードにファイバー・チャネル・アダプターがありますか?

    はい 546 ページの『vfchost マップ・データの復元』. その後、次のステップを続行します。

    いいえ 次のステップを続行します。
20. 保守アクションによって部品を交換した場合は、オレンジ色のエンクロージャー障害 LED がオフになっているかを確認し、修理が正常に完了したことを確認します。詳しくは、 13 ページの『コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタンと LED』を参照してください。

21. インストールされているオペレーティング・システムを通してシステムの日付と時刻を再設定します。

    その他の情報については、ご使用のオペレーティング・システムの資料を参照してください。

次のタスク

交換後、最新のファームウェアでシステムを更新するか、既存のファームウェアでシステムを復元する必要があります。

取り付けの完了

取り付けを完了するには、コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じ、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに取り付け、コンピュート・ノードの電源をオンにします。

手順

1. コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じます。 43 ページの『コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ』を参照してください。

   安全 21

   注意:
   コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。
2. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。
3. 14 ページの『コンピュート・ノードの電源オン』の説明に従って、コンピュート・ノードの電源をオンにします。

   注: IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの電源コードを電源コンセントに接続した直後の場合は、コンピュート・ノードのパワーオン LED が低速で点滅するまで待ってから電源制御ボタンを押してください。
4. 入出力拡張カードを取り付けた場合は、拡張カードに付属の資料を使用して、デバイス・ドライバーをインストールし、拡張カードが必要とする構成があれば、その構成を実行します。
5. 27 ページの『SMS ユーティリティーの使用』の説明に従って、特定のオプション装置についてのコンピュート・ノード SMS ユーティリティー・プログラムを実行します。

コンピュート・ノードのカバーの取り付けとクローズ

コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに挿入する前に、コンピュート・ノードのカバーを取り付けて閉じます。この重要な保護措置は変更しないでください。

このタスクについて

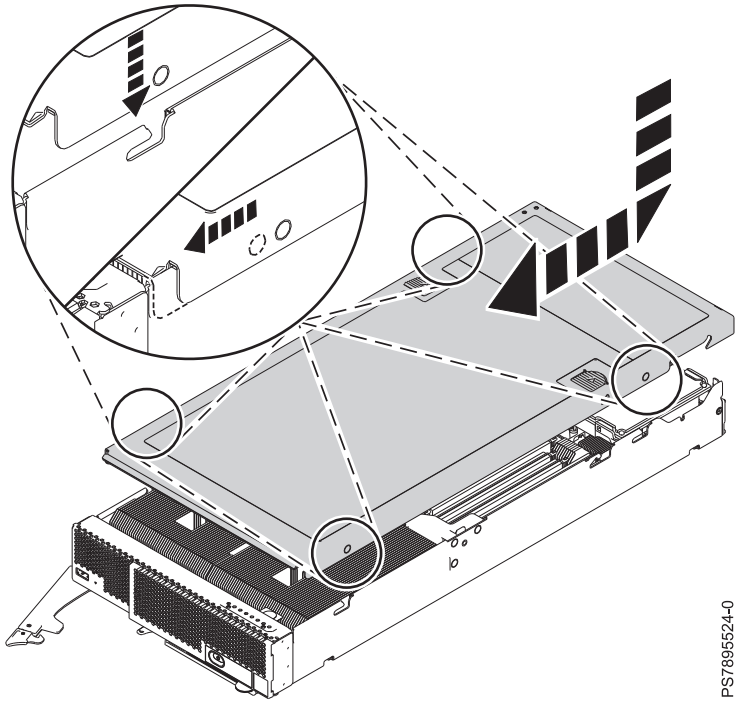


図 42. IBM Flex System p260 コンピュート・ノードのカバーの取り付け

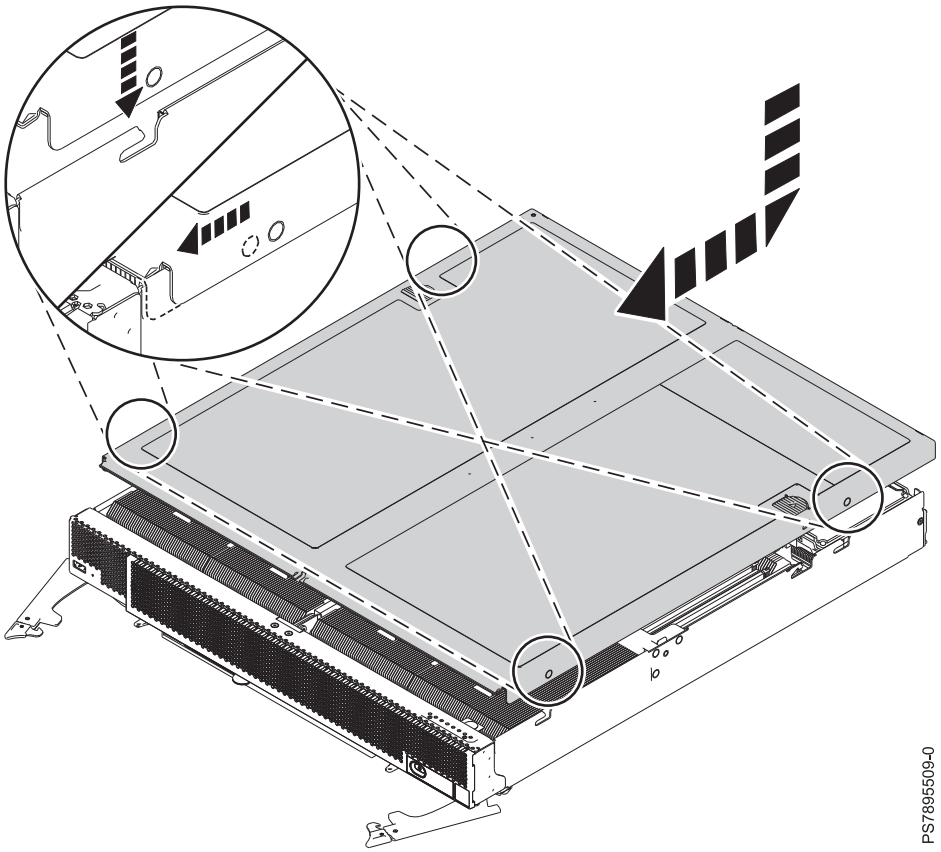


図 43. IBM Flex System p460 コンピュート・ノードのカバーの取り付け

安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

コンピュート・ノードのカバーを再取り付けして閉じるには、以下の手順を実行します。

手順

1. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。

2. カバーを下ろし、(前出の図に示されているように) コンピュート・ノードの前部および後部でカバーの両サイドのピンをスロットに差し込みます。カバーを閉じる前に、すべてのコンポーネントが取り付けられ、正しく固定されていること、および コンピュート・ノード内部に工具や部品を置き忘れていないことを確認してください。
3. リリースがカチッと音がしてカバーの所定の位置に収まるまで、カバーを前方にスライドさせて閉じた位置にします。
4. コンピュート・ノードを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内に取り付けます。 『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。

IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け

コンピュート・ノードを使用するには、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに取り付けます。

このタスクについて

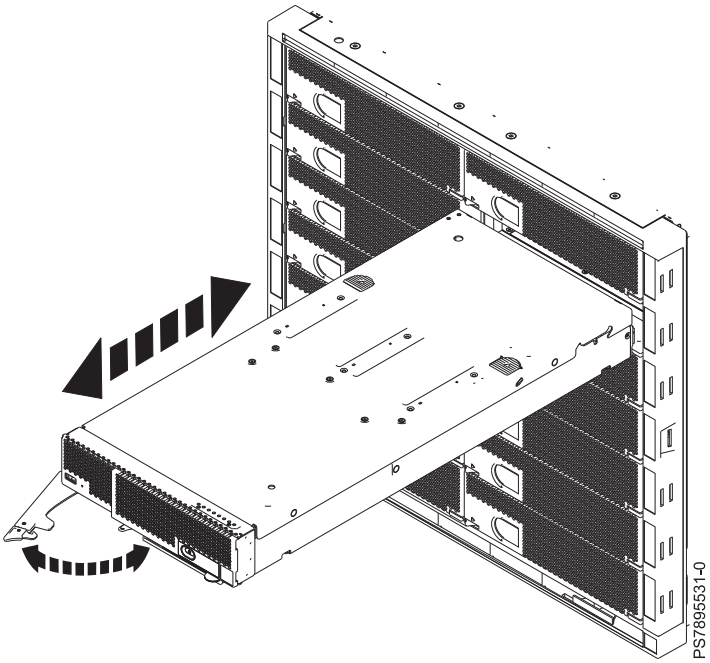


図 44. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け

安全 21



注意:
コンピュート・ノードを給電部に接続すると、危険な電力が印加されます。 コンピュート・ノードを取り付ける前に、必ずコンピュート・ノードのカバーを交換してください。

コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに取り付けるには、以下の手順を実行します。

手順

1. http://www.ibm.com/support/entry/portal/Overview にアクセスし、コンピュート・ノードの最新のファームウェアをダウンロードします。

   ファームウェアをダウンロードし、後でそれを使用して、コンピュート・ノードを開始した後でもブレード・サーバーを更新できるようにします。
2. 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
3. まだ行っていない場合、必要なオプション・デバイスがあれば取り付けます (SAS ドライブまたはメモリー・モジュールなど)。
4. コンピュート・ノード用のベイを選択します。
   - IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに付属のhttp://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.common.nav.doc/chassis.htmlを参照し、選択するベイの電源がオンになっていることを確認します。
   - 適切な冷却、パフォーマンス、およびシステムの信頼性を確保するために、各ベイにはコンピュート・ノード、拡張ユニット、またはスロット・フィラーを取り付けてください。
   - ベイごとに確立されている構成情報および更新オプションを保持するために、コンピュート・ノードは同じベイに再取り付けしてください。別のベイに再取り付けすると、予期しない結果 (コンピュート・ノードの再構成など) が発生する可能性があります。
5. コンピュート・ノードのリリース・ハンドルが開いた位置 (99 ページの図 44 に示すように、コンピュート・ノードと直角の位置) にあることを確認します。 IBM Flex System p260 コンピュート・ノードの場合、1 つのリリース・ハンドルがあります。 IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの場合、2 つのリリース・ハンドルがあります。
6. コンピュート・ノードを取り付ける予定のベイから、既存のコンピュート・ノードおよびフィラー・ノードをすべて取り外します。

   注: IBM Flex System p460 コンピュート・ノードを取り付ける場合、シャーシからシェルフを取り外す必要がある場合があります。 http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.8721.doc/removing_the_chassis_shelves.htmlを参照してください。
7. コンピュート・ノードを取り外した元のベイにスライドさせ、コンピュート・ノードが停止するまで押し込みます。
8. コンピュート・ノードの前面のリリース・ハンドルを押して、リリース・ハンドルを閉じ、ロックします。

   ディスカバリーおよび初期化の処理は、完了するのに最大 3 分かかる可能性があります。 ディスカバリーおよび初期化の処理は、緑色の LED が高速の点滅を停止して、低速の点滅を開始したときに完了します。 この時点で、コンピュート・ノードの電源をオンにすることができます。

9. コンピュート・ノードの電源をオンにします。 14 ページの『コンピュート・ノードの電源オン』を参照してください。
10. コンピュート・ノードのコントロール・パネルのパワーオン LED が点灯していることを確認します。連続的に点灯していることは、コンピュート・ノードが給電され、電源が入っていることを示します。
11. オプション: コンピュート・ノードに付属のユーザー・ラベルの 1 つに識別情報を書き込み、そのラベルを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシのベゼル上に貼ります。

    重要: このラベルは、コンピュート・ノード上やコンピュート・ノードの通気孔をふさぐ場所には貼らないでください。ラベルを貼る位置については、オンライン情報、またはご使用の IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに付属の資料を参照してください。
12. SMS ユーティリティー・プログラムを使用して、コンピュート・ノードを構成します。 27 ページの『SMS ユーティリティーの使用』を参照してください。
13. また、マネージメント・モジュールを使用して、コンピュート・ノードを構成します。マネージメント・モジュールが提供する機能の説明については、マネージメント・モジュールの資料を参照してください。

次のタスク

コンピュート・ノードの構成を変更した場合や、これが取り外したものとは別のコンピュート・ノードである場合は、コンピュート・ノードを構成する必要があります。コンピュート・ノードのオペレーティング・システムをインストールしなければならない場合もあります。

これらのタスクについて詳しくは、31 ページの『第 4 章 オペレーティング・システムのインストール』を参照してください。

第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト

部品リストは、各交換可能パーツおよび部品番号を識別します。

104 ページの図 45 に、IBM Flex System p260 コンピュート・ノード で使用可能な交換可能コンポーネントを示します。

107 ページの図 46 に、IBM Flex System p460 コンピュート・ノード で使用可能な交換可能コンポーネントを示します。

交換可能なコンポーネントには、次の 3 つのタイプがあります。

- **Tier 1 のお客様による交換が可能な部品 (CRU):** Tier 1 と指定された CRU の交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により、IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 のお客様による交換が可能な部品 (CRU):** Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることも、対象のコンピュート・ノードに指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを要求することもできます。
- **技術員により交換される部品 (FRU):** FRU の取り付けができるのはトレーニングを受けたサービス技術員のみです。

保証の条件とサービスおよび支援を受けるための情報については、インフォメーション・センター、または *IBM Flex System* エンタープライズ・シャーシ *Documentation* CD に入っている「*保証およびサポート情報*」資料を参照してください。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

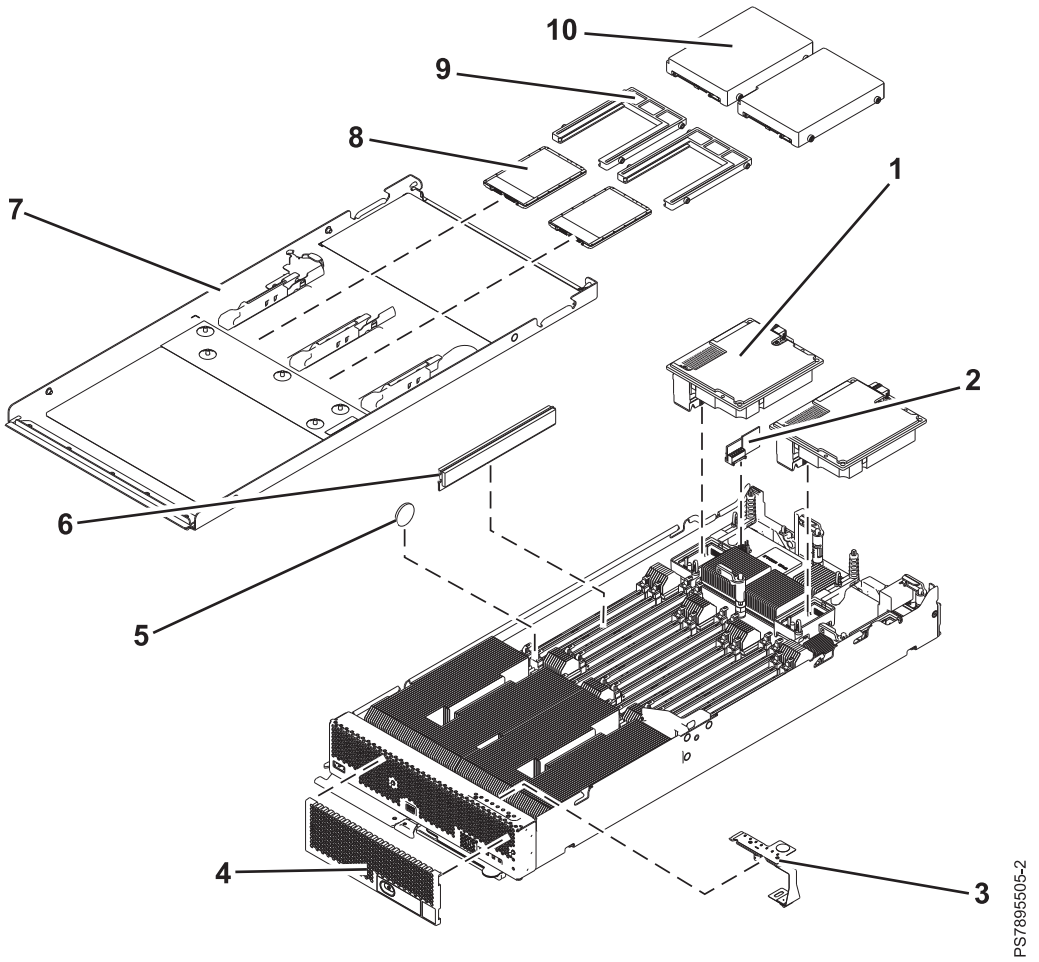


図 45. IBM Flex System p260 コンピュート・ノードの部品

表 8. IBM Flex System p260 コンピュート・ノードの部品

索引	説明	CRU 部品番号		FRU 部品番号	障害機能コード (FFC)
		(Tier 1)	(Tier 2)		
	7895-22X ベース・システム・ボードとシャーシ・アセンブリー: • 3.3 GHz、8 コア・システム・ボード (CCIN 547D) • 3.2 GHz、16 コア・システム・ボード (CCIN 547F) • 3.5 GHz、16 コア・システム・ボード (CCIN 547B)			• 00E0759 • 00E0746 • 00E0740	各種 FFC。 495 ページの『障害機能コード』を参照してください。
	7895-23A ベース・システム・ボードとシャーシ・アセンブリー: • 4.0 GHz、4 コア・システム・ボード (CCIN 54B8)			00E2936	各種 FFC。 495 ページの『障害機能コード』を参照してください。

表 8. *IBM Flex System p260 コンピュート・ノードの部品 (続き)*

索引	説明	CRU 部品番号		FRU 部品番号	障害機能コード (FFC)
		(Tier 1)	(Tier 2)		
	7895-23X ベース・システム・ボードとシャーシ・アセンブリー: • 4.0 GHz、8 コア・システム・ボード (CCIN A896) • 3.6 GHz、16 コア・システム・ボード (CCIN A898) • 4.1 GHz、16 コア・システム・ボード (CCIN A897)			• 00E1818 • 00E1832 • 00E1825	各種 FFC。 495 ページの『障害機能コード』を参照してください。
1	IBM Flex System 2 ポート QDR InfiniBand アダプター	90Y3461			2627
1	IBM Flex System 2 ポート 8 Gb ファイバー・チャネル・アダプター	69Y1941			2E16
1	IBM Flex System 4 ポート 10 Gb イーサネット・アダプター	81Y3125			2E37
1	IBM Flex System 4 ポート 1 Gb イーサネット・アダプター	49Y7902			2E3D
1	IBM Flex System 8 ポート 10 Gb コンバージド・アダプター	00E1677			2E28、2E52
1	IBM Flex System 2 ポート 10 Gb RoCE アダプター	90Y3481			2770
1	IBM Flex System 2 ポート 16 Gb ファイバー・チャネル・アダプター	95Y2389			2750
1	IBM Flex System 4 ポート 16 Gb ファイバー・チャネル・アダプター	95Y2394			2755
2	7895-22X 管理カード: • 管理カード (CCIN 52EA) (3.3 GHz、8 コア・システム・ボード用) • 管理カード (CCIN 52EC) (3.2 GHz、16 コア・システム・ボード用) • 管理カード (CCIN 52E8) (3.5 GHz、16 コア・システム・ボード用)		• 00E0706 • 00E0705 • 00E0704		
2	7895-23A 管理カード: • 管理カード (CCIN 52B3) (4.0 GHz、4 コア・システム・ボード用)		00E2942		
2	7895-23X 管理カード: • 管理カード (CCIN 52ED) (4.0 GHz、8 コア・システム・ボード用) • 管理カード (CCIN 52EF) (3.6 GHz、16 コア・システム・ボード用) • 管理カード (CCIN 522E) (4.1 GHz、16 コア・システム・ボード用)		• 00E1742 • 00E1736 • 00E1733		
3	Light Path 診断パネル		81Y5290		
4	ベゼル	00J0456			
4	OEM ベゼル	00J0455			
5	3.0V バッテリー	33F8354			

表 8. IBM Flex System p260 コンピュート・ノードの部品 (続き)

索引	説明	CRU 部品番号		FRU 部品番号	障害機能コード (FFC)
		(Tier 1)	(Tier 2)		
6	メモリー、2 GB DDR3、1066 MHz Low Profile (LP) DIMM **注:** 7895-22X のみ。		78P1011		
6	メモリー、4 GB DDR3、1066 MHz Very Low Profile (VLP) DIMM	78P0501			
6	メモリー、8 GB DDR3、1066 MHz Very Low Profile (VLP) DIMM **注:** 7895-22X のみ。	78P0502			
6	メモリー、8 GB DDR3、1066 MHz Very Low Profile (VLP) DIMM	78P1917			
6	メモリー、16 GB DDR3、1066 MHz Low Profile (LP) DIMM **注:** 7895-22X のみ。		78P0639		
6	メモリー、16 GB DDR3、1066 MHz Low Profile (LP) DIMM		78P1915		
6	メモリー、32 GB DDR3、1066 MHz Low Profile (LP) DIMM		78P1539		
6	DIMM フィラー	60H2962			
7	カバー (2 個のディスク・ドライブをサポート)	00J0290			
7	カバー (2 個のソリッド・ステート・ドライブをサポート)	00J0292			26BD
7	カバー (ドライブのサポートなし)	00E6259			
8	177 GB SATA ソリッド・ステート・ドライブ	74Y9115			26B4
9	ソリッド・ステート・ドライブ・キャリア	74Y9407			
10	300 GB SAS small-form-factor ディスク・ドライブおよびねじ (4) (オプション)	42D0628			268B
10	600 GB SAS small-form-factor ディスク・ドライブおよびねじ (4) (オプション)	49Y2023			26D2
10	900 GB SAS small-form-factor ディスク・ドライブおよびねじ (4) (オプション)	00J0017			26D7
10	ディスク・ドライブ・フィラー	40K5928			
	サービス・ラベル	00J0134			
	FRU および CRU ラベル	00E6284			
	Light Path ラベル	00J0140			
	各種部分キット (左 CAM ハンドル)	81Y5203			
	各種部分キット (ネットワーク・アダプター保持器具)	94Y4866			

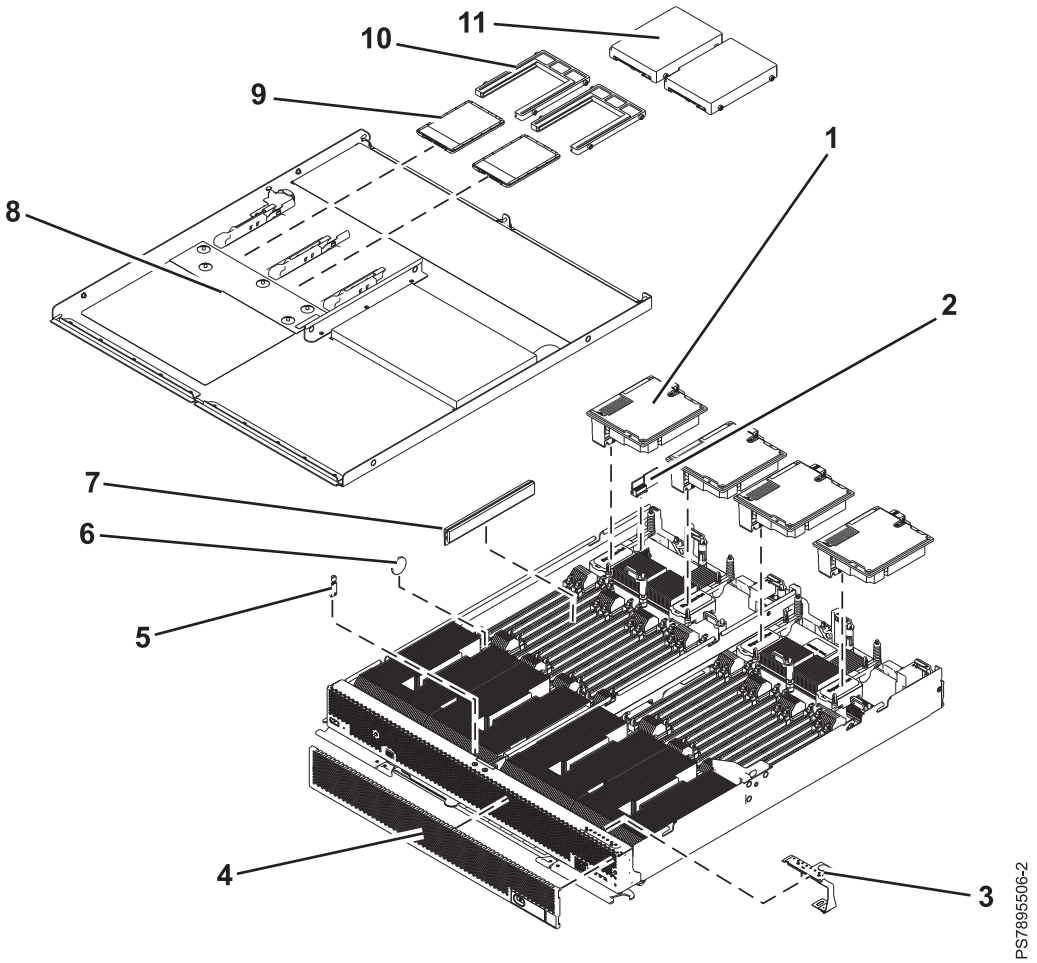


図 46. IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの部品

表 9. IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの部品

索引	説明	CRU 部品番号		FRU 部品番号	障害機能コード (FFC)
		(Tier 1)	(Tier 2)		
	7895-42X ベース・システム・ボードとシャーシ・アセンブリー: • 3.3 GHz、16 コア・システム・ボード (CCIN 547C) • 3.2 GHz、32 コア・システム・ボード (CCIN 547E) • 3.5 GHz、32 コア・システム・ボード (CCIN 547A)			• 00E0753 • 00E0734 • 00E0728	各種 FFC。 495 ページの『障害機能コード』を参照してください。
	7895-43X ベース・システム・ボードとシャーシ・アセンブリー: • 4.0 GHz、16 コア・システム・ボード (CCIN 548A) • 3.6 GHz、32 コア・システム・ボード (CCIN 548B) • 4.1 GHz、32 コア・システム・ボード (CCIN 54A9)			• 00E2878 • 00E2235 • 00E2220	各種 FFC。 495 ページの『障害機能コード』を参照してください。
1	IBM Flex System 2 ポート QDR InfiniBand アダプター	90Y3461			2627

表 9. IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの部品 (続き)

索引	説明	CRU 部品番号		FRU 部品番号	障害機能コード (FFC)
		(Tier 1)	(Tier 2)		
1	IBM Flex System 2 ポート 8 Gb ファイバー・チャネル・アダプター	69Y1941			2E16
1	IBM Flex System 4 ポート 10 Gb イーサネット・アダプター	81Y3125			2E37
1	IBM Flex System 4 ポート 1 Gb イーサネット・アダプター	49Y7902			2E3D
1	IBM Flex System 8 ポート 10 Gb コンバージド・アダプター	00E1677			2E28、2E52
1	IBM Flex System 2 ポート 10 Gb RoCE アダプター	90Y3481			2770
1	IBM Flex System 2 ポート 16 Gb ファイバー・チャネル・アダプター	95Y2389			2750
1	IBM Flex System 4 ポート 16 Gb ファイバー・チャネル・アダプター	95Y2394			2755
2	7895-42X 管理カード: • 管理カード (CCIN 52E9) (3.3 GHz、16 コア・システム・ボード用) • 管理カード (CCIN 52EB) (3.2 GHz、32 コア・システム・ボード用) • 管理カード (CCIN 52E7) (3.5 GHz、32 コア・システム・ボード用)		• 00E0703 • 00E0702 • 00E0701		
2	7895-43X 管理カード: • 管理カード (CCIN 52F8) (4.0 GHz、16 コア・システム・ボード用) • 管理カード (CCIN 523F) (3.6 GHz、32 コア・システム・ボード用) • 管理カード (CCIN 521B) (4.1 GHz、32 コア・システム・ボード用)		• 00E2232 • 00E2885 • 00E2226		
3	Light Path 診断パネル		81Y5290		
4	ベゼル	00E5817			
4	OEM ベゼル	00E5818			
5	温度センサー	44X1464			
6	3.0V バッテリー	33F8354			
7	メモリー、2 GB DDR3、1066 MHz Low Profile (LP) DIMM **注:** 7895-42X のみ。		78P1011		
7	メモリー、4 GB DDR3、1066 MHz Very Low Profile (VLP) DIMM	78P0501			
7	メモリー、8 GB DDR3、1066 MHz Very Low Profile (VLP) DIMM **注:** 7895-42X のみ。	78P0502			
7	メモリー、8 GB DDR3、1066 MHz Very Low Profile (VLP) DIMM	78P1917			

表 9. *IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの部品 (続き)*

索引	説明	CRU 部品番号		FRU 部品番号	障害機能コード (FFC)
		(Tier 1)	(Tier 2)		
7	メモリー、16 GB DDR3、1066 MHz Low Profile (LP) DIMM **注:** 7895-42X のみ。		78P0639		
7	メモリー、16 GB DDR3、1066 MHz Low Profile (LP) DIMM		78P1915		
7	メモリー、32 GB DDR3、1066 MHz Low Profile (LP) DIMM		78P1539		
7	DIMM フィラー	60H2962			
8	カバー (2 個のディスク・ドライブをサポート)	00J0291			
8	カバー (2 個のソリッド・ステート・ドライブをサポート)	00J0293			26BD
8	カバー (ドライブのサポートなし)	00E6260			
9	177 GB SATA ソリッド・ステート・ドライブ	74Y9115			26B4
10	ソリッド・ステート・ドライブ・キャリア	74Y9407			
11	300 GB SAS small-form-factor ディスク・ドライブおよびねじ (4) (オプション)	42D0628			268B
11	600 GB SAS small-form-factor ディスク・ドライブおよびねじ (4) (オプション)	49Y2023			26D2
11	900 GB SAS small-form-factor ディスク・ドライブおよびねじ (4) (オプション)	00J0017			26D7
11	ディスク・ドライブ・フィラー	40K5928			
	サービス・ラベル	00J0135			
	FRU および CRU ラベル	00E6285			
	Light Path ラベル	00J0141			
	各種部分キット (左 CAM ハンドル、右 CAM ハンドル、およびラッチ・ブラケット)	46M2828			
	各種部分キット (ネットワーク・アダプター保持器具)	94Y4866			

第 8 章 トラブルシューティング

コンピュート・ノードで発生する可能性のある問題の診断および修正に、この情報を使用してください。

問題解決の概要

ここに記載の問題判別および保守情報は、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ コンピュート・ノードで発生する可能性のある問題の解決に役立ちます。 記載の情報は、コンピュート・ノードに付属している診断ツール、エラー・コードとそれに対して取るべきアクション、および障害を起こした部品の交換方法について説明します。

交換可能なコンポーネントには、次の 3 つのタイプがあります。

- **Tier 1 のお客様による交換が可能な部品 (CRU):** Tier 1 と指定された CRU の交換はお客様の責任で行っていただきます。 お客様の要請により、IBM が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 のお客様による交換が可能な部品 (CRU):** Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることも、対象のコンピュート・ノードに指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで IBM に取り付けを要求することもできます。
- **技術員により交換される部品 (FRU):** FRU の取り付けができるのはトレーニングを受けたサービス技術員のみです。

コンピュート・ノードの型式番号とシリアル番号は、コンピュート・ノード前面のベゼル上の ID ラベル、およびコンピュート・ノードが IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに取り付けられていない場合に確認することができるコンピュート・ノード下部のラベルに記載されています。

保証の条件とサービスおよび支援を受けるための情報については、インフォメーション・センター、または *IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ Documentation* CD に入っている「*保証およびサポート情報*」資料を参照してください。

問題の解決

使用可能な診断ツールを使用して、コンピュート・ノードのセットアップ中に起こる共通問題の解決に役立てます。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

このタスクについて

コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに取り付けてもコンピュート・ノードが始動しない場合、以下のアクションを実行します。

- IBM Flex System エンタープライズ・シャーシが給電部に正しく接続されていることを確認します。
- 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』の説明に従って、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに取り付け直します。
- 14 ページの『コンピュート・ノードの電源オン』の説明に従って、パワーオン LED がゆっくり点滅している場合は、コンピュート・ノードの電源を入れます。
- 新しいオプション装置またはコンポーネントを追加した場合は、それが正しく取り付けられ、それとコンピュート・ノードおよびそのコンポーネントとの間に互換性があることを確認します。 装置またはコンポーネントに互換性がない場合は、それをコンピュート・ノードから取り外し、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに再取り付けして、コンピュート・ノードを再始動します。

上記のアクションを実行してもコンピュート・ノードが始動しない場合は、オンライン情報または *IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ Documentation* CD の「*問題判別の手引き*」を参照してください。

キーボード/ビデオ選択ボタンおよびローカル・メディアを使用して AIX をローカル側でインストールした後で AIX コンソールが見えない場合は、次のように **change console** コマンドを実行してコンピュート・ノードを再始動し、AIX コンソールを Serial over LAN (SOL) 接続に切り替えてください。

```
chcons /dev/vty0
shutdown -Fr
```

これらのコマンドは、パーティション・ファームウェアによって使用されているコンソールには影響しません。

以下のツールは、ハードウェア関連の問題の診断および解決に役立ちます。

- **パワーオン・セルフテスト (POST) のファームウェア・チェックポイントとエラー・コード**

  ファームウェア・チェックポイントは、POST 中にコンピュート・ノードがマネージメント・モジュールのイベント・ログに書き込む進行コードです。

  詳しくは、オンライン情報または「*問題判別の手引き*」を参照してください。
- **ファームウェア・エラー・コードとロケーション・コード**

  ファームウェア・エラー・コードについて詳しくは、オンライン情報または「*問題判別の手引き*」を参照してください。

  一部のファームウェア・エラー・コードには、ロケーション・コードも含まれています。 ロケーション・コードの情報は、障害を起こしたコンポーネントを識別するために必要になります。 ファームウェア・エラー・コードに対応するロケーション・コード情報を判別するには、マネージメント・モジュールのイベント・ログを検査してください。

  ロケーション・コードについて詳しくは、オンライン情報または「*問題判別の手引き*」を参照してください。
- **トラブルシューティング表**

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状を持つ問題に対する解決策を探してください。

オンライン情報またはご使用のコンピュート・ノードの「*問題判別の手引き*」を参照してください。

- **Linux オペレーティング・システム用の診断ユーティリティー**

  Linux オペレーティング・システム用の診断ユーティリティーは IBM から入手できます。 これらのユーティリティーおよび関連する情報を入手するには、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/powersys/v3r1m5/topic/p7ha5/obtain_service_tools.htmを参照してください。

- **AIX オペレーティング・システム用の診断ユーティリティー**

  AIX オペレーティング・システム診断 CD (*Diagnostics* CD とも呼ばれます) は、IBM から入手できます。 CD ドライブから、または NIM から CD を開始できます。 CD イメージをダウンロードするには、http://www14.software.ibm.com/webapp/set2/sas/f/diags/home.html にアクセスしてください。

  診断ユーティリティーの使用法について詳しくは、「*問題判別の手引き*」を参照してください。

- **その他のオペレーティング・システム用の診断ユーティリティー**

  サポートされているその他のオペレーティング・システム用の診断ツールが、オペレーティング・システムにより提供されている場合があります。 詳しくは、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

- **Light Path 診断**

  システム・ボードの Light Path 診断 LED を使用して、システム・エラーを識別します。 IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの前面または背面にあるシステム LED パネル上のシステム・エラー LED が点灯している場合、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシのコンポーネントのエラー LED も 1 つ以上点灯している可能性があります。これらの LED は、問題の原因を識別するために役立ちます。

注:

- IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ・マネージメント・モジュールのシステム・イベント・ログを参照してください。
- コンピュート・ノードの保守を行う前に、コンピュート・ノードへの Serial over LAN (SOL) 接続が提供されていることを確認してください。これを行うには、*IBM シャーシ・マネージメント・モジュール Command-Line インターフェース リファレンス・ガイド*」の説明に従って、コンピュート・ノード上で SOL 機能を構成し、SOL セッションを開始する必要があります。
- また、管理モジュールを使用してサービス・プロセッサーの IP アドレスを構成し、サービス・プロセッサーへの SOL 接続をセットアップできます。

診断プログラム

有効な診断ツールを使用して、コンピュート・ノードで発生する可能性のある問題の解決に役立てます。

確実な保守容易性ストラテジーの最も重要な要素は、エラーが発生した時点で正確かつ効率的にエラーを検出する能力です。 すべてのエラーがシステム可用性への脅威になるわけではありませんが、未検出のままのエラーは危険です。システムが、必要に応じて評価および行動する機会が得られないためです。
POWER7 プロセッサー・ベースのシステムは、特に、プロセッサー・コアおよびメモリーからパワー・サプライおよびハード・ディスクに及ぶエラー検出メカニズムで設計されています。

POWER7 プロセッサー・ベースのシステムには、エラーのあるハードウェア操作を検出するための特殊ハードウェア検出回路が組み込まれています。 エラーをチェックするハードウェアは、プロセッサー命令再試行およびバス再試行と組み合わせたパリティー・エラー検出から、キャッシュおよびシステム・バスに対する ECC 訂正にまで及びます。

IBM ハードウェア・エラー・チェッカーには、次のような独特の属性があります。

- 潜在的な計算エラーを検出するためのシステム操作の連続モニター
- 固有の各障害を、ランタイムで検出することによる、物理的障害の分離試行
- 問題を訂正するために設計された多様なリカバリー・メカニズムの開始

POWER7 プロセッサー・ベースのシステムには、さまざまなハードウェアおよびファームウェアのリカバリー・ロジックが組み込まれています。

マシン・チェック・ハンドリング

マシン・チェックは、ファームウェアにより処理されます。 マシン・チェックが発生すると、ファームウェアはエラーを分析して、障害が発生している装置を特定し、エラー・ログ項目を作成します。

サービス・プロセッサーがスタンバイ状態になれないところまでシステムが低下した場合は、エラーを分析することはできません。 エラーがハイパーバイザー・アクティビティー中に発生した場合、ハイパーバイザーはシステム・リブートを開始します。

分割モードでは、パーティションのアクティビティー中に発生したエラーは、パーティション内のオペレーティング・システムに報告されます。

診断ツール

ハードウェア関連の問題の診断および解決に役立つツールが使用可能です。

- **パワーオン・セルフテスト (POST) 進行コード (チェックポイント)、エラー・コード、および分離手順**

  POST は、システム初期化時にハードウェアを検査します。 IPL 診断機能は、いくつかのシステム・コンポーネントおよび相互接続をテストします。 POST により、コンピュート・ノードの起動の進行にマークを付ける 8 桁のチェックポイントが生成されます。

  マネージメント・モジュールを使用して、進行コードを表示します。

  進行コードの資料には、システム・ハングのリカバリー・アクションが記載されています。 詳しくは、254 ページの『POST 進行コード (チェックポイント)』を参照してください。

  POST 実行中にサービス・プロセッサーが問題を検出すると、管理モジュール・イベント・ログにエラー・コードが記録されます。エラー・コードは、可能であれば、Linux `syslog` または AIX 診断ログにも記録されます。 125 ページの『システム参照コード (SRC)』を参照してください。

  サービス・プロセッサーは、特定の分離手順を示すコードを生成できます。 520 ページの『サービス・プロセッサーの問題』を参照してください。
- **Light Path 診断**

  Light Path 診断 LED を使用して、障害が発生しているハードウェアを特定します。 IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの前面または背面にある格納装置障害 LED が点灯すると、コンピュート・ノードの障害 LED も 1 つ以上点灯します。コンピュート・ノードの Light Path 診断 LED を使用すると、障害のあるアイテムの識別に役立ちます。

  LED ロケーション

  19 ページの『システム・ボード LED』を参照してください。

  フロント・パネル

  13 ページの『コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタンと LED』を参照してください。
- **トラブルシューティング表**

  トラブルシューティング表を使用して、識別可能な症状を持つ問題に対する解決策を探してください。

  これらの表は、オンライン情報およびご使用のコンピュート・ノードの「*問題判別の手引き*」に記載されています。
- **ダンプ・データ収集**

  状況次第では、さらにデータを表示するダンプが必要なエラーもあります。 Integrated Virtualization Manager (IVM) または ハードウェア管理コンソール (HMC) は、ダンプ・エリアをセットアップします。分析のためにオプションで IBM サポートに送信可能な情報の一部として、特定の IVM または HMC 情報が含まれます。

  詳しくは、 117 ページの『ダンプ・データの収集』を参照してください。
- **スタンドアロン診断**

  出荷パッケージには AIX ベースの Stand-alone Diagnostics CD が付属しています。これは IBM Web サイトからも入手可能です。 どのオペレーティング・システムがインストールされているかに関係な

く、コンピュート・ノードがオペレーティング・システムをブートできない場合は、CD ドライブから診断をブートするか、AIX ネットワーク・インストール・マネージャー (NIM) サーバーからブートしてください。

スタンドアロン診断が提供する機能には、次のものがあります。

- マイクロプロセッサーやメモリーなどのプラットフォームによって報告されるエラーの分析
- 入出力アダプターや装置などのリソースのテスト
- ファームウェア更新、フォーマット・ディスク、RAID Manager などの保守援助機能

- **AIX オペレーティング・システム用の診断ユーティリティー**

  AIX が機能している場合は、スタンドアロン診断ではなく AIX 並行診断を実行します。 ディスク・ベース AIX 診断が提供する機能には、次のものがあります。

  - 自動エラー・ログ分析
  - マイクロプロセッサーやメモリーなどのプラットフォームによって報告されるエラーの分析
  - 入出力アダプターや装置などのリソースのテスト
  - ファームウェア更新、フォーマット・ディスク、RAID Manager などの保守援助機能

- **Linux オペレーティング・システムの診断ユーティリティー**

  Linux のサービス・ツールと生産性向上ツールには、ハードウェア診断エイド、生産性向上ツール、およびインストール支援プログラムが含まれます。 Linux オペレーティング・システム用の IBM インストール・ツールキットには、インストール支援プログラムが提供されています。このツールキットは、IBM POWER7 アーキテクチャー・テクノロジーをベースにした IBM コンピュート・ノードへの Linux オペレーティング・システムのインストールを補助するツールのセットです。また、このツールを使用して、IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノードのファームウェアを更新することもできます。

  Linux オペレーティング・システムの診断ユーティリティーは、https://www14.software.ibm.com/webapp/set2/sas/f/lopdiags/home.htmlで IBM から入手できます。

  詳しくは、 33 ページの『Linux のサービス・ツールと生産性向上ツールのインストール』を参照してください。

- **その他のオペレーティング・システム用の診断ユーティリティー**

  IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノード にロードされているオペレーティング・システムに関係なく、Stand-alone Diagnostics CD を使用して、 コンピュート・ノード上で診断を実行できます。ただし、その他のサポートされるオペレーティング・システムには、オペレーティング・システムから使用可能な診断ツールが備わっている場合があります。詳しくは、ご使用のオペレーティング・システムの資料を参照してください。

ダンプ・データの収集

ダンプは、標準装備の First Failure Data Capture (FFDC) メカニズムが十分な障害データを捕捉していない場合、障害分離に欠かせません。 障害が特定された場合でも、ダンプ・データにより、問題判別に有用な補足情報が提供されます。

このタスクについて

ハードウェアのチェック停止が発生した場合、全ハードウェア状態情報がダンプに含まれます。 チェック停止が発生すると、サービス・プロセッサーは、システムの該当部分からエラーを分析するのに必要なデータのダンプを試みます。

注: サービス・プロセッサーがダンプを実行中にマネージメント・モジュールからコンピュート・ノードの電源をオフにすると、プラットフォーム・ダンプ・データが失われます。

ダンプを取り出し、分析のために IBM サポートに送信するよう求められる場合があります。 ダンプ・データの場所は、オペレーティング・システムによって異なります。

手順

- AIX オペレーティング・システムでは、`/var/adm/platform` ディレクトリーからダンプを収集します。
- Linux オペレーティング・システムでは、`/var/log/dump` ディレクトリーからダンプを収集します。
- Integrated Virtualization Manager (IVM) によって管理されている IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノード の場合は、IVM コンソールの **Manage Dumps** タスクを使用してダンプを収集します。
- ハードウェア管理コンソール (HMC) を使用してシステム・ダンプを収集するには、以下のステップを実行します。
  1. すべての区画の制御シャットダウンを実行します。

     注: システム・ダンプを実行すると、実行中の区画はすべて異常終了します。
  2. ナビゲーション領域で「**システム管理**」を開きます。
  3. サーバーを選択して開きます。
  4. 「**保守容易性**」>「**ダンプの管理**」>「**アクション**」>「**システム・ダンプの開始**」を選択します。ダンプは自動的に HMC に保存されます。ダンプの完了後にダンプをコピー、レポート、あるいは削除する方法について詳しくは、ダンプの管理を参照してください。

ロケーション・コード

ロケーション・コードは、コンピュート・ノードのコンポーネントを識別します。ロケーション・コードは、エラーの原因となっているコンピュート・ノードのコンポーネントを識別するために、いくつかのエラー・コードと共に表示されます。

コンポーネントの位置については、16 ページの『システム・ボード・コネクター』を参照してください。

注:

1. ロケーション・コードは、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ内のコンピュート・ノードの位置を示すものではありません。ロケーション・コードは、コンピュート・ノードのコンポーネントのみを識別します。
2. 関連するロケーション・コードがないチェックポイントについては、ハング状態が発生したときに 537 ページの『Light Path 診断』を参照して、障害が発生しているコンポーネントを識別してください。
3. ロケーション・コードのあるチェックポイントについては、ハング状態が発生したときに以下の表を使用して、障害が発生しているコンポーネントを識別してください。
4. 表 10 にリストされていない 8 桁のコードについては、501 ページの『チェックアウト手順』を参照してください。

表 10. IBM Flex System p260 コンピュート・ノード のロケーション・コード

コンポーネント	物理ロケーション・コード	CRU LED
U*n* ロケーション・コードは、格納装置および VPD ロケーション用です。 U*n* = U*tttt.mmm.sssssss* *tttt* = システムのマシン・タイプ *mmm* = システムの型式番号 *sssssss* = システムのシリアル番号		
DIMM 1	U*n*-P1-C1	はい
DIMM 2	U*n*-P1-C2	はい
DIMM 3	U*n*-P1-C3	はい
DIMM 4	U*n*-P1-C4	はい
DIMM 5	U*n*-P1-C5	はい
DIMM 6	U*n*-P1-C6	はい
DIMM 7	U*n*-P1-C7	はい
DIMM 8	U*n*-P1-C8	はい
DIMM 9	U*n*-P1-C9	はい
DIMM 10	U*n*-P1-C10	はい
DIMM 11	U*n*-P1-C11	はい
DIMM 12	U*n*-P1-C12	はい
DIMM 13	U*n*-P1-C13	はい
DIMM 14	U*n*-P1-C14	はい
DIMM 15	U*n*-P1-C15	はい
DIMM 16	U*n*-P1-C16	はい
ソリッド・ステート・ドライブ変換コネクター (カバーに内蔵)	U*n*-P1-C17	はい

表 10. IBM Flex System p260 コンピュート・ノード のロケーション・コード (続き)

コンポーネント	物理ロケーション・コード	CRU LED
SATA ソリッド・ステート・ドライブ 1	U*n*-P1-C17-D1	はい
SATA ソリッド・ステート・ドライブ 2	U*n*-P1-C17-D2	はい
ネットワーク・アダプター 1	U*n*-P1-C18	はい
ネットワーク・アダプター 2	U*n*-P1-C19	はい
管理カード	U*n*-P1-C21	はい
2.5 型 SAS ディスク・ドライブ 1	U*n*-P1-D1	はい
2.5 型 SAS ディスク・ドライブ 2	U*n*-P1-D2	はい
バッテリー	U*n*-P1-E1	はい
USB ポート 1 (フロント・パネル)	U*n*-P1-T1	いいえ
内蔵 SAS コントローラー	U*n*-P1-T2	いいえ
マシン・ロケーション・コード	U*tttt.mmm.sssssss*	いいえ
U*m* コードはファームウェア用です。 形式は、U*n* ロケーション・コードの場合と同じです。 U*m* = U*tttt.mmm.sssssss*		
ファームウェア・バージョン	U*m*-Y1	

表 11. IBM Flex System p260 コンピュート・ノードでの IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ I/O ベイへのネットワーク・アダプターのマッピング

ポートのロケーション・コード	IBM Flex System 2 ポート QDR InfiniBand アダプター	IBM Flex System 2 ポート 10 Gb RoCE アダプター	IBM Flex System 2 ポート 8 Gb および 2 ポート 16 Gb ファイバー・チャネル・アダプター	IBM Flex System 4 ポート 16 Gb ファイバー・チャネル・アダプター	IBM Flex System 4 ポート 1 Gb イーサネット・アダプターおよび 4 ポート 10 Gb イーサネット・アダプター	IBM Flex System 8 ポート 10 Gb コンバージド・アダプター
U*n*-P1-C18-L1-T1					シャーシ I/O ベイ 1	シャーシ I/O ベイ 1
U*n*-P1-C18-L1-T2					シャーシ I/O ベイ 2	シャーシ I/O ベイ 2
U*n*-P1-C18-L1-T3						シャーシ I/O ベイ 1
U*n*-P1-C18-L1-T4						シャーシ I/O ベイ 2
U*n*-P1-C18-L2-T1					シャーシ I/O ベイ 1	シャーシ I/O ベイ 1
U*n*-P1-C18-L2-T2					シャーシ I/O ベイ 2	シャーシ I/O ベイ 2
U*n*-P1-C18-L2-T3*						シャーシ I/O ベイ 1

表 11. IBM Flex System p260 コンピュート・ノードでの IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ I/O ベイへのネットワーク・アダプターのマッピング (続き)

ポートのロケーション・コード	IBM Flex System 2 ポート QDR InfiniBand アダプター	IBM Flex System 2 ポート 10 Gb RoCE アダプター	IBM Flex System 2 ポート 8 Gb および 2 ポート 16 Gb ファイバー・チャネル・アダプター	IBM Flex System 4 ポート 16 Gb ファイバー・チャネル・アダプター	IBM Flex System 4 ポート 1 Gb イーサネット・アダプターおよび 4 ポート 10 Gb イーサネット・アダプター	IBM Flex System 8 ポート 10 Gb コンバージド・アダプター
U*n*-P1-C18-L2-T4*						シャーシ I/O ベイ 2
U*n*-P1-C19-L1-T1	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3
U*n*-P1-C19-L1-T2			シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4
U*n*-P1-C19-L1-T3						シャーシ I/O ベイ 3
U*n*-P1-C19-L1-T4						シャーシ I/O ベイ 4
U*n*-P1-C19-L2-T1	シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4		シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3
U*n*-P1-C19-L2-T2				シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4
U*n*-P1-C19-L2-T3*						シャーシ I/O ベイ 3
U*n*-P1-C19-L2-T4*						シャーシ I/O ベイ 4
ポート・マッピングについて詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.8721.doc/configuring_io_modules.htmlを参照してください。						

* ポート L2-T3 および L2-T4 には、56 個の内部ポートの機能を備えたスイッチが必要です。

表 12. IBM Flex System p460 コンピュート・ノード のロケーション・コード

コンポーネント	物理ロケーション・コード	CRU LED
U*n* ロケーション・コードは、格納装置および VPD ロケーション用です。 U*n* = U*tttt.mmm.sssssss* *tttt* = システムのマシン・タイプ *mmm* = システムの型式番号 *sssssss* = システムのシリアル番号		
DIMM 1	U*n*-P1-C1	はい
DIMM 2	U*n*-P1-C2	はい
DIMM 3	U*n*-P1-C3	はい
DIMM 4	U*n*-P1-C4	はい

表 12. IBM Flex System p460 コンピュート・ノード のロケーション・コード (続き)

コンポーネント	物理ロケーション・コード	CRU LED
DIMM 5	U*n*-P1-C5	はい
DIMM 6	U*n*-P1-C6	はい
DIMM 7	U*n*-P1-C7	はい
DIMM 8	U*n*-P1-C8	はい
DIMM 9	U*n*-P1-C9	はい
DIMM 10	U*n*-P1-C10	はい
DIMM 11	U*n*-P1-C11	はい
DIMM 12	U*n*-P1-C12	はい
DIMM 13	U*n*-P1-C13	はい
DIMM 14	U*n*-P1-C14	はい
DIMM 15	U*n*-P1-C15	はい
DIMM 16	U*n*-P1-C16	はい
DIMM 17	U*n*-P1-C17	はい
DIMM 18	U*n*-P1-C18	はい
DIMM 19	U*n*-P1-C19	はい
DIMM 20	U*n*-P1-C20	はい
DIMM 21	U*n*-P1-C21	はい
DIMM 22	U*n*-P1-C22	はい
DIMM 23	U*n*-P1-C23	はい
DIMM 24	U*n*-P1-C24	はい
DIMM 25	U*n*-P1-C25	はい
DIMM 26	U*n*-P1-C26	はい
DIMM 27	U*n*-P1-C27	はい
DIMM 28	U*n*-P1-C28	はい
DIMM 29	U*n*-P1-C29	はい
DIMM 30	U*n*-P1-C30	はい
DIMM 31	U*n*-P1-C31	はい
DIMM 32	U*n*-P1-C32	はい
ソリッド・ステート・ドライブ変換コネクター (カバーに内蔵)	U*n*-P1-C33	はい
SATA ソリッド・ステート・ドライブ 1	U*n*-P1-C33-D1	はい
SATA ソリッド・ステート・ドライブ 2	U*n*-P1-C33-D2	はい
ネットワーク・アダプター 1	U*n*-P1-C34	はい
ネットワーク・アダプター 2	U*n*-P1-C35	はい
ネットワーク・アダプター 3	U*n*-P1-C36	はい
ネットワーク・アダプター 4	U*n*-P1-C37	はい
管理カード	U*n*-P1-C38	はい
2.5 型 SAS ディスク・ドライブ 1	U*n*-P1-D1	はい

表 12. IBM Flex System p460 コンピュート・ノード のロケーション・コード (続き)

コンポーネント	物理ロケーション・コード	CRU LED
2.5 型 SAS ディスク・ドライブ 2	U*n*-P1-D2	はい
バッテリー	U*n*-P1-E1	はい
USB ポート 1 (フロント・パネル)	U*n*-P1-T1	いいえ
内蔵 SAS コントローラー	U*n*-P1-T2	いいえ
マシン・ロケーション・コード	U*tttt.mmm.sssssss*	いいえ
U*m* コードはファームウェア用です。 形式は、U*n* ロケーション・コードの場合と同じです。 U*m* = U*tttt.mmm.sssssss*		
ファームウェア・バージョン	U*m*-Y1	

表 13. IBM Flex System p460 コンピュート・ノードでの IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ I/O ベイへのネットワーク・アダプターのマッピング

ポートのロケーション・コード	IBM Flex System 2 ポート QDR InfiniBand アダプター	IBM Flex System 2 ポート 10 Gb RoCE アダプター	IBM Flex System 2 ポート 8 Gb および 2 ポート 16 Gb ファイバー・チャネル・アダプター	IBM Flex System 4 ポート 16 Gb ファイバー・チャネル・アダプター	IBM Flex System 4 ポート 1 Gb イーサネット・アダプターおよび 4 ポート 10 Gb イーサネット・アダプター	IBM Flex System 8 ポート 10 Gb コンバージド・アダプター
U*n*-P1-C34-L1-T1					シャーシ I/O ベイ 1	シャーシ I/O ベイ 1
U*n*-P1-C34-L1-T2					シャーシ I/O ベイ 2	シャーシ I/O ベイ 2
U*n*-P1-C34-L1-T3						シャーシ I/O ベイ 1
U*n*-P1-C34-L1-T4						シャーシ I/O ベイ 2
U*n*-P1-C34-L2-T1					シャーシ I/O ベイ 1	シャーシ I/O ベイ 1
U*n*-P1-C34-L2-T2					シャーシ I/O ベイ 2	シャーシ I/O ベイ 2
U*n*-P1-C34-L2-T3*						シャーシ I/O ベイ 1
U*n*-P1-C34-L2-T4*						シャーシ I/O ベイ 2
U*n*-P1-C35-L1-T1	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3
U*n*-P1-C35-L1-T2			シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4
U*n*-P1-C35-L1-T3						シャーシ I/O ベイ 3

表 13. *IBM Flex System p460* コンピュート・ノードでの *IBM Flex System* エンタープライズ・シャーシ *I/O* ベイへのネットワーク・アダプターのマッピング *(続き)*

ポートのロケーション・コード	IBM Flex System 2 ポート QDR InfiniBand アダプター	IBM Flex System 2 ポート 10 Gb RoCE アダプター	IBM Flex System 2 ポート 8 Gb および 2 ポート 16 Gb ファイバー・チャネル・アダプター	IBM Flex System 4 ポート 16 Gb ファイバー・チャネル・アダプター	IBM Flex System 4 ポート 1 Gb イーサネット・アダプターおよび 4 ポート 10 Gb イーサネット・アダプター	IBM Flex System 8 ポート 10 Gb コンバージド・アダプター
U*n*-P1-C35-L1-T4						シャーシ I/O ベイ 4
U*n*-P1-C35-L2-T1	シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4		シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3
U*n*-P1-C35-L2-T2				シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4
U*n*-P1-C35-L2-T3*						シャーシ I/O ベイ 3
U*n*-P1-C35-L2-T4*						シャーシ I/O ベイ 4
U*n*-P1-C36-L1-T1		シャーシ I/O ベイ 3			シャーシ I/O ベイ 1	シャーシ I/O ベイ 1
U*n*-P1-C36-L1-T2					シャーシ I/O ベイ 2	シャーシ I/O ベイ 2
U*n*-P1-C36-L1-T3						シャーシ I/O ベイ 1
U*n*-P1-C36-L1-T4						シャーシ I/O ベイ 2
U*n*-P1-C36-L2-T1		シャーシ I/O ベイ 4			シャーシ I/O ベイ 1	シャーシ I/O ベイ 1
U*n*-P1-C36-L2-T2					シャーシ I/O ベイ 2	シャーシ I/O ベイ 2
U*n*-P1-C36-L2-T3*						シャーシ I/O ベイ 1
U*n*-P1-C36-L2-T4*						シャーシ I/O ベイ 2
U*n*-P1-C37-L1-T1	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3
U*n*-P1-C37-L1-T2			シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4
U*n*-P1-C37-L1-T3						シャーシ I/O ベイ 3
U*n*-P1-C37-L1-T4						シャーシ I/O ベイ 4
U*n*-P1-C37-L2-T1	シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4		シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3	シャーシ I/O ベイ 3

表 13. IBM Flex System p460 コンピュート・ノードでの IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ I/O ベイへのネットワーク・アダプターのマッピング (続き)

ポートのロケーション・コード	IBM Flex System 2 ポート QDR InfiniBand アダプター	IBM Flex System 2 ポート 10 Gb RoCE アダプター	IBM Flex System 2 ポート 8 Gb および 2 ポート 16 Gb ファイバー・チャネル・アダプター	IBM Flex System 4 ポート 16 Gb ファイバー・チャネル・アダプター	IBM Flex System 4 ポート 1 Gb イーサネット・アダプターおよび 4 ポート 10 Gb イーサネット・アダプター	IBM Flex System 8 ポート 10 Gb コンバージド・アダプター
U*n*-P1-C37-L2-T2				シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4	シャーシ I/O ベイ 4
U*n*-P1-C37-L2-T3*						シャーシ I/O ベイ 3
U*n*-P1-C37-L2-T4*						シャーシ I/O ベイ 4
ポート・マッピングについて詳しくは、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.8721.doc/configuring_io_modules.htmlを参照してください。						

* ポート L2-T3 および L2-T4 には、56 個の内部ポートの機能を備えたスイッチが必要です。

参照コード

参照コードは、ハードウェアまたはオペレーティング・システムの問題の原因を判別する上で役立つ診断援助機能です。 参照コードを有効に使用するために、他の保守およびサポート手順と併せて使用してください。

IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノード は、複数のタイプのコードを発行します。

進行コード: パワーオン・セルフテスト (POST) では、*チェックポイント* または*進行コード* と呼ばれる 8 桁の状況コードが生成されます。このコードは、マネージメント・モジュール・イベント・ログに記録されます。 チェックポイントは、どのコンピュート・ノード・リソースが初期化中であるかを示します。

エラー・コード: First Failure Data Capture (FFDC) エラー・チェッカーが障害データを収集し、そのデータをサービス・プロセッサーが分析します。 リカバリー不能エラー (UE) の場合、保守しきい値に適合またはそれを超えるリカバリー可能イベントの場合、および致命的システム・エラーの場合、リカバリー不能チェック停止保守イベントはサービス・プロセッサーを起動してエラーを分析し、システム参照コード (SRC) を記録して、システム・アテンション LED をオンにします。

サービス・プロセッサーは、9 ワードから成り、1 ワードあたり 8 桁のエラー・コードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ マネージメント・モジュール・イベント・ログに記録します。 エラー・コードは、*システム参照コード (SRC)* または*サービス要求番号 (SRN)* のどちらかです。 ロケーション・コードも含まれることがあります。

分離手順: 障害分析で最終的な原因が判別できなかった場合、サービス・プロセッサーが、障害が発生しているコンポーネントの切り分けに使用できる障害分離手順を示すことがあります。

コードの表示

IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノード は、リモート・コンソールにチェックポイントまたはエラー・コードを表示しません。

POST で問題が検出された場合、9 ワードから成る、8 桁のエラー・コードが IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ・マネージメント・モジュール・イベント・ログに記録されます。 コンポーネントを特定するロケーション・コードも含まれることがあります。 マネージメント・モジュールのイベント・ログの表示については、 500 ページの『エラー・ログ』を参照してください。

サービス要求番号は、AIX 診断 CD か、または AIX 診断プログラムや Linux の保守援助機能『diagela』 (インストールされている場合) などの各種オペレーティング・システム・ユーティリティーを使用して表示できます。

システム参照コード (SRC)

システム参照コードは、ハードウェア、ファームウェア、またはオペレーティング・システムで発生した可能性のあるサーバー・ハードウェアまたはソフトウェアの問題を示しています。

コンピュート・ノード・コンポーネントは、問題を検出するとエラー・コードを生成します。 SRC は、このエラー・コードを生成したコンポーネントを識別し、エラーについて説明します。 SRC 情報を使用して、障害の可能性があるアイテムのリストを識別し、追加の分離手順に関する情報を見つけます。

次の表は、IBM シャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) に表示される 9 ワードの B700xxxx システム参照コード (SRC) の構文を示しています。イベントに関する追加情報は、メッセージ・フィールドの「**more...**」をクリックして表示することができます。

この例の SRC の最初のワードは、B7001111 で、メッセージ ID です。 この例では、最初のワードの後の各ワードを数字で表し、相対的なワード位置を示しています。 7 番目のワードが直接選択アドレスで、この例では **77777777** となっています。

表 14. CMM イベント・ログの 9 ワードの SRC

重大度	発行元	日付	メッセージ	イベントの追加情報
Critical (クリティカル)	Blade _05	Jan 21, 2012 07:15 AM	Node SN#xxxxxxxxxxx message: (System event) system hardware failure. more...	Firmware. Replace UNKNOWN (5008FECF **B7001111** 22222222 33333333 44444444 55555555 66666666 **77777777** 88888888 99999999)

オペレーティング・システムとインストール済みのユーティリティーによっては、エラー・メッセージはオペレーティング・システムのログにも保管されます。 詳しくは、オペレーティング・システムに付属の資料を参照してください。

ASMI を使用して、エラーおよびイベント・ログを表示します。 IBM Power Systems Hardware インフォメーション・センターのエラーおよびイベント・ログの表示を参照してください。

SRC の形式

SRC は、6 文字または 8 文字の英数字のストリングです。 最初の 2 文字は、参照コード・タイプを指定します。

先頭文字は、エラーのタイプを示します。

- 1*xxyyyy* - システム電源制御ネットワーク (SPCN) エラー
- 6*xxyyyy* - 仮想光ディスク装置エラー
- A1*xxyyyy* - 要注意 (サービス・プロセッサー)
- A2*xxyyyy* - 要注意 (論理区画)
- A6*xxyyyy* - 要注意 (ライセンス内部コードまたはハードウェア・イベント)
- A7*xxyyyy* - 要注意 (ライセンス内部コード)
- AA*xxyyyy* - 要注意 (パーティション・ファームウェア)
- B1*xxyyyy* - サービス・プロセッサー・エラー (例えば、ブート問題)
- B2*xxyyyy* - 論理区画エラー
- B6*xxyyyy* - ライセンス内部コードまたはハードウェア・イベントのエラー
- B7*xxyyyy* - ライセンス内部コードのエラー
- BA*xxyyyy* - パーティション・ファームウェア・エラー
- C*xxyyyy* - チェックポイント (ハングしてエラーを示しているはずです)
- D*xxyyyy* - ダンプ・チェックポイント (ハングしてエラーを示しているはずです)

この IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノード資料に記載されていない SRC の説明を見つけるには、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systems/scope/hw/index.jsp?topic=/ipha8/codefinder.htm の「POWER7 参照コード検索」ページを参照してください。

1xxxyyyy SRC:

1xxxyyyy システム参照コードは、システム電源制御ネットワーク (SPCN) 参照コードです。

以下のリストからシステム参照コードを見つけます。問題が解決するまで、推奨アクションをリストされている順に実行してください。 1 つのアクションで問題が解決した場合は、残りのアクションの実行を停止することができます。 どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。

110000AC 110000AC

説明: 110000AC SRC は、コンピュート・ノードで AC 電源が失われたことを示しています。この手順は、この手順に進む原因となった電力損失状態の原因を判別する上で役立ちます。電力損失を示していたシステムまたは拡張ユニットが正常に始動する場合、または AC 電源障害の発生後も電源オン状態のままである場合、部品交換の必要はない可能性があります。この状態の原因として、以下の 3 つのシナリオが考えられます。 1. コンピュート・ノードが電源オンのまま切断された場合、この SRC が生成されます。チェック・ログ・インディケーターがオンのままである場合、管理コンソールからオフにすることができます (使用可能な場合)。 2. シャーシの電力が失われました。この状況の原因として、ブラウンアウトまたは PDU の障害が考えられます。 SRC はコンピュート・ノードによって生成されますが、問題はコンピュート・ノードのローカル側で起こっているのではありません。コンピュート・ノード・ハードウェアを交換する必要はありません。 3. コンピュート・ノードのスロットのみで電力が失われましたが、シャーシ内の他のコンピュート・ノードで電源は引き続きオンになっています。この場合は、実際のハードウェア障害が考えられます。コンピュート・ノードのその他の電源関連 (1100xxxx) SRC によって、問題がさらに診断され、切り分けられることが予期されます。

応答: アクションは不要です。

110000AD 110000AD

説明: 通知メッセージ。サービス・プロセッサーのリセットにより、サーバーの電源がオフになりました。

応答: アクションは不要です。

11001F02 11001F02

説明: 通知メッセージ。トレース・ログが 1K のデータに達しました。

応答: アクションは不要です。

11001F03 11001F03

説明: 通知メッセージ: ロケーション・コードの TMS が無効です。

応答: アクションは不要です。

11002600 11002600

説明: Power Good (pGood) マスター障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11002610 11002610

説明: pGood 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11002620 11002620

説明: 12V dc pGood 入力障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11002622 11002622

説明: Expansion_Comp_pGood 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11002629 11002629

説明: 1.5V reg_pgood 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

1100262B 1100262B

説明: 1.8V reg_pgood 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

1100262C 1100262C

説明: 5V reg_pgood 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

1100262D 1100262D

説明: 3.3V reg_pgood 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

1100262E 1100262E

説明: 2.5V reg_pgood 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

1100262F 1100262F

説明: サーバーの 1.0V 電源障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11002630 11002630

説明: VRM CP0 コア pGood 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11002632 11002632

説明: VRM CP0 キャッシュ pGood 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11002640 11002640

説明: VRM CP1 コア pGood 障害

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11002642 11002642

説明: VRM CP1 アレイ pGood 障害

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11002647 11002647

説明: 12V ショートが検出されました。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11002648 11002648

説明: サーバー電源ラッチ障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11002649 11002649

説明: サーバー電源障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

1100265A 1100265A

説明: 1.2VA pGood 障害

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11002671 11002671

説明: サーバーの 12V 電源障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11002672 11002672

説明: CFFh 拡張カード電圧アラート。

応答: 以下のステップに従って、DTRCARD Symbolic CRU 分離手順を実行します。

1. PCIe 拡張カードを装着し直します。
2. 問題が解決しない場合は、拡張カードを交換します。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
4. 問題が解決しない場合は、拡張カードが差し込まれているシステム・ボードを交換してください。

DTRCARD Symbolic CRU 分離手順は、サービス・プロセッサーの問題に記載されています。

11002673 11002673

説明: サーバー内のシステム・ボードのいずれかで、スタンバイ電源障害が発生しました。

応答:

1. マネージメント・モジュールのイベント・ログをチェックし、シャーシ・ユニットの電源問題を示す項目がないかを確認します。
2. 問題があれば、解決します。
3. サーバーをシャーシから取り外した後、再挿入します。
4. サーバーの電源をオンにします。
5. サーバーの動作をモニターして、問題が解決されたか確認します。
6. シャーシ・ユニットが正常に機能しているが、問題が解決しない場合は、SRC と一緒に報告されたロケーション・コードで指定されたシステム・ボードを交換します。

11002674 11002674

説明: スタンバイでの拡張サーバー pGood 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. 拡張ユニットの取り外しに説明されているとおりに、拡張システム・ボード (Un-P2) アセンブリーを交換します。

11002675 11002675

説明: 1.1 Reg_CPU0_P5IO2C_Vio_pGood 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11002676 11002676

説明: VTTA/B pGood 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11002678 11002678

説明: PROC_Vmem_controller_pGood 1.0V 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11002679 11002679

説明: Vmem_controller_pGood 1.5V reg 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

1100267A 1100267A

説明: CFFh 拡張カード A0_pGood 障害。

応答: 以下のステップに従って、DTRCARD Symbolic CRU 分離手順を実行します。

1. PCIe 拡張カードを装着し直します。
2. 問題が解決しない場合は、拡張カードを交換します。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
4. 拡張カードが差し込まれているシステム・ボードを交換してください。

DTRCARD Symbolic CRU 分離手順は、サービス・プロセッサーの問題に記載されています。

1100267B 1100267B

説明: CFFh 拡張カード B0_pGood 障害。

応答: 以下のステップに従って、DTRCARD Symbolic CRU 分離手順を実行します。

1. PCIe 拡張カードを装着し直します。
2. 問題が解決しない場合は、拡張カードを交換します。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
4. 拡張カードが差し込まれているシステム・ボードを交換してください。

DTRCARD Symbolic CRU 分離手順は、サービス・プロセッサーの問題に記載されています。

1100267C 1100267C

説明: REG_P5IO2C_core 1.2V pGood 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

1100267D 1100267D

説明: 2.0_PLL_pGood 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

1100269C 1100269C

説明: 1.2V A pGood 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

1100269D 1100269D

説明: 1.2V B pGood 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

110026DA 110026DA

説明: 拡張システム・ボード上での pGood 障害。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. 以下を実行します。
   a. 拡張ユニットの取り外しに説明されているとおりに、拡張システム・ボード・アセンブリーを交換します。

11002900 11002900

説明: サーバー・ボード上の SSD ドライブまたは SSD 変換コネクター・カード 3.3V pGood 障害。

応答:

1. シングル・サーバー上で、障害が検出されなくなるまで、一度に 1 つずつ以下を交換します。
   a. SSD 変換コネクター・カード
   b. 最初の SSD ドライブ
   c. 2 番目の SSD ドライブ
2. ダブル・サーバー上で、障害が検出されなくなるまで、一度に 1 つずつ以下を交換します。
   a. 拡張プレーナー上の SSD 変換コネクター・カード
   b. 拡張プレーナー上の最初の SSD ドライブ
   c. 拡張プレーナー上の 2 番目の SSD ドライブ

11002901 11002901

説明: 基本システム・ボード上の SSD 変換コネクター・カード pGood 障害。

応答:

1. 基本システム・ボード上の変換コネクター・カードを交換します。

11002902 11002902

説明: 基本システム・ボード上の SSD ドライブのパワーオン・セルフテストの失敗。

応答: 以下のいずれかを行います。

- 基本システム・ボード上の最初の SSD ドライブを交換します。
- 基本システム・ボード上の 2 番目の SSD ドライブを交換します。

11002910 11002910

説明: 拡張システム・ボード上の SSD ドライブまたは SSD 変換コネクター・カード 3.3V pGood 障害。

応答:

1. 障害が検出されなくなるまで、一度に 1 つずつ以下を交換します。
   a. 拡張システム・ボード上の SSD 変換コネクター・カード
   b. 拡張システム・ボード上の最初の SSD ドライブ
   c. 拡張システム・ボード上の 2 番目の SSD ドライブ

11002911 11002911

説明: 拡張システム・ボード上の SSD 変換コネクター・カード pGood の障害

応答:

1. 拡張システム・ボード上の変換コネクター・カードを交換します。

11002912 11002912

説明: SSD ドライブのパワーオン・セルフテストの失敗。

応答: 以下のいずれかを行います。

- 拡張システム・ボード上の最初の SSD ドライブを交換します。
- 拡張システム・ボード上の 2 番目の SSD ドライブを交換します。

11003118 11003118

説明: 温度センサーの読み取りエラー。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. IBM Flex System p260 または p24L コンピュート・ノードの場合は、Light Path 診断パネルを交換してください。IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの場合は、SRC のワード 3 を調べてください。ワード 3 が 00003100 である場合は、最初のベイ内にある温度センサーが障害を起こしています。Light Path 診断パネルを交換してください。ワード 3 が 00003101 である場合は、2 番目のベイ内にある温度センターが障害を起こしています。コンピュート・ノードの 2 番目のベイ内にある温度センサーを交換してください。 その他すべてのサーバーの場合は、システム・ボードを交換してください。システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11003134 11003134

説明: ハードウェア・モニター・チップの障害。

応答: 以下のステップに従って、DTRCARD Symbolic CRU 分離手順を実行します。

1. PCIe 拡張カードを装着し直します。
2. 問題が解決しない場合は、拡張カードを交換します。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
4. PCI カードが差し込まれているシステム・ボードを交換してください。

DTRCARD Symbolic CRU 分離手順は、サービス・プロセッサーの問題に記載されています。

11008400 11008400

説明: 無効な構成デコード。

応答:

1. サーバー・ファームウェア更新がないか調べます。
2. 使用可能な更新があれば適用します。
3. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、ベース・システム・ボードを交換します。

11008402 11008402

説明: 集線装置から VPD を取得できません。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、ベース・システム・ボードを交換します。

11008413 11008413

説明: 無効なプロセッサー 1 VPD。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11008414 11008414

説明: 無効なプロセッサー 2 VPD。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

11008423 11008423

説明: プロセッサー VPD が見つかりません。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、ベース・システム・ボードを交換します。

11008447 11008447

説明: システム・ボード上の SSD 変換コネクター・カード pGood の障害

応答:

1. エラー・ログ項目のロケーション・コードによって指定された変換コネクター・カードを交換します。

11008480 11008480

説明: メモリー・コントローラーの不良あるいは欠落。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードを交換します。 システム・ボードが複数ある場合は、SRC 内のロケーション・コードを使用して、交換するシステム・ボードを特定します。

110084A0 110084A0

説明: バックプレーン VPD が見つかりません。

応答:

1. サーバー・ファームウェア更新がないか調べます。
2. 使用可能な更新があれば適用します。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
4. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、ベース・システム・ボードを交換します。

6xxxyyyy SRC:

6xxxyyyy システム参照コードは、仮想光ディスクの参照コードです。

以下のリストからシステム参照コードを見つけます。問題が解決するまで、推奨アクションをリストされている順に実行してください。 1 つのアクションで問題が解決した場合は、残りのアクションの実行を停止することができます。 どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。

632BCFC1 632BCFC1

説明: 仮想光ディスク装置が、ボリュームのリストが含まれているファイルにアクセスできません。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別: このパーティションおよびネットワーク・ファイル・システム・サーバーで、適切なファイルが指定されていること、および適切な権限が認可されていることを確認します。

632BCFC2 632BCFC2

説明: 仮想光ディスク装置のエラーです。 ボリュームのリストを読み取り中に、リカバリー不能エラーが検出されました。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別: ネットワーク・ファイル・システム・サーバーのエラーを解決します。

632BCFC3 632BCFC3

説明: 仮想光ディスク装置のエラーです。 ボリュームのリスト内のデータが無効です。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別: ネットワーク・ファイル・システム・サーバーで、適切なファイルが指定されていること、すべてのファイルが正しく入力されていること、ブランク行がないこと、および使用される文字セットが有効であることを確認します。

632BCFC4 632BCFC4

説明: 仮想光ディスク装置が、指定の光学式ボリュームが含まれているファイルにアクセスできません。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別: ネットワーク・ファイル・システム・サーバーで、ボリュームのリストで適切なファイルが指定されていること、および適切な権限が認可されていることを確認します。

632BCFC5 632BCFC5

説明: 仮想光ディスク・ボリュームを読み取り中に、リカバリー不能エラーが検出されました。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別: ネットワーク・ファイル・システム・サーバーのエラーを解決します。

632BCFC6 632BCFC6

説明: 仮想光ディスク装置のエラーです。 指定のファイルに、仮想光ディスク・ボリュームとして処理できるデータが含まれていません。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別: ネットワーク・ファイル・システム・サーバーで、光ディスク・ボリュームのリストに指定されたすべてのファイルが正しいことを確認します。

632BCFC7 632BCFC7

説明: 仮想光ディスク装置が、ネットワーク・ファイル・システム・サーバーによって報告された、リカバリー不能なエラーを検出しました。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別: ネットワーク・ファイル・システム・サーバーのエラーを解決します。

632BCFC8 632BCFC8

説明: 仮想光ディスク装置が、リカバリー不能エラーを検出しました。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: あり

問題判別: 使用可能なオペレーティング・システム更新があればインストールします。

632CC000 632CC000

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

応答: 修正アクションは不要です。

632CC002 632CC002

説明: 仮想光ディスク装置のエラーです。 自己構成 SCSI 装置 (SCSD) 選択または再選択タイムアウトが発生しました。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別: ホスティング・パーティションを参照して、問題を分析してください。

632CC010 632CC010

説明: 仮想光ディスク装置のエラーです。 装置から、未定義センス・キーが返されました。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別: ホスティング・パーティションを参照して、問題を分析してください。

632CC020 632CC020

説明: 仮想光ディスク装置のエラーです。 構成エラーです。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別: ホスティング・パーティションを参照して、問題を分析してください。

632CC100 632CC100

説明: 仮想光ディスク装置のエラーです。 自己構成 SCSI 装置 (SCSD) のバス・エラーが発生しました。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別: ホスティング・パーティションを参照して、問題を分析してください。

632CC110 632CC110

説明: 仮想光ディスク装置のエラーです。 自己構成 SCSI 装置 (SCSD) のコマンド・タイムアウトが発生しました。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別: ホスティング・パーティションを参照して、問題を分析してください。

632CC210 632CC210

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: なし

応答: 修正アクションは不要です。

632CC300 632CC300

説明: 仮想光ディスク装置のエラーです。 メディア・エラーまたはデバイス・エラーが発生しました。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別: ホスティング・パーティションを参照して、問題を分析してください。

632CC301 632CC301

説明: 仮想光ディスク装置のエラーです。 メディア・エラーまたはデバイス・エラーが発生しました。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別: ホスティング・パーティションを参照して、問題を分析してください。

632CC302 632CC302

説明: 仮想光ディスク装置のエラーです。 メディア・エラーまたはデバイス・エラーが発生しました。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別: ホスティング・パーティションを参照して、問題を分析してください。

632CC303 632CC303

説明: 仮想光ディスク装置のメディアのフォーマットが不明です。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

応答: 修正アクションは不要です。 問題が解決しない場合は、ホスティング・パーティションを参照して、問題を分析してください。

632CC333 632CC333

説明: 仮想光ディスク装置のエラーです。 非互換メディア。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別:

1. ディスクのフォーマットがサポートされているものであることを確認します。
2. フォーマットがサポートされているものである場合は、ディスクをクリーニングして、障害が発生した操作を再試行します。
3. 操作が再度同じシステム参照コードで失敗した場合は、メディアの供給元に連絡して交換用のディスクを依頼します。

632CC400 632CC400

説明: 仮想光ディスク装置のエラーです。 装置が、物理リンク・エラーを検出しました。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別: ホスティング・パーティションを参照して、問題を分析してください。

632CC402 632CC402

説明: 仮想光ディスク装置のドライバー・エラー。内部プログラム・エラーが発生しました。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: あり

問題判別: 使用可能なオペレーティング・システム更新があればインストールします。

632CCFF2 632CCFF2

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

応答: 修正アクションは不要です。

632CCFF4 632CCFF4

説明: 内部デバイス・エラーが発生しました。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

問題判別: ホスティング・パーティションを参照して、問題を分析してください。

632CCFF6 632CCFF6

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

応答: 修正アクションは不要です。

632CCFF7 632CCFF7

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

応答: 修正アクションは不要です。

632CCFFE 632CCFFE

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

応答: 修正アクションは不要です。

632CFF3D 632CFF3D

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

応答: 修正アクションは不要です。

632CFF6D 632CFF6D

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

保守アクション/保守可能イベント: なし

自動的なコール・ホーム: なし

応答: 修正アクションは不要です。

A1xxyyyy サービス・プロセッサー SRC:

A1xxyyyy システム参照コード (SRC) は、プラットフォームまたはサービス・プロセッサー・ダンプに関する情報を提供したり、コントロール・パネル機能要求を確認するアテンション・コードです。アテンション・コードについて記載されているアクションを行う必要があるのは、ハング状態になった場合のみです。

A1XXYYYY • A2XXYYYY

システムがアテンション・コードでハングした場合は、問題が解決するまで、推奨アクションをリストされている順に実行してください。 1 つのアクションで問題が解決した場合は、残りのアクションの実行を停止することができます。 どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。

A1XXYYYY A1XXYYYY

説明: アテンション・コード

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

A2xxyyyy 論理区画 SRC:

A2xxyyyy SRC は、論理区画化に関連した論理区画参照コードです。

A2D03000 A2D03000

説明: ユーザーが開始した即時終了およびパーティションの MSD。

応答: 修正アクションは不要です。

A2D03001 A2D03001

説明: ユーザーが開始した RPA パーティションの PFW コンテンツの RSCDUMP。

応答: 修正アクションは不要です。

A2D03002 A2D03002

説明: ユーザーが開始した IBM i パーティションの SLIC ブート・ローダーおよび PFW コンテンツの RSCDUMP。

応答: 修正アクションは不要です。

A2XXYYYY A2XXYYYY

説明: 同じ yyyy 値を持つ B200yyyy エラー・コードの説明を参照してください。

応答: 同じ yyyy 値を持つ B200yyyy エラー・コードに記載されているアクションを実行します。

A6xxyyyy ライセンス内部コードまたはハードウェア・イベント SRC:

A6xxyyyy システム参照コード (SRC) は、ライセンス内部コードまたはハードウェアに関連するエラー・コードまたはイベント・コードです。

A6000255 A6000255

説明: SRC に示されているデバイスとの通信が途絶えました。 オペレーティング・システムは、クリティカル・リソースの入出力機能が復帰するのを待機するために一時停止しました。 入出力機能が復帰したら、この SRC はパネルに表示されなくなり、O/S は引き続き稼働します。 この問題は、入出力リソースかホストへの接続が中断または切断されたか、ホストでの入出力に問題がある場合に発生します。

O/S は、この状態では通知またはコール・ホームはできません。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: 管理コンソールから条件付きで行われます。

- この LPAR が管理コンソールから定義されており、異常終了やハングをコール・ホームするオプションが指定されている場合、管理コンソールはこの問題をコール・ホームします。
- それ以外の場合、この問題はコール・ホームされません。

問題判別: LPAR の電源をオフにしないでください。 I/O ホストに問題があるか確認し、ある場合はそれを修復してください。

A6000266 A6000266

説明: SRC に示されているデバイスとの通信が途絶えました。 オペレーティング・システムは、クリティカル・リソースの入出力機能が復帰するのを待機するために一時停止しました。 入出力機能が復帰したら、この SRC はパネルに表示されなくなり、O/S は引き続き稼働します。 この問題は、入出力リソースかホストへの接続が中断または切断されたか、ホストでの入出力に問題がある場合に発生します。

O/S は、この状態では通知またはコール・ホームはできません。

O/S がこの状態になっている間、この SRC は、パネルの 3 桁目と 4 桁目「XX」(A6XX0266 または B6XX0266) に定期的に最新表示され続けます。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: 管理コンソールから条件付きで行われます。

- この LPAR が管理コンソールから定義されており、異常終了やハングをコール・ホームするオプションが指定されている場合、管理コンソールはこの問題をコール・ホームします。
- それ以外の場合、この問題はコール・ホームされません。

問題判別: LPAR の電源をオフにしないでください。 I/O ホストに問題があるか確認し、ある場合はそれを修復してください。

A6xx0255 A6xx0255

説明: SRC に示されているデバイスとの通信が途絶えました。 オペレーティング・システムは、クリティカル・リソースの入出力機能が復帰するのを待機するために一時停止しました。 入出力機能が復帰したら、この SRC はパネルに表示されなくなり、O/S は引き続き稼働します。 この問題は、入出力リソースかホストへの接続が中断または切断されたか、ホストでの入出力に問題がある場合に発生します。

O/S は、この状態では通知またはコール・ホームはできません。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: 管理コンソールから条件付きで行われます。

- この LPAR が管理コンソールから定義されており、異常終了やハングをコール・ホームするオプションが指定されている場合、管理コンソールはこの問題をコール・ホームします。
- それ以外の場合、この問題はコール・ホームされません。

問題判別: LPAR の電源をオフにしないでください。 I/O ホストに問題があるか確認し、ある場合はそれを修復してください。

A6xx0266 A6xx0266

説明: SRC に示されているデバイスとの通信が途絶えました。 オペレーティング・システムは、クリティカル・リソースの入出力機能が復帰するのを待機するために一時停止しました。 入出力機能が復帰したら、この SRC はパネルに表示されなくなり、O/S は引き続き稼働します。 この問題は、入出力リソースかホストへの接続が中断または切断されたか、ホストでの入出力に問題がある場合に発生します。

O/S は、この状態では通知またはコール・ホームはできません。

O/S がこの状態になっている間、この SRC は、パネルの 3 桁目と 4 桁目「XX」(A6XX0266 または B6XX0266) に定期的に最新表示され続けます。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: 管理コンソールから条件付きで行われます。

- この LPAR が管理コンソールから定義されており、異常終了やハングをコール・ホームするオプションが指定されている場合、管理コンソールはこの問題をコール・ホームします。
- それ以外の場合、この問題はコール・ホームされません。

問題判別: LPAR の電源をオフにしないでください。 I/O ホストに問題があるか確認し、ある場合はそれを修復してください。

B6000255 B6000255

説明: SRC に示されているデバイスとの通信が途絶えました。 オペレーティング・システムは、クリティカル・リソースの入出力機能が復帰するのを待機するために一時停止しました。 入出力機能が復帰したら、この SRC はパネルに表示されなくなり、O/S は引き続き稼働します。 この問題は、入出力リソースかホストへの接続が中断または切断されたか、ホストでの入出力に問題がある場合に発生します。

O/S は、この状態では通知またはコール・ホームはできません。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: 管理コンソールから条件付きで行われます。

- この LPAR が管理コンソールから定義されており、異常終了やハングをコール・ホームするオプションが指定されている場合、管理コンソールはこの問題をコール・ホームします。
- それ以外の場合、この問題はコール・ホームされません。

問題判別: LPAR の電源をオフにしないでください。 I/O ホストに問題があるか確認し、ある場合はそれを修復してください。

B6000266 B6000266

説明: SRC に示されているデバイスとの通信が途絶えました。 オペレーティング・システムは、クリティカル・リソースの入出力機能が復帰するのを待機するために一時停止しました。 入出力機能が復帰したら、この SRC はパネルに表示されなくなり、O/S は引き続き稼働します。 この問題は、入出力リソースかホストへの接続が中断または切断されたか、ホストでの入出力に問題がある場合に発生します。

O/S は、この状態では通知またはコール・ホームはできません。

O/S がこの状態になっている間、この SRC は、パネルの 3 桁目と 4 桁目「XX」(A6XX0266 または B6XX0266) に定期的に最新表示され続けます。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: 管理コンソールから条件付きで行われます。

- この LPAR が管理コンソールから定義されており、異常終了やハングをコール・ホームするオプションが指定されている場合、管理コンソールはこの問題をコール・ホームします。
- それ以外の場合、この問題はコール・ホームされません。

問題判別: LPAR の電源をオフにしないでください。 I/O ホストに問題があるか確認し、ある場合はそれを修復してください。

B6xx0255 B6xx0255

説明: SRC に示されているデバイスとの通信が途絶えました。 オペレーティング・システムは、クリティカル・リソースの入出力機能が復帰するのを待機するために一時停止しました。 入出力機能が復帰したら、この SRC はパネルに表示されなくなり、O/S は引き続き稼働します。 この問題は、入出力リソースかホストへの接続が中断または切断されたか、ホストでの入出力に問題がある場合に発生します。

O/S は、この状態では通知またはコール・ホームはできません。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: 管理コンソールから条件付きで行われます。

- この LPAR が管理コンソールから定義されており、異常終了やハングをコール・ホームするオプションが指定されている場合、管理コンソールはこの問題をコール・ホームします。
- それ以外の場合、この問題はコール・ホームされません。

問題判別: LPAR の電源をオフにしないでください。 I/O ホストに問題があるか確認し、ある場合はそれを修復してください。

B6xx0266 B6xx0266

説明: SRC に示されているデバイスとの通信が途絶えました。 オペレーティング・システムは、クリティカル・リソースの入出力機能が復帰するのを待機するために一時停止しました。 入出力機能が復帰したら、この SRC はパネルに表示されなくなり、O/S は引き続き稼働します。 この問題は、入出力リソースかホストへの接続が中断または切断されたか、ホストでの入出力に問題がある場合に発生します。

O/S は、この状態では通知またはコール・ホームはできません。

O/S がこの状態になっている間、この SRC は、パネルの 3 桁目と 4 桁目「XX」(A6XX0266 または B6XX0266) に定期的に最新表示され続けます。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: 管理コンソールから条件付きで行われます。

- この LPAR が管理コンソールから定義されており、異常終了やハングをコール・ホームするオプションが指定されている場合、管理コンソールはこの問題をコール・ホームします。
- それ以外の場合、この問題はコール・ホームされません。

問題判別: LPAR の電源をオフにしないでください。 I/O ホストに問題があるか確認し、ある場合はそれを修復してください。

A7xxyyyy ライセンス内部コード SRC:

A7xxyyyy システム参照コード (SRC) は、ライセンス内部コードに関連するエラー/イベント・コードです。

A700173C A700173C

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

A7003000 A7003000

説明: ユーザーが開始したプラットフォーム・ダンプが発生しました。

応答: 保守アクションは不要です。

A7004700 A7004700

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

A7004712 A7004712

説明: システム VPD の初期化、読み取り、または使用中に問題が発生しました。

応答: 管理カードの取り外しと管理カードの取り付けの説明のとおり、管理カードを交換します。

A7004713 A7004713

説明: システム VPD の初期化、読み取り、または使用中に問題が発生しました。

応答: 管理カードの取り外しと管理カードの取り付けの説明のとおり、管理カードを交換します。

A7004715 A7004715

説明: システム VPD の初期化、読み取り、または使用中に問題が発生しました。

応答: 管理カードの取り外しと管理カードの取り付けの説明のとおり、管理カードを交換します。

A7004721 A7004721

説明: ワールド・ワイド・ポート名 (WWPN) プレフィックスが無効です。

応答: https://www-912.ibm.com/supporthome.nsf/document/51455410 を参照してください。

A7004730 A7004730

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

A7004740 A7004740

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

A7004741 A7004741

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

A700474A A700474A

説明: システムの Active Memory ミラーリング (AMM) がオンになっていますが、AMM を使用するためのライセンス交付を受けていません。

応答: 管理インターフェースを使用してシステムで AMM が「オン」に設定されました。しかし、IPL の実行時に、システムは AMM に対して有効なライセンスがありません。お客様は、IBM またはパートナーの営業担当員に連絡して、この機能のアクティベーション・コードを購入して入力する必要があります。これが不可能な場合は、システムの電源をオフにし、管理インターフェースを使用して AMM を「オフ」にして、IPL を再実行します。

A7004788 A7004788

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

A70047FF A70047FF

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

A700YYYY A700YYYY

説明: 他の A7xxyyyy SRC は、ここにはリストされていません。同じ xxyyyy 値を持つ B7xxyyyy エラー・コードの説明を参照してください。

応答: 同じ xxyyyy 値を持つ B7xxyyyy エラー・コードのアクションを実行します。

A7013003 A7013003

説明: パーティションが開始した PHYP コンテンツの RSCDUMP。

応答: 修正アクションは不要です。

AAxxyyyy パーティション・ファームウェアのアテンション・コード:

AAxxyyyy アテンション・コードは、プラットフォーム・ファームウェアの次のターゲット状態について説明します。 これらのコードは、アクションを実行する必要があることを示すことがあります。

以下の AAxxyyyy SRC は、POST が問題を検出した場合に表示される可能性があるパーティション・ファームウェア・コードです。問題が解決するまで、推奨アクションをリストされている順に実行してください。 1 つのアクションで問題が解決した場合は、残りのアクションの実行を停止することができます。 どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。

AA00E1A8 AA00E1A8

説明: システムはオープン・ファームウェア・プロンプトをブート中です。

応答: オープン・ファームウェア・プロンプトで、dev /packages/gui obe と入力し Enter を押してから、SMS Menu を選択するため 1 を入力します。

AA00E1A9 AA00E1A9

説明: システムは System Management Services (SMS) メニューをブート中です。

応答:

1. ブート試行が失敗した後にシステムまたはパーティションが SMS メニューに戻った場合は、SMS メニューを使用して BAxx xxxx エラーの進行標識ヒストリーを確認します (ブート試行が失敗した理由を示している場合があります)。 そのエラー・コードのアクションに従って、ブート問題を解決します。
2. SMS メニューを使用してブート・リストを確立し、サーバーを再始動します。

AA00E1B0 AA00E1B0

説明: ユーザーが言語およびキーボードを選択するのを待機します。 メニューは、コンソールで表示されるはずです。

応答:

1. サーバー・ファームウェア更新がないか調べます。
2. 使用可能な更新があれば適用します。
3. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

AA00E1B1 AA00E1B1

説明: ユーザーがライセンスを受け入れるか、または拒否するのを待機します。

応答:

1. サーバー・ファームウェア更新がないか調べます。
2. 使用可能な更新があれば適用します。
3. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

AA060007 AA060007

説明: キーボードが検出できませんでした。

応答: キーボードがパーティションに割り当てられた USB ポートに接続されていることを確認します。

AA06000B AA06000B

説明: システムまたはパーティションは、ブート・リストのどのデバイスにもオペレーティング・システムを検出できませんでした。

応答:

1. SMS メニューを使用して、ブート・リストに既知で良好なオペレーティング・システムを持つデバイスが含まれるように変更し、サーバーを再始動します。
2. 問題が解決されない場合は、ブート問題の解決に進みます。

AA06000C AA06000C

説明: ブート・リストのデバイス内のメディアがブート可能ではありませんでした。

応答:

1. デバイス内のメディアを既知で良好なメディアに取り替えるか、別のブート可能デバイスからブートするようにブート・リストを変更します。
2. 問題が解決されない場合は、ブート問題の解決に進みます。

AA06000D AA06000D

説明: ブート・リストで指定された入出力アダプターの下の、ブート・リストのデバイスにメディアが検出されませんでした。

応答:

1. ブートしようとしているメディアがブート可能であることを確認するか、別のブート可能デバイスからブートするようにブート・リストを変更します。
2. 問題が解決されない場合は、ブート問題の解決に進みます。

AA06000E AA06000E

説明: ブート・リストに指定されたアダプターが存在しないか機能していません。

応答:

- AIX オペレーティング・システムの場合:
  1. 別のブート可能デバイスからサーバーのブートを試行し、障害の発生しているアダプターに対して AIX オンライン診断を実行します。
  2. AIX を別のデバイスからブートできない場合は、Stand-alone Diagnostics CD または NIM サーバーを使用してサーバーをブートしてから、障害が発生しているアダプターに対して診断を実行します。
- Linux オペレーティング・システムの場合は、Stand-alone Diagnostics CD または NIM サーバーを使用してサーバーをブートしてから、障害が発生しているアダプターに対して診断を実行します。

AA060011 AA060011

説明: ファームウェアがオペレーティング・システム・イメージを見付けることができず、ブート・リストのハード・ディスクの中の少なくとも 1 台がファームウェアにより検出できなかった。 ファームウェアはブート・リストの項目を再試行しています。

応答: これは、ブート・ディスクが含まれているディスク格納装置が完全に初期化されていない場合、またはブート・ディスクが別のパーティションに属している場合に発生する可能性があります。 以下を確認します。

- ブート・ディスクがブートしようとしているパーティションに所属している。
- SMS メニューのブート・リストが正しいかどうか。

AA130013 AA130013

説明: ブート可能メディアが USB CD-ROM に挿入されていない

応答: CD または DVD ドライブにブート可能 CD が正しく挿入されていることを確認し、ブート操作を再試行します。

AA130014 AA130014

説明: USB CD-ROM のメディアが変更されている。

応答:

1. 操作をやり直してください。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認して、ある場合はその更新をインストールし、操作を再試行します。

AA170210 AA170210

説明: Setenv/$setenv パラメーター・エラー。名前にヌル文字が含まれています。

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

AA170211 AA170211

説明: Setenv/$setenv パラメーター・エラー。値にヌル文字が含まれています。

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

AA190001 AA190001

説明: 時刻機構 (TOD) を取得/設定するハイパーバイザー機能がエラーを報告した。

応答:

1. オペレーティング・システムを使用してシステム・クロックをセットします。
2. 問題が解決されない場合は、サーバー・ファームウェアの更新がないか調べてください。
3. 使用可能な更新がある場合はインストールして、操作を再試行します。

AA260001 AA260001

説明: Enter the Type Model Number (Must be 8 characters) (タイプ・モデル番号 (8 文字) を入力してください)

応答: プロンプトでサーバーのマシン・タイプおよびモデルを入力します。

AA260002 AA260002

説明: Enter the Serial Number (Must be 7 characters) (シリアル番号 (7 文字) を入力してください)

応答: プロンプトでサーバーのシリアル番号を入力します。

AA260003 AA260003

説明: Enter System Unique ID (Must be 12 characters) (システム固有 ID (12 文字) を入力してください)

応答: プロンプトでシステム固有 ID 番号を入力します。

AA260004 AA260004

説明: Enter WorldWide Port Number (Must be 12 characters) (WorldWide ポート番号 (12 文字) を入力してください)

応答: プロンプトでサーバーの Worldwide ポート番号を入力します。

AA260005 AA260005

説明: Enter Brand (Must be 2 characters) (製品 (2 文字) を入力してください)

応答: プロンプトでサーバーの製品番号を入力します。

B1xxyyyy サービス・プロセッサー SRC:

B1xxyyyy システム参照コード (SRC) は、サービス・プロセッサー・ファームウェアで発生したイベントまたは例外に関連するエラー・コードです。

この IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノード資料に記載されていない SRC の説明を見つけるには、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systems/scope/hw/index.jsp?topic=/ipha8/codefinder.htm の「POWER7 参照コード検索」ページを参照してください。

注: 推奨アクションを完了しても解決しない問題については、 552 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

B1817200 B1817200

説明: 無効なブート要求

応答: チェックアウト手順に進みます。

B1817201 B1817201

説明: サービス・プロセッサー障害。

応答: チェックアウト手順に進みます。

B1817202 B1817202

説明: 永続的ファームウェア側および一時的ファームウェア側が、共に無効とマーク付けられています。

応答: チェックアウト手順に進みます。

B1817203 B1817203

説明: ブート・パラメーター設定中のエラー

応答: チェックアウト手順に進みます。

B1817204 B1817204

説明: ブート・パラメーター読み取り中のエラー

応答: チェックアウト手順に進みます。

B1817205 B1817205

説明: ブート・コード・エラー

応答: チェックアウト手順に進みます。

B1817206 B1817206

説明: 装置チェック・タイマーがリセットされました

応答: チェックアウト手順に進みます。

B1817207 B1817207

説明: NVRAM からの読み取り中のエラー

応答: チェックアウト手順に進みます。

B1817208 B1817208

説明: NVRAM への書き込み中のエラー

応答: チェックアウト手順に進みます。

B1817209 B1817209

説明: サービス・プロセッサーのブート・ウォッチドッグ・タイマーが期限切れとなり、サービス・プロセッサー・フラッシュ・メモリー内の他のファームウェア・イメージからサービス・プロセッサーを強制的にブートさせました。

応答: チェックアウト手順に進みます。

B181720A B181720A

説明: パワーオフ・リセットが発生しました。 FipsDump を分析する必要があります。ソフトウェアの問題である可能性があります。

応答: チェックアウト手順に進みます。

B2xxyyyy 論理区画 SRC:

B2xxyyyy SRC は、論理区画化に関連した論理区画参照コードです。

以下の B2xxyyyy SRC は、システム・ファームウェアが問題を検出した場合に表示される可能性があるシステム参照コードです。問題が解決するまで、推奨アクションをリストされている順に実行してください。 1 つのアクションで問題が解決した場合は、残りのアクションの実行を停止することができます。 どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。

注: 推奨アクションを完了しても解決しない問題については、 501 ページの『チェックアウト手順』および 552 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

B2001020 B2001020

説明: 指定された機能のファームウェアをロードすることができません。

ファームウェア・リソースおよび関連するすべての仮想デバイスまたは物理デバイス (あるいはその両方) は、問題が解決されるまで使用することができません。

応答: プラットフォーム・ダンプを収集し、ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2001130 B2001130

説明: パーティションの移行中に問題が発生しました。

パーティションを、電源または温度の問題が発生しているシステムに移行しようとしました。 移行は続行されません。

応答: 電源または温度の問題を探し出して訂正してから、移行を再試行してください。

B2001131 B2001131

説明: パーティションの移行中に問題が発生しました。

パーティションの移行は完了しません。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2001132 B2001132

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。

メモリーを割り振ろうとしているときにプラットフォーム・ファームウェア・エラーが発生しました。 始動は続行されません。

応答: プラットフォーム・ダンプを収集し、ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2001133 B2001133

説明: パーティションの移行中に問題が発生しました。

パーティションの移行は完了しません。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2001134 B2001134

説明: パーティションの移行中に問題が発生しました。

パーティションの移行は完了しません。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2001140 B2001140

説明: パーティションの移行中に問題が発生しました。

パーティションの移行は完了しません。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2001141 B2001141

説明: パーティションの移行中に問題が発生しました。

パーティションの移行は完了しません。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2001142 B2001142

説明: パーティションの移行中に問題が発生しました。

パーティションの移行は完了しません。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2001143 B2001143

説明: パーティションの移行中に問題が発生しました。

パーティションの移行は完了しません。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2001144 B2001144

説明: パーティションの移行中に問題が発生しました。

パーティションの移行は完了しません。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2001148 B2001148

説明: パーティションの移行中に問題が発生しました。

パーティションの移行は完了しません。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2001150 B2001150

説明: パーティションの始動中に区画化構成の問題が発生しました。

応答: パーティション構成の検査に進みます。

B2001151 B2001151

説明: パーティションの移行中に問題が発生しました。

パーティションの移行は完了しません。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2001170 B2001170

説明: パーティションの始動中に、妥当性検査エラーのために障害が発生しました。

応答: パーティション構成の検査に進みます。

B2001225 B2001225

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。

プラットフォームが完全に初期化しないうちに、パーティションが始動を試みました。プラットフォームが完了し、スタンバイ・モードでなくなってから、パーティションを再始動してください。

応答: パーティションを再始動します。

B2001230 B2001230

説明: パーティションの始動中に区画化構成の問題が発生しました。パーティションには始動するためのリソースが不足しています。

応答: パーティション構成の検査に進みます。

B2001260 B2001260

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。

パーティションは、「Normal」に設定されていないため、「Timed Power On」設定値の時点で始動できませんでした。

応答: パーティションを「Normal」に設定してください。

B2001265 B2001265

説明: パーティションは始動できませんでした。 始動側が D モードの状態で、オペレーティング・システムのメイン・ストレージ・ダンプの始動が試みられました。これは、有効なオペレーティング・システムの始動シナリオではありません。始動は一時停止されます。 この SRC は、D モード SLIC インストールが失敗し、メイン・ストレージ・ダンプを試みた場合に発生する可能性があります。

応答: 始動設定値を訂正します。

B2001266 B2001266

説明: パーティションは始動できませんでした。 サポートされないオペレーティング・システムを始動しようとしています。

応答: サポートされているオペレーティング・システムをインストールして、パーティションを再始動してください。

B2001280 B2001280

説明: パーティションのメイン・ストレージ・ダンプ中に問題が発生しました。 構成が不一致であるために、メインストア・ダンプ始動が完了しませんでした。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2001281 B2001281

説明: パーティションのメモリー・エラーが発生しました。 障害が発生したメモリーは、使用されなくなります。

応答: パーティションを再始動します。

B2001282 B2001282

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2001320 B2001320

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。

デフォルトのロード・ソースが選択されていません。 継続して始動を試行しますが、正しいロード・ソースを見つけられるだけの情報がない可能性があります。

応答: パーティションのロード・ソースを構成します。 その後、パーティションを再始動してください。

B2001321 B2001321

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。

応答: ロード・ソースについて正しいスロットが指定されていることを確認します。 その後、パーティションを再始動してください。

B2001322 B2001322

説明: パーティションの始動で、ロード・ソース・パスのチェック中にコードが失敗しました。

応答: ロード・ソースのパスが正しく指定されていることを確認します。 その後、パーティションを再始動してください。

B2002048 B2002048

説明: パーティションのメイン・ストレージ・ダンプ中に問題が発生しました。 コピー・エラーのために、メインストア・ダンプ始動が完了しませんでした。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2002054 B2002054

説明: パーティションのメイン・ストレージ・ダンプ中に問題が発生しました。 構成が不一致であるために、メインストア・ダンプ IPL が完了しませんでした。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2002058 B2002058

説明: パーティションのメイン・ストレージ・ダンプ中に問題が発生しました。 コピー・エラーのために、メインストア・ダンプ始動が完了しませんでした。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2002210 B2002210

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2002220 B2002220

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2002250 B2002250

説明: パーティションの始動中に、スロットの電源状態を切り替えようとしたが失敗しました。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2002260 B2002260

説明: パーティションの始動中に、パーティション・ファームウェアがオペレーションを試行したが失敗しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2002300 B2002300

説明: パーティションの始動中に、スロットの電源状態を切り替えようとしたが失敗しました。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2002310 B2002310

説明: パーティションの始動中に、パーティション・ファームウェアがオペレーションを試行したが失敗しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2002320 B2002320

説明: パーティションの始動中に、パーティション・ファームウェアがオペレーションを試行したが失敗しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2002425 B2002425

説明: パーティションの始動中に、パーティション・ファームウェアがオペレーションを試行したが失敗しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2002426 B2002426

説明: パーティションの始動中に、パーティション・ファームウェアがオペレーションを試行したが失敗しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2002475 B2002475

説明: パーティションの始動中に、パーティションに必要なスロットが空か、またはそのスロットのデバイスに障害があります。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2002485 B2002485

説明: パーティションの始動中に、パーティション・ファームウェアがオペレーションを試行したが失敗しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2003000 B2003000

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2003081 B2003081

説明: パーティションの始動中に、コピー・エラーのため始動が完了できませんでした。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2003084 B2003084

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。

サポートされていないアダプター・タイプである可能性があります。

応答: アダプター・タイプがサポートされているものであることを確認します。

B2003088 B2003088

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B200308C B200308C

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。

アダプター・タイプを判別できません。

応答: 有効な入出力ロード・ソースにタグが付いていることを確認します。

B2003090 B2003090

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2003110 B2003110

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2003113 B2003113

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。

応答: B7xx xxxx エラーがないか調べて、エラーを解決します。

B2003114 B2003114

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。

応答: 他にエラーがないか調べて解決します。

B2003120 B2003120

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2003123 B2003123

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2003125 B2003125

説明: パーティションの始動中に、サーバー・ファームウェアが、パーティションの作成を管理するために使用するサーバー内の主ストレージのセグメントを取得できませんでした。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2003128 B2003128

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。ロード・ソース・パスを照会しようとしているときに、予期せぬ障害の戻りコードが返されました。

応答: B700 69xx エラーがないか調べて解決します。

B2003130 B2003130

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2003135 B2003135

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2003140 B2003140

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。これは、パーティション内の構成上の問題です。

応答: 意図したロード・ソース・パスが含まれるように、パーティションを再構成します。

B2003141 B2003141

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2003142 B2003142

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2003143 B2003143

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2003144 B2003144

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2003145 B2003145

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2003200 B2003200

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2004158 B2004158

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2004400 B2004400

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2005106 B2005106

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。 パーティションのメイン・ストレージ・ダンプを含めるのに十分なスペースがありません。 始動は続行されません。

応答: パーティションを構成どおりに始動するのに使用できる十分なメモリーがあることを確認します。 既に十分なメモリーがある場合は、ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2005109 B2005109

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。パーティションのメイン・ストレージ・ダンプの問題がありました。 始動は続行されません。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2005114 B2005114

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。 パーティションのメイン・ストレージ・ダンプを含めるのに十分なスペースがありません。 始動は続行されません。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2005115 B2005115

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。パーティション・ロード・ソースからメイン・ストレージへ、パーティションのメイン・ストレージ・ダンプを読み取るときにエラーが発生しました。 継続して始動が試行されます。

応答: 始動が継続されない場合は、他にエラーがないか調べて解決します。

B2005117 B2005117

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。パーティションのメイン・ストレージ・ダンプは発生していますが、有効なダンプがすでに存在するため、ロード・ソース・デバイスに書き込むことができません。

応答: メイン・ストレージ・ダンプ・マネージャーを使用して、現行のメイン・ストレージ・ダンプの名前を変更するか、またはコピーします。

B2005121 B2005121

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。パーティション・ロード・ソースへパーティションのメイン・ストレージ・ダンプを書き込むときにエラーが発生しました。 始動は続行されません。

応答: 「Product Activity Log」に関連するエラーがないか調べて、問題があれば修正してください。 パーティションがまだ障害が発生した状態にあるときに、仮想コントロール・パネル機能 34 を使用して、現行のメイン・ストア・ダンプの始動を再試行します。

B2005122 B2005122

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2005123 B2005123

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2005127 B2005127

説明: メイン・ストア・ダンプ IPL の実行中にタイムアウトが発生しました。

応答: タイムアウトが発生する前にダンプを完了するには、使用可能なメモリーが不足していました。 メイン・ストア・ダンプ IPL を再試行するか、パーティションを通常の方法で電源オンします。

B2005135 B2005135

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。 パーティション・ロード・ソースへパーティションのメイン・ストレージ・ダンプを書き込むときにエラーが発生しました。 メイン・ストア・ダンプの始動は続行されます。

応答: 他にエラーがないか調べて解決します。

B2005137 B2005137

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。 パーティション・ロード・ソースへパーティションのメイン・ストレージ・ダンプを書き込むときにエラーが発生しました。 メイン・ストア・ダンプの始動は続行されます。

応答: 他にエラーがないか調べて解決します。

B2005145 B2005145

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。 パーティション・ロード・ソースへパーティションのメイン・ストレージ・ダンプを書き込むときにエラーが発生しました。 メイン・ストア・ダンプの始動は続行されます。

応答: 他にエラーがないか調べて解決します。

B2005148 B2005148

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。メイン・ストレージ・ダンプを実行中にエラーが発生しました。これが原因で、別のメイン・ストレージ・ダンプが発生したことも考えられます。 始動は続行されません。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2005149 B2005149

説明: ファームウェアが補助するダンプを実行しているときに、パーティションの始動中に問題が発生しました。これが原因で、ファームウェアが補助する別のダンプが発生したことも考えられます。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B200514A B200514A

説明: コピー・エラーが原因で、ファームウェアが補助するダンプが完了しませんでした。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B200542A B200542A

説明: 読み取りエラーが原因でファームウェアが補助するダンプが完了しませんでした。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B200542B B200542B

説明: コピー・エラーが原因で、ファームウェアが補助するダンプが完了しませんでした。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B200543A B200543A

説明: コピー・エラーが原因で、ファームウェアが補助するダンプが完了しませんでした。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B200543B B200543B

説明: コピー・エラーが原因で、ファームウェアが補助するダンプが完了しませんでした。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B200543C B200543C

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B200543D B200543D

説明: コピー・エラーが原因で、ファームウェアが補助するダンプが完了しませんでした。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2006003 B2006003

説明: 指定された機能のファームウェアをロードすることができません。

ファームウェア・リソースおよび関連するすべての仮想デバイスまたは物理デバイス (あるいはその両方) は、問題が解決されるまで使用することができません。

応答: プラットフォーム・ダンプを収集し、ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2006006 B2006006

説明: パーティションの始動中に、パーティション・メモリーを初期化しているときにシステム・ファームウェア・エラーが発生しました。パーティションの始動は続行できません。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2006008 B2006008

説明: パーティションの IPL を実行中に、ファームウェアを使用するためにパーティションをセットアップしようとしてエラーが検出されました。

パーティションの IPL は続行されません。

応答: IBM サポートに連絡してください。

B2006009 B2006009

説明: パーティションを共有しているアクティブ・メモリーが、所有権を持っていないページング・スペース・デバイスを使用しようとしました。

応答: 他の CEC によってページング・スペース・デバイスが使用されていないことを確認し、以下の手順に従ってページング・スペース・デバイスを初期化してください。 1) パーティションの電源をオフにします。 2) 現在、ページング・デバイスが、他の CEC の予約済みプールではないことを確認します。 3) パーティションに割り当てられている hdisk のページング・スペース・ヘッダーをクリアします。 4) 予約済みプールからページング・スペースを削除します。 5) 上記で削除したページング・スペースを予約済みプールに追加します。 6) パーティションをアクティブにします。

B200600A B200600A

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。パーティションは IPL に必要なメモリーを予約できませんでした。

応答: IBM サポートに連絡してください。

B2006012 B2006012

説明: パーティションの始動中に、パーティション主ストレージ域へのロードの完了にパーティション LID が失敗しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2006015 B2006015

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。ロード・ソース・メディアが破損しているか、または無効です。

応答: ロード・ソース・メディアを交換してください。

B2006025 B2006025

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。これは、破損しているか、または無効なロード・ソース・メディアの問題です。

応答: ロード・ソース・メディアを交換してください。

B2006027 B2006027

説明: パーティションの始動中に、ファームウェア・モジュール・ロード・オペレーションに使用する内部オブジェクトのためにメモリーを割り振るときに障害が発生しました。

応答:

1. パーティションに十分な主ストレージが割り振られていることを確認します。
2. 操作をやり直してください。

B2006110 B2006110

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。ロード・ソース・デバイスにエラーがあります。 継続して始動が試行されます。

応答: 他にエラーがないか調べて解決します。

B200690A B200690A

説明: パーティションの始動中に、オープン・ファームウェアをパーティション・ロード領域にコピー中にエラーが発生しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2007200 B2007200

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2008080 B2008080

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2008081 B2008081

説明: パーティションの始動中に、内部ファームウェアのタイムアウトが発生しました。パーティションは始動を続行しますが、実行中に問題が発生する可能性があります。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2008105 B2008105

説明: パーティションの始動中に、パーティションの VPD 領域のロードで障害が発生しました。ロードのソース・メディアが破壊されているか、このサーバーではサポートされていません。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2008106 B2008106

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。始動は続行されません。

応答: ロード・ソース・メディアを交換してください。

B2008107 B2008107

説明: パーティションの始動中に、サーバーの主ストレージに主ストレージ・セグメントを取得中に問題が発生しました。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2008109 B2008109

説明: パーティションの始動中に、障害が発生しました。始動は続行されません。

応答:

1. パーティションを始動できるだけの十分なメモリーがあることを確認します。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2008111 B2008111

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2008112 B2008112

説明: パーティションの始動中に、障害が発生しました。始動は続行できません。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2008113 B2008113

説明: パーティションの始動中に、パーティション始動のためにメモリーをマッピング中にエラーが発生しました。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2008114 B2008114

説明: パーティションの始動中に、パーティション・リソース用の VPD の検査で障害が発生しました。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2008115 B2008115

説明: パーティションの始動中に、パーティション間の低レベル通信障害が発生しました。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2008117 B2008117

説明: パーティションの始動中に、システム・ファームウェア・エラーのためパーティションの始動ができませんでした。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B2008121 B2008121

説明: パーティションの始動中に、システム・ファームウェア・エラーのためパーティションの始動ができませんでした。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2008123 B2008123

説明: パーティションの始動中に、システム・ファームウェア・エラーのためパーティションの始動ができませんでした。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2008125 B2008125

説明: パーティションの始動中に、システム・ファームウェア・エラーのためパーティションの始動ができませんでした。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2008127 B2008127

説明: パーティションの始動中に、システム・ファームウェア・エラーのためパーティションの始動ができませんでした。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2008129 B2008129

説明: パーティションの始動中に、システム・ファームウェア・エラーのためパーティションの始動ができませんでした。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B200813A B200813A

説明: コンソールの設定中に問題が発生しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2008140 B2008140

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2008141 B2008141

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2008142 B2008142

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2008143 B2008143

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2008144 B2008144

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2008145 B2008145

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2008150 B2008150

説明: システム・ファームウェアがエラーを検出しました。

応答: プラットフォーム・ダンプを収集し、ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B2008151 B2008151

説明: システム・ファームウェアがエラーを検出しました。

応答: 管理コンソールを使用して論理メモリー・ブロック (LMB) サイズを増やし、そのパーティション用の仮想デバイスの数を削減してください。

B2008152 B2008152

説明: アクティブなシステム・プロセッサーがありません。

応答: パーティションにプロセッサー・リソースが割り当てられていることを確認します。

B2008160 B2008160

説明: パーティションの移行中に問題が発生しました。

応答: IBM サポートに連絡してください。

B2008161 B2008161

説明: パーティションの移行中に問題が発生しました。

応答: IBM サポートに連絡してください。

B200A100 B200A100

説明: パーティションが異常終了しました。パーティションは続行できず自らシャットダウンしました。

応答:

1. エラー・ログをチェックし、見つかったエラー・コードのアクションを取ってください。
2. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B200A101 B200A101

説明: パーティションが異常終了しました。パーティションは続行できず自らシャットダウンしました。

応答:

1. エラー・ログをチェックし、見つかったエラー・コードのアクションを取ってください。
2. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B200A140 B200A140

説明: 優先順位の低いパーティションで、不具合のあるプロセッサーを持つ優先順位の高いパーティションに提供するのに使用できるプロセッサーがなくなりました。

応答: LPAR 構成全体を評価します。 システムで使用可能な新しい数のプロセッサーを使ってパーティション・プロファイルを調整してください。

B200B07B B200B07B

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B200B215 B200B215

説明: パーティションが異常終了した後で問題が発生しました。

このパーティションのサービス・プロセッサーとプラットフォームのサービス・プロセッサーの間で通信問題がありました。

応答: プラットフォームを再始動します。

B200C1F0 B200C1F0

説明: パーティションのシャットダウンまたは再始動で内部システム・ファームウェア・エラーが発生しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B200D150 B200D150

説明: パーティションが異常終了しました。このパーティションとリソース割り振りを行うコードの間で通信の問題が発生しました。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B200E0AA B200E0AA

説明: パーティションの電源をオフにしているときに問題が発生しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B200F001 B200F001

説明: パーティションの始動中に問題が発生しました。操作がタイムアウトになりました。

応答: 他にエラーがないか調べて解決します。

B200F003 B200F003

説明: パーティションの始動中に、パーティション・プロセッサーがタイムアウト・ウィンドウ内にファームウェアを開始できませんでした。

応答: パーティション・ダンプ情報を収集し、ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B200F004 B200F004

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B200F005 B200F005

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B200F006 B200F006

説明: パーティションの始動中に、パーティション始動のためのコード・ロード・オペレーションでタイムアウトが発生しました。

応答:

1. エラー・ログをチェックし、見つかったエラー・コードのアクションを取ってください。
2. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B200F007 B200F007

説明: パーティションのシャットダウン中に、パーティションを停止しようとしてタイムアウトが発生しました。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B200F008 B200F008

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B200F009 B200F009

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B200F00A B200F00A

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B200F00B B200F00B

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B200F00C B200F00C

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B200F00D B200F00D

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2D03001 B2D03001

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B2D03002 B2D03002

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B6xxyyyy ライセンス内部コードまたはハードウェア・イベント SRC:

B6xxyyyy システム参照コード (SRC) は、ライセンス内部コードまたはハードウェアに関連するエラー・コードまたはイベント・コードです。

以下の B6xxyyyy SRC は、システム・ファームウェアが問題を検出した場合に表示される可能性があるシステム参照コードです。問題が解決するまで、推奨アクションをリストされている順に実行してください。1 つのアクションで問題が解決した場合は、残りのアクションの実行を停止することができます。 どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。

注: 推奨アクションを完了しても解決しない問題については、552 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

A6000255 A6000255

説明: SRC に示されているデバイスとの通信が途絶えました。 オペレーティング・システムは、クリティカル・リソースの入出力機能が復帰するのを待機するために一時停止しました。 入出力機能が復帰したら、この SRC はパネルに表示されなくなり、O/S は引き続き稼働します。 この問題は、入出力リソースかホストへの接続が中断または切断されたか、ホストでの入出力に問題がある場合に発生します。

O/S は、この状態では通知またはコール・ホームはできません。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: 管理コンソールから条件付きで行われます。

- この LPAR が管理コンソールから定義されており、異常終了やハングをコール・ホームするオプションが指定されている場合、管理コンソールはこの問題をコール・ホームします。
- それ以外の場合、この問題はコール・ホームされません。

問題判別: LPAR の電源をオフにしないでください。 I/O ホストに問題があるか確認し、ある場合はそれを修復してください。

A6000266 A6000266

説明: SRC に示されているデバイスとの通信が途絶えました。 オペレーティング・システムは、クリティカル・リソースの入出力機能が復帰するのを待機するために一時停止しました。 入出力機能が復帰したら、この SRC はパネルに表示されなくなり、O/S は引き続き稼働します。 この問題は、入出力リソースかホストへの接続が中断または切断されたか、ホストでの入出力に問題がある場合に発生します。

O/S は、この状態では通知またはコール・ホームはできません。

O/S がこの状態になっている間、この SRC は、パネルの 3 桁目と 4 桁目「XX」(A6XX0266 または B6XX0266) に定期的に最新表示され続けます。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: 管理コンソールから条件付きで行われます。

- この LPAR が管理コンソールから定義されており、異常終了やハングをコール・ホームするオプションが指定されている場合、管理コンソールはこの問題をコール・ホームします。
- それ以外の場合、この問題はコール・ホームされません。

問題判別: LPAR の電源をオフにしないでください。 I/O ホストに問題があるか確認し、ある場合はそれを修復してください。

A6xx0255 A6xx0255

説明: SRC に示されているデバイスとの通信が途絶えました。 オペレーティング・システムは、クリティカル・リソースの入出力機能が復帰するのを待機するために一時停止しました。 入出力機能が復帰したら、この SRC はパネルに表示されなくなり、O/S は引き続き稼働します。 この問題は、入出力リソースかホストへの接続が中断または切断されたか、ホストでの入出力に問題がある場合に発生します。

O/S は、この状態では通知またはコール・ホームはできません。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: 管理コンソールから条件付きで行われます。

- この LPAR が管理コンソールから定義されており、異常終了やハングをコール・ホームするオプションが指定されている場合、管理コンソールはこの問題をコール・ホームします。
- それ以外の場合、この問題はコール・ホームされません。

問題判別: LPAR の電源をオフにしないでください。 I/O ホストに問題があるか確認し、ある場合はそれを修復してください。

A6xx0266 A6xx0266

説明: SRC に示されているデバイスとの通信が途絶えました。 オペレーティング・システムは、クリティカル・リソースの入出力機能が復帰するのを待機するために一時停止しました。 入出力機能が復帰したら、この SRC はパネルに表示されなくなり、O/S は引き続き稼働します。 この問題は、入出力リソースかホストへの接続が中断または切断されたか、ホストでの入出力に問題がある場合に発生します。

O/S は、この状態では通知またはコール・ホームはできません。

O/S がこの状態になっている間、この SRC は、パネルの 3 桁目と 4 桁目「XX」(A6XX0266 または B6XX0266) に定期的に最新表示され続けます。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: 管理コンソールから条件付きで行われます。

- この LPAR が管理コンソールから定義されており、異常終了やハングをコール・ホームするオプションが指定されている場合、管理コンソールはこの問題をコール・ホームします。
- それ以外の場合、この問題はコール・ホームされません。

問題判別: LPAR の電源をオフにしないでください。 I/O ホストに問題があるか確認し、ある場合はそれを修復してください。

B6000255 B6000255

説明: SRC に示されているデバイスとの通信が途絶えました。 オペレーティング・システムは、クリティカル・リソースの入出力機能が復帰するのを待機するために一時停止しました。 入出力機能が復帰したら、この SRC はパネルに表示されなくなり、O/S は引き続き稼働します。 この問題は、入出力リソースかホストへの接続が中断または切断されたか、ホストでの入出力に問題がある場合に発生します。

O/S は、この状態では通知またはコール・ホームはできません。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: 管理コンソールから条件付きで行われます。

- この LPAR が管理コンソールから定義されており、異常終了やハングをコール・ホームするオプションが指定されている場合、管理コンソールはこの問題をコール・ホームします。
- それ以外の場合、この問題はコール・ホームされません。

問題判別: LPAR の電源をオフにしないでください。 I/O ホストに問題があるか確認し、ある場合はそれを修復してください。

B6000266 B6000266

説明: SRC に示されているデバイスとの通信が途絶えました。 オペレーティング・システムは、クリティカル・リソースの入出力機能が復帰するのを待機するために一時停止しました。 入出力機能が復帰したら、この SRC はパネルに表示されなくなり、O/S は引き続き稼働します。 この問題は、入出力リソースかホストへの接続が中断または切断されたか、ホストでの入出力に問題がある場合に発生します。

O/S は、この状態では通知またはコール・ホームはできません。

O/S がこの状態になっている間、この SRC は、パネルの 3 桁目と 4 桁目「XX」(A6XX0266 または B6XX0266) に定期的に最新表示され続けます。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: 管理コンソールから条件付きで行われます。

- この LPAR が管理コンソールから定義されており、異常終了やハングをコール・ホームするオプションが指定されている場合、管理コンソールはこの問題をコール・ホームします。
- それ以外の場合、この問題はコール・ホームされません。

問題判別: LPAR の電源をオフにしないでください。 I/O ホストに問題があるか確認し、ある場合はそれを修復してください。

B6xx0255 B6xx0255

説明: SRC に示されているデバイスとの通信が途絶えました。 オペレーティング・システムは、クリティカル・リソースの入出力機能が復帰するのを待機するために一時停止しました。 入出力機能が復帰したら、この SRC はパネルに表示されなくなり、O/S は引き続き稼働します。 この問題は、入出力リソースかホストへの接続が中断または切断されたか、ホストでの入出力に問題がある場合に発生します。

O/S は、この状態では通知またはコール・ホームはできません。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: 管理コンソールから条件付きで行われます。

- この LPAR が管理コンソールから定義されており、異常終了やハングをコール・ホームするオプションが指定されている場合、管理コンソールはこの問題をコール・ホームします。
- それ以外の場合、この問題はコール・ホームされません。

問題判別: LPAR の電源をオフにしないでください。 I/O ホストに問題があるか確認し、ある場合はそれを修復してください。

B6xx0266 B6xx0266

説明: SRC に示されているデバイスとの通信が途絶えました。 オペレーティング・システムは、クリティカル・リソースの入出力機能が復帰するのを待機するために一時停止しました。 入出力機能が復帰したら、この SRC はパネルに表示されなくなり、O/S は引き続き稼働します。 この問題は、入出力リソースかホストへの接続が中断または切断されたか、ホストでの入出力に問題がある場合に発生します。

O/S は、この状態では通知またはコール・ホームはできません。

O/S がこの状態になっている間、この SRC は、パネルの 3 桁目と 4 桁目「XX」(A6XX0266 または B6XX0266) に定期的に最新表示され続けます。

保守アクション/保守可能イベント: あり

自動的なコール・ホーム: 管理コンソールから条件付きで行われます。

- この LPAR が管理コンソールから定義されており、異常終了やハングをコール・ホームするオプションが指定されている場合、管理コンソールはこの問題をコール・ホームします。
- それ以外の場合、この問題はコール・ホームされません。

問題判別: LPAR の電源をオフにしないでください。 I/O ホストに問題があるか確認し、ある場合はそれを修復してください。

B7xxyyyy ライセンス内部コード SRC:

B7xxyyyy システム参照コード (SRC) は、ライセンス内部コードに関連するエラー・コードまたはイベント・コードです。

B7000102 • B7000105

以下の B7xxyyyy SRC は、システム・ファームウェアが問題を検出した場合に表示される可能性があるシステム参照コードです。問題が解決するまで、推奨アクションをリストされている順に実行してください。1 つのアクションで問題が解決した場合は、残りのアクションの実行を停止することができます。 どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。

注: 推奨アクションを完了しても解決しない問題については、 501 ページの『チェックアウト手順』および 552 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

B7000102 B7000102

説明: システム・ファームウェアがエラーを検出しました。 始動中にマシン・チェックが発生しました。

応答:

1. イベント・ログ情報を収集します。
2. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7000103 B7000103

説明: システム・ファームウェアが障害を検出しました。

応答:

1. イベント・ログ情報を収集します。
2. プラットフォーム・ダンプ情報を収集します。
3. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7000104 B7000104

説明: システム・ファームウェアの障害です。 マシン・チェック、未定義のエラーが発生しました。

応答:

1. サーバー・ファームウェア更新がないか調べます。
2. ファームウェアを更新します。

B7000105 B7000105

説明: システム・ファームウェアがエラーを検出しました。 複数のシステム終了の要求が発行されました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7000106 B7000106

説明: システム・ファームウェアの障害です。

応答:

1. イベント・ログ情報を収集します。
2. プラットフォーム・ダンプ情報を収集します。
3. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7000107 B7000107

説明: システム・ファームウェアの障害です。 システムが回復不能マシン・チェック状態を検出しました。

応答:

1. イベント・ログ情報を収集します。
2. プラットフォーム・ダンプ情報を収集します。
3. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7000200 B7000200

説明: システム・ファームウェアがストレージの不足状態を検出しました。

応答: 即時アクションは不要です。

システムを正常に実行し続けます。 次に都合がいいタイミングまたは保守ウィンドウで、IBM サポートと一緒に作業してプラットフォーム・ダンプを収集し、システムを再始動します。その後、ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7000201 B7000201

説明: システム・ファームウェアがエラーを検出しました。

応答: 即時アクションは不要です。

システムを正常に実行し続けます。 次に都合がいいタイミングまたは保守ウィンドウで、IBM サポートと一緒に作業してプラットフォーム・ダンプを収集し、システムを再始動します。その後、ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7000202 B7000202

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7000302 B7000302

説明: システム・ファームウェアの障害です。

応答:

1. プラットフォーム・ダンプ情報を収集します。
2. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7000441 B7000441

説明: サービス・プロセッサーの障害です。 プラットフォームの始動または終了処理の初期にエラーに遭遇しました。

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B7000443 B7000443

説明: サービス・プロセッサーの障害です。

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B7000601 B7000601

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

注: このコードと関連データを使用すれば、パーティションの TOD 消失の理由が判別できます。

B7000602 B7000602

説明: システム・ファームウェアがエラー状態を検出しました。

応答:

1. イベント・ログ情報を収集します。
2. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7000611 B7000611

説明: システム・ハードウェア・クロックに問題があります。クロック時刻は無効です。

応答: オペレーティング・システムを使用してシステム・クロックをセットします。

B7000621 B7000621

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7000641 B7000641

説明: システム・ファームウェアがエラーを検出しました。

応答:

1. プラットフォーム・ダンプ情報を収集します。
2. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7000650 B7000650

説明: システム・ファームウェアがエラーを検出しました。 リソース管理が主ストレージを割り振れませんでした。プラットフォーム・ダンプが開始されました。

応答:

1. イベント・ログを収集します。
2. プラットフォーム・ダンプ・データを収集します。
3. パーティション構成情報を収集します。
4. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7000651 B7000651

説明: システムが、システム・クロック・ハードウェア内でエラーを検出しました。

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B7000803 B7000803

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7000804 B7000804

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7000A00 B7000A00

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7000A01 B7000A01

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7000A10 B7000A10

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7001150 B7001150

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7001151 B7001151

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7001152 B7001152

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7001160 B7001160

説明: サービス・プロセッサー障害。

応答:

1. ファームウェア問題の切り分けに進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

B7001161 B7001161

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7001730 B7001730

説明: システムの VPD が、始動時に予想していたものではありません。

応答: 管理カードの取り外しと管理カードの取り付けの説明のとおり、管理カードを交換します。

B7001731 B7001731

説明: メモリー DIMM の VPD が適切ではないために DIMM 上のメモリーが使用できず、メモリーが減少しています。

応答: サービス・プロセッサーの問題で説明されているとおりに、MEMDIMM Symbolic CRU を交換します。

B7001732 B7001732

説明: プロセッサー・カード上の VPD が適切ではないためにプロセッサー・カードが使用できず、処理能力が低下しています。

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B7001733 B7001733

説明: システム・ファームウェアの障害です。 始動は続行されません。

応答: B1xxxxxx エラーを見つけて、訂正します。 保守可能な B1xxxxxx エラーがない場合、またはエラーを訂正しても問題が訂正できない場合は、IBM サポートに連絡して、サーバー・ファームウェア設定値をリセットしてください。

重要: サーバー・ファームウェアの設定をリセットすると、サービス・プロセッサーに保管されているパーティション・データがすべて失われることになります。この操作を続ける前に、保持したい設定値をすべて手動で記録します。

サービス・プロセッサーは、IBM サポートがサーバー・ファームウェア設定値をリセットした後でリブートします。

問題が解決しない場合は、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換してください。

B700173A B700173A

説明: VPD 収集オーバーフローが発生しました。

応答:

1. その他にエラーがないか調べて、エラーを解決します。
2. 他にエラーがない場合は、次のようにします。
   a. ファームウェアの更新の説明に従って、ファームウェアを現行レベルに更新します。
   b. マネージメント・モジュール・ファームウェアを互換性のあるレベルに更新しなければならない場合もあります。

B700173B B700173B

説明: VPD 収集中にシステム・ファームウェア障害が発生しました。

応答: その他の B1xxxxxx エラーがないか調べて、エラーを訂正します。

B7004091 B7004091

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7004400 B7004400

説明: 収集すべきプラットフォーム・ダンプがあります。

応答:

1. プラットフォーム・ダンプ情報を収集します。
2. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7004401 B7004401

説明: システム・ファームウェアの障害です。 システム・ファームウェアが内部問題を検出しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7004402 B7004402

説明: プラットフォーム・ダンプの作成に必要なメモリーを割り振ろうとしているときに、システム・ファームウェア・エラーが発生しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7004705 B7004705

説明: システム・ファームウェアの障害です。 システム VPD の初期化、読み取り、または使用中に問題が発生しました。 キャパシティー・オンデマンド機能が使用可能ではありません。

応答: システムを再始動します。

B7004710 B7004710

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7004714 B7004714

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7004715 B7004715

説明: システム VPD の初期化、読み取り、または使用中に問題が発生しました。

応答: 管理カードの取り外しと管理カードの取り付けの説明のとおり、管理カードを交換します。

B7004750 B7004750

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7004788 B7004788

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B70047CB B70047CB

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7005120 B7005120

説明: システム・ファームウェアがエラーを検出しました。

応答: システムが問題のある動作を示していない場合は、このエラーを無視してかまいません。 そうでない場合は、ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7005121 B7005121

説明: システム・ファームウェアが、プラットフォーム・ダンプが開始されているプログラミング上の問題を検出しました。

応答:

1. イベント・ログ情報を収集します。
2. プラットフォーム・ダンプ情報を収集します。
3. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7005122 B7005122

説明: ロード・ソースの検索中にエラーが発生しました。

応答: パーティションが始動に失敗した場合は、ファームウェア問題の切り分けに進みます。そうでない場合、修正アクションは不要です。

B7005123 B7005123

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7005190 B7005190

説明: オペレーティング・システム・エラーです。 サーバーのファームウェアがオペレーティング・システム内に問題を検出しました。

応答: エラーを報告しているパーティションのエラー・コードを確認し、それらのエラー・コードに対して該当するアクションを取ってください。

B7005191 B7005191

説明: システム・ファームウェアが仮想入出力構成エラーを検出しました。

応答:

1. 管理コンソールを使用して、無効な仮想入出力構成を検査あるいは再構成します。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B7005209 B7005209

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7005219 B7005219

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7005300 B7005300

説明: システム・ファームウェアがリソースを区画化しているときに障害を検出しました。 プラットフォーム区画化コードがエラーに遭遇しました。

応答: マネージメント・モジュール・イベント・ログでエラー・コードをチェックし、それらのエラー・コードに関連したアクションを取ります。

B7005301 B7005301

説明: ユーザー介入が必要です。 システムはパーティション構成の問題を検出しました。

応答: 管理コンソールを使用して、システム・リソースを再割り振りします。

B7005302 B7005302

説明: サポートされない優先オペレーティング・システムが検出されました。

指定された優先オペレーティング・システムはサポートされていません。 IPL は続行されません。

応答: IBM サポートと協力して、サポートされている優先オペレーティング・システムを選択してから、システムを再 IPL します。

B7005303 B7005303

説明: サポートされない優先オペレーティング・システムが検出されました。

指定された優先オペレーティング・システムはサポートされていません。 IPL は続行されます。

応答: IBM サポートと協力して、サポートされている優先オペレーティング・システムを選択してから、システムを再 IPL します。

B7005304 B7005304

説明: 使用可能なワールド・ワイド・ポート名 (WWPN) の数が少なくなっています。

応答: https://www-912.ibm.com/supporthome.nsf/document/51455410 を参照してください。

B7005305 B7005305

説明: 残っているワールド・ワイド・ポート名 (WWPN) がありません。

応答: https://www-912.ibm.com/supporthome.nsf/document/51455410 を参照してください。

B7005306 B7005306

説明: ファームウェアが出荷時のデフォルト構成をサポートするために十分なメモリーがライセンス交付を受けていません。

応答: IBM サポートまたは営業担当員に連絡し、システム内のより多くのメモリーにライセンス交付するためのアクティベーション・コードを入手してください。

B7005400 B7005400

説明: システム・ファームウェアがプロセッサーに関する問題を検出しました。

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B7005442 B7005442

説明: システム・ファームウェアがエラーを検出しました。

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B70054DD B70054DD

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7005600 B7005600

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7005601 B7005601

説明: システム・ファームウェアの障害です。 システム・ロケーション・コードの初期化、読み取り、または使用で問題が発生しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7005602 B7005602

説明: システムに期限切れの VPD LID があります。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B7005603 B7005603

説明: 格納装置のフィーチャー・コードまたはシリアル番号 (あるいはその両方) が無効です。

応答: マシン・タイプ、モデル、およびシリアル番号がこのサーバーに適切なものであることを確認します。

B7006900 B7006900

説明: PCI ホスト・ブリッジ障害

応答:

1. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。
2. 問題が解決しない場合は、PCI 拡張カード (PIOCARD) の問題の切り分け手順を使用して、障害のあるコンポーネントを判別してください。

B7006906 B7006906

説明: システム・バス・エラー

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B7006907 B7006907

説明: システム・バス・エラー

応答:

1. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。
2. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7006908 B7006908

説明: システム・バス・エラー

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B7006909 B7006909

説明: システム・バス・エラー

応答:

1. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。
2. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7006911 B7006911

説明: プラットフォームの LIC が VPD LID ファイルを検出または取得できません。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B7006912 B7006912

説明: プラットフォームの LIC が VPD LID ファイルを検出または取得できません。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

B7006944 B7006944

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7006950 B7006950

説明: プラットフォーム・ダンプが発生しました。

応答:

1. プラットフォーム・ダンプ情報を収集します。
2. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7006951 B7006951

説明: 使用可能な NVRAM よりも多くの NVRAM がパーティションで必要になったため、エラーが発生しました。

応答: 管理コンソールを使用して、1 つ以上のパーティションを削除します。

B7006952 B7006952

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7006953 B7006953

説明: PHYP NVRAM が、サービス・プロセッサーのリセットおよび再ロードの後に使用不可になっています。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7006954 B7006954

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7006955 B7006955

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7006956 B7006956

説明: NVRAM 障害が検出されました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7006965 B7006965

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7006970 B7006970

説明: PCI ホスト・ブリッジ障害

応答:

1. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。
2. 問題が解決しない場合は、PCI 拡張カード (PIOCARD) の問題の切り分け手順を使用して、障害のあるコンポーネントを判別してください。

B7006971 B7006971

説明: PCI バス障害

応答:

1. PCI 拡張カード (PIOCARD) の問題の切り分け手順を使用して、障害のあるコンポーネントを判別してください。
2. 問題が解決しない場合は、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換してください。

B7006972 B7006972

説明: システム・バス・エラー

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B7006973 B7006973

説明: システム・バス・エラー

応答:

1. PCI 拡張カード (PIOCARD) の問題の切り分け手順を使用して、障害のあるコンポーネントを判別してください。
2. 問題が解決しない場合は、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換してください。

B7006974 B7006974

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7006978 B7006978

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7006979 B7006979

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B700697C B700697C

説明: サービス・プロセッサーからシステム・プロセッサーへの接続が失敗しました。

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B7006980 B7006980

説明: RIO、HSL または 12X コントローラーの障害

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B7006981 B7006981

説明: システム・バス・エラー。

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B7006984 B7006984

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B7006985 B7006985

説明: リモート I/O (RIO)、高速リンク (HSL)、または 12X のループ状況メッセージです。

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B7006987 B7006987

説明: リモート I/O (RIO)、高速リンク (HSL)、または 12X の接続障害です。

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B7006990 B7006990

説明: サービス・プロセッサーの障害です。

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B7006991 B7006991

説明: システム・ファームウェアの障害です。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7006993 B7006993

説明: サービス・プロセッサー障害。

応答:

1. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。
2. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7006994 B7006994

説明: サービス・プロセッサーの障害です。

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B7006995 B7006995

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B70069C2 B70069C2

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B70069C3 B70069C3

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B70069D9 B70069D9

説明: ホスト・イーサネット・アダプター (HEA) 障害。

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B70069DA B70069DA

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B70069DB B70069DB

説明: システム・ファームウェアの障害です。

応答:

1. プラットフォーム・ダンプ情報を収集します。
2. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B7006A21 B7006A21

説明: PCI-E スイッチで永続のリカバリー不能 (内部) チップ障害が発生しました。 ダウンストリーム入出力はすべて失敗します。

応答:

1. エラー・ログと情報ログを収集します。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。障害分析のため、障害が起こった FRU とデータを IBM に送付してください。

B7006A22 B7006A22

説明: PCI-E スイッチでリカバリー可能な障害が発生しましたが、リカバリー中は、ダウンストリーム入出力はすべて失敗せざるを得ない状態になります。 PCI-E スイッチの障害のリカバリーが試行されています。 リカバリーが成功すると、他の SRC は記録されません。

応答: PCI-E スイッチがリカバリーすると、ダウンストリーム入出力アダプターがリカバリーするはずです。 障害が起こったダウンストリーム入出力に関連したパーティションまたはアプリケーションは、再始動が必要になる可能性があります。

B7006A23 B7006A23

説明: PCI-E スイッチのリカバリーの失敗。 ダウンストリーム入出力はすべて失敗します。

応答: このスイッチ上の入出力アダプターに対して AIX または Linux のエラーが記録されている場合、入出力アダプターのハードウェアを交換しないでください。 PCI-E スイッチの障害は根本原因です。

1. エラー・ログと情報ログを収集します。
2. PCI-E スイッチのダウンストリーム IOA に関する構成データを収集します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
4. 入出力アダプターの障害発生後もパーティションまたはアプリケーションは引き続き実行している可能性がありますが、リカバリーするためには再始動が必要になる場合があります。

B7006A24 B7006A24

説明: PCI-E スイッチでリカバリー不能な障害が発生しました。 ダウンストリーム入出力はすべて失敗します。

応答:

1. エラー・ログと情報ログを収集します。
2. PCI-E スイッチのダウンストリーム IOA に関する構成データを収集します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。障害分析のため、障害が起こった FRU とデータを IBM に送付してください。

B7006A25 B7006A25

説明: PCI-E スイッチで無効なファームウェア・アクションが検出されました。 ダウンストリーム入出力はすべて失敗します。

応答:

1. エラー・ログと情報ログを収集します。
2. PCI-E スイッチのダウンストリーム IOA に関する構成データを収集します。
3. ファームウェアの更新の説明に従って、ファームウェアを現行レベルに更新します。
4. 問題が解決しない場合は、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換してください。障害分析のため、障害が起こった FRU とデータを IBM に送付してください。

B7006A28 B7006A28

説明: PCI-E スイッチで訂正可能エラーが発生しました。 ダウンストリーム入出力に影響はありません。

応答: 修正アクションは不要です。

B7006A2A B7006A2A

説明: PCI-E スイッチのダウンストリームの I/O バスでリカバリー可能な障害が発生しました。 ダウンストリーム IOA で障害が発生した可能性があります。

応答: その他にエラーがないか調べて、エラーを解決します。 他のエラーがない場合は、PCI-E スイッチのリカバリーは成功しています。 いずれの場合も、障害状態になっているダウンストリーム入出力アダプターがあるか、およびそれがどのパーティションに属しているかを判別してください。 障害が起こったダウンストリーム入出力に関連したパーティションまたはアプリケーションは、再始動が必要になる可能性があります。

B7006A2B B7006A2B

説明: PCI-E スイッチのダウンストリーム・バスでリカバリー可能な障害が発生しましたが、リカバリー試行回数のしきい値に達しました。 ダウンストリーム IOA に障害が発生しています。

応答:

1. エラー・ログと情報ログを収集します。
2. PCI-E スイッチのダウンストリーム IOA に関する構成データを収集します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。障害分析のため、障害が起こった FRU とデータを IBM に送付してください。
4. FRU の交換後に、障害が起こったダウンストリーム入出力に関連したパーティションまたはアプリケーションの再始動が必要になる可能性があります。

B7006A30 B7006A30

説明: PCI-E バスの内部接続が、想定より低いバス構成に初期化されました。 このバスは作動可能ですが、その定格容量より低い処理能力で作動しています。 これは、入出力スループットの低下につながるおそれがあります。

応答: このイベントが保守可能イベント・ビューに表示される場合は、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードおよびシャーシ・アセンブリーを交換します。このイベントが保守可能イベント・ビューに表示されない場合は、アクションは不要です。

B700BA01 B700BA01

説明: 前の保守可能エラーの分析中に、FRU 障害インディケーターをアクティブにする要求が成功しませんでした。

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B700BAD1 B700BAD1

説明: プラットフォーム・ファームウェアがエラーを検出しました。

応答: ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B700BAD2 B700BAD2

説明: システム・ファームウェアがエラーを検出しました。

応答:

1. イベント・ログ情報を収集します。
2. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B700F103 B700F103

説明: システム・ファームウェアの障害です。

応答:

1. イベント・ログ情報を収集します。
2. プラットフォーム・ダンプ情報を収集します。
3. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B700F104 B700F104

説明: オペレーティング・システム・エラーです。 システム・ファームウェアがパーティションを強制終了しました。

応答: マネージメント・モジュール・イベント・ログでパーティション・ファームウェア・エラー・コード (特に、BA00F104) をチェックし、それらのエラー・コードに適したアクションを取ります。

B700F105 B700F105

説明: システム・ファームウェアが内部エラーを検出しました。

応答:

1. イベント・ログ情報を収集します。
2. プラットフォーム・ダンプ情報を収集します。
3. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B700F106 B700F106

説明: システム・ファームウェアがエラーを検出しました。

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B700F107 B700F107

説明: システム・ファームウェアがエラーを検出しました。

応答:

1. イベント・ログ情報を収集します。
2. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B700F108 B700F108

説明: ファームウェア・エラーにより、システムが終了しました。

応答:

1. イベント・ログ情報を収集します。
2. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B700F10A B700F10A

説明: システム・ファームウェアがエラーを検出しました。

応答: B1xxxxxx エラーを見つけて、訂正します。

B700F10B B700F10B

説明: ハードウェア問題が原因で、プロセッサー・リソースが使用不可になっています。

応答: システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

B700F10C B700F10C

説明: プラットフォーム LIC がパーティション移動性の実行で内部問題を検出しました。

応答:

1. イベント・ログ情報を収集します。
2. ファームウェア問題の切り分けに進みます。

B700F120 B700F120

説明: システム・ログ・エントリーの通知のみ。

応答: 修正アクションは不要です。

B700F130 B700F130

説明: 電力/温度管理デバイスのファームウェア・エラーが検出されました。

応答: サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

BAxxyyyy パーティション・ファームウェア SRC:

パワーオン・セルフテスト (POST) により、パーティション・ファームウェアが検出したエラー・コードが表示される場合があります。 推奨アクションを行って、問題の訂正を試みてください。

以下の BAxxyyyy SRC は、POST が問題を検出した場合に表示される可能性があるエラー・コードです。問題が解決するまで、推奨アクションをリストされている順に実行してください。 1 つのアクションで問題が解決した場合は、残りのアクションの実行を停止することができます。 どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。

注: 推奨アクションを完了しても解決しない問題については、501 ページの『チェックアウト手順』および 552 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

BA000010 BA000010

説明: デバイス・データ構造が破壊されています。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA000020 BA000020

説明: 互換性のないファームウェア・レベルが見つかりました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA000030 BA000030

説明: lpevent 通信障害が発生しました。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA000031 BA000031

説明: lpevent 通信障害が発生しました。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA000032 BA000032

説明: ファームウェアが lpevent キューの登録に失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA000034 BA000034

説明: ファームウェアが capacity の交換と lpevents の割り振りに失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA000038 BA000038

説明: ファームウェアが仮想継続イベントの交換に失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA000040 BA000040

説明: ファームウェアは RTAS コード lid 詳細を取得できませんでした。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA000050 BA000050

説明: ファームウェアは RTAS コード lid をロードできませんでした。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA000060 BA000060

説明: ファームウェアはオープン・ファームウェア・コード lid 詳細を取得できませんでした。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA000070 BA000070

説明: ファームウェアはオープン・ファームウェア・コード LID をロードできませんでした。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA000080 BA000080

説明: ユーザーがご使用条件に同意しませんでした。

応答: ご使用条件に同意し、サーバーを再始動します。 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA000081 BA000081

説明: ファームウェア・ライセンス・ポリシーを取得できませんでした。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA000082 BA000082

説明: ファームウェア・ライセンス・ポリシーを設定できませんでした。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA000091 BA000091

説明: ファームウェア・コード更新モジュールをロードできませんでした。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA00E820 BA00E820

説明: lpevent 通信障害が発生しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA00E830 BA00E830

説明: ibm,event-scan の初期化中の障害

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA00E840 BA00E840

説明: PCI ホット・プラグの初期化中の障害

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA00E843 BA00E843

説明: AIX または Linux へのインターフェースの初期化中の障害

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA00E850 BA00E850

説明: 動的再構成の初期化中の障害

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA00E860 BA00E860

説明: センサーの初期化中の障害

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA010000 BA010000

説明: サーバーをブートするための情報が不足しています。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA010001 BA010001

説明: クライアント IP アドレスが、すでに他のネットワーク・デバイスによって使用されています。

応答: ネットワーク上のすべての IP アドレスが固有であることを確認し、操作を再試行します。

BA010002 BA010002

説明: ゲートウェイ IP アドレスが取得できません。

応答: 以下の、CA00E174 チェックポイントで説明しているアクションを行います。

1. 以下を確認します。
   - bootp サーバーが正しく構成されていることを確認し、オペレーションを再試行します。
   - ネットワーク接続が正しいことを確認し、オペレーションを再試行します。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA010003 BA010003

説明: サーバーのハードウェア・アドレスが取得できません。

応答: 以下の、CA00E174 チェックポイントで説明しているアクションを行います。

1. 以下を確認します。
   - bootp サーバーが正しく構成されていることを確認し、オペレーションを再試行します。
   - ネットワーク接続が正しいことを確認し、オペレーションを再試行します。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA010004 BA010004

説明: Bootp 障害。

応答: 以下の、CA00E174 チェックポイントで説明しているアクションを行います。

1. 以下を確認します。
   - bootp サーバーが正しく構成されていることを確認し、オペレーションを再試行します。
   - ネットワーク接続が正しいことを確認し、オペレーションを再試行します。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA010005 BA010005

説明: ファイル送信 (TFTP) が失敗しました。

応答: 以下の、CA00E174 チェックポイントで説明しているアクションを行います。

1. 以下を確認します。
   - bootp サーバーが正しく構成されていることを確認し、オペレーションを再試行します。
   - ネットワーク接続が正しいことを確認し、オペレーションを再試行します。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA010006 BA010006

説明: ブート・イメージが大きすぎる

応答: 別のデバイスのブート可能イメージから始動します。

BA010007 BA010007

説明: 装置に、必要な device_type プロパティーがありません。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA010008 BA010008

説明: この装置の device_type プロパティーは、iSCSI イニシエーター構成仕様ではサポートされていません。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA010009 BA010009

説明: この ping 関数に指定された引数は無効です。

応答: 組み込みホスト・イーサネット・アダプター (HEA) は iSCSI の提供を支援します。iSCSI は、AIX または Linux のいずれかの iSCSI ソフトウェア・デバイス・ドライバーでサポートされます。 オペレーティング・システム上のすべての iSCSI 構成引数が、iSCSI ホスト・バス・アダプター (HBA) (iSCSI イニシエーター) の構成に適合していることを確認してください。

BA01000A BA01000A

説明: itname パラメーター・ストリングが、許される最大長を超えています。

応答: 組み込みホスト・イーサネット・アダプター (HEA) は iSCSI の提供を支援します。iSCSI は、AIX または Linux のいずれかの iSCSI ソフトウェア・デバイス・ドライバーでサポートされます。 オペレーティング・システム上のすべての iSCSI 構成引数が、iSCSI ホスト・バス・アダプター (HBA) (iSCSI イニシエーター) の構成に適合していることを確認してください。

BA01000B BA01000B

説明: ichapid パラメーター・ストリングが、許される最大長を超えています。

応答: 組み込みホスト・イーサネット・アダプター (HEA) は iSCSI の提供を支援します。iSCSI は、AIX または Linux のいずれかの iSCSI ソフトウェア・デバイス・ドライバーでサポートされます。 オペレーティング・システム上のすべての iSCSI 構成引数が、iSCSI ホスト・バス・アダプター (HBA) (iSCSI イニシエーター) の構成に適合していることを確認してください。

BA01000C BA01000C

説明: ichappw パラメーター・ストリングが、許される最大長を超えています。

応答: 組み込みホスト・イーサネット・アダプター (HEA) は iSCSI の提供を支援します。iSCSI は、AIX または Linux のいずれかの iSCSI ソフトウェア・デバイス・ドライバーでサポートされます。 オペレーティング・システム上のすべての iSCSI 構成引数が、iSCSI ホスト・バス・アダプター (HBA) (iSCSI イニシエーター) の構成に適合していることを確認してください。

BA01000D BA01000D

説明: iname パラメーター・ストリングが、許される最大長を超えています。

応答: 組み込みホスト・イーサネット・アダプター (HEA) は iSCSI の提供を支援します。iSCSI は、AIX または Linux のいずれかの iSCSI ソフトウェア・デバイス・ドライバーでサポートされます。 オペレーティング・システム上のすべての iSCSI 構成引数が、iSCSI ホスト・バス・アダプター (HBA) (iSCSI イニシエーター) の構成に適合していることを確認してください。

BA01000E BA01000E

説明: 指定された LUN は無効です。

応答: 組み込みホスト・イーサネット・アダプター (HEA) は iSCSI の提供を支援します。iSCSI は、AIX または Linux のいずれかの iSCSI ソフトウェア・デバイス・ドライバーでサポートされます。 オペレーティング・システム上のすべての iSCSI 構成引数が、iSCSI ホスト・バス・アダプター (HBA) (iSCSI イニシエーター) の構成に適合していることを確認してください。

BA01000F BA01000F

説明: chapid パラメーター・ストリングが、許される最大長を超えています。

応答: 組み込みホスト・イーサネット・アダプター (HEA) は iSCSI の提供を支援します。iSCSI は、AIX または Linux のいずれかの iSCSI ソフトウェア・デバイス・ドライバーでサポートされます。 オペレーティング・システム上のすべての iSCSI 構成引数が、iSCSI ホスト・バス・アダプター (HBA) (iSCSI イニシエーター) の構成に適合していることを確認してください。

BA010010 BA010010

説明: chappw パラメーター・ストリングが、許される最大長を超えています。

応答: 組み込みホスト・イーサネット・アダプター (HEA) は iSCSI の提供を支援します。iSCSI は、AIX または Linux のいずれかの iSCSI ソフトウェア・デバイス・ドライバーでサポートされます。 オペレーティング・システム上のすべての iSCSI 構成引数が、iSCSI ホスト・バス・アダプター (HBA) (iSCSI イニシエーター) の構成に適合していることを確認してください。

BA010011 BA010011

説明: SET-ROOT-PROP は / (ルート) パッケージを見つけられませんでした。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA010013 BA010013

説明: この SRC のエラー・ログ項目の情報は、ネットワーク・トレース・データを提供します。

応答: 通知メッセージ。 アクションは不要です。

BA010014 BA010014

説明: この SRC のエラー・ログ項目の情報は、ネットワーク・トレース・データを提供します。

応答: 通知メッセージ。 アクションは不要です。

BA010015 BA010015

説明: この SRC のエラー・ログ項目の情報は、ネットワーク・トレース・データを提供します。

応答: 通知メッセージ。 アクションは不要です。

BA010020 BA010020

説明: トレース・タイプが不正なためトレース項目の追加が失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA012010 BA012010

説明: TCP ノードのオープンに失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA012011 BA012011

説明: TCP はネットワークからの読み取りに失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA012012 BA012012

説明: TCP はネットワークへの書き込みに失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA012013 BA012013

説明: TCP のクローズに失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA017020 BA017020

説明: TFTP パッケージのオープンに失敗しました。

応答: Trivial File Transfer Protocol (TFTP) パラメーターが正しいことを確認します。

BA017021 BA017021

説明: TFTP ファイルのロードに失敗しました。

応答: TFTP サーバーおよびネットワーク接続が正しいことを確認します。

BA01B010 BA01B010

説明: BOOTP ノードのオープンに失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA01B011 BA01B011

説明: BOOTP はネットワークからの読み取りに失敗しました。

応答: 以下の、CA00E174 チェックポイントで説明しているアクションを行います。

1. 以下を確認します。
   - bootp サーバーが正しく構成されていることを確認し、オペレーションを再試行します。
   - ネットワーク接続が正しいことを確認し、オペレーションを再試行します。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA01B012 BA01B012

説明: BOOTP はネットワークへの書き込みに失敗しました。

応答: 以下の、CA00E174 チェックポイントで説明しているアクションを行います。

1. 以下を確認します。
   - bootp サーバーが正しく構成されていることを確認し、オペレーションを再試行します。
   - ネットワーク接続が正しいことを確認し、オペレーションを再試行します。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA01B013 BA01B013

説明: 検出モードが無効です。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA01B014 BA01B014

説明: BOOTP ノードのクローズに失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA01B015 BA01B015

説明: BOOTP 検出サーバーがタイムアウトになりました。

応答: 以下の、CA00E174 チェックポイントで説明しているアクションを行います。

1. 以下を確認します。
   - bootp サーバーが正しく構成されていることを確認し、オペレーションを再試行します。
   - ネットワーク接続が正しいことを確認し、オペレーションを再試行します。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA01D001 BA01D001

説明: DHCP ノードのオープンに失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA01D020 BA01D020

説明: DHCP はネットワークからの読み取りに失敗しました。

応答:

1. ネットワーク・ケーブルが接続されていること、およびネットワークがアクティブになっていることを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA01D030 BA01D030

説明: DHCP はネットワークへの書き込みに失敗しました。

応答:

1. ネットワーク・ケーブルが接続されていること、およびネットワークがアクティブになっていることを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA01D040 BA01D040

説明: DHCP 検出サーバーがタイムアウトになりました。

応答:

1. DHCP サーバーでアドレスが使用可能になっていることを確認します。
2. DHCP サーバー構成ファイルが過度に制約されていないことを確認します。 ファイルの制約が厳しすぎると、クライアントが要求する構成にサーバーが適合できないことがあります。
3. 以下の、CA00E174 チェックポイントで説明しているアクションを行います。
   a. 以下を確認します。
      - bootp サーバーが正しく構成されていることを確認し、オペレーションを再試行します。
      - ネットワーク接続が正しいことを確認し、オペレーションを再試行します。
   b. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA01D050 BA01D050

説明: DHCP::discover: 適切なオファーがありません

応答: DHCP 検出では、クライアント要件に適合するサーバーから DHCP オファーを受け取れませんでした。

DHCP サーバー構成ファイルが過度に制約されていないことを確認します。 ファイルの制約が厳しすぎると、クライアントが要求する構成にサーバーが適合できないことがあります。

BA01D051 BA01D051

説明: DHCP::discover: DHCP 要求がタイムアウトになりました

応答: DHCP 検出は、クライアント要件に適合するサーバーから DHCP オファーを受け取りましたが、サーバーは DHCP 肯定応答 (DHCP ack) をクライアント DHCP 要求に送信しませんでした。

サービス対象のアドレスを、別のクライアントが使用していた可能性があります。

DHCP サーバーでアドレスが使用可能になっていることを確認します。

BA01D052 BA01D052

説明: DHCP::discover: 10 個の対応不能サーバーが見つかりました

応答: 10 個の DHCP サーバーが DHCP オファーを送信しましたが、そのいずれも、クライアントの要件に適合しませんでした。 クライアントが要求している構成と、サーバー DHCP 構成ファイルの互換性を確認してください。

BA01D053 BA01D053

説明: DHCP::discover: 応答を受信しましたが、メッセージ・タイプが付いていません

応答: DHCP サーバーが適切に構成されていることを確認します。

BA01D054 BA01D054

説明: DHCP::discover: DHCP nak を受信しました

応答: DHCP 検出は、クライアント要件に適合するサーバーから DHCP オファーを受け取りましたが、サーバーは DHCP 否定応答 (DHCP nak) をクライアント DHCP 要求に送信しました。

サービス対象のアドレスを、別のクライアントが使用している可能性があります。

この状況は、同じネットワーク上に複数の DHCP サーバーがあり、サーバー A がサーバー B のサブネット構成を認識していない (またはその逆) 場合に発生する可能性があります。

この状況は、アドレスのプールが真に分割されていない場合にも発生する可能性があります。

DHCP サーバー構成ファイルを「authoritative」に設定してください。

DHCP サーバーが正しく機能していることを確認してください。

BA01D055 BA01D055

説明: DHCP::discover: DHCP 拒否

応答: DHCP 検出では、クライアント要件に適合する 1 つ以上のサーバーから DHCP オファーを受け取りました。しかし、クライアントは、アドレスに対して ARP テストを実行し、別のクライアントがそのアドレスを使用中であることを検出しました。

クライアントは、サーバーに対して DHCP 拒否を送信しましたが、サーバーから追加の DHCP オファーを受け取りませんでした。 クライアントは、有効なアドレスをまだ持っていません。

DHCP サーバーが正しく機能していることを確認してください。

BA01D056 BA01D056

説明: DHCP::discover: 不明な DHCP メッセージ

応答: DHCP 検出は、不明な DHCP メッセージ・タイプを受け取りました。 DHCP サーバーが正しく機能していることを確認してください。

BA01D0FF BA01D0FF

説明: DHCP ノードのクローズに失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA030011 BA030011

説明: RTAS のメモリー割り振りの試行が失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA04000F BA04000F

説明: デバイス上で自己診断テストが失敗しました。使用可能なエラー情報またはロケーション・コード情報はありません。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA040010 BA040010

説明: デバイスでセルフテストが失敗したが、パッケージを特定できません。

応答:

1. エラーと一緒にロケーション・コードがリストされている場合は、ロケーション・コードによって指定されたデバイスを交換します。
2. エラーと一緒にロケーション・コードがリストされなかった場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA040020 BA040020

説明: マシン・タイプおよびモデルを、サーバー・ファームウェアが識別できません。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA040030 BA040030

説明: ファームウェアはこのシステム用の UID をビルドできませんでした。 その結果、AIX オペレーティング・システムのライセンス交付で問題が発生する可能性があります。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA040035 BA040035

説明: ファームウェアは、VPD 内で plant of manufacture を見つけられませんでした。 これにより、AIX オペレーティング・システムのライセンス交付で問題が発生した可能性があります。

応答: マシン・タイプ、モデル、およびシリアル番号がこのサーバーに適切なものであることを確認します。 これが新しいサーバーの場合は、サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、更新がある場合はインストールします。

BA040040 BA040040

説明: マシン・タイプ、モデル、およびシリアル番号の設定に失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA040050 BA040050

説明: ブート・ウォッチドッグ・タイマーをスイッチオフするための h-call が失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA040060 BA040060

説明: 次のブートのためのファームウェア・ブート・サイドの設定が失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA050001 BA050001

説明: 論理区画モードのパーティションのリブートに失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA050004 BA050004

説明: サービス・プロセッサー・デバイス・ツリー・ノードの検出に失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA05000A BA05000A

説明: ブート失敗メッセージの送信に失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA060008 BA060008

説明: SMS ユーティリティーのリモート IPL メニューに構成可能なアダプターが検出できませんでした。

応答: このエラーは、ファームウェアがリモート IPL 機能がサポートする LAN アダプターをまったく見つけることができなかったときに発生します。 リモート IPL 装置リストの装置が正しいものであることを、SMS メニューを使用して確認してください。

BA06000B BA06000B

説明: システムは、ブート・リストの装置上にオペレーティング・システムを検出できませんでした。

応答: ブート問題の解決に進みます。

BA06000C BA06000C

説明: オペレーティング・システムを指すポインターが不揮発性ストレージに検出されました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA060020 BA060020

説明: 環境変数 boot-device は、許される文字制限を超えています。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA060021 BA060021

説明: 環境変数 boot-device に、項目が 6 個以上含まれています。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA060022 BA060022

説明: 環境変数 boot-device に、長さが 256 文字以上の項目が含まれています。

応答:

1. SMS メニューを使用して、ブート・リストをデフォルトのブート・リストに設定してください。
2. サーバーをシャットダウンしてから、再始動します。
3. SMS メニューを使用して、ブート・リストを必要に応じてカスタマイズします。
4. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA060030 BA060030

説明: 共用プロセッサーの論理区画が使用可能に設定されているが、オペレーティング・システムはそれをサポートしません。

応答:

1. 共用プロセッサーをサポートするレベルのオペレーティング・システムをインストールしてブートします。
2. オペレーティング・システムで、共用プロセッサーの論理区画を使用不可に設定します。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA060060 BA060060

説明: オペレーティング・システムは IOSP パーティションを期待していたが、それはアルファ・モードに遷移することに失敗しました。

応答:

1. 以下を確認します。
   - アルファ・モードのオペレーティング・システム・イメージは当該パーティション用に意図したものである。
   - パーティション構成はアルファ・モード・オペレーティング・システムをサポートしている。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA060061 BA060061

説明: オペレーティング・システムは非 IOSP パーティションを予期していたが、それは MGC モードに遷移することに失敗しました。

応答:

1. 以下を確認します。
   - アルファ・モードのオペレーティング・システム・イメージは当該パーティション用に意図したものである。
   - パーティション構成はアルファ・モード・オペレーティング・システムをサポートしている。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA060070 BA060070

説明: オペレーティング・システムは、このシステムのプロセッサーをサポートしていません

応答: サポートされているバージョンのオペレーティング・システムをブートしてください。

BA060071 BA060071

説明: オペレーティング・システムから、無効な数のベクトルを受け取りました

応答: サポートされているバージョンのオペレーティング・システムをブートしてください。

BA060072 BA060072

説明: Client-arch-support hcall エラー

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA060075 BA060075

説明: Client-arch-support ファームウェア・エラー

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA060200 BA060200

説明: マネージメント・モジュール・ブート・リストからのオペレーティング・システム・ブート・リストの設定に失敗しました

応答:

1. SMS メニューを使用して、ブート・リストをデフォルトのブート・リストに設定してください。
2. サーバーをシャットダウンしてから、再始動します。
3. SMS メニューを使用して、ブート・リストを必要に応じてカスタマイズします。
4. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA060201 BA060201

説明: VPD の「boot path」フィールド値の読み取りに失敗しました

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA060202 BA060202

説明: VPD を新しい「boot path」フィールド値で更新できませんでした

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA060300 BA060300

説明: ブートを試みたアダプターでの入出力エラーにより、オペレーティング・システムをブートできませんでした。

応答:

1. SMS メニューを使用して、オペレーティング・システムのブート元にする別のアダプターを選択し、システムをリブートします。
2. システムのリブートを試みます。
3. ブート問題の解決に進みます。

BA07XXXX BA07XXXX

説明: 自己構成 SCSI 装置 (SCSD) コントローラー障害

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA090001 BA090001

説明: SCSD DASD: 装置レディーのテストが失敗しました。ハードウェア・エラー

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA090002 BA090002

説明: SCSD DASD: 装置レディーのテストが失敗しました。センス・データが使用可能です。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA090003 BA090003

説明: SCSD DASD: 診断の送信が失敗しました。センス・データが使用可能です。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA090004 BA090004

説明: SCSD DASD: 診断の送信が失敗しました。devofl cmd

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA09000A BA09000A

説明: ベンダー仕様エラーがあります。

応答:

1. 補足情報がないか、ベンダー仕様を確認します。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA09000B BA09000B

説明: 汎用 SCSD センス・エラー

応答:

1. SCSD ケーブルと装置が適切にプラグ接続されていることを確認します。
2. 検出された問題を訂正します。
3. サーバーをリブートします。
4. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA09000C BA09000C

説明: メディアが書き込み保護されています。

応答:

1. 書き込みを許可するようメディアの設定値を変更してから、操作を再試行します。
2. 正しいタイプの新しいメディアを装着します。
3. サーバーをリブートします。
4. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA09000D BA09000D

説明: メディアがサポートされていないか、または認識できません。

応答:

1. 正しいタイプの新しいメディアを装着します。

BA09000E BA09000E

説明: メディアのフォーマットが正しくありません。

応答:

1. メディアを装着します。
2. 正しいタイプの新しいメディアを装着します。
3. サーバーをリブートします。
4. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA09000F BA09000F

説明: メディアが存在しません

応答:

1. 新しいメディアを正しいフォーマットで装着します。
2. サーバーをリブートします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA090010 BA090010

説明: 要求センス・コマンドが失敗しました。

応答:

1. SCSD 装置のトラブルシューティングを行います。
2. SCSD ケーブルと装置が適切にプラグ接続されていることを確認します。検出された問題を訂正します。
3. SCSD ケーブルおよび装置を交換します。
4. サーバーをリブートします。
5. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA090011 BA090011

説明: 再試行限度を超えました。

応答:

1. SCSD 装置のトラブルシューティングを行います。
2. SCSD ケーブルと装置が適切にプラグ接続されていることを確認します。検出された問題を訂正します。
3. SCSD ケーブルおよび装置を交換します。
4. サーバーをリブートします。
5. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA090012 BA090012

説明: システム内にサポートされていない SCSD 装置があります。

応答:

1. サポートされていない SCSD 装置を、サポートされる装置と交換します。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. SCSD 装置のトラブルシューティングを行います。
   b. SCSD ケーブルと装置が適切にプラグ接続されていることを確認します。検出された問題を訂正します。
   c. SCSD ケーブルおよび装置を交換します。
   d. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA120001 BA120001

説明: 不明な SCSD 装置で、装置レディーのテストが失敗しました。ハードウェア・エラー

応答:

1. SCSD 装置のトラブルシューティングを行います。
2. SCSD ケーブルと装置が適切にプラグ接続されていることを確認します。検出された問題を訂正します。
3. SCSD ケーブルおよび装置を交換します。
4. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA120002 BA120002

説明: 不明な SCSD 装置で、装置レディーのテストが失敗しました。センス・データが使用可能です。

応答:

1. SCSD 装置のトラブルシューティングを行います。
2. SCSD ケーブルと装置が適切にプラグ接続されていることを確認します。検出された問題を訂正します。
3. SCSD ケーブルおよび装置を交換します。
4. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA120003 BA120003

説明: 不明な SCSD 装置で、診断の送信が失敗しました。センス・データが使用可能です。

応答:

1. SCSD 装置のトラブルシューティングを行います。
2. SCSD ケーブルと装置が適切にプラグ接続されていることを確認します。検出された問題を訂正します。
3. SCSD ケーブルおよび装置を交換します。
4. サーバーをリブートします。
5. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA120004 BA120004

説明: 不明な SCSD 装置で、診断の送信が失敗しました。 devofl コマンドです。

応答:

1. SCSD 装置のトラブルシューティングを行います。
2. SCSD ケーブルと装置が適切にプラグ接続されていることを確認します。検出された問題を訂正します。
3. SCSD ケーブルおよび装置を交換します。
4. サーバーをリブートします。
5. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA120010 BA120010

説明: SAS 装置の物理位置コードを生成できませんでした。 イベント・ログ項目に詳細が示されています。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバーをリブートします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA130010 BA130010

説明: メディア・トレイの USB CD-ROM: タイムアウト時間を超えてビジーのままでした。

応答:

1. 操作をやり直してください。
2. サーバーをリブートします。
3. メディア・トレイおよび CD-ROM ドライブのトラブルシューティングを行います。
4. USB CD または DVD ドライブを交換します。
5. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA130011 BA130011

説明: メディア・トレイの USB CD-ROM: 許可された時間内に ATA/ATAPI コマンドの実行が完了しませんでした。

応答:

1. 操作をやり直してください。
2. サーバーをリブートします。
3. メディア・トレイおよび CD-ROM ドライブのトラブルシューティングを行います。
4. USB CD または DVD ドライブを交換します。
5. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA130012 BA130012

説明: メディア・トレイの USB CD-ROM: ATA/ATAPI コマンドが失敗しました。

応答:

1. 操作をやり直してください。
2. サーバーをリブートします。
3. メディア・トレイおよび CD-ROM ドライブのトラブルシューティングを行います。
4. USB CD または DVD ドライブを交換します。
5. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA130013 BA130013

説明: メディア・トレイの USB CD-ROM: ドライブにブート可能メディアがありません。

応答:

1. ドライブにブート可能 CD を挿入し、操作を再試行してください。
2. 操作をやり直してください。
3. サーバーをリブートします。
4. メディア・トレイおよび CD-ROM ドライブのトラブルシューティングを行います。
5. USB CD または DVD ドライブを交換します。
6. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA130014 BA130014

説明: メディア・トレイの USB CD-ROM: USB CD-ROM ドライブのメディアが取り替えられました。

応答:

1. 操作をやり直してください。
2. サーバーをリブートします。
3. メディア・トレイおよび CD-ROM ドライブのトラブルシューティングを行います。
4. USB CD または DVD ドライブを交換します。
5. サーバーをリブートします。
6. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA130015 BA130015

説明: メディア・トレイの USB CD-ROM: ATA/ATAPI パケット・コマンドの実行が失敗しました。

応答:

1. ドライブの CD または DVD を取り出し、既知の正常なディスクと取り替えます。
2. 操作をやり直してください。
3. サーバーをリブートします。
4. メディア・トレイおよび CD-ROM ドライブのトラブルシューティングを行います。
5. USB CD または DVD ドライブを交換します。
6. サーバーをリブートします。
7. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA131010 BA131010

説明: USB キーボードが取り外されました。

応答:

1. マネージメント・モジュールの USB ポートのキーボード・ケーブルを取り付けなおします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合はその更新をインストールします。

BA140001 BA140001

説明: 装置レディーの SCSD 読み取り/書き込み光学式テストが失敗しました。ハードウェア・エラー。

応答:

1. SCSD 装置のトラブルシューティングを行います。
2. SCSD ケーブルと装置が適切にプラグ接続されていることを確認します。検出された問題を訂正します。
3. SCSD ケーブルおよび装置を交換します。
4. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA140002 BA140002

説明: SCSD 読み取り/書き込み装置レディーの光学式テストが失敗しました。センス・データが使用可能です。

応答:

1. SCSD 装置のトラブルシューティングを行います。
2. SCSD ケーブルと装置が適切にプラグ接続されていることを確認します。検出された問題を訂正します。
3. SCSD ケーブルおよび装置を交換します。
4. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA140003 BA140003

説明: SCSD 読み取り/書き込み診断の光学式送信が失敗しました。センス・データが使用可能です。

応答:

1. SCSD 装置のトラブルシューティングを行います。
2. SCSD ケーブルと装置が適切にプラグ接続されていることを確認します。検出された問題を訂正します。
3. SCSD ケーブルおよび装置を交換します。
4. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA140004 BA140004

説明: SCSD 読み取り/書き込み診断の光学式送信が失敗しました。devofl コマンド。

応答:

1. SCSD 装置のトラブルシューティングを行います。
2. SCSD ケーブルと装置が適切にプラグ接続されていることを確認します。検出された問題を訂正します。
3. SCSD ケーブルおよび装置を交換します。
4. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA150001 BA150001

説明: PCI イーサネット BNC/RJ-45 または PCI イーサネット AUI/RJ-45 アダプター: 内部折り返しテストが失敗しました。

応答: ロケーション・コードで示されたアダプターを交換します。

BA151001 BA151001

説明: 10/100 Mbps イーサネット PCI アダプター: 内部折り返しテストが失敗しました。

応答: ロケーション・コードで示されたアダプターを交換します。

BA151002 BA151002

説明: 10/100 Mbps イーサネット・カードの障害です。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. ロケーション・コードで示されたアダプターを交換します。
4. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA153002 BA153002

説明: Gigabit Ethernet アダプターの障害です。

応答: FLASH/EEPROM でプログラム化された MAC アドレスが正しいことを確認します。

BA153003 BA153003

説明: Gigabit Ethernet アダプターの障害です。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. ロケーション・コードで示されたアダプターを交換します。
4. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA154010 BA154010

説明: HEA h-call エラー。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA154020 BA154020

説明: 必要なオープン・ファームウェア・プロパティーが見つかりませんでした。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA154030 BA154030

説明: HEA デバイス・ドライバーに無効なパラメーターが渡されました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA154040 BA154040

説明: TFTP パッケージのオープンが失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA154050 BA154050

説明: 送信操作に失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA154060 BA154060

説明: HEA ポートまたはキューの初期化に失敗しました

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA154070 BA154070

説明: 受信操作に失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA15C001 BA15C001

説明: アダプターから MAC アドレスを取得するコマンドが失敗しました。

応答:

1. すべてのアダプター・マイクロコードあるいはファームウェア・ドライバーの更新を確認および適用してください。
2. SRC と一緒に報告されたロケーション・コードによって指定されたアダプターを交換します。

BA170000 BA170000

説明: NVRAMRC の初期化が失敗しました。デバイス・テストの失敗

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA170100 BA170100

説明: NVRAM データ妥当性検査が失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA170201 BA170201

説明: ファームウェアがターゲット・パーティションを拡張できませんでした。構成変数を保管しています。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA170202 BA170202

説明: ファームウェアがターゲット・パーティションを拡張できませんでした。イベント・ログ項目の書き込み中です。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA170203 BA170203

説明: ファームウェアがターゲット・パーティションを拡張できませんでした。VPD データの書き込み中です。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA170210 BA170210

説明: Setenv/$Setenv パラメーター・エラー。名前にヌル文字が含まれています。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA170211 BA170211

説明: Setenv/$Setenv パラメーター・エラー。値にヌル文字が含まれています。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA170220 BA170220

説明: NVRAM 内に空きメモリーが不足しているため、可変値を NVRAM に書き込めませんでした。

応答:

1. 可能であれば、パーティションの数を減らして、このパーティションにさらに NVRAM メモリーを追加します。
2. サーバーをリブートします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA170221 BA170221

説明: NVRAM 内のメモリーを解放するために、Setenv/$setenv は、保管されていたファームウェア・ネットワーク・ブート設定値を削除する必要がありました。

応答: ネットワーク・ブートまたはネットワーク・インストールのために、再度、アダプターおよびネットワーク・パラメーターを入力します。

BA170998 BA170998

説明: NVRAMRC スクリプト評価エラー。コマンド・ライン実行のエラー。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA180008 BA180008

説明: PCI デバイス Fcode 評価エラー

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA180009 BA180009

説明: PCI アダプターの Fcode にデータ・スタックの不均衡が残っています。

応答:

1. アダプターのファームウェア更新を調べ、更新が使用可能な場合はインストールします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. PCI アダプター・カードを交換します。
4. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA180010 BA180010

説明: PCI プローブ・エラー。ブリッジがフリーズ状態です。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA180011 BA180011

説明: PCI ブリッジ・プローブ・エラー、ブリッジは使用不可です。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA180012 BA180012

説明: PCI デバイス・ランタイム・エラー。ブリッジがフリーズ状態です。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA180014 BA180014

説明: MSI ソフトウェア・エラー

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA180020 BA180020

説明: PCI プローブ中にスロットから応答を受け取れませんでした。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA180099 BA180099

説明: PCI プローブ・エラー。ブリッジがフリーズ状態で、スロットがリセット状態です。

応答:

1. PCI アダプター・カードを再装着します。
2. アダプターのファームウェア更新を調べ、更新が使用可能な場合はインストールします。
3. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
4. PCI アダプター・カードを交換します。
5. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA180100 BA180100

説明: FDDI アダプターの Fcode ドライバーは、このサーバーではサポートされません。

応答: IBM は、将来、互換性のあるドライバーを作成する可能性がありますが、これを保証するものではありません。

BA180101 BA180101

説明: ファイバー・チャネル・アダプターからのスタック・アンダーフロー

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA190001 BA190001

説明: 時刻の取得/設定を行うファームウェア機能がエラーを報告しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA201001 BA201001

説明: シリアル・インターフェースがデータ・パケットをドロップしました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA201002 BA201002

説明: シリアル・インターフェースがオープンできませんでした。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA201003 BA201003

説明: ファームウェアがシリアル・インターフェースとのハンドシェークに失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA210000 BA210000

説明: パーティション・ファームウェアがデフォルトの獲得を報告しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA210001 BA210001

説明: パーティション・ファームウェアがスタック・アンダーフローが獲得されたことを報告しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA210002 BA210002

説明: パーティション・ファームウェアが、スタンドアウトがレディーになる前にレディーになりました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA210003 BA210003

説明: データ・ストレージ・エラーがパーティション・ファームウェアにキャッチされました。

応答:

1. アダプターに対してエラー・ポイント付きでロケーション・コードが報告された場合、アダプター・ファームウェア更新がないか、確認します。
2. 使用可能な更新があれば適用します。
3. サーバー・ファームウェア更新がないか調べます。
4. 使用可能な更新があれば適用します。
5. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA210004 BA210004

説明: オープン・ファームウェアのスタックの深さのアサートが失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA210010 BA210010

説明: SLIC ローダーへの制御の転送に失敗しました

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA210011 BA210011

説明: 入出力レポーターへの制御の転送に失敗しました

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA210012 BA210012

説明: NVRAMRC 強制ブート問題が発生しました。以前のブートのオペレーティング・システム・イメージをロードできません

応答:

1. SMS メニューを使用して、パーティション・ファームウェアがオペレーティング・システム・イメージをまだ検出できることを確認します。
2. サーバーをリブートします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA210013 BA210013

説明: SMS メニューで、パーティション・ファームウェア・エラーがありました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA210020 BA210020

説明: I/O 構成が、パーティション・ファームウェアが許容する最大サイズを超えています。

応答:

1. 論理メモリー・ブロック・サイズを 256 MB に拡大してから、サーバーを再始動します。
2. サーバーをリブートします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA210100 BA210100

説明: マネージメント・モジュール・イベント・ログにエラーが送信されなかった可能性があります。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA210101 BA210101

説明: パーティション・ファームウェア・イベント・ログ・キューがいっぱいです

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA210102 BA210102

説明: パーティション・ファームウェアとハイパーバイザー間で通信障害が発生しました。 ハイパーバイザーから予想された lpevent を受け取れませんでした。

応答:

1. このエラーの発生時刻前後に発生したエラーがないか、イベント・ログを調べます。
2. 検出されたエラーがあれば訂正し、サーバーをリブートします。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA210103 BA210103

説明: パーティション・ファームウェアとハイパーバイザー間で通信障害が発生しました。 ハイパーバイザーからの lpevent 肯定応答付きの、障害戻りコードがあります。

応答:

1. このエラーの発生時刻前後に発生したエラーがないか、イベント・ログを調べます。
2. 検出されたエラーがあれば訂正し、サーバーをリブートします。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA220010 BA220010

説明: USB ホット・プラグのプローブ中に、パーティション・ファームウェア・エラーが発生しました。このパーティションで USB ホット・プラグが正常に機能していない可能性があります。

応答:

1. イベント・ログで、このエラーの発生時刻前後に発生した EEH タイプのエラーがないかを確認します。
2. 検出された EEH エラーがあれば訂正し、サーバーをリブートします。
3. 問題が解決しない場合は、参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA220020 BA220020

説明: CRQ 登録エラー。パートナー vslot が無効である可能性があります。

応答: このクライアント仮想スロット装置が、ホスティング・パーティション内に有効なサーバー仮想スロット装置を備えていることを確認します。

BA278001 BA278001

説明: ファームウェアのフラッシュに失敗しました。無効なイメージ・ファイル

応答: 新規ファームウェア更新イメージをダウンロードし、更新を再試行します。

BA278002 BA278002

説明: フラッシュ・ファイルがこのプラットフォーム用に設計されていません。

応答: 新規ファームウェア更新イメージをダウンロードし、更新を再試行します。

BA278003 BA278003

説明: ファームウェア更新 lid マネージャーをロックできませんでした。

応答:

1. サーバーを再始動します。
2. オペレーティング・システムがファームウェアの更新を許可されていることを確認します。システムが複数のパーティションを実行している場合、このパーティションがサービス権限を持っていることを確認してください。

BA278004 BA278004

説明: 無効なファームウェア更新 lid が要求されました。

応答: 新規ファームウェア更新イメージをダウンロードし、更新を再試行します。

BA278005 BA278005

説明: ファームウェア更新 lid のフラッシュに失敗しました。

応答: 新規ファームウェア更新イメージをダウンロードし、更新を再試行します。

BA278006 BA278006

説明: ファームウェア更新 lid マネージャーをアンロックできませんでした。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA278007 BA278007

説明: ファームウェア・フラッシュ更新の後、システムのリブートに失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA278009 BA278009

説明: オペレーティング・システムのサーバー・ファームウェア更新管理ツールは、このシステムと互換性がありません。

応答: IBM のダウンロード・サイト (www14.software.ibm.com/webapp/set2/sas/f/lopdiags/home.html)にアクセスし、Linux 用の援助プログラム・パッケージの最新バージョンをダウンロードします。

BA27800A BA27800A

説明: 報告されたハードウェア・エラーのために、ファームウェアのインストールが失敗しました。

応答:

1. イベント・ログにハードウェア・エラーがないか確認します。
2. 検出されたハードウェア・エラーがあれば、解決します。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA280000 BA280000

説明: RTAS が、ハードウェア・エラーを引き起こす可能性のある無効な操作を検出しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA290000 BA290000

説明: RTAS が内部スタック・オーバーフローを検出しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA290001 BA290001

説明: RTAS 低位アドレス・メモリーの破損が検出されました

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA290002 BA290002

説明: RTAS 低位アドレス・メモリーの破損が検出されました

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA310010 BA310010

説明: SRC ヒストリーを取得できません

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA310020 BA310020

説明: 無効な SRC ヒストリーを取得しました

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA310030 BA310030

説明: VPD への MAC アドレスの書き込みが失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA330000 BA330000

説明: メモリー割り振りエラー。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA330001 BA330001

説明: メモリー割り振りエラー。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA330002 BA330002

説明: メモリー割り振りエラー。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA330003 BA330003

説明: メモリー割り振りエラー。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA330004 BA330004

説明: メモリー割り振りエラー。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA340001 BA340001

説明: BladeCenter オープン・ファブリック・マネージャーのパラメーター・データ構造をサービス・プロセッサーから読み取るときに、論理区画イベント通信障害が発生しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA340002 BA340002

説明: BladeCenter オープン・ファブリック・マネージャーのロケーション・コード・マッピング・データをサービス・プロセッサーから読み取るときに、論理区画イベント通信障害が発生しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA340003 BA340003

説明: 内部ファームウェア・エラーが発生しました。オープン・ファブリック・マネージャーのロケーション・コード・マッピング・データ用のメモリー割り振りができませんでした。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA340004 BA340004

説明: 内部ファームウェア・エラーが発生しました。オープン・ファブリック・マネージャーのパラメーター・データが壊れていました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA340005 BA340005

説明: 内部ファームウェア・エラーが発生しました。ロケーション・コードのマッピング・テーブルが壊れていました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA340006 BA340006

説明: システム・イニシエーターの機能データをサービス・プロセッサーから読み取るときに、LP (論理区画) イベント通信障害が発生しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA340007 BA340007

説明: 内部ファームウェア・エラーが発生しました。オープン・ファブリック・マネージャーのシステム・イニシエーター機能データが壊れていました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA340008 BA340008

説明: 内部ファームウェア・エラーが発生しました。オープン・ファブリック・マネージャーのシステム・イニシエーター機能データのバージョンが正しくありません。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA340009 BA340009

説明: 内部ファームウェア・エラーが発生しました。オープン・ファブリック・マネージャーのシステム・イニシエーター機能処理が予期せぬエラーになりました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA340010 BA340010

説明: オープン・ファブリック・マネージャー処理中に内部ファームウェア・エラーが検出されました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA340011 BA340011

説明: 入出力アダプターへのファブリック ID の割り当てが失敗しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA340020 BA340020

説明: BladeCenter オープン・ファブリック・マネージャーのパラメーター・データをサービス・プロセッサーに書き込むときに、論理区画イベント通信障害が発生しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA340021 BA340021

説明: BladeCenter オープン・ファブリック・マネージャーのシステム・イニシエーター機能データをサービス・プロセッサーに書き込むときに、論理区画イベント通信障害が発生しました。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA400001 BA400001

説明: 通知メッセージ。DMA トレース・バッファーがいっぱいです。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

BA400002 BA400002

説明: 通知メッセージ。DMA マップ・アウト・サイズの不一致。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. サーバー・ファームウェアの更新がないか確認し、ある場合は更新をインストールします。
3. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。

POST 進行コード (チェックポイント)

コンピュート・ノードの電源をオンにすると、パワーオン・セルフテスト (POST) は、コンピュート・ノードのコンポーネントの動作を検査するために一連のテストを実行します。マネージメント・モジュールを使用して、進行コードを表示します。進行コードは、電源オンおよび初期プログラム・ロード (IPL) の実行に関与するステージに関する情報を提供します。

進行コードはエラーを示すものではありませんが、場合により、コンピュート・ノードは無期限に停止する (ハング) ことがあります。 コンピュート・ノードの進行コードは、9 ワードから成り、C および D で始まる 8 桁の 16 進数です。

チェックポイントは、さまざまなコンポーネントによって生成されます。 なかでも、サービス・プロセッサーおよびパーティション・ファームウェアから生成される場合が多々あります。サービス・プロセッサーは、トラブルシューティングのための追加の分離手順コードを提供します。

チェックポイントは、メッセージの一部として関連ロケーション・コードを持っていることがあります。ロケーション・コードは、ハング状態が発生しているときに障害が発生しているコンポーネントを識別する情報を提供します。

注:

1. 関連するロケーション・コードがないチェックポイントについては、ハング状態が発生したときに 537 ページの『Light Path 診断』を参照して、障害が発生しているコンポーネントを識別してください。
2. ロケーション・コードを持つチェックポイントについては、ハング状態が発生したときに 118 ページの『ロケーション・コード』を参照して、障害が発生しているコンポーネントを識別してください。
3. ここにリストされていない 8 桁のコードについては、Systems Hardware Information Center の進行コードの概要を参照してください。

ASMI を使用して、エラーおよびイベント・ログを表示します。 IBM Power Systems Hardware インフォメーション・センターのエラーおよびイベント・ログの表示を参照してください。

C1xxyyyy サービス・プロセッサー・チェックポイント:

C1xxyyyy 進行コード (チェックポイント) は、サービス・プロセッサーとコンピュート・ノードの両方の初期化に関する情報を提供します。サービス・プロセッサー・チェックポイントは、コンピュート・ノードの初期プログラム・ロード (IPL) 中に発生する一般的な参照コードです。

以下の C1xxyyyy 進行コードは、システムが進行コードでハングした場合に実行する推奨アクションと一緒に、パワーオン・セルフテスト (POST) 中に表示される可能性のある進行コードです。進行コードについて記載されているアクションを行う必要があるのは、ハング状態になった場合のみです。

システムが進行コードでハングした場合は、問題が解決するまで、推奨アクションをリストされている順に実行してください。 1 つのアクションで問題が解決した場合は、残りのアクションの実行を停止することができます。どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。

C10010XX C10010XX

説明: プレスタンバイ。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1001F00 C1001F00

説明: プレスタンバイ: 初期遷移ファイルの開始

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1001F0D C1001F0D

説明: プレスタンバイ: 初期遷移ファイルの検出

ブレード・サーバーがこのチェックポイントを表示している場合、サービス・プロセッサーがサーバーの重要プロダクト・データ (VPD) を読み取り中です。サービス・プロセッサーは、サーバーが次の進行コードを表示する前にそのサーバー VPD の読み取りを完了する必要があります。

応答:

1. このチェックポイントが変化しないまま 15 分以上経過する前に、サーバーがハングしていると判断しないでください。

   サーバー VPD の読み取りは、最大構成または多数のディスク・ドライブのあるサーバー上では 15 分ほどかかることがあります。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1001F0F C1001F0F

説明: プレスタンバイ: 初期遷移ファイルからのスタンバイ同期の待機

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1001FFF C1001FFF

説明: プレスタンバイ: 初期遷移ファイルの完了

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009034 C1009034

説明: プロセッサー・マスク・アテンションが初期化中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X01 C1009X01

説明: ハードウェア・オブジェクト・マネージャー (HOM): 「can-continue」フラグを消去中です。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X02 C1009X02

説明: ハードウェア・オブジェクト・マネージャー (HOM): HOM IPL の消去ステップ進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X04 C1009X04

説明: ハードウェア・オブジェクト・マネージャー (HOM): カードの作成 IPL ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X08 C1009X08

説明: ハードウェア・オブジェクト・マネージャー (HOM): プロセッサーの構築 IPL ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X0C C1009X0C

説明: ハードウェア・オブジェクト・マネージャー (HOM): チップの構築 IPL ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X10 C1009X10

説明: ハードウェア・オブジェクト・マネージャー (HOM): HOM を初期化します

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X14 C1009X14

説明: ハードウェア・オブジェクト・マネージャー (HOM): HOM の妥当性検査を行います

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X18 C1009X18

説明: ハードウェア・オブジェクト・マネージャー (HOM): GARD が進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X1C C1009X1C

説明: ハードウェア・オブジェクト・マネージャー: (HOM): クロック・テストが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X20 C1009X20

説明: 頻度制御 IPL ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X24 C1009X24

説明: 資産保護 IPL ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X28 C1009X28

説明: メモリー構成 IPL ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X2C C1009X2C

説明: プロセッサー初期化が進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X30 C1009X30

説明: プロセッサー自己同期が進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X38 C1009X38

説明: プロセッサー・チェック・リング IPL ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X39 C1009X39

説明: プロセッサー L2 回線の削除が進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X3A C1009X3A

説明: プロセッサーのロード IPL ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X3C C1009X3C

説明: プロセッサー・セルフテスト・ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X40 C1009X40

説明: プロセッサー・セルフテスト・ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X44 C1009X44

説明: プロセッサー配列初期化ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X46 C1009X46

説明: プロセッサー初期化ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X48 C1009X48

説明: プロセッサー消去 IPL ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X4C C1009X4C

説明: プロセッサー・ワイヤー・テスト IPL ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X50 C1009X50

説明: プロセッサー・ロング・スキャン IPL ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X54 C1009X54

説明: プロセッサー・クロックの開始 IPL ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X58 C1009X58

説明: プロセッサー SCOM 初期化ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X5C C1009X5C

説明: プロセッサー・インターフェース調整手順が進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X5E C1009X5E

説明: プロセッサー・キャッシュ・テスト・ケースが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X60 C1009X60

説明: プロセッサー・ランダム・データ・テストが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X64 C1009X64

説明: プロセッサー使用可能マシン・チェック・テストが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X66 C1009X66

説明: 同時初期化が進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X68 C1009X68

説明: プロセッサー・ファブリック初期化ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X6C C1009X6C

説明: プロセッサー・リンク初期化ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X70 C1009X70

説明: ASIC 初期化ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X74 C1009X74

説明: ASIC マスク・アテンションがセットアップ中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X78 C1009X78

説明: ASIC チェック・リングがセットアップ中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X7C C1009X7C

説明: ASIC セルフテストが実行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X80 C1009X80

説明: ASIC テストが実行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X82 C1009X82

説明: ASIC RGC がリセット中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X84 C1009X84

説明: ASIC を消去中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X88 C1009X88

説明: ASIC ロング・スキャン初期化が進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X8C C1009X8C

説明: ASIC 開始クロックが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X90 C1009X90

説明: ワイヤー・テストが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X92 C1009X92

説明: ASIC リストア erepair が進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X94 C1009X94

説明: ASIC 送信/受信初期化ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X98 C1009X98

説明: ASIC ラップ・テストが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X9C C1009X9C

説明: ASIC SCOM 初期化ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009X9E C1009X9E

説明: ASIC HSS セットアップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009XA0 C1009XA0

説明: ASIC セルフテストが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009XA4 C1009XA4

説明: ASIC インターフェース調整ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009XA8 C1009XA8

説明: ASIC ランダム・データ・テストが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009XAC C1009XAC

説明: ASIC 使用可能マシン・チェック・ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009XB0 C1009XB0

説明: ASIC 入出力初期化ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009XB4 C1009XB4

説明: ASIC DRAM 初期化ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009XB8 C1009XB8

説明: ASIC メモリー診断ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009XB9 C1009XB9

説明: PSI 診断ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009XBB C1009XBB

説明: L3 回線削除のリストア・ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009XBD C1009XBD

説明: AVP メモリー・テスト・ケースが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009XC0 C1009XC0

説明: ノード・インターフェース調整手順が進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009XC4 C1009XC4

説明: ダンプ初期化ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009XC8 C1009XC8

説明: プロセッサー・ランタイム診断 (PRD) の開始ステップが進行中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009XCC C1009XCC

説明: メッセージ引き渡し待機期間が開始しています

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009XD0 C1009XD0

説明: メッセージ引き渡し待機期間が開始しています

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1009XD4 C1009XD4

説明: 伸縮性のあるインターフェース調整の開始

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C103A1XX C103A1XX

説明: ハイパーバイザー・コード・モジュールをサーバー・ストレージに向けて送信中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C103A2XX C103A2XX

説明: サーバー・ストレージでハイパーバイザー・データ・エリアを作成中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C103A3XX C103A3XX

説明: ハイパーバイザー・データ構造をサーバー・ストレージに向けて送信中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C103A400 C103A400

説明: サーバー・プロセッサー上で特殊目的のレジスターをロード中、および手順を開始中です。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C103A401 C103A401

説明: サーバー・プロセッサー上で手順が開始済みです

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1112000 C1112000

説明: 電源オン: Standby-PowerOnTransition 遷移ファイル (1 次) を開始中

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C11120FF C11120FF

説明: 電源オン: Standby-PowerOnTransition 遷移ファイル (1 次) を完了

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C116C2XX C116C2XX

説明: システム電源インターフェースが、システム電源制御ネットワークからの電源障害イベントがないか listen しています。最終バイト (xx) は、待機中は 1 秒ごとに 00 から 1F まで増えていきます。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C162E4XX C162E4XX

説明: VPD の収集中です。xx は、VPD の収集元の装置タイプを表します。

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C1645300 C1645300

説明: データ同期操作の開始

応答:

1. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2xxyyyy 仮想サービス・プロセッサー・チェックポイント:

C2xxyyyy 進行コードは、仮想サービス・プロセッサーによって制御されるパーティション IPL の進行を示します。仮想サービス・プロセッサーの進行コードは、環境セットアップが完了後に終了し、特定のオペレーティング・システム・コードが IPL を続行します。

仮想サービス・プロセッサーは、各種オペレーティング・システムを始動できます。一部のコードは、オペレーティング・システムに固有のものであるため、すべてのオペレーティング・システムに適用されるわけではありません。

以下の C2xxyyyy 進行コードは、システムが進行コードでハングした場合に実行する推奨アクションと一緒に、パワーオン・セルフテスト (POST) 中に表示される可能性のある進行コードです。進行コードについて記載されているアクションを行う必要があるのは、ハング状態になった場合のみです。

システムが進行コードでハングした場合は、問題が解決するまで、推奨アクションをリストされている順に実行してください。 1 つのアクションで問題が解決した場合は、残りのアクションの実行を停止することができます。 どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。

C2001000 C2001000

説明: プラットフォーム始動中のパーティション自動始動

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2001010 C2001010

説明: 始動ソース

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2001100 C2001100

説明: 2 次構成にパーティション・リソースを追加中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20011FF C20011FF

説明: パーティション・リソースが正常に追加されました。

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2001200 C2001200

説明: 始動が可能か検査中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20012FF C20012FF

説明: パーティション始動の進行が許可されました。

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2001300 C2001300

説明: ISL ロードマップを初期化中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20013FF C20013FF

説明: ISL ロードマップの初期化が正常に終了

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2001400 C2001400

説明: SP 通信域 #1 を初期化中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2001410 C2001410

説明: 始動パラメーターを初期化中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20014FF C20014FF

説明: 始動パラメーターの初期化が正常に終了

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2002100 C2002100

説明: ラックの電源オン

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2002110 C2002110

説明: 電源オン・コマンドを発行中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C200211F C200211F

説明: 電源オン・コマンドが正常に終了

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20021FF C20021FF

説明: 電源オン・フェーズが完了

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2002200 C2002200

説明: スロット・ロックの獲得を開始中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20022FF C20022FF

説明: スロット・ロックの獲得を終了中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2002300 C2002300

説明: VIO スロット・ロックの獲得を開始中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20023FF C20023FF

説明: VIO スロット・ロックの獲得を終了中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2002400 C2002400

説明: スロットの電源オンを開始中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2002450 C2002450

説明: スロットの電源オンの完了を待機中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20024FF C20024FF

説明: スロットの電源オンを終了中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2002500 C2002500

説明: VIO スロットの電源オンを開始中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20025FF C20025FF

説明: VIO スロットの電源オンを終了中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2003100 C2003100

説明: ISL コマンド・パラメーターの妥当性検査中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2003111 C2003111

説明: バス・オブジェクトが作動可能になるのを待機中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2003112 C2003112

説明: バス装置がディセーブルになるのを待機中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2003115 C2003115

説明: バス・オブジェクトの作成を待機中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2003150 C2003150

説明: バス装置に ISL コマンドを送信中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20031FF C20031FF

説明: ISL コマンドの完了を待機中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20032FF C20032FF

説明: ISL コマンドの正常完了

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2003300 C2003300

説明: 失敗した ISL スロットの SoftPOR を開始中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2003350 C2003350

説明: 失敗した ISL スロットの SoftPOR を待機中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20033FF C20033FF

説明: 失敗した ISL スロットの SoftPOR を終了中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2004100 C2004100

説明: ロード・ソース・デバイスの参加登録を待機中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2004200 C2004200

説明: ロード・ソース・デバイスの参加登録終了

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2004300 C2004300

説明: ロード・ソース・デバイス接続の準備中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20043FF C20043FF

説明: ロード・ソース・デバイスの接続終了

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2006000 C2006000

説明: ロード・ソースの第 1 LID 情報の位置決め中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2006005 C2006005

説明: 全パーティションのメイン・ストアをクリア中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2006010 C2006010

説明: ロード・ソースの次の LID 情報の位置決め中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2006020 C2006020

説明: LID 情報の検査中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2006030 C2006030

説明: LP 構成 LID のプライミング中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2006040 C2006040

説明: ロード・ソースから LID ロード開始の準備中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2006050 C2006050

説明: LP 構成 LID プライム正常終了

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2006060 C2006060

説明: LID ロードの完了を待機中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2006100 C2006100

説明: LID ロードの正常完了

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2006200 C2006200

説明: ロー・カーネル・メモリー・イメージのロード中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20062FF C20062FF

説明: ロー・カーネル・メモリー・イメージのロードが正常に完了

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2008040 C2008040

説明: スロット・ロックのパーティションへの転送を開始

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2008060 C2008060

説明: スロット・ロックのパーティションへの転送が終了

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2008080 C2008080

説明: VIO スロット・ロックのパーティションへの転送を開始

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20080A0 C20080A0

説明: VIO スロット・ロックのパーティションへの転送が終了

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20080FF C20080FF

説明: ハイパーバイザー低レベル・セッション・マネージャー・オブジェクトが作動可能

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2008100 C2008100

説明: サービス・プロセッサー通信域 #2 の初期化中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2008104 C2008104

説明: データ構造をメイン・ストアにロード中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2008110 C2008110

説明: イベント・パスを初期化中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2008120 C2008120

説明: プロセッサーの開始中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2008130 C2008130

説明: システム・ポートの関連付けを開始

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2008138 C2008138

説明: システム・ポートをパーティションに関連付け中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C200813F C200813F

説明: システム・ポートの関連付けが終了

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20081FF C20081FF

説明: プロセッサー開始が正常終了し、システム・ファームウェアからの続行確認通知の受信を待機中

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C2008200 C2008200

説明: システム・ファームウェアからの続行確認通知の受信完了

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

C20082FF C20082FF

説明: VSP 始動の正常完了

応答:

1. システム・ファームウェアの回復に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

IPL 状況進行コード:

オペレーティング・システムの初期プログラム・ロード (IPL) 中にコンピュート・ノードが停止するということは、オペレーティング・システム・コードまたはハードウェア構成に問題があることを示しています。

Systems ハードウェア・インフォメーション・センター (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/powersys/v3r1m5/index.jsp) では、IPL 状況進行コードの C3yx、C500、C5yx、C600、および C6xx について説明しています。

C7xxyyyy コンピュート・ノード・ファームウェア IPL 状況チェックポイント:

コンピュート・ノード・ファームウェアの初期プログラム・ロード (IPL) 中にコンピュート・ノードが停止する場合、コンピュート・ノード・ファームウェア・コードに問題があることを示しています。表示される C7xxyyyy 進行コードが C7004091 でない場合、行う保守アクションは、SRC のワード 3 および 4 に関する情報の収集、および次のレベルのサポートに連絡することのみです。

システムが進行コードでハングした場合は、問題が解決するまで、推奨アクションをリストされている順に実行してください。 1 つのアクションで問題が解決した場合は、残りのアクションの実行を停止することができます。 どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。

C700XXXX C700XXXX

説明: 始動中にシステム・ファームウェアで問題が発生しました。

応答:

1. サーバーをシャットダウンし、永久サイドのイメージから再始動します。 PERM イメージの始動を参照してください。
2. 参照コードの RETAIN tips とファームウェアの変更ヒストリーを検索して、推奨アクションを判別します。 ファームウェアの更新が必要な場合は、ファームウェアの更新を参照してください。
3. 以前のステップでサーバー・ファームウェアが更新されなかった場合は、サーバー・ファームウェアを更新します。 ファームウェアの更新を参照してください。
4. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CAxxyyyy パーティション・ファームウェア・チェックポイント:

CAxxyyyy パーティション・ファームウェア進行コードは、パーティション・ファームウェアの初期化中の進行に関する情報を提供します。場合により、8 桁のシステム参照コード (SRC) が表示されずに、この進行コードのいずれかでサーバーがハング (つまり停止) することがあります。

以下の CAxxyyyy 進行コードは、システムが進行コードでハングした場合に実行する推奨アクションと一緒に、パワーオン・セルフテスト (POST) 中に表示される可能性のある進行コードです。進行コードについて記載されているアクションを行う必要があるのは、ハング状態になった場合のみです。

システムが進行コードでハングした場合は、問題が解決するまで、推奨アクションをリストされている順に実行してください。 1 つのアクションで問題が解決した場合は、残りのアクションの実行を停止することができます。どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。

CA000000 CA000000

説明: プロセス制御がパーティション・ファームウェアにこの時点で所有されました。

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA000020 CA000020

説明: ファームウェア・レベルの検査中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA000030 CA000030

説明: lpevents を使用して通信リンクの確立を試行中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA000032 CA000032

説明: lpevent キューの登録を試行中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA000034 CA000034

説明: 論理区画イベントのためのスペースの割り振りを試行中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA000038 CA000038

説明: バーチャル継続イベントの交換を試行中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA000040 CA000040

説明: RTAS ファームウェア詳細の取得を試行中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA000050 CA000050

説明: RTAS ファームウェアのロードを試行中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA000060 CA000060

説明: オープン・ファームウェア詳細の取得を試行中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA000070 CA000070

説明: オープン・ファームウェアのロードを試行中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA000080 CA000080

説明: オープン・ファームウェアの開始を準備中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA000090 CA000090

説明: オープン・ファームウェア・パッケージが破壊されています (フェーズ 1)。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA000091 CA000091

説明: C コードの 2 回目の引き渡しをロードしようとしています

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA0000A0 CA0000A0

説明: オープン・ファームウェア・パッケージが破壊されています (フェーズ 2)。

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00D001 CA00D001

説明: PCI プローブ処理が完了、PCI ブリッジ割り込みルーティング・プロパティーの作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00D002 CA00D002

説明: PCI アダプター NVRAM ヒントの作成完了。システムはリブート中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00D003 CA00D003

説明: PCI プローブが完了

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00D004 CA00D004

説明: インストール・コンソールの開始、GUI パッケージのロード中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00D008 CA00D008

説明: コンソールとフラッシュ・キューを初期化

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00D00C CA00D00C

説明: パーティション・ファームウェアが NVRAM スクリプトを検索開始直前

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00D00D CA00D00D

説明: NVRAM スクリプトの評価中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00D010 CA00D010

説明: オープン・ファームウェア初期化の最初のパスの完了、再始動用パラメーターの確立

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00D011 CA00D011

説明: オープン・ファームウェア初期化の最初のパスの完了、初期化ファームウェアに制御が戻された

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00D012 CA00D012

説明: オープン・ファームウェア初期化の 2 番目のパスの完了、初期化ファームウェアに制御が戻された

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00D013 CA00D013

説明: ランタイム・オープン・ファームウェア初期化の完了。初期化ファームウェアに制御が戻されました

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00D020 CA00D020

説明: SLIC ローダーの実行 (IOP を使用しないブート) をダウンロードしようとしています

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00D021 CA00D021

説明: 入出力レポーターの実行 (VPD 収集用) をダウンロードしようとしています

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E101 CA00E101

説明: RTAS ノードの作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E102 CA00E102

説明: RTAS のロードと初期化

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E105 CA00E105

説明: オペレーティング・システムへの制御権移動 (通常モード・ブート)

応答: ブート問題の解決に進みます。

CA00E10A CA00E10A

説明: RTAS デバイス・ツリーのロード

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E10B CA00E10B

説明: RTAS デバイス・プロパティーの設定

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E110 CA00E110

説明: KDUMP プロパティーを作成します

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E130 CA00E130

説明: デバイス・ツリーのビルド

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E131 CA00E131

説明: ルート・ノード・プロパティーを作成します

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E134 CA00E134

説明: メモリー・ノードの作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E135 CA00E135

説明: HCA ノードの作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E136 CA00E136

説明: BSR ノードの作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E137 CA00E137

説明: HEA ノードを作成します

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E138 CA00E138

説明: オプション・ノードの作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E139 CA00E139

説明: 別名ノードとシステム別名の作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E13A CA00E13A

説明: パッケージ・ノードの作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E13B CA00E13B

説明: HEA ノードを作成します

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E13C CA00E13C

説明: HEA ポート・ノードを作成します

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E140 CA00E140

説明: オペレーティング・システムのロード

応答: ブート問題の解決に進みます。

CA00E141 CA00E141

説明: マネージメント・モジュール・ブート・リストとのオペレーティング・システム・ブート・リストの同期

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E142 CA00E142

説明: マネージメント・モジュール・ブート・リストが、オペレーティング・システム・ブート・リストから設定されています

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E143 CA00E143

説明: オペレーティング・システム・ブート・リストが、マネージメント・モジュール・システム・ブート・リストから設定されています

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E149 CA00E149

説明: ブート・マネージャー・ノードの作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E14C CA00E14C

説明: 端末エミュレーター・ノードの作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E14D CA00E14D

説明: ブート・イメージのロード

応答: ブート問題の解決に進みます。

CA00E150 CA00E150

説明: ホスト (プライマリー) ノードの作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E151 CA00E151

説明: PCI バスのプローブ中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E152 CA00E152

説明: アダプター FCODE のプローブ中、存在する場合は評価

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E153 CA00E153

説明: アダプター FCODE のプローブと評価の終了

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E154 CA00E154

説明: PCI ブリッジ・ノードの作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E155 CA00E155

説明: PCI ブリッジ・セカンダリー・バスのプローブ中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E156 CA00E156

説明: プラグイン PCI ブリッジ・ノードの作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E15B CA00E15B

説明: オペレーティング・システムへの制御権移動 (保守モード・ブート)

応答: ブート問題の解決に進みます。

CA00E15F CA00E15F

説明: アダプター VPD の評価

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E170 CA00E170

説明: PCI バス・プローブの開始

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E172 CA00E172

説明: PCI デバイス・プローブの最初のパス

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E174 CA00E174

説明: ホスト接続の確立中

応答:

1. 以下を確認します。
   - bootp サーバーが正しく構成されていることを確認し、オペレーションを再試行します。
   - ネットワーク接続が正しいことを確認し、オペレーションを再試行します。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E175 CA00E175

説明: Bootp 要求

応答:

1. 以下を確認します。
   - bootp サーバーが正しく構成されていることを確認し、オペレーションを再試行します。
   - ネットワーク接続が正しいことを確認し、オペレーションを再試行します。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E176 CA00E176

説明: TFTP ファイル転送

応答:

1. 以下を確認します。
   - bootp サーバーが正しく構成されていることを確認し、オペレーションを再試行します。
   - ネットワーク接続が正しいことを確認し、オペレーションを再試行します。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E177 CA00E177

説明: TFTP エラー状態が原因の転送失敗

応答:

1. 以下を確認します。
   - bootp サーバーが正しく構成されていることを確認し、オペレーションを再試行します。
   - ネットワーク接続が正しいことを確認し、オペレーションを再試行します。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E178 CA00E178

説明: TFTP ファイル転送の初期化中

応答:

1. 以下を確認します。
   - bootp サーバーが正しく構成されていることを確認し、オペレーションを再試行します。
   - ネットワーク接続が正しいことを確認し、オペレーションを再試行します。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E179 CA00E179

説明: BOOTP のクローズ

応答:

1. 以下を確認します。
   - bootp サーバーが正しく構成されていることを確認し、オペレーションを再試行します。
   - ネットワーク接続が正しいことを確認し、オペレーションを再試行します。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E17B CA00E17B

説明: マイクロプロセッサー・クロック・スピードの測定

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E198 CA00E198

説明: ibm,client-architecture-support に指定された変更内容を有効にするために、システムがリブート中

応答: ブート問題の解決に進みます。

CA00E199 CA00E199

説明: ブート・イメージ ELF ヘッダーに指定された変更内容を有効にするため、システムがリブート中

応答:

1. 以下を確認します。
   - bootp サーバーが正しく構成されていることを確認し、オペレーションを再試行します。
   - ネットワーク接続が正しいことを確認し、オペレーションを再試行します。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E19A CA00E19A

説明: NVRAM 自動ブート? 変数が見つからない、FALSE と想定

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E19B CA00E19B

説明: NVRAM メニュー? 変数が見つからない、FALSE と想定

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E19D CA00E19D

説明: NVRAM ノードの作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1A0 CA00E1A0

説明: ユーザーがキーボード入力により SMS メニューへのブートを要求した

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1A1 CA00E1A1

説明: ユーザーがキーボード入力を使用してファームウェア・プロンプトを開くためのブートを要求した

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1A2 CA00E1A2

説明: ユーザーが、キーボード入力により、デフォルトの保守モード・ブート・リストを使用するブートを要求した

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1A3 CA00E1A3

説明: ユーザーが、キーボード入力により、カスタマイズした保守モード・ブート・リストを使用するブートを要求した

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1A4 CA00E1A4

説明: ユーザーが SMS メニューのブートを要求した

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1A5 CA00E1A5

説明: ユーザーがファームウェア・プロンプトを開くためのブートを要求した

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1A6 CA00E1A6

説明: ユーザーがデフォルトの保守モード・ブート・リストを使用してブートを要求した

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1A7 CA00E1A7

説明: ユーザーが、カスタマイズした保守モード・ブート・リストを使用してブートを要求した

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1AA CA00E1AA

説明: NVRAM 設定チェックのシステム・ブート

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1AB CA00E1AB

説明: システムが、デフォルトの保守モード・ブート・リストを使用してブート中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1AC CA00E1AC

説明: システムが、カスタマイズした保守モード・ブート・リストを使用してブート中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1AD CA00E1AD

説明: システムがオペレーティング・システムをブート中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1AE CA00E1AE

説明: システムが NVRAM 設定を使用して SMS マルチブート・メニューをブートした

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1AF CA00E1AF

説明: システムが NVRAM 設定を使用して SMS ユーティリティー・メニューをブートした

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1B1 CA00E1B1

説明: システムが指示したブート・デバイス・リペアをブート中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1B2 CA00E1B2

説明: XOFF を受信、XON を待機中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1B3 CA00E1B3

説明: XON を受信しました

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1B4 CA00E1B4

説明: システムが指示したブート・ストリングがオペレーティング・システムをロードしませんでした

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1B5 CA00E1B5

説明: iSCSI ディスク別名の検査

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1D0 CA00E1D0

説明: PCI 自己構成 SCSI 装置 (SCSD) ノードの作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1D3 CA00E1D3

説明: SCSD ブロック・デバイス・ノード (SD) の作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1D4 CA00E1D4

説明: SCSD バイト・デバイス・ノード (ST) の作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1DC CA00E1DC

説明: ダイナミック・コンソール選択

応答:

1. ビデオ・セッションと SOL セッションを確認します。 コンソールがビデオ・コントローラーにリダイレクトされている可能性があります。
2. リモート制御セッションを開始するか、ローカルの KVM にアクセスして状況を確認します。
3. チェックアウト手順に進みます。
4. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1DD CA00E1DD

説明: グラフィックス・アダプターがファームウェア用コンソールとして選択されたが、USB キーボードが接続されていない。

応答:

1. USB キーボードが、パーティションに割り当てられた USB ポートに接続されていることを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1F0 CA00E1F0

説明: Out-Of-Box Experience を開始

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1F1 CA00E1F1

説明: 1 つ以上のデバイスにセルフテスト・シーケンスを開始

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1F2 CA00E1F2

説明: 電源オン・パスワードのプロンプト

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1F3 CA00E1F3

説明: 特権アクセス・パスワードのプロンプト

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1F4 CA00E1F4

説明: 1 つ以上のブート・デバイスのセルフテスト・シーケンスの終了、システム管理サービスの開始

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1F5 CA00E1F5

説明: ブート・デバイス・リストのビルド

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1F6 CA00E1F6

説明: ブート・デバイス・シーケンスの決定

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1F7 CA00E1F7

説明: ブート・イメージを見付けることができなかった

応答: ブート問題の解決に進みます。

CA00E1F8 CA00E1F8

説明: SCSD アダプター用のブート・デバイス・リストのビルド中。 (スキャン中の SCSD アダプターのロケーション・コードも表示される。)

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1F9 CA00E1F9

説明: ファイバー・チャネル・アダプター用のブート・デバイス・リストのビルド中。 (スキャン中の SAN アダプターのロケーション・コードも表示される。)

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1FA CA00E1FA

説明: SCSD アダプター用のデバイス・リストのビルド中。 (スキャン中のデバイスのデバイス ID とデバイス LUN も表示される。)

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1FB CA00E1FB

説明: 接続デバイス用の SCSD バスをスキャン

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1FC CA00E1FC

説明: SSA アダプター用のブート・デバイス・リストのビルド中。 (スキャン中の SSA アダプターのロケーション・コードも表示される。)

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1FE CA00E1FE

説明: ファイバー・チャネル (SAN) アダプター用のデバイス・リストのビルド中 (スキャン中の SAN アダプターの WWPN も表示される。)

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E1FF CA00E1FF

説明: ファイバー・チャネル (SAN) アダプター用のデバイス・リストのビルド中。 (スキャン中の SAN アダプターの LUN も表示される。)

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E440 CA00E440

説明: NVRAM の妥当性検査を実施、必要に応じてパーティションの初期化

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E441 CA00E441

説明: /options ノード NVRAM 構成変数プロパティーの生成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E442 CA00E442

説明: NVRAM パーティションの妥当性検査を実施

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E443 CA00E443

説明: NVRAM 構成変数辞書ワードの生成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E444 CA00E444

説明: NVRAM サイズが 8K バイト未満です。

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E701 CA00E701

説明: メモリー VPD の作成

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E800 CA00E800

説明: RTAS の初期化中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E810 CA00E810

説明: ioconfig pfds の初期化中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E820 CA00E820

説明: lpevent を初期化中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E830 CA00E830

説明: イベント・スキャンの初期化中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E840 CA00E840

説明: ホット・プラグの初期化中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E843 CA00E843

説明: interface/AIX アクセスを初期化中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E850 CA00E850

説明: 動的再構成の初期化中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E860 CA00E860

説明: センサーを初期化中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E865 CA00E865

説明: VPD を初期化中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E870 CA00E870

説明: pfds メモリー・マネージャーの初期化中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E875 CA00E875

説明: rtas_last_error を初期化中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E876 CA00E876

説明: rtas_error_inject を初期化中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E877 CA00E877

説明: ダンプ・インターフェースの初期化中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E879 CA00E879

説明: プラットフォームによって支援される kdump インターフェースを初期化中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E885 CA00E885

説明: set-power-level を初期化中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E886 CA00E886

説明: exit2c を初期化中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E887 CA00E887

説明: アクティブ・ファームウェア用の gdata の初期化

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E890 CA00E890

説明: オープン・ファームウェアの初期化を開始中

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00E891 CA00E891

説明: オープン・ファームウェアの初期化が完了

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA00EAA1 CA00EAA1

説明: PCI-PCI ブリッジ・バスのプローブ

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA060203 CA060203

説明: 別名が変更済みあるいは作成済み

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA26FFFF CA26FFFF

説明: lpevent が完了するのに拡張項目が必要でした。

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA26TTSS CA26TTSS

説明: タイプ tt とサブタイプ ss の lpevent を待機中

応答:

1. サーバーをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA279001 CA279001

説明: ファームウェア更新イメージに、まだシステム上にない更新モジュールが含まれています。

応答:

1. BA27xxxx エラー・コードのイベント・ログを見つけて、ファームウェア・インストール・エラーが発生したかどうかを判別します。
2. ファームウェア・インストール・エラーが実際に発生している場合は、問題を解決します。
3. ファームウェア更新を再試行します。
4. 問題が解決しない場合は、次のようにします。
   a. チェックアウト手順に進みます。
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

CA2799FD CA2799FD

説明: ファームウェア更新モジュールを読み取り中

応答: このチェックポイントは、コントロール・パネルで CA2799FF と入れ替わります。

代替コード以外のアクティビティーが示されずに、この組み合わせのチェックポイントが最大 30 分間表示されたままでいることがあります。 代替が停止し、チェックポイントのうち 1 つのみがコントロール・パネルに少なくとも 30 分間 (他のアクティビティーが表示されない状態で) 表示されるまでは、システムがハングしたと判断しないでください。

システムがこのチェックポイントでハングした場合、CA2799FD と CA2799FF が入れ替わることはないので、以下の手順を実行する必要があります。

1. サーバーをシャットダウンします。
2. PERM イメージの始動の説明に従って、永続ブート・イメージを使用してサーバーを再始動します。
3. 「システム・フラッシュの更新と管理 (Update and Manage System Flash)」メニューを使用して、一時イメージを拒否します。

CA2799FF CA2799FF

説明: ファームウェア更新モジュールを書き込み中

応答: このチェックポイントは、コントロール・パネルで CA2799FD と入れ替わります。

代替コード以外のアクティビティーが示されずに、この組み合わせのチェックポイントが最大 30 分間表示されたままでいることがあります。 代替が停止し、チェックポイントのうち 1 つのみがコントロール・パネルに少なくとも 30 分間 (他のアクティビティーが表示されない状態で) 表示されるまでは、システムがハングしたと判断しないでください。 システムがこのチェックポイントでハングした場合、CA2799FD と CA2799FF が入れ替わることはないので、以下の手順を実行する必要があります。

1. サーバーをシャットダウンします。
2. PERM イメージの始動の説明に従って、永続ブート・イメージを使用してサーバーを再始動します。
3. 「システム・フラッシュの更新と管理 (Update and Manage System Flash)」メニューを使用して、一時イメージを拒否します。

D1xx1yyy サービス・プロセッサー・ダンプ状況コード:

D1xx1yyy サービス・プロセッサー・ダンプ状況コードは、ダンプ・コンポーネントが処理しているケージまたはノード ID、ハードウェア・データの収集元ノード、およびダンプ・プロセッサーが 4K のダンプ・データを保管するたびに増分するカウンターを示します。

サービス・プロセッサー・ダンプ状況コードは、形式 D1*xx*1*yyy* を使用します。ここで、*xx* および *yyy* には、任意の数値または文字を使用できます。

コードの *xx* 部分は、ダンプ・コンポーネントが処理しているケージまたはノード ID を表します。 このノードは、ハードウェア・データの収集元のノードによって異なります。 メインストア・メモリー・データを収集する場合のノードは 0xFF です。

コードの *yyy* 部分は、ダンプ・プロセッサーが 4K のダンプ・データを保管するたびに増分するカウンターです。

以下の D1xx1yyy ダンプ状況コードは、システムが進行コードでハングした場合に実行する推奨アクションと一緒に、パワーオン・セルフテスト (POST) 中に表示される可能性のある進行コードです。進行コードについて記載されているアクションを行う必要があるのは、ハング状態になった場合のみです。

システムが進行コードでハングした場合は、問題が解決するまで、推奨アクションをリストされている順に実行してください。 1 つのアクションで問題が解決した場合は、残りのアクションの実行を停止することができます。 どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。

D1001XXX D1001XXX

説明: ダンプ・エラー・データ

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1011XXX D1011XXX

説明: ダンプ・ヘッダーをダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D101C00F D101C00F

説明: CPU 制御のためのデバッグを許可するために、電源はオフになりません

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1021XXX D1021XXX

説明: ダンプ・ヘッダー・ディレクトリーをダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1031XXX D1031XXX

説明: ダンプ・ヘッダー fips ヘッダーをダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1041XXX D1041XXX

説明: ダンプ・ヘッダー項目ヘッダーをダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1051XXX D1051XXX

説明: 障害が発生しているコンポーネントのコア・ファイルをダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1061XXX D1061XXX

説明: 全 NVRAM をダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1071XXX D1071XXX

説明: 障害が発生しているコンポーネントのコンポーネント・トレースをダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1081XXX D1081XXX

説明: /opt/p0 からのコンポーネント・データをダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1091XXX D1091XXX

説明: /opt/p1//* をダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1111XXX D1111XXX

説明: /opt/p0/* をダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1121XXX D1121XXX

説明: /opt/p1/* をダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1131XXX D1131XXX

説明: 全トレースをダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1141XXX D1141XXX

説明: コード・バージョンをダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1151XXX D1151XXX

説明: rtbl 以外の全 /opt/p3 をダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1161XXX D1161XXX

説明: pddcustomize -r コマンドをダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1171XXX D1171XXX

説明: registry -l コマンドをダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1181XXX D1181XXX

説明: 全 /core/core.* ファイルをダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1191XXX D1191XXX

説明: BDMP コンポーネント・トレース (十分なスペースがある場合はダンプの後) をダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D11A1XXX D11A1XXX

説明: ダンプが開始する前の状態情報をダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D11B1XXX D11B1XXX

説明: /proc ファイル・システムをダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D11C1XXX D11C1XXX

説明: マウントされたファイル・システム統計をダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D11D1XXX D11D1XXX

説明: 環境をダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1231XXX D1231XXX

説明: 更新ダンプ・ヘッダーをダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1241XXX D1241XXX

説明: CRC1 計算のダンプをオフにします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1251XXX D1251XXX

説明: CRC1 計算のダンプをオンにします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1261XXX D1261XXX

説明: CRC2 計算のダンプをオフにします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1271XXX D1271XXX

説明: CRC2 計算のダンプをオンにします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1281XXX D1281XXX

説明: 計算済み CRC1 (ダンプ・ヘッダー) の出力をダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1291XXX D1291XXX

説明: 計算済み CRC2 (データおよびデータ・ヘッダー) の出力をダンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D12A1XXX D12A1XXX

説明: CRC1 直後のダンプ内の位置にジャンプします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D12B1XXX D12B1XXX

説明: ヘッダー・ダンプ時刻およびシリアル番号を初期化します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D12C1XXX D12C1XXX

説明: 最終 SRC をパネルに表示します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D12D1XXX D12D1XXX

説明: /core/core.app.time.pid を削除します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D12E1XXX D12E1XXX

説明: /core/core.* を削除します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D12F1XXX D12F1XXX

説明: 先頭 SRC をパネルに表示します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1301XXX D1301XXX

説明: ダンプへのエラー・ログ・キャプチャーをオフにします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1311XXX D1311XXX

説明: ダンプへのエラー・ログ・キャプチャーをオンにします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1321XXX D1321XXX

説明: 既存のコア・ファイルに関する情報を保管します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1381XXX D1381XXX

説明: ダンプを無効にします

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1391XXX D1391XXX

説明: 有効なダンプ・シーケンスがないか確認します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D13A1XXX D13A1XXX

説明: ダンプ識別シーケンスを取得します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D13B1XXX D13B1XXX

説明: ダンプ長シーケンスを取得します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1FF1XXX D1FF1XXX

説明: ダンプ完了

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XX3YYY D1XX3YYY

説明: プラットフォーム・ダンプ状況コードについては、D1xx3y01 から D1xx3yF2 のサービス・プロセッサー・ダンプ・コードで説明しています。

応答:

D1xx3yzz サービス・プロセッサー・ダンプ・コード:

これらの D1xx3yzz サービス・プロセッサー・ダンプ・コードは、形式 D1*xx*3*yzz* を使用します。ここで、*xx* は、ダンプ・コンポーネントが処理しているケージまたはノード ID を示し、*y* は 0 から F に増分して、システムがハングしていないことを示し、*zz* は処理されるコマンドを示します。

D1xx3yzz ダンプ・コードは、システムが進行コードでハングした場合に実行する推奨アクションと一緒に、パワーオン・セルフテスト (POST) 中に表示される可能性のある進行コードです。進行コードについて記載されているアクションを行う必要があるのは、ハング状態になった場合のみです。

システムが進行コードでハングした場合は、問題が解決するまで、推奨アクションをリストされている順に実行してください。 1 つのアクションで問題が解決した場合は、残りのアクションの実行を停止することができます。 どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。

D1XX3Y01 D1XX3Y01

説明: SCOM を入手します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XX3Y02 D1XX3Y02

説明: スキャン・リングを入手します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XX3Y03 D1XX3Y03

説明: 配列値を入手します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XX3Y04 D1XX3Y04

説明: クロックを停止します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XX3Y05 D1XX3Y05

説明: キャッシュを消去します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XX3Y06 D1XX3Y06

説明: CFAM を入手します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XX3Y07 D1XX3Y07

説明: SCOM を書き込みます

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XX3Y08 D1XX3Y08

説明: コマンドを送信します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XX3Y09 D1XX3Y09

説明: 最適化キャッシュを入手します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XX3Y0A D1XX3Y0A

説明: 汎用 (GP) レジスターを入手します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XX3Y0B D1XX3Y0B

説明: プロセッサーのクリーンアップ

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XX3Y0C D1XX3Y0C

説明: JTAG レジスターを入手します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XX3Y0D D1XX3Y0D

説明: 静止なしでクロックを停止します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XX3YF0 D1XX3YF0

説明: メモリー・コレクション・セットアップ

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XX3YF1 D1XX3YF1

説明: メモリー・コレクション DMA ステップ

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XX3YF2 D1XX3YF2

説明: メモリー・コレクション・クリーンアップ

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1xx9yyy から D1xxCyyy のサービス・プロセッサー・パワーオフ・チェックポイント:

これらの D1xx サービス・プロセッサー・パワーオフ状況コードは、パワーオフ操作中のサービス・プロセッサーの状況に関する情報を提供します。

以下の D1xx パワーオフ状況コードは、システムが進行コードでハングした場合に実行する推奨アクションと一緒に、パワーオン・セルフテスト (POST) 中に表示される可能性のある進行コードです。進行コードについて記載されているアクションを行う必要があるのは、ハング状態になった場合のみです。

システムが進行コードでハングした場合は、問題が解決するまで、推奨アクションをリストされている順に実行してください。 1 つのアクションで問題が解決した場合は、残りのアクションの実行を停止することができます。どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。

D1XX900C D1XX900C

説明: CPU コントロールに設定されたブレークポイントがヒットしました

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XXB0FF D1XXB0FF

説明: プログラムのパワーオフ開始要求が送信されました

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XXC000 D1XXC000

説明: パワーオフにするために、メッセージがハイパーバイザーに送信できる準備が整っていることを示します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XXC001 D1XXC001

説明: ハイパーバイザーがパワーオフ遅延通知を確認するのを待機します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XXC002 D1XXC002

説明: ハイパーバイザーがパワーオフ・メッセージを送信するのを待機します

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

D1XXC003 D1XXC003

説明: ハイパーバイザー・ハンドシェークが完了しました

応答:

1. チェックアウト手順に進みます。
2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードを交換します。

サービス要求番号 (SRN)

サービス要求番号 (SRN) は、オペレーティング・システムが生成するエラー・コードです。 コードには、3 つまたは 4 つの数字、1 つのハイフン、ハイフンの後に 3 つまたは 4 つの数字があります。 SRN は、AIX 診断または Linux 保守援助機能「diagela」(インストールされている場合) を使用して表示することができます。

注: 「diagela」保守援助機能は、ハードウェア診断用の Linux 保守援助機能の一部です。 保守援助機能は、オペレーティング・システムとは別個のもので、Linux システム用のサービス・ツールおよび生産性向上ツールのサイト からダウンロードできます。

SRN 表の使用:

サービス要求番号 (SRN) リストは数値順です。障害機能コード (FFC) は、障害のあるコンポーネントの判別を援助するために提供されます。

手順

1. ハイフン付きのエラー・コードが表示されたら、サービス要求番号を探してください。

   SRN は、SRN 表の最初の列に、番号順に入っています。

   SRN には、関連する FFC 番号がある場合があります。 SRN の考えられる FFC 値は、表の 2 番目の列に表示されます。 FFC 番号は、SRN の最初の 3 桁または最後の 3 桁であるか、あるいは SRN に入っていない場合もあります。

   3 番目の列は、問題と、問題を修正するために取るべきアクションを説明します。 この説明には、SRN の FFC 番号 (存在する場合) の見つけ方も含まれています。
2. 各 FFC 値の説明については、 495 ページの『障害機能コード』を参照してください。
3. SRN が表にない場合は、 552 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
4. コンポーネントの交換後、AIX 診断を使用して交換パーツを検証し、ログ・リペア・アクションを実行してください。

101-711 から FFC-725 までの SRN:

AIX オペレーティング・システムでは、101-711 から FFC-725 までのサービス要求番号 (SRN) が生成される場合があります。

コードがリストされている順番で部品を交換してください。

101-711 101-711

説明: 不明なリソースの構成を試行中にシステムがハングしました。

1. スタンドアロン診断の問題判別手順を実行します。
2. 問題が解決しない場合は、障害機能コードを参照して、SRN の最後の 3 桁と一致する FFC を検索します。
3. デバイス・アダプターまたはデバイス自身を疑ってください。

応答:

障害項目:

- FFC_711

101-712 101-712

説明: 不明なリソースの構成を試行中にシステムがハングしました。

1. スタンドアロン診断の問題判別手順を実行します。
2. 問題が解決しない場合は、障害機能コードを参照して、SRN の最後の 3 桁と一致する FFC を検索します。
3. デバイス・アダプターまたはデバイス自身を疑ってください。

応答:

障害項目:

- FFC_712

101-713 101-713

説明: 不明なリソースの構成を試行中にシステムがハングしました。

1. スタンドアロン診断の問題判別手順を実行します。
2. 問題が解決しない場合は、障害機能コードを参照して、SRN の最後の 3 桁と一致する FFC を検索します。
3. デバイス・アダプターまたはデバイス自身を疑ってください。

応答:

障害項目:

- FFC_713

101-714 101-714

説明: 不明なリソースの構成を試行中にシステムがハングしました。

1. スタンドアロン診断の問題判別手順を実行します。
2. 問題が解決しない場合は、障害機能コードを参照して、SRN の最後の 3 桁と一致する FFC を検索します。
3. デバイス・アダプターまたはデバイス自身を疑ってください。

応答:

障害項目:

- FFC_714

101-715 101-715

説明: 不明なリソースの構成を試行中にシステムがハングしました。

1. スタンドアロン診断の問題判別手順を実行します。
2. 問題が解決しない場合は、障害機能コードを参照して、SRN の最後の 3 桁と一致する FFC を検索します。
3. デバイス・アダプターまたはデバイス自身を疑ってください。

応答:

障害項目:

- FFC_715

101-716 101-716

説明: 不明なリソースの構成を試行中にシステムがハングしました。

1. スタンドアロン診断の問題判別手順を実行します。
2. 問題が解決しない場合は、障害機能コードを参照して、SRN の最後の 3 桁と一致する FFC を検索します。
3. デバイス・アダプターまたはデバイス自身を疑ってください。

応答:

障害項目:

- FFC_716

101-717 101-717

説明: 不明なリソースの構成を試行中にシステムがハングしました。

1. スタンドアロン診断の問題判別手順を実行します。
2. 問題が解決しない場合は、障害機能コードを参照して、SRN の最後の 3 桁と一致する FFC を検索します。
3. デバイス・アダプターまたはデバイス自身を疑ってください。

応答:

障害項目:

- FFC_717

101-718 101-718

説明: 不明なリソースの構成を試行中にシステムがハングしました。

1. スタンドアロン診断の問題判別手順を実行します。
2. 問題が解決しない場合は、障害機能コードを参照して、SRN の最後の 3 桁と一致する FFC を検索します。
3. デバイス・アダプターまたはデバイス自身を疑ってください。

応答:

障害項目:

- FFC_718

101-719 101-719

説明: 不明なリソースの構成を試行中にシステムがハングしました。

1. スタンドアロン診断の問題判別手順を実行します。
2. 問題が解決しない場合は、障害機能コードを参照して、SRN の最後の 3 桁と一致する FFC を検索します。
3. デバイス・アダプターまたはデバイス自身を疑ってください。

応答:

障害項目:

- FFC_719

101-720 101-720

説明: 不明なリソースの構成を試行中にシステムがハングしました。

1. スタンドアロン診断の問題判別手順を実行します。
2. 問題が解決しない場合は、障害機能コードを参照して、SRN の最後の 3 桁と一致する FFC を検索します。
3. デバイス・アダプターまたはデバイス自身を疑ってください。

応答:

障害項目:

- FFC_720

101-721 101-721

説明: 不明なリソースの構成を試行中にシステムがハングしました。

1. スタンドアロン診断の問題判別手順を実行します。
2. 問題が解決しない場合は、障害機能コードを参照して、SRN の最後の 3 桁と一致する FFC を検索します。
3. デバイス・アダプターまたはデバイス自身を疑ってください。

応答:

障害項目:

- FFC_721

101-722 101-722

説明: 不明なリソースの構成を試行中にシステムがハングしました。

1. スタンドアロン診断の問題判別手順を実行します。
2. 問題が解決しない場合は、障害機能コードを参照して、SRN の最後の 3 桁と一致する FFC を検索します。
3. デバイス・アダプターまたはデバイス自身を疑ってください。

応答:

障害項目:

- FFC_722

101-723 101-723

説明: 不明なリソースの構成を試行中にシステムがハングしました。

1. スタンドアロン診断の問題判別手順を実行します。
2. 問題が解決しない場合は、障害機能コードを参照して、SRN の最後の 3 桁と一致する FFC を検索します。
3. デバイス・アダプターまたはデバイス自身を疑ってください。

応答:

障害項目:

- FFC_723

101-724 101-724

説明: 不明なリソースの構成を試行中にシステムがハングしました。

1. スタンドアロン診断の問題判別手順を実行します。
2. 問題が解決しない場合は、障害機能コードを参照して、SRN の最後の 3 桁と一致する FFC を検索します。
3. デバイス・アダプターまたはデバイス自身を疑ってください。

応答:

障害項目:

- FFC_724

101-725 101-725

説明: 不明なリソースの構成を試行中にシステムがハングしました。

1. スタンドアロン診断の問題判別手順を実行します。
2. 問題が解決しない場合は、障害機能コードを参照して、SRN の最後の 3 桁と一致する FFC を検索します。
3. デバイス・アダプターまたはデバイス自身を疑ってください。

応答:

障害項目:

- FFC_725

101-726 101-726

説明: 不明なリソースの構成を試行中にシステムがハングしました。

1. スタンドアロン診断の問題判別手順を実行します。
2. 問題が解決しない場合は、障害機能コードを参照して、SRN の最後の 3 桁と一致する FFC を検索します。
3. デバイス・アダプターまたはデバイス自身を疑ってください。

応答:

障害項目:

- FFC_726

101-888 101-888

説明: システムが IPL しません。 チェックアウト手順の実行または未解決問題の手順に進んでください。

応答:

障害項目:

- FFC_210
- FFC_227

103-151 103-151

説明: 時刻バッテリーが障害を起こしました。

1. バッテリーの取り外しに進み、バッテリー交換手順を開始してください。
2. バッテリーの取り付けに進み、手順を完了してください。

応答:

障害項目:

- FFC_151

109-200 109-200

説明: システムが実行中に異常終了しました。

1. チェックアウト手順の実行に進みます。
2. 8 桁のエラー・コードとロケーション・コードが報告されていない場合は、問題判別手順の AIX 診断を実行して、この SRN の 8 桁のエラー・コードとロケーション・コードを記録および報告してください。

応答:

110-101 110-101

説明: 診断はインストール済みリソースを検出しませんでした。 この SRN が並行診断を実行中に表示された場合は、diag -a コマンドを使用して並行診断を実行してください。

応答:

110-921 110-921

説明: 診断の実行中にシステムが停止しました。

チェックアウト手順の実行に進んで、問題を解決してください。

注: xxx は、SRN の最後の 3 桁に対応します。

応答:

障害項目:

- FFC_812
- FFC_XXX

110-922 110-922

説明: 診断の実行中にシステムが停止しました。

チェックアウト手順の実行に進んで、問題を解決してください。

注: xxx は、SRN の最後の 3 桁に対応します。

応答:

障害項目:

- FFC_812
- FFC_XXX

110-923 110-923

説明: 診断の実行中にシステムが停止しました。

チェックアウト手順の実行に進んで、問題を解決してください。

注: xxx は、SRN の最後の 3 桁に対応します。

応答:

障害項目:

- FFC_812
- FFC_XXX

110-924 110-924

説明: 診断の実行中にシステムが停止しました。

チェックアウト手順の実行に進んで、問題を解決してください。

注: xxx は、SRN の最後の 3 桁に対応します。

応答:

障害項目:

- FFC_812
- FFC_XXX

110-925 110-925

説明: 診断の実行中にシステムが停止しました。

チェックアウト手順の実行に進んで、問題を解決してください。

注: xxx は、SRN の最後の 3 桁に対応します。

応答:

障害項目:

- FFC_812
- FFC_XXX

110-926 110-926

説明: 診断の実行中にシステムが停止しました。

チェックアウト手順の実行に進んで、問題を解決してください。

注: xxx は、SRN の最後の 3 桁に対応します。

応答:

障害項目:

- FFC_812
- FFC_XXX

110-935 110-935

説明: 診断の実行中にシステムが停止しました。 問題判別手順を使用します。

応答:

障害項目:

- FFC_812

111-107 111-107

説明: マシン・チェックが発生しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

111-108 111-108

説明: エンコードされた SRN が表示されました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

111-121 111-121

説明: モニターの問題です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

111-78C 111-78C

説明: PCI アダプターの I/O バスの問題です。 チェックアウト手順の実行に進みます。 未解決問題の解決を実行します。

応答:

障害項目:

- FFC_227

111-999 111-999

説明: システムがソフト・リセットを実行しません。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_210

650-XXX 650-XXX

説明: ディスク・ドライブ構成が失敗しました。 診断で特定された FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_650

651-199 651-199

説明: これは、このシステムから管理コンソールへの保守可能イベントの流れのテストです。これは、実際の問題ではありません。

応答:

問題判別: 管理コンソールを使用して保守可能イベントをリストし、保守可能イベントが HMC に送信されたことを確認します。

652-600 652-600

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。訂正不能メモリーまたは非サポートメモリーです。 据え置き保守をスケジュールします。 メモリー・モジュールを調べて、サポートされているタイプか判別します。 モジュールがサポートされている場合は、該当するメモリー・モジュールを交換します。

応答:

652-610 652-610

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。CPU 内部エラーです。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_210

652-611 652-611

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。CPU 内部キャッシュまたはキャッシュ・コントローラーのエラーです。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_210

652-612 652-612

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。外部キャッシュ・パリティー・エラーまたはマルチ・ビット ECC エラーです。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_D01

652-613 652-613

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。外部キャッシュ ECC シングル・ビット・エラーです。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_D01

652-623 652-623

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。訂正可能エラーしきい値を超えました。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2C6

652-630 652-630

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。I/O 拡張バス・パリティー・エラーです。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_307

652-631 652-631

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。I/O 拡張バス・タイムアウト・エラーです。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_307

652-632 652-632

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。I/O 拡張バス接続障害です。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_307

652-633 652-633

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。I/O 拡張装置が作動状態ではありません。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_307

652-634 652-634

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。内部デバイス・エラーです。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_307

652-664 652-664

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。訂正可能エラーしきい値を超えました。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_302

652-665 652-665

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。訂正可能エラーしきい値を超えました。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_303

652-666 652-666

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。訂正可能エラーしきい値を超えました。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_304

652-669 652-669

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。訂正可能エラーしきい値を超えました。 据え置き G 保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2CD

652-66A 652-66A

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。訂正可能エラーしきい値を超えました。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2CE

652-66B 652-66B

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。訂正可能エラーしきい値を超えました。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2CC

652-731 652-731

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。中間バスまたはシステム・バス・アドレス・パリティー・エラーです。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2C8

652-732 652-732

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。中間バスまたはシステム・バス・データ・パリティー・エラーです。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2C8

652-733 652-733

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。中間バスまたはシステム・バス・アドレス・パリティー・エラーです。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2C8
- FFC_292

652-734 652-734

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。中間バスまたはシステム・バス・データ・パリティー・エラーです。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2C8
- FFC_292

652-735 652-735

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。中間バスまたはシステム・バス・タイムアウト・エラーです。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2D2
- FFC_292

652-736 652-736

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。中間バスまたはシステム・バス・タイムアウト・エラーです。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2D2
- FFC_292

652-770 652-770

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。中間システム・バス・アドレス・パリティー・エラーです。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2C8
- FFC_292

652-771 652-771

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。中間バスまたはシステム・バス・データ・パリティー・エラーです。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2C8
- FFC_292

652-772 652-772

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。中間バスまたはシステム・バス・タイムアウト・エラーです。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2D2
- FFC_292

652-773 652-773

説明: 非クリティカル・エラーが検出されました。中間バスまたはシステム・バス・データ・パリティー・エラーです。 据え置き保守をスケジュールします。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_227

652-88X 652-88X

説明: CEC または SPCN が非クリティカル・エラーを報告しました。

1. 据え置き保守をスケジュールします。
2. 本システム装置のシステム・サービス・ガイドの「エントリー MAP」を参照し、8 桁のエラー・コードとロケーション・コードから必要な修理アクションを取ります。
3. 8 桁のエラー・コードとロケーション・コードが報告されていない場合は、問題判別モードで診断を実行して、この SRN のエラー・コードとロケーション・コードを記録し、報告してください。

応答:

652-89X 652-89X

説明: CEC または SPCN が非クリティカル・エラーを報告しました。

1. 据え置き保守をスケジュールします。
2. 本システム装置のシステム・サービス・ガイドの「エントリー MAP」を参照し、8 桁のエラー・コードとロケーション・コードから必要な修理アクションを取ります。
3. 8 桁のエラー・コードとロケーション・コードが報告されていない場合は、問題判別モードで診断を実行して、この SRN のエラー・コードとロケーション・コードを記録し、報告してください。

応答:

814-112 814-112

説明: NVRAM テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_814

814-113 814-113

説明: VPD テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_221

814-114 814-114

説明: I/O Card NVRAM テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_814

815-100 815-100

説明: 浮動小数点プロセッサー・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_815

815-101 815-101

説明: 浮動小数点プロセッサーが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_815

815-102 815-102

説明: 浮動小数点プロセッサーが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_815

815-200 815-200

説明: パワーオン・セルフテストがプロセッサー障害を示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_815
- FFC_7C0

815-201 815-201

説明: プロセッサーに障害状況が存在します。 障害状況が存在するプロセッサーは構成解除されたため、テストできないか、またはシステムにより使用できません。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_815

817-123 817-123

説明: I/O プレーナー TOD クロック・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_817

817-124 817-124

説明: TOD RAM テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_817

817-210 817-210

説明: TOD クロックが POR 中です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_817

817-211 817-211

説明: TOD POR テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_817

817-212 817-212

説明: バッテリーの電圧が低い。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_151

817-213 817-213

説明: リアルタイム刻時機構が作動していません。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_817

817-215 817-215

説明: TOD クロック非作動テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_817

817-217 817-217

説明: TOD クロックが作動していません。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_817

887-101 887-101

説明: POS レジスター・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-102 887-102

説明: 887I/O レジスター・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

887-103 887-103

説明: ローカル RAM テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-104 887-104

説明: 重要プロダクト・データ (VPD) テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-105 887-105

説明: LAN コプロセッサー内部テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-106 887-106

説明: 内部ループバック・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-107 887-107

説明: 外部ループバック・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-108 887-108

説明: 外部ループバック・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-109 887-109

説明: 外部ループバック・パリティー・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-110 887-110

説明: 外部ループバック・フェアネス・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-111 887-111

説明: 外部ループバック・フェアネスおよびパリティー・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-112 887-112

説明: 外部ループバック (対より線) テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-113 887-113

説明: 外部ループバック (対より線) パリティー・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-114 887-114

説明: 外部ループバック (対より線) フェアネス・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-115 887-115

説明: 外部ループバック (対より線) フェアネスおよびパリティー・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-116 887-116

説明: ラップ・データが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-117 887-117

説明: ソフトウェア・デバイス構成は失敗します。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-118 887-118

説明: デバイス・ドライバーがハードウェア障害を示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-120 887-120

説明: デバイス・ドライバーがハードウェア障害を示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-121 887-121

説明: イーサネット・トランシーバー・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_B08

887-122 887-122

説明: イーサネット 10 base-2 トランシーバー・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_B09

887-123 887-123

説明: 内部ループバック・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-124 887-124

説明: ソフトウェア・エラー・ログがハードウェア障害を示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-125 887-125

説明: ヒューズ・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-202 887-202

説明: 重要プロダクト・データ・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-203 887-203

説明: 重要プロダクト・データ・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-209 887-209

説明: RJ-45 コンバーター・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-304 887-304

説明: コプロセッサー内部テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-305 887-305

説明: 内部ループバック・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-306 887-306

説明: 内部ループバック・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-307 887-307

説明: 外部ループバック・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-319 887-319

説明: ソフトウェア・デバイス・ドライバーがハードウェア障害を示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-400 887-400

説明: ヒューズ・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-401 887-401

説明: イーサネット用回路ブレーカー・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-402 887-402

説明: イーサネット 10 Base-2 トランシーバー・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-403 887-403

説明: イーサネット 10 Base-T トランシーバー・テストが失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

887-405 887-405

説明: イーサネット・ネットワークの場合、正確な問題判別をするために、拡張モードで診断を再実行してください。チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_887

101-2020 101-2020

説明: InfiniBand Communication Manager の構成を試行中にシステムがハングしました。 この問題はソフトウェアに起因する可能性があります。この問題を AIX サポート・センターに報告してください。

応答:

101-2021 101-2021

説明: InfiniBand TCP/IP Interface の構成を試行中にシステムがハングしました。 この問題はソフトウェアに起因する可能性があります。 この問題を AIX サポート・センターに報告してください。

応答:

101-XXXX 101-XXXX

説明: リソースの構成中にシステムがハングしました。 ダッシュ (-) の後の 3 桁または 4 桁は、構成中のリソースに対する障害機能コードを表します。 未解決問題の手順に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_XXXX

110-XXXX 110-XXXX

説明: 診断の実行中にシステムが停止しました。

注: xxxx は、SRN のダッシュ (-) の後に続く 3 桁または 4 桁に対応しています。

1. 問題の 110 SRN がリストにない場合は、SRN の最後の 3 桁または 4 桁を xxxx で置き換え、障害機能コードに進み、障害が発生したフィーチャーを特定してください。
2. ご使用のオペレーティング・システム用のスタンドアロン診断および問題判別手順を実行します。

応答:

障害項目:

- FFC_XXXX
- FFC_221

252B-101 252B-101

説明: アダプター構成エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_252B

252B-710 252B-710

説明: アダプターの永続障害です。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_252B

252B-711 252B-711

説明: アダプターの障害です。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_252B

252B-712 252B-712

説明: アダプターの障害です。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_252B

252B-713 252B-713

説明: アダプターの障害です。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_252B

252B-714 252B-714

説明: アダプターの一時的な障害です。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_252B

252B-715 252B-715

説明: アダプターの一時的な障害です。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_252B

252B-716 252B-716

説明: PCI バス・エラーが EEH によって検出されました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_252B
- FFC_293

252B-717 252B-717

説明: PCI バス・エラーがアダプターによって検出されました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_252B
- FFC_293

252B-718 252B-718

説明: 一時的な PCI バス・エラーがアダプターによって検出されました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_252B
- FFC_293

252B-719 252B-719

説明: デバイス・バス終端パワーが失われたか検出できませんでした。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_252B

252B-720 252B-720

説明: アダプターがデバイス・バス障害を検出しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_252B

252B-721 252B-721

説明: 一時的なアダプターがデバイス・バス障害を検出しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_252B

252B-722 252B-722

説明: デバイス・バス・インターフェースの問題です。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_252B

252B-723 252B-723

説明: デバイス・バス・インターフェースの問題です。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_252B

254E-201 254E-201

説明: アダプター構成エラーです。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_254E
- FFC_221

254E-601 254E-601

説明: エラー・ログ分析がアダプター障害を示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_254

254E-602 254E-602

説明: エラー・ログ分析がエラー・アテンション状態を示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_254

254E-603 254E-603

説明: エラー・ログ分析が、アダプターにマイクロコードがロードできなかったことを示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_254

254E-604 254E-604

説明: エラー・ログ分析が永続的なアダプター障害を示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_254

254E-605 254E-605

説明: エラー・ログ分析が、このアダプターの別のポートの永続的なアダプター障害を示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_254

254E-606 254E-606

説明: エラー・ログ分析がアダプター障害を示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_254

254E-701 254E-701

説明: エラー・ログ分析が永続的なアダプター障害を示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_254E
- FFC_221

254E-702 254E-702

説明: エラー・ログ分析が、このアダプターの別のポートの永続的なアダプター障害を示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_254E
- FFC_221

2567-XXX 2567-XXX

説明: USB 内蔵システム・ボードとシャーシ・アセンブリー。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2567

256D-201 256D-201

説明: アダプター構成エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_256D
- FFC_221

256D-601 256D-601

説明: エラー・ログ分析がアダプターを指示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_256D

256D-602 256D-602

説明: エラー・ログ分析がエラー・アテンション状態を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_256D

256D-603 256D-603

説明: エラー・ログ分析が、アダプターにマイクロコードがロードできなかったことを示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_256D

256D-604 256D-604

説明: エラー・ログ分析が永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_256D
- FFC_210

256D-605 256D-605

説明: エラー・ログ分析が、このアダプターの別のポートの永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_256D

256D-606 256D-606

説明: エラー・ログ分析がアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_256D

256D-701 256D-701

説明: エラー・ログ分析が永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_256D
- FFC_221

256D-702 256D-702

説明: エラー・ログ分析が、このアダプターの別のポートの永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_256D
- FFC_221

25C4-201 25C4-201

説明: 構成エラーです。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_25C4

25C4-601 25C4-601

説明: ファームウェアのダウンロード・エラーです。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_25C4

25C4-602 25C4-602

説明: EEPROM 読み取りエラーです。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_25C4

25C4-701 25C4-701

説明: アダプターの永続障害です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_25C4

25C4-XXX 25C4-XXX

説明: Broadcom アダプターの汎用参照です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_25C4

2604-102 2604-102

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードのリセット・テストの失敗です。 4Gb ファイバー・チャネル・アダプター・カードを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2604

2604-103 2604-103

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードのレジスター・テストの失敗です。 4Gb ファイバー・チャネル・アダプター・カードを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2604

2604-104 2604-104

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードの SRAM テストの失敗です。 4Gb ファイバー・チャネル・アダプター・カードを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2604

2604-105 2604-105

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードの内部折り返しテストの失敗です。 4Gb ファイバー・チャネル・アダプター・カードを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2604

2604-106 2604-106

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードのギガビット・リンク・モジュール (GLM) 折り返しテストの失敗です。 4Gb ファイバー・チャネル・アダプター・カードを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2604

2604-108 2604-108

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードのバスの拡張エラー処理の失敗です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2604
- FFC_221

2604-110 2604-110

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードの拡張エラー処理の失敗です。 4Gb ファイバー・チャネル・アダプター・カードを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2604

2604-201 2604-201

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードの構成レジスター・テストの失敗です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2604
- FFC_221

2604-203 2604-203

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードの PCI 折り返しテストの失敗です。 4Gb ファイバー・チャネル・アダプター・カードを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2604

2604-204 2604-204

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードの DMA テストの失敗です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2604
- FFC_221

2604-205 2604-205

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードの読み取り/書き込み操作のエラーです。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2604
- FFC_221

2604-701 2604-701

説明: エラー・ログ分析が、ファイバー・チャネル・アダプター・カードのアダプター自己診断テストの失敗を示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2604

2604-703 2604-703

説明: エラー・ログ分析が、ファイバー・チャネル・アダプター・カードで不明なアダプター・エラーが発生したことを示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2604

2604-704 2604-704

説明: エラー・ログ分析が、ファイバー・チャネル・アダプター・カードでアダプター・エラーが発生したことを示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2604

2604-705 2604-705

説明: エラー・ログ分析が、ファイバー・チャネル・アダプター・カードでパリティー・エラーが検出されたことを示しています。

アダプターをすぐに交換する必要があります。 そうしないと、データの読み取り、または書き込みが適切に行われない可能性があります。

応答:

障害項目:

- FFC_2604

2604-706 2604-706

説明: エラー・ログ分析が、ファイバー・チャネル・アダプター・カードで致命的なハードウェア・エラーが発生したことを示しています。

このアダプターは正常にオフラインにされました。 アダプターは、再構成が行われるまで、またはシステムをリブートするまでオフラインのままです。 このアダプターは交換が必要なため、そのままでオンラインに戻さないでください。 この処置に従わない場合、データの読み取りまたは書き込みが適切に行われないか、またはデータが損失する結果となる可能性があります。

応答:

障害項目:

- FFC_2604

2604-XXX 2604-XXX

説明: 4Gb ファイバー・チャネル・アダプター・カードの汎用参照です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2604

2607-102 2607-102

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードのリセット・テストの失敗です。 8Gb PCIe ファイバー・チャネル拡張カードを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2607

2607-103 2607-103

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードのレジスター・テストの失敗です。 8Gb PCIe ファイバー・チャネル拡張カードを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2607

2607-104 2607-104

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードの SRAM テストの失敗です。 8Gb PCIe ファイバー・チャネル拡張カードを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2607

2607-105 2607-105

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードの内部折り返しテストの失敗です。 8Gb PCIe ファイバー・チャネル拡張カードを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2607

2607-106 2607-106

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードのギガビット・リンク・モジュール (GLM) 折り返しテストの失敗です。 8Gb PCIe ファイバー・チャネル拡張カードを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2607

2607-108 2607-108

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードのバスの拡張エラー処理の失敗です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2607
- FFC_221

2607-110 2607-110

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードの拡張エラー処理の失敗です。 8Gb PCIe ファイバー・チャネル拡張カードを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2607

2607-201 2607-201

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードの構成レジスター・テストの失敗です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2607
- FFC_221

2607-203 2607-203

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードの PCI 折り返しテストの失敗です。 8Gb PCIe ファイバー・チャネル拡張カードを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2607

2607-204 2607-204

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードの DMA テストの失敗です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2607
- FFC_221

2607-205 2607-205

説明: ファイバー・チャネル・アダプター・カードの読み取り/書き込み操作のエラーです。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2607
- FFC_221

2607-701 2607-701

説明: エラー・ログ分析が、ファイバー・チャネル・アダプター・カードのアダプター自己診断テストの失敗を示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2607

2607-703 2607-703

説明: エラー・ログ分析が、ファイバー・チャネル・アダプター・カードで不明なアダプター・エラーが発生したことを示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2607

2607-704 2607-704

説明: エラー・ログ分析が、ファイバー・チャネル・アダプター・カードでアダプター・エラーが発生したことを示しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2607

2607-705 2607-705

説明: エラー・ログ分析が、ファイバー・チャネル・アダプター・カードでパリティー・エラーが検出されたことを示しています。

アダプターをすぐに交換する必要があります。 そうしないと、データの読み取り、または書き込みが適切に行われない可能性があります。

応答:

障害項目:

- FFC_2607

2607-706 2607-706

説明: エラー・ログ分析が、ファイバー・チャネル・アダプター・カードで致命的なハードウェア・エラーが発生したことを示しています。

このアダプターは正常にオフラインにされました。 アダプターは、再構成が行われるまで、またはシステムをリブートするまでオフラインのままです。 このアダプターは交換が必要なため、そのままでオンラインに戻さないでください。 この処置に従わない場合、データの読み取りまたは書き込みが適切に行われないか、またはデータが損失する結果となる可能性があります。

応答:

障害項目:

- FFC_2607

2607-XXX 2607-XXX

説明: 8Gb PCIe ファイバー・チャネル拡張カードの汎用参照です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2607

2624-101 2624-101

説明: 構成の障害です。 4X PCI-E DDR InfiniBand ホスト・チャネル・アダプターを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2624

2624-102 2624-102

説明: キュー・ペア作成の失敗。 4X PCI-E DDR InfiniBand ホスト・チャネル・アダプターを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2624

2624-103 2624-103

説明: ループバック・テストの失敗です。 4X PCI-E DDR InfiniBand ホスト・チャネル・アダプターを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2624

2624-201 2624-201

説明: ループバック・テストの失敗です。 以下のステップを一度に 1 つずつ、示された順序で実行し、各ステップの後にテストを再実行します。

1. ケーブルを取り付け直します。
2. ケーブルを交換します。
3. ネットワークが機能していることを確認します。
4. ネットワーク・スイッチが機能していることを確認します。

応答:

障害項目:

- ケーブル
- ネットワーク

2624-301 2624-301

説明: ループバック・テストの失敗です。 以下のステップを一度に 1 つずつ、示された順序で実行し、各ステップの後にテストを再実行します。

1. ケーブルを取り付け直します。
2. ケーブルを交換します。
3. ネットワークが機能していることを確認します。
4. ネットワーク・スイッチが機能していることを確認します。
5. チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- ケーブル
- ネットワーク
- FFC_2624

2624-701 2624-701

説明: エラー・ログ分析が、内部エラーのためこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 4X PCI-E DDR InfiniBand ホスト・チャネル・アダプターを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2624

2624-702 2624-702

説明: エラー・ログ分析が、このデバイスをホスト・プロセッサーに接続するために使用するアップリンク・インターフェースの障害のため、このアダプターに障害が発生したことを示しています。 4X PCI-E DDR InfiniBand ホスト・チャネル・アダプターを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2624

2624-703 2624-703

説明: エラー・ログ分析が、メモリー・エラーのためこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 4X PCI-E DDR InfiniBand ホスト・チャネル・アダプターを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2624

2624-704 2624-704

説明: エラー・ログ分析が、リカバリー不能内部パリティー・エラーのためにこのアダプターに障害が発生したことを示しています。4X PCI-E DDR InfiniBand ホスト・チャネル・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2624

2624-705 2624-705

説明: エラー・ログ分析が、内部エラーのためこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 4X PCI-E DDR InfiniBand ホスト・チャネル・アダプターを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2624

2624-706 2624-706

説明: エラー・ログ分析が、メモリー・エラーのためこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 4X PCI-E DDR InfiniBand ホスト・チャネル・アダプターを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_2624

2624-XXX 2624-XXX

説明: 4X PCI-E DDR InfiniBand ホスト・チャネル・アダプターの汎用参照。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2624

2625-101 2625-101

説明: 構成の障害です。 2 ポート QDR 40 GB/S InfiniBand 拡張カード (CFFh) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2625

2625-102 2625-102

説明: キュー・ペア作成の失敗。 2 ポート QDR 40 GB/S InfiniBand 拡張カード (CFFh) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2625

2625-103 2625-103

説明: ループバック・テストの失敗です。 2 ポート QDR 40 GB/S InfiniBand 拡張カード (CFFh) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2625

2625-201 2625-201

説明: ループバック・テストの失敗です。 以下のステップを一度に 1 つずつ、示された順序で実行し、各ステップの後にテストを再実行します。

1. ケーブルを取り付け直します。
2. ケーブルを交換します。
3. ネットワークが機能していることを確認します。
4. ネットワーク・スイッチが機能していることを確認します。

応答:

障害項目:

- ケーブル
- ネットワーク

2625-301 2625-301

説明: ループバック・テストの失敗です。 以下のステップを一度に 1 つずつ、示された順序で実行し、各ステップの後にテストを再実行します。

1. ケーブルを取り付け直します。
2. ケーブルを交換します。
3. ネットワークが機能していることを確認します。
4. ネットワーク・スイッチが機能していることを確認します。
5. チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- ケーブル
- ネットワーク
- FFC_2625

2625-701 2625-701

説明: エラー・ログ分析が、内部エラーのためこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 2 ポート QDR 40 GB/S InfiniBand 拡張カード (CFFh) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2625

2625-702 2625-702

説明: エラー・ログ分析が、このデバイスをホスト・プロセッサーに接続するために使用するアップリンク・インターフェースの障害のため、このアダプターに障害が発生したことを示しています。 2 ポート QDR 40 GB/S InfiniBand 拡張カード (CFFh) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2625

2625-703 2625-703

説明: エラー・ログ分析が、メモリー・エラーのためこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 2 ポート QDR 40 GB/S InfiniBand 拡張カード (CFFh) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2625

2625-704 2625-704

説明: エラー・ログ分析が、リカバリー不能内部パリティー・エラーのためこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 2 ポート QDR 40 GB/S InfiniBand 拡張カード (CFFh) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2625

2625-705 2625-705

説明: エラー・ログ分析が、内部エラーのためこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 2 ポート QDR 40 GB/S InfiniBand 拡張カード (CFFh) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2625

2625-706 2625-706

説明: エラー・ログ分析が、メモリー・エラーのためこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 2 ポート QDR 40 GB/S InfiniBand 拡張カード (CFFh) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2625

2625-XXX 2625-XXX

説明: 2 ポート QDR 40 GB/S InfiniBand 拡張カード (CFFh) の汎用参照。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2625

2627-101 2627-101

説明: 構成の障害です。 IBM Flex System IB6132 QDR InfiniBand アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2627

2627-102 2627-102

説明: キュー・ペア作成の失敗。 IBM Flex System IB6132 QDR InfiniBand アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2627

2627-103 2627-103

説明: ループバック・テストの失敗です。 IBM Flex System IB6132 QDR InfiniBand アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2627

2627-201 2627-201

説明: ループバック・テストの失敗です。 以下のステップを一度に 1 つずつ、示された順序で実行し、各ステップの後にテストを再実行します。

1. ケーブルを取り付け直します。
2. ケーブルを交換します。
3. ネットワークが機能していることを確認します。
4. ネットワーク・スイッチが機能していることを確認します。

応答:

障害項目:

- ケーブル
- ネットワーク

2627-301 2627-301

説明: ループバック・テストの失敗です。 以下のステップを一度に 1 つずつ、示された順序で実行し、各ステップの後にテストを再実行します。

1. ケーブルを取り付け直します。
2. ケーブルを交換します。
3. ネットワークが機能していることを確認します。
4. ネットワーク・スイッチが機能していることを確認します。
5. チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- ケーブル
- ネットワーク
- FFC_2627

2627-701 2627-701

説明: エラー・ログ分析が、内部エラーのためこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 IBM Flex System IB6132 QDR InfiniBand アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2627

2627-702 2627-702

説明: エラー・ログ分析が、このデバイスをホスト・プロセッサーに接続するために使用するアップリンク・インターフェースの障害のため、このアダプターに障害が発生したことを示しています。 IBM Flex System IB6132 QDR InfiniBand アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2627

2627-703 2627-703

説明: エラー・ログ分析が、メモリー・エラーのためこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 IBM Flex System IB6132 QDR InfiniBand アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2627

2627-704 2627-704

説明: エラー・ログ分析が、リカバリー不能内部パリティー・エラーのためにこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 IBM Flex System IB6132 QDR InfiniBand アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2627

2627-705 2627-705

説明: エラー・ログ分析が、内部エラーのためこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 IBM Flex System IB6132 QDR InfiniBand アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2627

2627-706 2627-706

説明: エラー・ログ分析が、メモリー・エラーのためこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 IBM Flex System IB6132 QDR InfiniBand アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2627

2640-121 2640-121

説明: 物理ボリューム・ハードウェア・エラーです。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2640

2640-131 2640-131

説明: Smart 状況がしきい値を超えました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2640

2640-132 2640-132

説明: コマンド・タイムアウトがしきい値を超えました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2640

2640-133 2640-133

説明: エラー状態でコマンド・タイムアウトです。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2640

2640-134 2640-134

説明: ハードウェア・コマンドまたは DMA 障害です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2640

2640-136 2640-136

説明: ビジー状況でないコントローラーまたはドライブを待機中のタイムアウトです。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2640
- FFC_2631

268B-102 268B-102

説明: リカバリー不能メディア・エラーが発生しました。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

268B-104 268B-104

説明: モーターが再始動に失敗しました。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

268B-105 268B-105

説明: ドライブがレディーになりませんでした。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

268B-106 268B-106

説明: 電子カード・テストが失敗しました。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

268B-108 268B-108

説明: バス・テストが失敗しました。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

268B-110 268B-110

説明: メディア・フォーマットが破壊されています。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

268B-112 268B-112

説明: 診断テストが失敗しました。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

268B-114 268B-114

説明: リカバリー不能ハードウェア・エラーです。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

268B-116 268B-116

説明: プロトコル・エラーです。

1. 示された FRU および親アダプターのファームウェアが、診断およびアプリケーション・ソフトウェアのレベルと互換性があることを確認してください。
2. 問題が見つからない場合は、オペレーティング・システムのサポート担当者に連絡してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

268B-117 268B-117

説明: ライト・プロテクト・エラーが発生しました。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

268B-118 268B-118

説明: SCSI コマンド・タイムアウトが発生しました。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。 ドライブで診断を再度実行してください。 エラーが繰り返し発生する場合は、診断で特定された 2 番目の FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B
- FFC_B88

268B-120 268B-120

説明: SCSI ビジーまたはコマンドのエラーです。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

268B-122 268B-122

説明: SCSI 予約競合エラーです。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

268B-124 268B-124

説明: SCSI チェック・コンディション・エラーが発生しました。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

268B-126 268B-126

説明: ソフトウェア・エラーがハードウェアの原因で発生しました。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。 ドライブで診断を再度実行してください。 エラーが繰り返し発生する場合は、診断で特定された 2 番目の FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B
- FFC_B88

268B-128 268B-128

説明: エラー・ログ分析がハードウェア障害を示しています。診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。元の SRN で報告された各部品に対して、問題判別モードで診断プログラムを実行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_B88
- FFC_268B

268B-129 268B-129

説明: エラー・ログ分析が SCSI バス問題を示しています。診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。元の SRN で報告された各部品に対して、問題判別モードで診断プログラムを実行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_B88
- FFC_268B

268B-130 268B-130

説明: エラー・ログ分析が、ディスク・ドライブのセルフ・モニター機能が報告した問題を示しています。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

268B-132 268B-132

説明: ディスク・ドライブ・ハードウェア・エラーが発生しました。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

268B-134 268B-134

説明: アダプターが構成に失敗しました。 診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。それぞれの部品を交換し終わったら、診断テストを再試行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_B88
- ソフトウェア

268B-135 268B-135

説明: デバイスが構成に失敗しました。 診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。それぞれの部品を交換し終わったら、診断テストを再試行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B
- FFC_B88
- ソフトウェア

268B-136 268B-136

説明: 認証オペレーションに失敗しました。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

268B-137 268B-137

説明: Send Diagnostic コマンドで装置アテンション状態が発生しました。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。 ドライブで診断を再度実行してください。 エラーが繰り返し発生する場合は、診断で特定された 2 番目の FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B
- FFC_B88

268B-138 268B-138

説明: エラー・ログ分析は、ディスク・ドライブが推奨温度より高温で作動していることを示しています。

1. 以下を確認します。
   - ブレード・サーバーのベゼルの換気用の穴がブロックされていない。
   - マネージメント・モジュール・イベント・ログにシステム環境警告が報告されていない。
2. 問題が解決しない場合は、IBM サポートに連絡してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

268B-140 268B-140

説明: エラー・ログ分析が低信号品質を示しています。診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。元の SRN で報告された各部品に対して、問題判別モードで診断プログラムを実行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_B88
- FFC_268B

268B-640 268B-640

説明: エラー・ログ分析がパス・エラーを示しています。 300 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_268B

26B4-102 26B4-102

説明: リカバリー不能メディア・エラーが発生しました。 200 GB SATA ソリッド・ステート・ドライブを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4

26B4-104 26B4-104

説明: モーターが再始動に失敗しました。 200 GB SATA ソリッド・ステート・ドライブを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4

26B4-105 26B4-105

説明: ドライブがレディーになりませんでした。 200 GB SATA ソリッド・ステート・ドライブを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4

26B4-106 26B4-106

説明: 電子カード・テストが失敗しました。 200 GB SATA ソリッド・ステート・ドライブを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4

26B4-108 26B4-108

説明: バス・テストが失敗しました。 200 GB SATA ソリッド・ステート・ドライブを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4

26B4-110 26B4-110

説明: メディア・フォーマットが破壊されています。 200 GB SATA ソリッド・ステート・ドライブを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4

26B4-112 26B4-112

説明: 診断テストが失敗しました。 200 GB SATA ソリッド・ステート・ドライブを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4

26B4-114 26B4-114

説明: リカバリー不能ハードウェア・エラーです。 200 GB SATA ソリッド・ステート・ドライブを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4

26B4-116 26B4-116

説明: プロトコル・エラーです。

1. 示された FRU および親アダプターのファームウェアが、診断およびアプリケーション・ソフトウェアのレベルと互換性があることを確認してください。
2. 問題が見つからない場合は、オペレーティング・システムのサポート担当者に連絡してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4
- FFC_26BD

26B4-117 26B4-117

説明: ライト・プロテクト・エラーが発生しました。 200 GB SATA ソリッド・ステート・ドライブを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4

26B4-118 26B4-118

説明: SCSI コマンド・タイムアウトが発生しました。 診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。それぞれの部品を交換し終わったら、診断テストを再試行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4
- FFC_26BD
- FFC_B88

26B4-120 26B4-120

説明: SCSI ビジーまたはコマンドのエラーです。 診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。それぞれの部品を交換し終わったら、診断テストを再試行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4
- FFC_26BD

26B4-122 26B4-122

説明: SCSI 予約競合エラーです。 診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。それぞれの部品を交換し終わったら、診断テストを再試行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4
- FFC_26BD

26B4-124 26B4-124

説明: SCSI チェック・コンディション・エラーが発生しました。 診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。それぞれの部品を交換し終わったら、診断テストを再試行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4
- FFC_26BD

26B4-126 26B4-126

説明: ソフトウェア・エラーがハードウェアの原因で発生しました。診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。それぞれの部品を交換し終わったら、診断テストを再試行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4
- FFC_26BD
- FFC_B88

26B4-128 26B4-128

説明: エラー・ログ分析がハードウェア障害を示しています。診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。元の SRN で報告された各部品に対して、問題判別モードで診断プログラムを実行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26BD
- FFC_B88
- FFC_26B4

26B4-129 26B4-129

説明: エラー・ログ分析が SCSI バス問題を示しています。診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。元の SRN で報告された各部品に対して、問題判別モードで診断プログラムを実行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26BD
- FFC_B88
- FFC_26B4

26B4-130 26B4-130

説明: エラー・ログ分析が、ディスク・ドライブのセルフ・モニター機能が報告した問題を示しています。 200 GB SATA ソリッド・ステート・ドライブを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4

26B4-132 26B4-132

説明: ディスク・ドライブ・ハードウェア・エラーが発生しました。 診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。それぞれの部品を交換し終わったら、診断テストを再試行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4
- FFC_26BD

26B4-134 26B4-134

説明: アダプターが構成に失敗しました。 診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。それぞれの部品を交換し終わったら、診断テストを再試行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_B88
- ソフトウェア

26B4-135 26B4-135

説明: デバイスが構成に失敗しました。 診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。それぞれの部品を交換し終わったら、診断テストを再試行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- ソフトウェア
- FFC_26B4
- FFC_26BD
- FFC_B88

26B4-136 26B4-136

説明: 認証オペレーションに失敗しました。 200 GB SATA ソリッド・ステート・ドライブを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4

26B4-137 26B4-137

説明: Send Diagnostic コマンドで装置アテンション状態が発生しました。 診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。それぞれの部品を交換し終わったら、診断テストを再試行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4
- FFC_26BD
- FFC_B88

26B4-138 26B4-138

説明: エラー・ログ分析は、ディスク・ドライブが推奨温度より高温で作動していることを示しています。

1. 以下を確認します。
   - ブレード・サーバーのベゼルの換気用の穴がブロックされていない。
   - マネージメント・モジュール・イベント・ログにシステム環境警告が報告されていない。
2. 問題が解決しない場合は、IBM サポートに連絡してください。

応答:

26B4-140 26B4-140

説明: エラー・ログ分析が低信号品質を示しています。診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。元の SRN で報告された各部品に対して、問題判別モードで診断プログラムを実行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26BD
- FFC_B88
- FFC_26B4

26B4-640 26B4-640

説明: エラー・ログ分析がパス・エラーを示しています。 SAS-SATA 変換コネクター・カードを交換してください。 問題が解決しない場合は、200 GB SATA ソリッド・ステート・ドライブを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26B4
- FFC_26BD

26D2-102 26D2-102

説明: リカバリー不能メディア・エラーが発生しました。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D2-104 26D2-104

説明: モーターが再始動に失敗しました。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D2-105 26D2-105

説明: ドライブがレディーになりませんでした。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D2-106 26D2-106

説明: 電子カード・テストが失敗しました。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D2-108 26D2-108

説明: バス・テストが失敗しました。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D2-110 26D2-110

説明: メディア・フォーマットが破壊されています。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D2-112 26D2-112

説明: 診断テストが失敗しました。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D2-114 26D2-114

説明: リカバリー不能ハードウェア・エラーです。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D2-116 26D2-116

説明: プロトコル・エラーです。

1. 示された FRU および親アダプターのファームウェアが、診断およびアプリケーション・ソフトウェアのレベルと互換性があることを確認してください。
2. 問題が見つからない場合は、オペレーティング・システムのサポート担当者に連絡してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D2-117 26D2-117

説明: ライト・プロテクト・エラーが発生しました。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D2-118 26D2-118

説明: SCSI コマンド・タイムアウトが発生しました。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。 ドライブで診断を再度実行してください。 エラーが繰り返し発生する場合は、診断で特定された 2 番目の FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2
- FFC_B88

26D2-120 26D2-120

説明: SCSI ビジーまたはコマンドのエラーです。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D2-122 26D2-122

説明: SCSI 予約競合エラーです。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D2-124 26D2-124

説明: SCSI チェック・コンディション・エラーが発生しました。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D2-126 26D2-126

説明: ソフトウェア・エラーがハードウェアの原因で発生しました。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。 ドライブで診断を再度実行してください。 エラーが繰り返し発生する場合は、診断で特定された 2 番目の FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2
- FFC_B88

26D2-128 26D2-128

説明: エラー・ログ分析がハードウェア障害を示しています。診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。元の SRN で報告された各部品に対して、問題判別モードで診断プログラムを実行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_B88
- FFC_26D2

26D2-129 26D2-129

説明: エラー・ログ分析が SCSI バス問題を示しています。診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。元の SRN で報告された各部品に対して、問題判別モードで診断プログラムを実行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_B88
- FFC_26D2

26D2-130 26D2-130

説明: エラー・ログ分析が、ディスク・ドライブのセルフ・モニター機能が報告した問題を示しています。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D2-132 26D2-132

説明: ディスク・ドライブ・ハードウェア・エラーが発生しました。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D2-134 26D2-134

説明: アダプターが構成に失敗しました。 診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。それぞれの部品を交換し終わったら、診断テストを再試行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_B88
- ソフトウェア

26D2-135 26D2-135

説明: デバイスが構成に失敗しました。 診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。それぞれの部品を交換し終わったら、診断テストを再試行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2
- FFC_B88
- ソフトウェア

26D2-136 26D2-136

説明: 認証オペレーションに失敗しました。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D2-137 26D2-137

説明: Send Diagnostic コマンドで装置アテンション状態が発生しました。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。 ドライブで診断を再度実行してください。 エラーが繰り返し発生する場合は、診断で特定された 2 番目の FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2
- FFC_B88

26D2-138 26D2-138

説明: エラー・ログ分析は、ディスク・ドライブが推奨温度より高温で作動していることを示しています。

1. 以下を確認します。
   - ブレード・サーバーのベゼルの換気用の穴がブロックされていない。
   - マネージメント・モジュール・イベント・ログにシステム環境警告が報告されていない。
2. 問題が解決しない場合は、IBM サポートに連絡してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D2-140 26D2-140

説明: エラー・ログ分析が低信号品質を示しています。診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。元の SRN で報告された各部品に対して、問題判別モードで診断プログラムを実行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_B88
- FFC_26D2

26D2-640 26D2-640

説明: エラー・ログ分析がパス・エラーを示しています。 600 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D2

26D7-102 26D7-102

説明: リカバリー不能メディア・エラーが発生しました。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

26D7-104 26D7-104

説明: モーターが再始動に失敗しました。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

26D7-105 26D7-105

説明: ドライブがレディーになりませんでした。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

26D7-106 26D7-106

説明: 電子カード・テストが失敗しました。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

26D7-108 26D7-108

説明: バス・テストが失敗しました。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

26D7-110 26D7-110

説明: メディア・フォーマットが破壊されています。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

26D7-112 26D7-112

説明: 診断テストが失敗しました。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

26D7-114 26D7-114

説明: リカバリー不能ハードウェア・エラーです。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

26D7-116 26D7-116

説明: プロトコル・エラーです。

1. 示された FRU および親アダプターのファームウェアが、診断およびアプリケーション・ソフトウェアのレベルと互換性があることを確認してください。
2. 問題が見つからない場合は、オペレーティング・システムのサポート担当者に連絡してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

26D7-117 26D7-117

説明: ライト・プロテクト・エラーが発生しました。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

26D7-118 26D7-118

説明: SCSI コマンド・タイムアウトが発生しました。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。 ドライブで診断を再度実行してください。 エラーが繰り返し発生する場合は、診断で特定された 2 番目の FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7
- FFC_B88

26D7-120 26D7-120

説明: SCSI ビジーまたはコマンドのエラーです。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

26D7-122 26D7-122

説明: SCSI 予約競合エラーです。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

26D7-124 26D7-124

説明: SCSI チェック・コンディション・エラーが発生しました。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

26D7-126 26D7-126

説明: ソフトウェア・エラーがハードウェアの原因で発生しました。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。 ドライブで診断を再度実行してください。 エラーが繰り返し発生する場合は、診断で特定された 2 番目の FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7
- FFC_B88

26D7-128 26D7-128

説明: エラー・ログ分析がハードウェア障害を示しています。診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。元の SRN で報告された各部品に対して、問題判別モードで診断プログラムを実行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_B88
- FFC_26D7

26D7-129 26D7-129

説明: エラー・ログ分析が SCSI バス問題を示しています。診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。元の SRN で報告された各部品に対して、問題判別モードで診断プログラムを実行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_B88
- FFC_26D7

26D7-130 26D7-130

説明: エラー・ログ分析が、ディスク・ドライブのセルフ・モニター機能が報告した問題を示しています。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

26D7-132 26D7-132

説明: ディスク・ドライブ・ハードウェア・エラーが発生しました。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

26D7-134 26D7-134

説明: アダプターが構成に失敗しました。 診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。それぞれの部品を交換し終わったら、診断テストを再試行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_B88
- ソフトウェア

26D7-135 26D7-135

説明: デバイスが構成に失敗しました。 診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。それぞれの部品を交換し終わったら、診断テストを再試行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7
- FFC_B88
- ソフトウェア

26D7-136 26D7-136

説明: 認証オペレーションに失敗しました。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

26D7-137 26D7-137

説明: Send Diagnostic コマンドで装置アテンション状態が発生しました。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。 ドライブで診断を再度実行してください。 エラーが繰り返し発生する場合は、診断で特定された 2 番目の FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7
- FFC_B88

26D7-138 26D7-138

説明: エラー・ログ分析は、ディスク・ドライブが推奨温度より高温で作動していることを示しています。

1. 以下を確認します。
   - ブレード・サーバーのベゼルの換気用の穴がブロックされていない。
   - マネージメント・モジュール・イベント・ログにシステム環境警告が報告されていない。
2. 問題が解決しない場合は、IBM サポートに連絡してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

26D7-140 26D7-140

説明: エラー・ログ分析が低信号品質を示しています。診断プログラムによって報告された各部品を、一度に 1 つずつ交換してください。元の SRN で報告された各部品に対して、問題判別モードで診断プログラムを実行してください。 問題が解決しない場合は、リストで次に記載されている部品を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_B88
- FFC_26D7

26D7-640 26D7-640

説明: エラー・ログ分析がパス・エラーを示しています。 900 GB SFF SAS ハード・ディスクを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_26D7

2710-101 2710-101

説明: エラー・ログ分析はアダプター機能の障害を示しています。内蔵 USB コントローラーを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2710

2710-601 2710-601

説明: エラー・ログ分析はアダプター機能の障害を示しています。内蔵 USB コントローラーを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2710

2750-201 2750-201

説明: アダプター構成エラー。 PCIe2 16Gb 2 ポート FC メザニン・アダプターを交換してください。問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2750
- FFC_221

2750-601 2750-601

説明: アダプターがオフラインにされました。 PCIe2 16Gb 2 ポート FC メザニン・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2750

2750-602 2750-602

説明: アダプター・パリティー・エラー。 PCIe2 16Gb 2 ポート FC メザニン・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2750

2750-603 2750-603

説明: アダプターの永続障害です。 PCIe2 16Gb 2 ポート FC メザニン・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2750

2750-604 2750-604

説明: アダプター・ダウン・エラー。 PCIe2 16Gb 2 ポート FC メザニン・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2750

2755-201 2755-201

説明: アダプター構成エラー。 PCIe2 16Gb 4 ポート FC メザニン・アダプターを交換してください。問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2755
- FFC_221

2755-601 2755-601

説明: アダプターがオフラインにされました。 PCIe2 16Gb 4 ポート FC メザニン・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2755

2755-602 2755-602

説明: アダプター・パリティー・エラー。 PCIe2 16Gb 4 ポート FC メザニン・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2755

2755-603 2755-603

説明: アダプターの永続障害です。 PCIe2 16Gb 4 ポート FC メザニン・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2755

2755-604 2755-604

説明: アダプター・ダウン・エラー。 PCIe2 16Gb 4 ポート FC メザニン・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2755

2770-101 2770-101

説明: 構成の障害です。 IBM Flex System EN4132 2 ポート 10Gb RoCE アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2770

2770-102 2770-102

説明: キュー・ペア作成の失敗。 IBM Flex System EN4132 2 ポート 10Gb RoCE アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2770

2770-103 2770-103

説明: ループバック・テストの失敗です。 IBM Flex System EN4132 2 ポート 10Gb RoCE アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2770

2770-201 2770-201

説明: ループバック・テストの失敗です。 以下のステップを一度に 1 つずつ、示された順序で実行し、各ステップの後にテストを再実行します。

1. ケーブルを取り付け直します。
2. ケーブルを交換します。
3. ネットワークが機能していることを確認します。
4. ネットワーク・スイッチが機能していることを確認します。

応答:

障害項目:

- ケーブル
- ネットワーク

2770-301 2770-301

説明: ループバック・テストの失敗です。 以下のステップを一度に 1 つずつ、示された順序で実行し、各ステップの後にテストを再実行します。

1. ケーブルを取り付け直します。
2. ケーブルを交換します。
3. ネットワークが機能していることを確認します。
4. ネットワーク・スイッチが機能していることを確認します。
5. チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- ケーブル
- ネットワーク
- FFC_2770

2770-601 2770-601

説明: エラー・ログ分析が、アダプター・ハードウェア・エラーを示しています。 IBM Flex System EN4132 2 ポート 10Gb RoCE アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2770

2770-602 2770-602

説明: エラー・ログ分析が、アダプター構成エラーを示しています。 IBM Flex System EN4132 2 ポート 10Gb RoCE アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2770

2770-603 2770-603

説明: エラー・ログ分析が、アダプターの EEH サービス・エラーを示しています。 IBM Flex System EN4132 2 ポート 10Gb RoCE アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2770

2770-701 2770-701

説明: エラー・ログ分析が、内部エラーのためこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 IBM Flex System EN4132 2 ポート 10Gb RoCE アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2770

2770-702 2770-702

説明: エラー・ログ分析が、このデバイスをホスト・プロセッサーに接続するために使用するアップリンク・インターフェースの障害のため、このアダプターに障害が発生したことを示しています。 IBM Flex System EN4132 2 ポート 10Gb RoCE アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2770

2770-703 2770-703

説明: エラー・ログ分析が、メモリー・エラーのためこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 IBM Flex System EN4132 2 ポート 10Gb RoCE アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2770

2770-704 2770-704

説明: エラー・ログ分析が、リカバリー不能内部パリティー・エラーのためにこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 IBM Flex System EN4132 2 ポート 10Gb RoCE アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2770

2770-705 2770-705

説明: エラー・ログ分析が、内部エラーのためこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 IBM Flex System EN4132 2 ポート 10Gb RoCE アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2770

2770-706 2770-706

説明: エラー・ログ分析が、メモリー・エラーのためこのアダプターに障害が発生したことを示しています。 IBM Flex System EN4132 2 ポート 10Gb RoCE アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2770

2D02-XXX 2D02-XXX

説明: USB コントローラー/アダプターの汎用参照 - システム・ボードとシャーシ・アセンブリー。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2631

2D14-101 2D14-101

説明: アダプター構成エラーです。 システム・ボード (SAS コントローラー) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D14

2D14-710 2D14-710

説明: 永続コントローラー・エラー。システム・ボード (SAS コントローラー) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D14

2D14-713 2D14-713

説明: コントローラー・エラー。システム・ボード (SAS コントローラー) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D14

2D14-720 2D14-720

説明: コントローラー・デバイス・バスの構成エラー。 MAP3150 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-101 2D29-101

説明: アダプター構成エラーです。 PCIe x8 内蔵 3Gb SAS アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D29

2D29-710 2D29-710

説明: 永続コントローラー・エラー。 PCIe x8 内蔵 3Gb SAS アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D29

2D29-713 2D29-713

説明: コントローラー・エラー。 PCIe x8 内蔵 3Gb SAS アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D29

2D29-720 2D29-720

説明: コントローラー・デバイス・バスの構成エラー。 MAP3150 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2E00-201 2E00-201

説明: 構成エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E00
- FFC_221

2E00-601 2E00-601

説明: EEPROM 読み取りエラー

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E00

2E00-701 2E00-701

説明: アダプターの永続障害です。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E00
- FFC_221

2E10-201 2E10-201

説明: アダプター構成エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E10
- FFC_221

2E10-601 2E10-601

説明: エラー・ログ分析がアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E10

2E10-602 2E10-602

説明: エラー・ログ分析がエラー・アテンション状態を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E10

2E10-603 2E10-603

説明: エラー・ログ分析が、アダプターにマイクロコードがロードできなかったことを示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E10

2E10-604 2E10-604

説明: エラー・ログ分析が永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E10

2E10-605 2E10-605

説明: エラー・ログ分析が、このアダプターの別のポートの永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E10

2E10-606 2E10-606

説明: エラー・ログ分析がアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E10

2E10-701 2E10-701

説明: エラー・ログ分析が永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E10
- FFC_221

2E10-702 2E10-702

説明: エラー・ログ分析が永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E10
- FFC_221

2E13-201 2E13-201

説明: アダプター構成エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E13
- FFC_221

2E13-601 2E13-601

説明: エラー・ログ分析がアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E13

2E13-602 2E13-602

説明: エラー・ログ分析がエラー・アテンション状態を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E13

2E13-603 2E13-603

説明: エラー・ログ分析が、アダプターにマイクロコードがロードできなかったことを示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E13

2E13-604 2E13-604

説明: エラー・ログ分析が永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E13

2E13-605 2E13-605

説明: エラー・ログ分析が、このアダプターの別のポートの永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E13

2E13-606 2E13-606

説明: エラー・ログ分析がアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E13

2E13-701 2E13-701

説明: エラー・ログ分析が永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E13
- FFC_221

2E13-702 2E13-702

説明: エラー・ログ分析が、永続的なアダプター障害が報告されたことを示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E13
- FFC_221

2E14-201 2E14-201

説明: アダプター構成エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E14
- FFC_221

2E14-601 2E14-601

説明: エラー・ログ分析がアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E14

2E14-602 2E14-602

説明: エラー・ログ分析がエラー・アテンション状態を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E14

2E14-603 2E14-603

説明: エラー・ログ分析が、アダプターにマイクロコードがロードできなかったことを示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E14

2E14-604 2E14-604

説明: エラー・ログ分析が永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E14

2E14-605 2E14-605

説明: エラー・ログ分析が、このアダプターの別のポートの永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E14

2E14-606 2E14-606

説明: エラー・ログ分析がアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E14

2E14-701 2E14-701

説明: エラー・ログ分析が永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E14
- FFC_221

2E14-702 2E14-702

説明: エラー・ログ分析が、永続的なアダプター障害が報告されたことを示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E14
- FFC_221

2E15-201 2E15-201

説明: アダプター構成エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E15
- FFC_221

2E15-601 2E15-601

説明: エラー・ログ分析がアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E15

2E15-602 2E15-602

説明: エラー・ログ分析がエラー・アテンション状態を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E15

2E15-603 2E15-603

説明: エラー・ログ分析が、アダプターにマイクロコードがロードできなかったことを示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E15

2E15-604 2E15-604

説明: エラー・ログ分析が永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E15

2E15-605 2E15-605

説明: エラー・ログ分析が、このアダプターの別のポートの永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E15

2E15-606 2E15-606

説明: エラー・ログ分析がアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E15

2E15-701 2E15-701

説明: エラー・ログ分析が永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E15
- FFC_221

2E15-702 2E15-702

説明: エラー・ログ分析が、永続的なアダプター障害が報告されたことを示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E15
- FFC_221

2E16-201 2E16-201

説明: アダプター構成エラーです。 IBM Flex System FC3172 2 ポート 8Gb FC アダプターを交換してください。問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E16
- FFC_221

2E16-601 2E16-601

説明: エラー・ログ分析がアダプター障害を示しています。 IBM Flex System FC3172 2 ポート 8Gb FC アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E16

2E16-602 2E16-602

説明: エラー・ログ分析がエラー・アテンション状態を示しています。 IBM Flex System FC3172 2 ポート 8Gb FC アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E16

2E16-603 2E16-603

説明: エラー・ログ分析が、アダプターにマイクロコードがロードできなかったことを示しています。 IBM Flex System FC3172 2 ポート 8Gb FC アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E16

2E16-604 2E16-604

説明: エラー・ログ分析が永続的なアダプター障害を示しています。 IBM Flex System FC3172 2 ポート 8Gb FC アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E16

2E16-605 2E16-605

説明: エラー・ログ分析が、このアダプターの別のポートの永続的なアダプター障害を示しています。 IBM Flex System FC3172 2 ポート 8Gb FC アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E16

2E16-606 2E16-606

説明: エラー・ログ分析がアダプター障害を示しています。 IBM Flex System FC3172 2 ポート 8Gb FC アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E16

2E16-701 2E16-701

説明: エラー・ログ分析が永続的なアダプター障害を示しています。 IBM Flex System FC3172 2 ポート 8Gb FC アダプターを交換してください。 問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E16
- FFC_221

2E16-702 2E16-702

説明: エラー・ログ分析が、このアダプターの別のポートの永続的なアダプター障害を示しています。 IBM Flex System FC3172 2 ポート 8Gb FC アダプターを交換してください。 問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E16
- FFC_221

2E21-201 2E21-201

説明: アダプター構成エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E21
- FFC_221

2E21-601 2E21-601

説明: エラー・ログ分析がアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E21

2E21-602 2E21-602

説明: エラー・ログ分析がエラー・アテンション状態を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E21

2E21-603 2E21-603

説明: エラー・ログ分析が、アダプターにマイクロコードがロードできなかったことを示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E21

2E21-604 2E21-604

説明: エラー・ログ分析が永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E21

2E21-605 2E21-605

説明: エラー・ログ分析が、このアダプターの別のポートの永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E21

2E21-606 2E21-606

説明: エラー・ログ分析がアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E21

2E21-701 2E21-701

説明: エラー・ログ分析が永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E21
- FFC_221

2E21-702 2E21-702

説明: エラー・ログ分析が、このアダプターの別のポートの永続的なアダプター障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E21
- FFC_221

2E23-101 2E23-101

説明: レジスター・テストが失敗しました

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E23

2E23-102 2E23-102

説明: VPD チェックサム・テストが失敗しました

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E23

2E23-103 2E23-103

説明: フラッシュ・テストが失敗しました

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E23

2E23-104 2E23-104

説明: 内部折り返しテストが失敗しました

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E23

2E23-105 2E23-105

説明: 外部折り返しテストが失敗しました

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E23

2E23-106 2E23-106

説明: IP チェックサムを行う外部折り返しテストが失敗しました

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E23

2E23-107 2E23-107

説明: TCP チェックサムを行う外部折り返しテストが失敗しました

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E23

2E23-108 2E23-108

説明: UDP チェックサムを行う外部折り返しテストが失敗しました

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E23

2E23-109 2E23-109

説明: ネットワーク・リンク・テストが失敗しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_241

2E23-201 2E23-201

説明: 拡張エラー処理が失敗しました

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E23
- FFC_221

2E23-202 2E23-202

説明: ネットワーク・リンク・テストが失敗しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_241
- FFC_2E23

2E23-601 2E23-601

説明: エラー・ログ分析がハードウェア・エラーを示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E23

2E23-602 2E23-602

説明: エラー・ログ分析が EEH エラーを示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E23

2E23-603 2E23-603

説明: エラー・ログ分析が EEPROM エラーを示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E23

2E23-604 2E23-604

説明: エラー・ログ分析が送信エラーを示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E23

2E28-201 2E28-201

説明: アダプター構成エラーです。 IBM Flex System CN4058 8 ポート 10Gb コンバージド・アダプターを交換してください。問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E28
- FFC_221

2E28-601 2E28-601

説明: アダプターがオフラインにされました。 IBM Flex System CN4058 8 ポート 10Gb コンバージド・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E28

2E28-602 2E28-602

説明: アダプターのパリティー・エラーです。 IBM Flex System CN4058 8 ポート 10Gb コンバージド・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E28

2E28-603 2E28-603

説明: アダプターの永続障害です。 IBM Flex System CN4058 8 ポート 10Gb コンバージド・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E28

2E28-604 2E28-604

説明: アダプター・ダウン・エラーです。 IBM Flex System CN4058 8 ポート 10Gb コンバージド・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E28

2E29-201 2E29-201

説明: アダプター構成エラーです。 IBM Flex System CN4058 8 ポート 10Gb コンバージド・アダプターを交換してください。問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E29
- FFC_221

2E29-601 2E29-601

説明: アダプターがオフラインにされました。 IBM Flex System CN4058 8 ポート 10Gb コンバージド・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E29

2E29-602 2E29-602

説明: アダプターのパリティー・エラーです。 IBM Flex System CN4058 8 ポート 10Gb コンバージド・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E29

2E29-603 2E29-603

説明: アダプターの永続障害です。 IBM Flex System CN4058 8 ポート 10Gb コンバージド・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E29

2E29-604 2E29-604

説明: アダプター・ダウン・エラーです。 IBM Flex System CN4058 8 ポート 10Gb コンバージド・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E29

2E33-201 2E33-201

説明: アダプター構成エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E33
- FFC_221

2E33-601 2E33-601

説明: ファームウェアのダウンロード・エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E33

2E33-602 2E33-602

説明: EEPROM 読み取りエラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E33

2E33-701 2E33-701

説明: アダプターの永続障害です。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E33
- FFC_221

2E34-201 2E34-201

説明: アダプター構成エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E34
- FFC_221

2E34-601 2E34-601

説明: ファームウェアのダウンロード・エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E34

2E34-602 2E34-602

説明: EEPROM 読み取りエラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E34

2E34-701 2E34-701

説明: アダプターの永続障害です。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E34
- FFC_221

2E35-201 2E35-201

説明: アダプター構成エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E35
- FFC_221

2E35-601 2E35-601

説明: ファームウェアのダウンロード・エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E35

2E35-602 2E35-602

説明: EEPROM 読み取りエラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E35

2E35-701 2E35-701

説明: アダプターの永続障害です。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E35
- FFC_221

2E36-201 2E36-201

説明: アダプター構成エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E36
- FFC_221

2E36-601 2E36-601

説明: ファームウェアのダウンロード・エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E36

2E36-602 2E36-602

説明: EEPROM 読み取りエラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E36

2E36-701 2E36-701

説明: アダプターの永続障害です。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2E36
- FFC_221

2E37-111 2E37-111

説明: バスでの拡張エラー処理の障害。 IBM Flex System EN4054 4 ポート 10Gb イーサネット・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E37

2E37-112 2E37-112

説明: アダプターのテスト中の拡張エラー処理の障害。 IBM Flex System EN4054 4 ポート 10Gb イーサネット・アダプターを交換してください。 問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E37
- FFC_221

2E37-140 2E37-140

説明: DMA 読み取りテストが失敗しました。 IBM Flex System EN4054 4 ポート 10Gb イーサネット・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E37

2E37-141 2E37-141

説明: DMA 書き込みテストが失敗しました。 IBM Flex System EN4054 4 ポート 10Gb イーサネット・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E37

2E37-142 2E37-142

説明: DMA 読み取り/書き込みテストが失敗しました。 IBM Flex System EN4054 4 ポート 10Gb イーサネット・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E37

2E37-151 2E37-151

説明: 内部ループバック・テストが失敗しました。 IBM Flex System EN4054 4 ポート 10Gb イーサネット・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E37

2E37-152 2E37-152

説明: 内部ループバック IP チェックサム・オフロード・テストが失敗しました。 IBM Flex System EN4054 4 ポート 10Gb イーサネット・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E37

2E37-153 2E37-153

説明: 内部ループバック TCP チェックサム・オフロード・テストが失敗しました。 IBM Flex System EN4054 4 ポート 10Gb イーサネット・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E37

2E37-154 2E37-154

説明: 内部ループバック UDP チェックサム・オフロード・テストが失敗しました。 IBM Flex System EN4054 4 ポート 10Gb イーサネット・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E37

2E37-155 2E37-155

説明: 内部ループバック LSO テストが失敗しました。 IBM Flex System EN4054 4 ポート 10Gb イーサネット・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E37

2E37-201 2E37-201

説明: レジスター・テストが失敗しました。 IBM Flex System EN4054 4 ポート 10Gb イーサネット・アダプターを交換してください。 問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E37
- FFC_221

2E37-701 2E37-701

説明: アダプター・ハードウェア・エラー。 IBM Flex System EN4054 4 ポート 10Gb イーサネット・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E37

2E37-702 2E37-702

説明: EEH サービス・エラー。 IBM Flex System EN4054 4 ポート 10Gb イーサネット・アダプターを交換してください。問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E37
- FFC_221

2E37-703 2E37-703

説明: アダプターの EEPROM の読み取り中における問題による初期化の失敗。 IBM Flex System EN4054 4 ポート 10Gb イーサネット・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E37

2E3D-101 2E3D-101

説明: PCI 構成レジスター・テストの失敗。 IBM Flex System EN2024 4 ポート 1Gb イーサネット・アダプターを交換してください。問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E3D
- FFC_221

2E3D-102 2E3D-102

説明: 入出力レジスター・テストの失敗。 IBM Flex System EN2024 4 ポート 1Gb イーサネット・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E3D

2E3D-103 2E3D-103

説明: NVRAM およびチェックサムの検査の失敗。 IBM Flex System EN2024 4 ポート 1Gb イーサネット・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E3D

2E3D-104 2E3D-104

説明: アダプター・メモリー・テストの失敗。 IBM Flex System EN2024 4 ポート 1Gb イーサネット・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E3D

2E3D-111 2E3D-111

説明: 内部ループバック・テストの失敗。 IBM Flex System EN2024 4 ポート 1Gb イーサネット・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E3D

2E3D-201 2E3D-201

説明: アダプター構成エラーです。 IBM Flex System EN2024 4 ポート 1Gb イーサネット・アダプターを交換してください。問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E3D
- FFC_221

2E3D-601 2E3D-601

説明: ファームウェアのダウンロード・エラーです。 IBM Flex System EN2024 4 ポート 1Gb イーサネット・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E3D

2E3D-602 2E3D-602

説明: EEPROM 読み取りエラーです。 IBM Flex System EN2024 4 ポート 1Gb イーサネット・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E3D

2E3D-701 2E3D-701

説明: アダプターの永続障害です。 IBM Flex System EN2024 4 ポート 1Gb イーサネット・アダプターを交換してください。問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E3D
- FFC_221

2E52-201 2E52-201

説明: アダプター構成エラーです。 IBM Flex System CN4058 8 ポート 10Gb コンバージド・アダプターを交換してください。問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E52
- FFC_221

2E52-605 2E52-605

説明: イーサネット・ハードウェア・エラーです。 IBM Flex System CN4058 8 ポート 10Gb コンバージド・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E52

2E52-606 2E52-606

説明: イーサネット構成エラーです。 IBM Flex System CN4058 8 ポート 10Gb コンバージド・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E52

2E52-607 2E52-607

説明: EEH エラーです。 IBM Flex System CN4058 8 ポート 10Gb コンバージド・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E52

2E53-201 2E53-201

説明: アダプター構成エラーです。 PCIe2 10Gb 8 ポート FCoe メザニン・アダプターを交換してください。問題が解決しない場合は、システム・ボードを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E53
- FFC_221

2E53-605 2E53-605

説明: イーサネット・ハードウェア・エラー。 PCIe2 10Gb 8 ポート FCoe メザニン・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E53

2E53-606 2E53-606

説明: イーサネット構成エラー。 PCIe2 10Gb 8 ポート FCoe メザニン・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E53

2E53-607 2E53-607

説明: イーサネット EEH エラー。 PCIe2 10Gb 8 ポート FCoe メザニン・アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2E53

803-XXXX 803-XXXX

説明: 診断の実行中に、ハードウェアまたはソフトウェアのいずれかに起因するソフトウェア・エラーが発生しました。

応答: 注: この SRN は、ファイル・システムが満杯の場合にも表示される可能性があります。特に、ファイル・システムが /、/var、または /tmp ディレクトリー内にある場合です (AIX プロンプトで df コマンドを使用して検査し、各ファイル・システムの %Used が 90% 以下であることを確認してください)。スタンドアロン診断を実行してください。別の SRN が表示された場合は、それを元の SRN の代わりに使用してください。同じ SRN が表示される場合は、803-xxx(x) の最後の 3 桁または 4 桁を FRU として使用して、一般的な問題解決方法を使用してください。スタンドアロン診断でエラーが発生しない場合、ソフトウェアに問題があることが考えられます。サポート・センターにお問い合わせください。注: xxxx は、SRN の最後の 3 桁または 4 桁に対応します。問題の 803-xxx(x) SRN がリストにない場合は、SRN のダッシュ (-) の後に続く最後の 3 桁または 4 桁を xxx(x) に置き換えてから、FRU リストに進み、置き換えた数字を FRU として使用してください。

950-2506 950-2506

説明: 3Gb SAS アダプター・カードのオプション・レゾリューションの欠落です。

以下の各ステップを試行します。 部品の取り付け直し、取り外し、または交換を行った後は、該当の操作を再試行してください。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. 3Gb SAS アダプター・カードを再装着します。
4. 3Gb SAS アダプター・カードを交換します。
5. システム・ボードを交換します

応答:

障害項目:

- FFC_2506
- FFC_221

950-2D14 950-2D14

説明: 以前にインストールされたリソースが検出されませんでした。マネージメント・モジュールのイベント・ログをチェックして、システム・イベントがないかを確認します。システム・エラーがない場合は、システム・ボード (SAS コントローラー) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D14

950-2D29 950-2D29

説明: 以前にインストールされたリソースが検出されませんでした。マネージメント・モジュールのイベント・ログをチェックして、システム・イベントがないかを確認します。システム・エラーがない場合は、PCIe x8 内蔵 3Gb SAS アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D29

2506-102E 2506-102E

説明: 代替セクターのディスクが原因で再割り振りに失敗しました。チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2506-3002 2506-3002

説明: アドレスされたデバイスが選択に対する応答に失敗しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2506-3010 2506-3010

説明: ディスクが誤った応答をアダプターに戻しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2506-3020 2506-3020

説明: ストレージ・サブシステム構成エラーです。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-3100 2506-3100

説明: コントローラーがデバイス・バス・インターフェース・エラーを検出しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-3109 2506-3109

説明: コントローラーがデバイス・コマンドでタイムアウトになりました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-3110 2506-3110

説明: デバイス・バス・インターフェースのエラーです。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-4010 2506-4010

説明: 構成エラー、カスケードされた格納装置間の接続が誤っています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-4020 2506-4020

説明: 構成エラー、接続が IOA 設計制限を超過しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-4030 2506-4030

説明: 構成エラー、マルチパス接続の誤りです。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-4040 2506-4040

説明: 構成エラー、コントローラーと格納装置間で不完全なマルチパス接続が検出されました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-4041 2506-4041

説明: 構成エラー、格納装置とデバイス間で不完全なマルチパス接続が検出されました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-4050 2506-4050

説明: 接続されている格納装置が、必要なマルチパス機能をサポートしていません。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-4060 2506-4060

説明: マルチパスの冗長性レベルが悪化しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-4100 2506-4100

説明: デバイス・バス・ファブリック・エラーです。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-4101 2506-4101

説明: 一時的なデバイス・バス・ファブリック・エラーです。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-4110 2506-4110

説明: サポートされない格納装置機能が検出されました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-4150 2506-4150

説明: PCI バス・エラーがコントローラーによって検出されました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2506

2506-4160 2506-4160

説明: PCI バス・エラーがコントローラーによって検出されました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2506

2506-7001 2506-7001

説明: 一時的なディスク・データ・エラーです。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2506-8008 2506-8008

説明: 永続的なキャッシュ・バッテリー・パックの障害が発生しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- BAT

2506-8009 2506-8009

説明: キャッシュ・バッテリー・パックの障害が差し迫っています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- BAT

2506-8150 2506-8150

説明: コントローラーの障害です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2506

2506-8157 2506-8157

説明: コントローラーの一時的な障害です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

障害項目:

- FFC_2506

2506-9000 2506-9000

説明: コントローラーが構成ディスカバリー時にデバイス・エラーを検出しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9001 2506-9001

説明: コントローラーが構成ディスカバリー時にデバイス・エラーを検出しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9002 2506-9002

説明: コントローラーが構成ディスカバリー時にデバイス・エラーを検出しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9008 2506-9008

説明: コントローラーが、1 つ以上のディスクに要求される機能をサポートしていません。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9010 2506-9010

説明: 接続されたディスクに関連したキャッシュ・データが検索できません。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9011 2506-9011

説明: キャッシュ・データは、接続されたディスク以外のディスクに属するものです。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9020 2506-9020

説明: 複数のディスクが RAID 5 または RAID 6 ディスク・アレイから欠落しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9021 2506-9021

説明: 複数のディスクが RAID 5 または RAID 6 ディスク・アレイから欠落しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9022 2506-9022

説明: 複数のディスクが RAID 5 または RAID 6 ディスク・アレイから欠落しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9023 2506-9023

説明: 1 つ以上のディスク・アレイ・メンバーが、必要とされる物理的位置にありません。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9024 2506-9024

説明: ディスク・アレイ・メンバーの物理位置が他のディスク・アレイと競合しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9025 2506-9025

説明: 非互換のディスクが、ディスク・アレイの機能低下ディスク位置に取り付けられています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9026 2506-9026

説明: 以前に機能低下したディスク・アレイのディスクが、必要とされる物理位置に検出されません。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9027 2506-9027

説明: ディスク・アレイが機能低下している、または機能低下が起こる可能性があり、パリティー・データの同期が崩れています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9028 2506-9028

説明: 機能しているディスク・アレイの最大数を超えました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9029 2506-9029

説明: 機能しているディスク・アレイのディスクの最大数を超えました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9030 2506-9030

説明: ディスクの欠落/障害のためディスク・アレイが機能低下しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9031 2506-9031

説明: ディスク・アレイの自動再構築が開始されました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9032 2506-9032

説明: ディスクの欠落/障害のためディスク・アレイが機能低下しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9041 2506-9041

説明: バックグラウンドのディスク・アレイ・パリティー・チェックがエラーを検出し、修正しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9042 2506-9042

説明: バックグラウンドのディスク・アレイ・パリティー・チェックが、指定されたディスクでエラーを検出し、修正しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9050 2506-9050

説明: 必須のキャッシュ・データを 1 つ以上のディスクで見付けることができません。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9051 2506-9051

説明: 1 つ以上の欠落/障害ディスク用のキャッシュ・データが存在しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9052 2506-9052

説明: 1 つ以上の変更済みディスク用のキャッシュ・データが存在しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9054 2506-9054

説明: 直前の問題により RAID コントローラーのリソースが使用不可です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9060 2506-9060

説明: 1 つ以上のディスク・ペアが RAID 10 ディスク・アレイから欠落しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9061 2506-9061

説明: 1 つ以上のディスクが RAID 0 ディスク・アレイから欠落しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9062 2506-9062

説明: 1 つ以上のディスクが RAID 0 ディスク・アレイから欠落しています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9063 2506-9063

説明: 機能しているディスク・アレイの最大数を超えました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9073 2506-9073

説明: 複数のコントローラーが無効な構成に接続されています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9074 2506-9074

説明: 複数のコントローラーで、同様の機能を果たせないか、同一セットのデバイスの制御ができません。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9075 2506-9075

説明: コントローラーとリモート・コントローラー間のマルチパス接続が不完全です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9076 2506-9076

説明: リモート・コントローラーの欠落です。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9081 2506-9081

説明: コントローラーが、内部メディア・リカバリー時にデバイス・エラーを検出しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9082 2506-9082

説明: コントローラーが、内部メディア・リカバリー時にデバイス・エラーを検出しました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9090 2506-9090

説明: ディスクが、最後の既知の状況から変更されています。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9091 2506-9091

説明: ディスク構成変更の誤りが検出されました。 チェックアウト手順の実行に進みます。

応答:

2506-9092 2506-9092

説明: ディスクを使用する前にフォーマットが必要です。 ディスクをフォーマットして、操作を再試行します。

応答:

2506-FF3D 2506-FF3D

説明: コントローラーの一時的な障害です。 操作を再試行してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2506

2506-FFF3 2506-FFF3

説明: ディスク・メディアのフォーマットが不良です。 ディスクを再フォーマットして、操作を再試行します。

応答:

2506-FFF4 2506-FFF4

説明: デバイスの問題です。 デバイスの診断を実行し、操作を再試行します。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2506-FFF6 2506-FFF6

説明: デバイスがリカバリー可能エラーを検出しました。 操作を再試行してください。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2506-FFFA 2506-FFFA

説明: 一時的なデバイス・バス・エラーです。 操作を再試行してください。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2506-FFFE 2506-FFFE

説明: 一時的なデバイス・バス・エラーです。 操作を再試行してください。

応答:

2D14-102E 2D14-102E

説明: 代替セクターのディスクが原因で再割り振りに失敗しました。診断で特定された FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2D14-3002 2D14-3002

説明: アドレスされたデバイスが選択に対する応答に失敗しました。診断で特定された FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2D14-3010 2D14-3010

説明: ディスクが誤った応答をアダプターに戻しました。 診断で特定された FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2D14-3020 2D14-3020

説明: ストレージ・サブシステム構成エラーです。 MAP3150 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-3100 2D14-3100

説明: コントローラーがデバイス・バス・インターフェース・エラーを検出しました。 MAP3150 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-3109 2D14-3109

説明: コントローラーがデバイス・コマンドでタイムアウトになりました。 MAP3150 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-3110 2D14-3110

説明: デバイス・バス・インターフェースのエラーです。 MAP3150 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-4010 2D14-4010

説明: 構成エラー、カスケードされた格納装置間の接続が誤っています。 MAP3142 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-4020 2D14-4020

説明: 構成エラー、接続が IOA 設計制限を超過しています。 MAP3143 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-4030 2D14-4030

説明: 構成エラー、マルチパス接続の誤りです。 MAP3144 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-4040 2D14-4040

説明: 構成エラー、コントローラーと格納装置間で不完全なマルチパス接続が検出されました。 MAP3144 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-4041 2D14-4041

説明: 構成エラー、格納装置とデバイス間で不完全なマルチパス接続が検出されました。 MAP3146 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-4050 2D14-4050

説明: 接続されている格納装置が、必要なマルチパス機能をサポートしていません。 MAP3148 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-4060 2D14-4060

説明: マルチパスの冗長性レベルが悪化しました。 MAP3153 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-4100 2D14-4100

説明: デバイス・バス・ファブリック・エラーです。 MAP3152 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-4101 2D14-4101

説明: 一時的なデバイス・バス・ファブリック・エラーです。 MAP3152 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-4110 2D14-4110

説明: サポートされない格納装置機能が検出されました。 MAP3145 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-4150 2D14-4150

説明: PCI バス・エラーがコントローラーによって検出されました。 システム・ボード (SAS コントローラー) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D14

2D14-4160 2D14-4160

説明: PCI バス・エラーがコントローラーによって検出されました。 システム・ボード (SAS コントローラー) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D14

2D14-7001 2D14-7001

説明: 一時的なディスク・データ・エラーです。システム・ボード (SAS コントローラー) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2D14-8150 2D14-8150

説明: コントローラーの障害です。 システム・ボード (SAS コントローラー) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D14

2D14-8157 2D14-8157

説明: コントローラーの一時的な障害です。 システム・ボード (SAS コントローラー) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D14

2D14-9000 2D14-9000

説明: コントローラーが構成ディスカバリー時にデバイス・エラーを検出しました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9001 2D14-9001

説明: コントローラーが構成ディスカバリー時にデバイス・エラーを検出しました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9002 2D14-9002

説明: コントローラーが構成ディスカバリー時にデバイス・エラーを検出しました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9008 2D14-9008

説明: コントローラーが、1 つ以上のディスクに要求される機能をサポートしていません。 MAP3130 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9010 2D14-9010

説明: 接続されたディスクに関連したキャッシュ・データが検索できません。 MAP3120 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9011 2D14-9011

説明: キャッシュ・データは、接続されたディスク以外のディスクに属するものです。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9020 2D14-9020

説明: 複数のディスクが RAID 5 または RAID 6 ディスク・アレイから欠落しています。 MAP3111 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9021 2D14-9021

説明: 複数のディスクが RAID 5 または RAID 6 ディスク・アレイから欠落しています。 MAP3111 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9022 2D14-9022

説明: 複数のディスクが RAID 5 または RAID 6 ディスク・アレイから欠落しています。 MAP3111 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9023 2D14-9023

説明: 1 つ以上のディスク・アレイ・メンバーが、必要とされる物理的位置にありません。 MAP3112 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9024 2D14-9024

説明: ディスク・アレイ・メンバーの物理位置が他のディスク・アレイと競合しています。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9025 2D14-9025

説明: 非互換のディスクが、ディスク・アレイの機能低下ディスク位置に取り付けられています。 MAP3110 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9026 2D14-9026

説明: 以前に機能低下したディスク・アレイのディスクが、必要とされる物理位置に検出されません。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9027 2D14-9027

説明: ディスク・アレイが機能低下している、または機能低下が起こる可能性があり、パリティー・データの同期が崩れています。 MAP3113 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9028 2D14-9028

説明: 機能しているディスク・アレイの最大数を超えました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9029 2D14-9029

説明: 機能しているディスク・アレイのディスクの最大数を超えました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9030 2D14-9030

説明: ディスクの欠落/障害のためディスク・アレイが機能低下しています。 MAP3110 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9031 2D14-9031

説明: ディスク・アレイの自動再構築が開始されました。 MAP3110 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9032 2D14-9032

説明: ディスクの欠落/障害のためディスク・アレイが機能低下しています。 MAP3110 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9041 2D14-9041

説明: バックグラウンドのディスク・アレイ・パリティー・チェックがエラーを検出し、修正しました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9042 2D14-9042

説明: バックグラウンドのディスク・アレイ・パリティー・チェックが、指定されたディスクでエラーを検出し、修正しました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9050 2D14-9050

説明: 必須のキャッシュ・データを 1 つ以上のディスクで見付けることができません。 MAP3131 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9051 2D14-9051

説明: 1 つ以上の欠落/障害ディスク用のキャッシュ・データが存在しています。 MAP3132 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9052 2D14-9052

説明: 1 つ以上の変更済みディスク用のキャッシュ・データが存在しています。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9054 2D14-9054

説明: 直前の問題により RAID コントローラーのリソースが使用不可です。 MAP3121 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9060 2D14-9060

説明: 1 つ以上のディスク・ペアが RAID 10 ディスク・アレイから欠落しています。 MAP3111 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9061 2D14-9061

説明: 1 つ以上のディスクが RAID 0 ディスク・アレイから欠落しています。 MAP3111 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9062 2D14-9062

説明: 1 つ以上のディスクが RAID 0 ディスク・アレイから欠落しています。 MAP3111 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9063 2D14-9063

説明: 機能しているディスク・アレイの最大数を超えました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9073 2D14-9073

説明: 複数のコントローラーが無効な構成に接続されています。 MAP3140 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9074 2D14-9074

説明: 複数のコントローラーで、同様の機能を果たせないか、同一セットのデバイスの制御ができません。 MAP3141 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9075 2D14-9075

説明: コントローラーとリモート・コントローラー間のマルチパス接続が不完全です。 MAP3149 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9076 2D14-9076

説明: リモート・コントローラーの欠落です。 MAP3147 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9081 2D14-9081

説明: コントローラーが、内部メディア・リカバリー時にデバイス・エラーを検出しました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9082 2D14-9082

説明: コントローラーが、内部メディア・リカバリー時にデバイス・エラーを検出しました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9090 2D14-9090

説明: ディスクが、最後の既知の状況から変更されています。 MAP3133 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9091 2D14-9091

説明: ディスク構成変更の誤りが検出されました。 MAP3133 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-9092 2D14-9092

説明: ディスクを使用する前にフォーマットが必要です。 ディスクをフォーマットして、操作を再試行します。 MAP3134 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-FF3D 2D14-FF3D

説明: コントローラーの一時的な障害です。 操作を再試行してください。システム・ボード (SAS コントローラー) を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D14

2D14-FFF3 2D14-FFF3

説明: ディスク・メディアのフォーマットが不良です。 ディスクを再フォーマットして、操作を再試行します。 MAP3135 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D14-FFF4 2D14-FFF4

説明: デバイスの問題です。 診断で特定された FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2D14-FFF6 2D14-FFF6

説明: デバイスがリカバリー可能エラーを検出しました。 診断で特定された FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2D14-FFFA 2D14-FFFA

説明: 一時的なデバイス・バス・エラーです。 診断で特定された FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2D14-FFFE 2D14-FFFE

説明: 一時的なデバイス・バス・エラーです。 MAP3150 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-102E 2D29-102E

説明: 代替セクターのディスクが原因で再割り振りに失敗しました。診断で特定された FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2D29-3002 2D29-3002

説明: アドレスされたデバイスが選択に対する応答に失敗しました。診断で特定された FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2D29-3010 2D29-3010

説明: ディスクが誤った応答をアダプターに戻しました。 診断で特定された FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2D29-3020 2D29-3020

説明: ストレージ・サブシステム構成エラーです。 MAP3150 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-3100 2D29-3100

説明: コントローラーがデバイス・バス・インターフェース・エラーを検出しました。 MAP3150 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-3109 2D29-3109

説明: コントローラーがデバイス・コマンドでタイムアウトになりました。 MAP3150 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-3110 2D29-3110

説明: デバイス・バス・インターフェースのエラーです。 MAP3150 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-4010 2D29-4010

説明: 構成エラー、カスケードされた格納装置間の接続が誤っています。 MAP3142 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-4020 2D29-4020

説明: 構成エラー、接続が IOA 設計制限を超過しています。 MAP3143 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-4030 2D29-4030

説明: 構成エラー、マルチパス接続の誤りです。 MAP3144 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-4040 2D29-4040

説明: 構成エラー、コントローラーと格納装置間で不完全なマルチパス接続が検出されました。 MAP3144 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-4041 2D29-4041

説明: 構成エラー、格納装置とデバイス間で不完全なマルチパス接続が検出されました。 MAP3146 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-4050 2D29-4050

説明: 接続されている格納装置が、必要なマルチパス機能をサポートしていません。 MAP3148 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-4060 2D29-4060

説明: マルチパスの冗長性レベルが悪化しました。 MAP3153 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-4100 2D29-4100

説明: デバイス・バス・ファブリック・エラーです。 MAP3152 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-4101 2D29-4101

説明: 一時的なデバイス・バス・ファブリック・エラーです。 MAP3152 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-4110 2D29-4110

説明: サポートされない格納装置機能が検出されました。 MAP3145 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-4150 2D29-4150

説明: PCI バス・エラーがコントローラーによって検出されました。 PCIe x8 内蔵 3Gb SAS アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D29

2D29-4160 2D29-4160

説明: PCI バス・エラーがコントローラーによって検出されました。 PCIe x8 内蔵 3Gb SAS アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D29

2D29-7001 2D29-7001

説明: 一時的なディスク・データ・エラーです。 PCIe x8 内蔵 3Gb SAS アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2D29-8150 2D29-8150

説明: コントローラーの障害です。 PCIe x8 内蔵 3Gb SAS アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D29

2D29-8157 2D29-8157

説明: コントローラーの一時的な障害です。 PCIe x8 内蔵 3Gb SAS アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D29

2D29-9000 2D29-9000

説明: コントローラーが構成ディスカバリー時にデバイス・エラーを検出しました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9001 2D29-9001

説明: コントローラーが構成ディスカバリー時にデバイス・エラーを検出しました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9002 2D29-9002

説明: コントローラーが構成ディスカバリー時にデバイス・エラーを検出しました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9008 2D29-9008

説明: コントローラーが、1 つ以上のディスクに要求される機能をサポートしていません。 MAP3130 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9010 2D29-9010

説明: 接続されたディスクに関連したキャッシュ・データが検索できません。 MAP3120 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9011 2D29-9011

説明: キャッシュ・データは、接続されたディスク以外のディスクに属するものです。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9020 2D29-9020

説明: 複数のディスクが RAID 5 または RAID 6 ディスク・アレイから欠落しています。 MAP3111 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9021 2D29-9021

説明: 複数のディスクが RAID 5 または RAID 6 ディスク・アレイから欠落しています。 MAP3111 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9022 2D29-9022

説明: 複数のディスクが RAID 5 または RAID 6 ディスク・アレイから欠落しています。 MAP3111 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9023 2D29-9023

説明: 1 つ以上のディスク・アレイ・メンバーが、必要とされる物理的位置にありません。 MAP3112 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9024 2D29-9024

説明: ディスク・アレイ・メンバーの物理位置が他のディスク・アレイと競合しています。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9025 2D29-9025

説明: 非互換のディスクが、ディスク・アレイの機能低下ディスク位置に取り付けられています。 MAP3110 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9026 2D29-9026

説明: 以前に機能低下したディスク・アレイのディスクが、必要とされる物理位置に検出されません。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9027 2D29-9027

説明: ディスク・アレイが機能低下している、または機能低下が起こる可能性があり、パリティー・データの同期が崩れています。 MAP3113 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9028 2D29-9028

説明: 機能しているディスク・アレイの最大数を超えました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9029 2D29-9029

説明: 機能しているディスク・アレイのディスクの最大数を超えました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9030 2D29-9030

説明: ディスクの欠落/障害のためディスク・アレイが機能低下しています。 MAP3110 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9031 2D29-9031

説明: ディスク・アレイの自動再構築が開始されました。 MAP3110 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9032 2D29-9032

説明: ディスクの欠落/障害のためディスク・アレイが機能低下しています。 MAP3110 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9041 2D29-9041

説明: バックグラウンドのディスク・アレイ・パリティー・チェックがエラーを検出し、修正しました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9042 2D29-9042

説明: バックグラウンドのディスク・アレイ・パリティー・チェックが、指定されたディスクでエラーを検出し、修正しました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9050 2D29-9050

説明: 必須のキャッシュ・データを 1 つ以上のディスクで見付けることができません。 MAP3131 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9051 2D29-9051

説明: 1 つ以上の欠落/障害ディスク用のキャッシュ・データが存在しています。 MAP3132 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9052 2D29-9052

説明: 1 つ以上の変更済みディスク用のキャッシュ・データが存在しています。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9054 2D29-9054

説明: 直前の問題により RAID コントローラーのリソースが使用不可です。 MAP3121 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9060 2D29-9060

説明: 1 つ以上のディスク・ペアが RAID 10 ディスク・アレイから欠落しています。 MAP3111 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9061 2D29-9061

説明: 1 つ以上のディスクが RAID 0 ディスク・アレイから欠落しています。 MAP3111 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9062 2D29-9062

説明: 1 つ以上のディスクが RAID 0 ディスク・アレイから欠落しています。 MAP3111 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9063 2D29-9063

説明: 機能しているディスク・アレイの最大数を超えました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9073 2D29-9073

説明: 複数のコントローラーが無効な構成に接続されています。 MAP3140 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9074 2D29-9074

説明: 複数のコントローラーで、同様の機能を果たせないか、同一セットのデバイスの制御ができません。 MAP3141 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9075 2D29-9075

説明: コントローラーとリモート・コントローラー間のマルチパス接続が不完全です。 MAP3149 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9076 2D29-9076

説明: リモート・コントローラーの欠落です。 MAP3147 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9081 2D29-9081

説明: コントローラーが、内部メディア・リカバリー時にデバイス・エラーを検出しました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9082 2D29-9082

説明: コントローラーが、内部メディア・リカバリー時にデバイス・エラーを検出しました。 MAP3190 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9090 2D29-9090

説明: ディスクが、最後の既知の状況から変更されています。 MAP3133 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9091 2D29-9091

説明: ディスク構成変更の誤りが検出されました。 MAP3133 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-9092 2D29-9092

説明: ディスクを使用する前にフォーマットが必要です。 ディスクをフォーマットして、操作を再試行します。 MAP3134 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-FF3D 2D29-FF3D

説明: コントローラーの一時的な障害です。 操作を再試行してください。 PCIe x8 内蔵 3Gb SAS アダプターを交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_2D29

2D29-FFF3 2D29-FFF3

説明: ディスク・メディアのフォーマットが不良です。 ディスクを再フォーマットして、操作を再試行します。 MAP3135 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

2D29-FFF4 2D29-FFF4

説明: デバイスの問題です。 診断で特定された FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2D29-FFF6 2D29-FFF6

説明: デバイスがリカバリー可能エラーを検出しました。 診断で特定された FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2D29-FFFA 2D29-FFFA

説明: 一時的なデバイス・バス・エラーです。 診断で特定された FRU を交換してください。

応答:

障害項目:

- FFC_722

2D29-FFFE 2D29-FFFE

説明: 一時的なデバイス・バス・エラーです。 MAP3150 を使用して、解決方法を判断してください。

応答:

A00-FF0 から A24-xxx までの SRN:

AIX オペレーティング・システムでは、A00-FF0 から A24-xxx までのサービス要求番号 (SRN) が生成される場合があります。

注: この一連の SRN の中には、ダッシュ (-) の後に 3 桁ではなく、4 桁の数字が続くものがあります。

表 15 は、以下の SRN のすべてにおける *x* (例えば A01-00x) の意味を表します。

表 15. ハイフンの後の最終文字 (x) の意味

数値	意味
1	リストされたすべての FRU を交換してください
2	ホット・スワップがサポートされています
4	ソフトウェアが原因である可能性があります
8	予約済み

以下の SRN は、各 SRN を説明しており、推奨される修正アクションを示しています。

A24-000 A24-000

説明: 共用割り込みレベルへの誤りの割り込みがしきい値を超えました。

応答:

1. マネージメント・モジュールのイベント・ログを確認します。システムによってエラーが記録された場合は、そのエラーを処理します。
2. システム・エラーが見つからなかった場合は、診断プログラムによって報告された部品番号を交換します。
3. 項目が何も見つからない場合は、システム・ボードを交換します。

A24-XXX A24-XXX

説明: 誤りの割り込みがしきい値を超えました。

応答:

1. マネージメント・モジュールのイベント・ログを確認します。システムによってエラーが記録された場合は、そのエラーを処理します。
2. システム・エラーが見つからなかった場合は、診断プログラムによって報告された部品番号を交換します。
3. 項目が何も見つからない場合は、システム・ボードを交換します。

SCSD 装置の SRN (ssss-102 から ssss-640):

これらのサービス要求番号 (SRN) は、自己構成 SCSI 装置 (SCSD) の問題を識別します。

SAS ハード・ディスク・デバイスの問題が疑われる場合は、以下の SRN を使用してください。障害機能コード (FFC) がリストされている順番で部品を交換してください。

注:

1. SRN の中には、ダッシュ (-) の後に 3 桁ではなく、4 桁の数字が続くものがあります。
2. ダッシュ (-) の前の *ssss* は 3 桁または 4 桁の SCSD SRN を表します。

SSSS-102 SSSS-102

説明: リカバリー不能メディア・エラーが発生しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュールのイベント・ログを確認します。システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

SSSS-104 SSSS-104

説明: モーターが再始動に失敗しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

SSSS-105 SSSS-105

説明: ドライブがレディーになりませんでした。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

SSSS-106 SSSS-106

説明: 電子カード・テストが失敗しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

SSSS-108 SSSS-108

説明: バス・テストが失敗しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

SSSS-110 SSSS-110

説明: メディア・フォーマットが破壊されています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

SSSS-112 SSSS-112

説明: 診断テストが失敗しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

SSSS-114 SSSS-114

説明: リカバリー不能ハードウェア・エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

SSSS-116 SSSS-116

説明: プロトコル・エラーです。

1. デバイス、アダプター、診断ファームウェアのレベルとアプリケーション・ソフトウェアのレベルに互換性があることを確認します。
2. 問題が見つからない場合は、オペレーティング・システムのサポート担当者に連絡してください。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

SSSS-117 SSSS-117

説明: ライト・プロテクト・エラーが発生しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

SSSS-118 SSSS-118

説明: SCSD コマンド・タイムアウトが発生しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS
- FFC_252B

SSSS-120 SSSS-120

説明: SCSD ビジーまたはコマンドのエラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

SSSS-122 SSSS-122

説明: SCSD 予約競合エラーです。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

SSSS-124 SSSS-124

説明: SCSD チェック・コンディション・エラーが発生しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

SSSS-126 SSSS-126

説明: ソフトウェア・エラーがハードウェアの原因で発生しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS
- FFC_252B

SSSS-128 SSSS-128

説明: エラー・ログ分析がハードウェア障害を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_252B
- FFC_SSSS
- ソフトウェア

SSSS-129 SSSS-129

説明: エラー・ログ分析が SCSD バス問題を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_252B
- FFC_SSSS
- ソフトウェア

SSSS-130 SSSS-130

説明: エラー・ログ分析が、ディスク・ドライブのセルフ・モニター機能が報告した問題を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

SSSS-132 SSSS-132

説明: ディスク・ドライブ・ハードウェア・エラーが発生しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

SSSS-134 SSSS-134

説明: アダプターが構成に失敗しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_252B
- ソフトウェア

SSSS-135 SSSS-135

説明: デバイスが構成に失敗しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS
- FFC_252B
- ソフトウェア

SSSS-136 SSSS-136

説明: 認証オペレーションに失敗しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

SSSS-137 SSSS-137

説明: Send Diagnostic コマンドで装置アテンション状態が発生しました。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS
- FFC_252B

SSSS-138 SSSS-138

説明: エラー・ログ分析は、ディスク・ドライブが推奨温度より高温で作動していることを示しています。

1. 以下を確認します。
   - ブレード・サーバーのベゼルの換気用の穴がブロックされていない。
   - マネージメント・モジュール・イベント・ログにシステム環境警告が報告されていない。
2. 問題が解決しない場合は、IBM サポートに連絡してください。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

SSSS-140 SSSS-140

説明: エラー・ログ分析が低信号品質を示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_199
- FFC_252B
- FFC_SSSS

SSSS-640 SSSS-640

説明: エラー・ログ分析がパス・エラーを示しています。

1. BladeCenter マネージメント・モジュール・イベント・ログを確認します。 システムによってエラーが記録されている場合は、POST 進行コード (チェックポイント) を参照してください。
2. 診断プログラムが報告した部品をすべて交換します。
3. システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

応答:

障害項目:

- FFC_SSSS

障害機能コード:

障害機能コード (FFC) は、障害が発生しているシステム装置内の機能を表します。

表 16 では、各機能コードが識別するコンポーネントについて説明します。

注: コンポーネントを交換する場合は、そのコンポーネントに対してシステム検査を実行してください。 507 ページの『診断プログラムの使用』を参照してください。

表 16. 障害機能コード

FFC	説明と注
151	1. バッテリー **注:** バッテリーを交換後、以下のようにします。 a. 時刻と日付を設定します。 b. ネットワーク IP アドレス (ネットワークから始動するコンピュート・ノードに対して) を設定します。 2. システム・ボードとシャーシ・アセンブリー
152	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー
166	イベント・ログで、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシのブロワーまたはファン障害がないかを確認します。 IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに付属の資料を参照してください。

表 16. 障害機能コード (続き)

FFC	説明と注
199	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー
210	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー
212	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (キャッシュの問題)
214	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー
217	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー
219	メモリー DIMM のコモン・メモリー・ロジックの問題 **注:** メモリー DIMM の複数のペアが未装着と報告された場合は: 1. 報告された物理ロケーション・コードの場所のメモリー DIMM を交換します。 2. システム・ボードを交換します。
221	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー
226	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー
227	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー
241	イーサネット・ネットワークの問題
282	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー
292	システム・ボードおよびシャーシ・アセンブリー (ホスト - PCI ブリッジの問題)
293	システム・ボードおよびシャーシ・アセンブリー (PCI - PCI ブリッジの問題)
294	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (MPIC 割り込みコントローラーの問題)
296	PCI デバイスまたはアダプターの問題。 **注:** 交換パーツは、診断によって報告されたロケーション・コードでのみ識別できます。
2C4	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー
2C7	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (メモリー・コントローラー)
2C8	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー
2C9	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー
2D2	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (バス・アービターの問題)
2D3	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー
2D4	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (システム/SP インターフェース・ロジックの問題)
2D5	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (I2C プライマリー)
2D6	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (I2C セカンダリー)
2D7	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (VPD モジュール)
2E8	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (キャッシュ・コントローラー)
308	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (I/O ブリッジの問題)
650	不明なハード・ディスク。 **注:** この FFC は、ハード・ディスクが正しく構成されていないことを示します。
711	不明なアダプター
722	不明なストレージ・デバイス
7C0	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (マイクロプロセッサーまたはシステム・インターフェース)
812	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (共通標準アダプター・ロジックの問題)
815	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (浮動小数点プロセッサーの問題)
820	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (プロセッサー間関連テストの問題)

表 16. 障害機能コード (続き)

FFC	説明と注
B88	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (SAS コントローラー)
D01	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (キャッシュの問題)
E19	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (パワー・サプライ・センサーが失敗した)
25A0	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー
2627	IBM Flex System 2 ポート QDR InfiniBand アダプター
2629	IBM Flex System 2 ポート QDR InfiniBand アダプター (構成の問題)
2631	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー
268B	300 GB SAS small-form-factor ディスク・ドライブ
26B4	200 GB ソリッド・ステート・ドライブ
26BD	カバー (SAS - SATA ブリッジの問題)
26D2	600 GB SAS small-form-factor ディスク・ドライブ
26D7	900 GB SAS small-form-factor ディスク・ドライブ
2710	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (内蔵 USB コントローラー)
2750	IBM Flex System 2 ポート 16 Gb ファイバー・チャネル・アダプター
2755	IBM Flex System 4 ポート 16 Gb ファイバー・チャネル・アダプター
2770	IBM Flex System 2 ポート 10 Gb RoCE アダプター
2D14	システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (内蔵 SAS アダプター)
2E16	IBM Flex System 2 ポート 8 Gb ファイバー・チャネル・アダプター
2E28	IBM Flex System 8 ポート 10 Gb コンバージド・アダプター
2E37	IBM Flex System 4 ポート 10 Gb イーサネット・アダプター
2E3D	IBM Flex System 4 ポート 1 Gb イーサネット・アダプター
2E52	IBM Flex System 8 ポート 10 Gb コンバージド・アダプター

コントローラーの保守分析手順:

以下の手順は、コントローラーに関連したアダプター、キャッシュ、およびディスク・アレイの問題を解決することを目的にしています。

どの MAP を使用するかを識別するには、331 ページの『サービス要求番号 (SRN)』を参照してください。

MAP 3110:

Systems Hardware Information Center の MAP 3110 を実行します。

MAP 3111:

Systems Hardware Information Center の MAP 3111 を実行します。

MAP 3112:

Systems Hardware Information Center の MAP 3112 を実行します。

MAP 3113:

Systems Hardware Information Center の MAP 3113 を実行します。

MAP 3120:

Systems Hardware Information Center の MAP 3120 を実行します。

MAP 3121:

Systems Hardware Information Center の MAP 3121 を実行します。

MAP 3130:

Systems Hardware Information Center の MAP 3130 を実行します。

MAP 3131:

Systems Hardware Information Center の MAP 3131 を実行します。

MAP 3132:

Systems Hardware Information Center の MAP 3132 を実行します。

MAP 3133:

Systems Hardware Information Center の MAP 3133 を実行します。

MAP 3134:

Systems Hardware Information Center の MAP 3134 を実行します。

MAP 3135:

Systems Hardware Information Center の MAP 3135 を実行します。

MAP 3140:

Systems Hardware Information Center の MAP 3140 を実行します。

MAP 3141:

Systems Hardware Information Center の MAP 3141 を実行します。

MAP 3142:

Systems Hardware Information Center の MAP 3142 を実行します。

MAP 3143:

Systems Hardware Information Center の MAP 3143 を実行します。

MAP 3144:

Systems Hardware Information Center の MAP 3144 を実行します。

MAP 3145:

Systems Hardware Information Center の MAP 3145 を実行します。

MAP 3146:

Systems Hardware Information Center の MAP 3146 を実行します。

MAP 3147:

Systems Hardware Information Center の MAP 3147 を実行します。

MAP 3148:

Systems Hardware Information Center の MAP 3148 を実行します。

MAP 3149:

Systems Hardware Information Center の MAP 3149 を実行します。

MAP 3150:

Systems Hardware Information Center の MAP 3150 を実行します。

MAP 3152:

Systems Hardware Information Center の MAP 3152 を実行します。

MAP 3153:

Systems Hardware Information Center の MAP 3153 を実行します。

MAP 3190:

Systems Hardware Information Center の MAP 3190 を実行します。

エラー・ログ

パワーオン・セルフテスト (POST)、ハイパーバイザー、およびサービス・プロセッサーは、IBM シャーシ・マネージメント・モジュールのイベント・ログにエラーを書き込みます。

次の表は、IBM シャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) に表示される 9 ワードの B700xxxx システム参照コード (SRC) の構文を示しています。イベントに関する追加情報は、メッセージ・フィールドの「**more...**」をクリックして表示することができます。

この例の SRC の最初のワードは、B7001111 で、メッセージ ID です。 この例では、最初のワードの後の各ワードを数字で表し、相対的なワード位置を示しています。 7 番目のワードが直接選択アドレスで、この例では **77777777** となっています。

表 17. CMM イベント・ログの 9 ワードの SRC

重大度	発行元	日付	メッセージ	イベントの追加情報
Critical (クリティカル)	Blade _05	Jan 21, 2012 07:15 AM	Node SN#xxxxxxxxxxx message: (System event) system hardware failure. more...	Firmware. Replace UNKNOWN (5008FECF **B7001111** 22222222 33333333 44444444 55555555 66666666 **77777777** 88888888 99999999)

オペレーティング・システムとインストール済みのユーティリティーによっては、エラー・メッセージはオペレーティング・システムのログにも保管されます。 詳しくは、オペレーティング・システムに付属の資料を参照してください。

チェックアウト手順

チェックアウト手順は、コンピュート・ノードで発生した問題を診断するために行うタスクの順序です。

チェックアウト手順について

チェックアウト手順を実行する前に、ここに記載されている情報をよくお読みください。

- 『安全』トピックと 37 ページの『取り付けのガイド』をお読みください。
- ファームウェア診断プログラムは、コンピュート・ノードの主要コンポーネントをテストするための基本の方法です。問題の原因がハードウェアかソフトウェアか不明な場合は、ファームウェア診断プログラムを使用してハードウェアが正常に作動していることを確認することができます。 ファームウェア診断プログラムは、コンピュート・ノードの電源をオンにすると自動的に実行されます。
- 単一の問題が複数のエラー・メッセージの原因になることがあります。 そのような場合は、最初のエラー・メッセージの原因を修正してください。 他のエラー・メッセージは、次に診断プログラムを実行した時には通常は発生しなくなります。
- コンピュート・ノードが POST チェックポイントでハングした場合は、 254 ページの『POST 進行コード (チェックポイント)』を参照してください。コンピュート・ノードが停止し、エラー・メッセージが何も表示されない場合は、 509 ページの『現象別のトラブルシューティング』と 552 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。
- 再現性の低い問題に対しては、マネージメント・モジュールのイベント・ログと 254 ページの『POST 進行コード (チェックポイント)』を参照してください。
- コンピュート・ノードのフロント・パネルの LED が何も点灯していない場合は、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ Web インターフェースでコンピュート・ノードの状況およびエラーを確認してください。また、 552 ページの『未解決問題の解決』も参照してください。
- デバイス・エラーが発生している場合は、 509 ページの『現象別のトラブルシューティング』を参照してください。

チェックアウト手順の実行

チェックアウトを実行するには、次の手順で行います。

このタスクについて

1. Serial over LAN (SOL) セッションを確立します。SOL セッションの開始については、「*IBM* シャーシ・マネージメント・モジュール *Command-Line* インターフェース リファレンス・ガイド」を参照してください。ステップ 2 に進んでください。

   注: コンピュート・ノードが始動しない場合は、 509 ページの『現象別のトラブルシューティング』を参照してください。
2. 各エラー・コードまたはハング・チェックポイントを検索し、次のステップに進む前に修正アクションを試みたことを確認します。
   a. ファームウェアが 8 桁の進行コードでハングする場合は、 254 ページの『POST 進行コード (チェックポイント)』を参照してください。
   b. ファームウェアが 8 桁のエラー・コードを記録した場合は、 125 ページの『システム参照コード (SRC)』を参照してください。
   c. AIX オペレーティング・システムがサービス要求番号 (SRN) を記録する場合は、 331 ページの『サービス要求番号 (SRN)』を参照してください。

d. イベント・ログを確認してください。 システムによってエラーが記録されていた場合は、 254 ページの『POST 進行コード (チェックポイント)』または 125 ページの『システム参照コード (SRC)』を参照してください。

e. エラーが何も記録されていない場合、またはログイン・プロンプトが表示されるがまだ問題が残っているように思われる場合は、次のステップに進みます。

3. コンピュート・ノードで稼働しているのは AIX オペレーティング・システムですか?

   はい イベント・ログ内の情報あるいはメッセージをすべて記録して、ステップ 5 に進みます。

   いいえ ステップ 4 にアクセスしてください。

4. コンピュート・ノードで稼働しているのは Linux オペレーティング・システムですか?

   はい イベント・ログ内の情報あるいはメッセージをすべて記録して、ステップ 7 に進みます。スタンドアロン診断イメージをロードできない場合は、この質問に「いいえ」と答えてください。

   いいえ 552 ページの『未解決問題の解決』に進みます。

5. 以下のステップを実行します。

   注: 可能ならば、AIX オンライン診断を並行モードで実行します。 AIX オンライン診断は、スタンドアロン診断よりも多くの機能を実行します。

   a. AIX オンライン診断の実行については、 504 ページの『AIX 並行診断の開始』を参照してください。 診断結果をすべて記録して、障害が発生しているコンポーネントを識別するために 331 ページの『サービス要求番号 (SRN)』を参照してください。

      注: コンポーネントを交換する場合は、そのコンポーネントに対してシステム検査を実行してください。 507 ページの『診断プログラムの使用』を参照してください。

   b. AIX 並行オンライン診断が実行できない場合は、ステップ 6 に進みます。

6. 以下のステップを実行します。

   a. スタンドアロン診断をロードするデバイスが、コンピュート・ノードのブート・シーケンスで最初のデバイスとして設定されていることを確認します。

   b. システム装置の電源をオフにして、 45 秒間待機してから続行します。

   c. コンピュート・ノードをオンにして、 SOL セッションを確立します。

   d. 次の応答を確認します。

      1) 進行コードは、イベント・ログに記録されます。

      2) ログに入れられるメッセージまたは診断情報をすべて記録します。

   e. スタンドアロン診断をロードします。 504 ページの『スタンドアロン診断の開始』または 505 ページの『NIM サーバーからのスタンドアロン診断の開始』に進みます。

   f. 障害が発生しているコンポーネントを交換した場合は、そのコンポーネントに対してシステム検査を実行してください。 507 ページの『診断プログラムの使用』を参照してください。

   ここで AIX 手順は終了です。

7. 以下のステップを実行します。

   a. スタンドアロン診断をロードするデバイスが、コンピュート・ノードのブート・シーケンスで最初のデバイスとして設定されていることを確認します。

   b. コンピュート・ノードの電源をオフにして、 45 秒間待機してから続行します。

   c. コンピュート・ノードをオンにして、 SOL セッションを確立します。

   d. 次の応答を確認します。

1) 進行コードは、イベント・ログに記録されます。
2) ログに入れられるメッセージまたは診断情報をすべて記録します。

ステップ 8 を続行してください。

8. スタンドアロン診断をロードします。 504 ページの『スタンドアロン診断の開始』または 505 ページの『NIM サーバーからのスタンドアロン診断の開始』に進みます。

スタンドアロン診断がロードできますか ?

いいえ 552 ページの『未解決問題の解決』に進みます。

はい テスト対象のリソースを選択し、SRN がある場合は記録して、 331 ページの『サービス要求番号 (SRN)』に進みます。

ここで Linux 手順は終了です。

すべてのサポートされているオペレーティング・システムについての詳細は、IBM サポート Web サイトを検索してください。

パーティション構成の検査

システムまたは論理区画に構成上の問題がある場合は、この手順を実行してください。

手順

1. システムまたはパーティションのプロセッサーとメモリーの割り振りを調べます。 システム始動時に障害が発生したプロセッサーまたはメモリー・リソースが原因で、パーティションで始動における問題が発生した可能性があります。 すべてのパーティションに対して、システム内で十分なプロセッサーおよびメモリー・リソースが機能していることを確認します。
2. パーティションのバスと仮想アダプターの割り振りを調べます。パーティションにロード・ソースおよびコンソール入出力リソースがあることを確認します。
3. Boot Mode パーティション・プロパティーが「Normal」に設定されていることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、ソフトウェア・サービス提供業者に連絡して、さらなる支援を依頼してください。

診断プログラムの実行

診断プログラムは、AIX オペレーティング・システム、CD、または管理サーバーから開始および実行できます。

AIX 並行診断の開始

AIX オペレーティング・システムから AIX 並行診断を開始するには、次の手順に従ってください。

手順

1. AIX オペレーティング・システムに root ユーザーとしてログインするか、CE ログインを使用します。 詳しくは、 28 ページの『CE ログインの作成』を参照してください。 ヘルプが必要な時はシステム・オペレーターに連絡してください。
2. オペレーティング・システムのプロンプトで `diag` と入力して Enter を押し、診断プログラムを開始して「機能選択 (Function Selection)」メニューを表示します。診断プログラムの実行についての詳細は、507 ページの『診断プログラムの使用』を参照してください。
3. テストが完了したら、「診断操作手順 (Diagnostic Operating Instructions)」パネルが表示されるまで F3 を押し、さらにもう一度 F3 を押して診断プログラムを終了します。

スタンドアロン診断の開始

CD またはフラッシュ・ドライブからスタンドアロン診断を開始するには、以下の手順を実行します。これらの手順は、コンピュート・ノードが Linux オペレーティング・システムで稼働している場合、または AIX オペレーティング・システムで並行診断プログラムが開始できない場合に使用します。

このタスクについて

最新バージョンのスタンドアロン診断を、Standalone Diagnostics CD のページ からダウンロードできます。

手順

1. システム管理者とシステム・ユーザーに、コンピュート・ノードをシャットダウンすることができるかを確認します。すべてのプログラムを停止します。次に、オペレーティング・システムをシャットダウンして、コンピュート・ノードをシャットダウンします。オペレーティング・システムのシャットダウンについては、ご使用のオペレーティング・システムに付属の資料を参照してください。
2. マネージメント・モジュール Web インターフェースから、以下の項目について確認します。
   - コンピュート・ノードのファームウェアが最新バージョンである。
   - SOL がコンピュート・ノード用に使用可能に設定されている。
   - コンピュート・ノードの最初のブート・デバイスとして、CD または DVD ドライブ、あるいは USB フラッシュ・ドライブが選択されている。
3. 診断メディアを挿入します。
   - スタンドアロン診断 CD を使用する場合は、USB 接続を使用して外付けの光学式ドライブ (CD 互換および DVD 互換) を接続し、CD または DVD ドライブにスタンドアロン診断 CD を挿入します。
   - USB フラッシュ・ドライブを使用する場合は、スタンドアロン診断イメージがコピーされた USB フラッシュ・ドライブを挿入します。

4. コンピュート・ノードの電源をオンにし、Serial over LAN (SOL) を確立します。 SOL セッションの開始については、「*IBM シャーシ・マネージメント・モジュール Command-Line インターフェース リファレンス・ガイド*」を参照してください。

   注: CD あるいはフラッシュ・ドライブからスタンドアロン診断をロードするのに数分間かかる場合があります。

   ウィンドウに「システム・コンソールを定義してください (Please define the System Console)」と表示されます。
5. 1 を入力し、Enter を押して先に進みます。

   「診断操作手順 (Diagnostic Operating Instructions)」ウィンドウが表示されます。
6. 続行するには、Enter キーを押してください。

   「機能選択 (Function Selection)」ウィンドウが表示されます。診断プログラムの実行についての詳細は、507 ページの『診断プログラムの使用』を参照してください。

   注: 「端末の定義 (Define Terminal)」ウィンドウが表示されたら、端末タイプを入力して Enter を押します。端末タイプとしては「vs100」の使用をお勧めします。ただし、ファンクション・キーが機能しない場合があります。その場合は、メニューで Esc と数字を押します。例えば、F3 の代わりに Esc+3 を押します。
7. テストが完了したら、「診断操作手順 (Diagnostic Operating Instructions)」ウィンドウが表示されるまで F3 を押し、さらにもう一度 F3 を押して診断プログラムを終了します。
8. 診断メディアを取り出します。
   - スタンドアロン診断 CD を使用している場合は、CD を CD または DVD ドライブから取り出します。
   - USB フラッシュ・ドライブを使用している場合は、USB フラッシュ・ドライブを取り外します。

NIM サーバーからのスタンドアロン診断の開始

ネットワーク・インストール管理 (NIM) サーバーからスタンドアロン診断を開始するには、以下の手順を実行します。

このタスクについて

注: コンピュート・ノードを NIM サーバーのクライアントとして構成する方法については、AIX インフォメーション・センターの「ネットワーク・インストール管理」を参照してください。 また、Configuring the NIM Master and Creating Basic Installation Resources Web ページも参照してください。

手順

1. システム管理者とシステム・ユーザーに、コンピュート・ノードをシャットダウンすることができるかを確認します。すべてのプログラムを停止します。次に、オペレーティング・システムをシャットダウンして、コンピュート・ノードをシャットダウンします。オペレーティング・システムのシャットダウンについては、ご使用のオペレーティング・システムに付属の資料を参照してください。

2. システムがフル・マシン・パーティションで稼働している場合、コンピュート・ノードの電源をオンにし、Serial over LAN (SOL) セッションを確立します。 SOL セッションの開始については、「*IBM シャーシ・マネージメント・モジュール Command-Line インターフェース リファレンス・ガイド*」を参照してください。
3. 次の手順に従って、NIM サーバーのブート設定を確認します。
   a. POST メニューが表示されたら 1 を押して、SMS ユーティリティーを開始します。
   b. SMS メインメニューで、「**Setup Remote IPL (Initial Program Load)**」を選択します。
   c. NIC Adapters メニューから、NIM サーバーに接続されているネットワーク・アダプターを選択します。
   d. 「Network Parameters」メニューから、「**IP Parameters**」を選択します。
   e. クライアント、サーバー、およびゲートウェイ IP アドレス (該当する場合) を入力し、サブネット・マスクを入力します。 NIM サーバーとクライアントの間にゲートウェイが存在しない場合は、ゲートウェイ・アドレスを 0.0.0.0 に設定します。ゲートウェイの存在を判別するには、ネットワーク管理者にお尋ねください。
   f. NIM サーバーがクライアント・システムに ping を許可するようにセットアップされていたら、「Network Parameters」の「Ping Test」オプションを使用してクライアント・システムが NIM サーバーを ping できるか検査します。

      注: ping が失敗する場合は、 508 ページの『ブート問題の解決』を参照して、ネットワーク・ブートの問題に対する手順に従います。
4. ping が正しく実行されたら、NIM サーバーからコンピュート・ノードを始動します。
5. SOL セッションを確立します。

   「診断操作手順 (Diagnostic Operating Instructions)」ウィンドウが表示されたら、診断プログラムは正常に開始しています。

   注: AIX ログイン・プロンプトが表示されたら、診断プログラムはロードされていません。 508 ページの『ブート問題の解決』を参照して、ネットワーク・ブートの問題に対する手順に従います。
6. 続行するには、Enter キーを押してください。

   「機能選択 (Function Selection)」ウィンドウが表示されます。診断プログラムの実行についての詳細は、 507 ページの『診断プログラムの使用』を参照してください。

   注: 「端末の定義 (Define Terminal)」ウィンドウが表示されたら、端末タイプを入力して Enter を押します。端末タイプとしては「vs100」の使用をお勧めします。ただし、ファンクション・キーが機能しない場合があります。その場合は、画面メニューで Esc と数字を押します。 例えば、F3 の代わりに Esc+3 を押します。

7. テストが完了したら、「診断操作手順 (Diagnostic Operating Instructions)」ウィンドウが表示されるまで F3 を押し、さらにもう一度 F3 を押して診断プログラムを終了します。

診断プログラムの使用

診断プログラムを実行するには、基本的な手順に従ってください。

手順

1. 診断は、AIX オペレーティング・システム、CD、または管理サーバーから開始します。 504 ページの『AIX 並行診断の開始』、 504 ページの『スタンドアロン診断の開始』、または 505 ページの『NIM サーバーからのスタンドアロン診断の開始』を参照してください。
2. 「機能選択 (Function Selection)」メニューから、リストされた手順を使用して、以下のいずれかのタスクを実行します。
   - **問題判別**
     a. 「**Diagnostic Routines**」を選択し Enter キーを押します。
     b. 「Diagnostic Mode Selection」メニューから「**Problem Determination**」を選択します。
     c. テスト対象のリソースを選択し、F7=Commit を押します。
     d. 表示された結果をすべて記録して、 331 ページの『サービス要求番号 (SRN)』に進み、障害の識別とアクションを実行します。
     e. テストが完了したら F3 を押して「診断選択 (Diagnostic Selection)」メニューに戻ります。 別のテストを実行する場合は、もう一度 F3 を押して「機能選択 (Function Selection)」メニューに戻ります。
   - **システム検査**
     a. 「**Diagnostic Routines**」を選択し Enter キーを押します。
     b. 「Diagnostic Mode Selection」メニューから「**System Verification**」を選択します。
     c. テスト対象のリソースを選択し、F7=Commit を押します。
     d. 表示された結果をすべて記録して、 331 ページの『サービス要求番号 (SRN)』に進み、障害の識別とアクションを実行します。
     e. テストが完了したら F3 を押して「診断選択 (Diagnostic Selection)」メニューに戻ります。 別のテストを実行する場合は、もう一度 F3 を押して「機能選択 (Function Selection)」メニューに戻ります。
   - **タスクの選択**
     a. 「**タスク選択 (Task Selection)**」を選択して Enter を押します。
     b. 実行対象のタスクを選択して Enter を押します。
     c. 「リソース選択リスト (Resource Selection List)」メニューが表示されたら、タスクが実行する対象のリソースを選択して、F7=Commit を押します。
     d. 選択したタスクの指示に従います。
     e. タスクが完了したら F3 を押して「タスク選択リスト (Task Selection List)」メニューに戻ります。 別のテストを実行する場合は、もう一度 F3 を押して「機能選択 (Function Selection)」メニューに戻ります。

3. テストが完了したら、「診断操作手順 (Diagnostic Operating Instructions)」ウィンドウが表示されるまで F3 を押します。次に、再度 F3 を押し、診断プログラムを終了します。

ブート問題の解決

ブート装置によっては、ブート・イメージを装置から検索しているときに、長時間にわたって管理コンソール内のチェックポイントのリストにチェックポイントが表示されていることがあります。

このタスクについて

この状態は、特に、ブート・イメージやネットワーク・ブートを試行した場合に当てはまります。

注: ネットワーク・ブート試行では、システムがアクティブ・ネットワークに接続されていないか、またはコンピュート・ノードがシステムのブート要求に応答するように構成されていない場合、システムは引き続きブートを試行します。 タイムアウト時間は、再試行操作を行うためにどうしても長くなるので、システムはハングしているように見えることがあります。

ブート・イメージのロードに問題があると思われる場合は、以下のステップを実行してください。

手順

1. 以下のようにしてブート・リストが正しいことを確認します。
   a. 管理コンソールを使用して、ご使用の IBM Flex System エンタープライズ・シャーシでのコンピュート・ノードのブート・シーケンスを表示します。
   b. 表示中のリストからコンピュート・ノードを見つけ、ブートしようとしている装置がブート・シーケンスで先頭の装置であることを確認します。先頭でない場合は、コンピュート・ノードのリストからご使用のコンピュート・ノードを選択し、ブート・シーケンスを変更します。コンピュート・ノードの電源をオフにしてからオンにし、ブートを再試行します。

      注: 「**Network**」を選択すると、コンピュート・ノードは、システム・ボード上の両方のイーサネット・ポートからブートを試行します。
   c. このブート試行が失敗した場合は、以下の手順を実行してください。
      1) ネットワークからブートする場合は、ステップ 2 に進みます。
      2) ハード・ディスクからブートする場合は、ステップ 3 に進みます。
2. ネットワークからブートする場合は、次のようにしてください。
   a. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ・ネットワーク・スイッチへのネットワーク配線が正しいことを確認します。
   b. ネットワーク管理者に連絡して、ネットワークが稼働していることを確認します。
   c. ご使用のシステム用のコンピュート・ノードが稼働していて、システムに応答するように構成されていることを確認します。
   d. コンピュート・ノードの電源をオフにしてから再度オンにし、ブート操作を再試行します。
   e. それでもブートが失敗する場合は、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

3. ハード・ディスクからブートする場合は、次のようにしてください。
   a. ハード・ディスクがインストール済みであることを確認します。
   b. ブート・デバイスとしてハード・ディスクを選択します。
   c. ハード・ディスクからのブート試行が引き続き失敗する場合は、そのハード・ディスクにオペレーティング・システムを再ロードします。
   d. オペレーティング・システムをロードできない場合は、疑わしいハード・ディスクを交換します。
   e. システム・ボードを交換し、オペレーティング・システムのロードを再試行します。

現象別のトラブルシューティング

トラブルシューティング表を使用して、識別可能な現象を持つ問題に対する解決策を探してください。

このタスクについて

これらの現象が共用 IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ・リソースに関連している場合は、550 ページの『共用 IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ・リソース問題の解決』を参照してください。問題がトラブルシューティング表の中に見つからない場合は、503 ページの『診断プログラムの実行』に進み、コンピュート・ノードのテストに関する情報をお読みください。

新規ソフトウェアあるいは新規オプション装置を追加した直後にコンピュート・ノードが作動しなくなった場合は、トラブルシューティング表に進む前に、以下の手順を実行してください。

1. 追加したソフトウェアまたは装置を取り外します。
2. 診断テストを実行し、コンピュート・ノードが正しく作動しているかどうか判別します。
3. 新しいソフトウェアを再インストールするか、新しい装置を取り付け直します。

再現性の低い問題

再現性の低い問題現象および修正アクションを確認します。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

現象	アクション
断続的な接続の問題 (単一のコンピュート・ノード)	1. ネットワーク・ケーブルがスイッチ・モジュールのポートに正しく接続されていること、およびスイッチ・モジュールが正しく装着されていることを確認します。 2. ネットワーク・インターフェース・カード (NIC) のデバイス・ドライバーまたはストレージ・デバイス・コントローラーのデバイス・ドライバーを更新します。 3. 接続の問題の解決について、I/O モジュールの資料を参照してください。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

現象	アクション
断続的な接続の問題 (複数のコンピュート・ノード)	1. デバイスの製造元が提供する診断ツールを使用して、デバイスが接続されている I/O モジュールをテストします。 2. 最初に 1 つのコンピュート・ノードをネットワークに接続し、続けて別のコンピュート・ノードを 1 つずつ接続して問題を切り分けます。 3. 必要に応じて、I/O モジュールのファームウェアを更新します。 **注:** コンピュート・ノードを再始動し、I/O モジュールで POST 診断を実行することで、問題の切り分けに役立つ場合があります。ただし、これによってネットワークに他の悪影響を及ぼす場合があります。
再現性の低い外部デバイスの問題	1. 正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認します。 資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。 2. USB デバイスの場合: a. デバイスが正しく構成されていることを確認します (27 ページの『SMS ユーティリティーの使用』を参照)。 b. デバイスを別のポートに接続します。 USB ハブを使用している場合は、ハブを取り外し、デバイスをコンピュート・ノードに直接接続します。デバイスがポートに対して正しく構成されていることを確認します (27 ページの『SMS ユーティリティーの使用』を参照)。
断続的なカーネル・ベース仮想マシン (KVM) の問題	ビデオの問題: 1. すべてのケーブルおよびコンソール・ブレークアウト・ケーブルが正しく接続され、保護されていることを確認します。 2. モニターを別のコンピュート・ノードでテストして、正常に機能していることを確認します。 3. 正常に機能しているコンピュート・ノードでコンソール・ブレークアウト・ケーブルをテストし、そのケーブルが正常に機能していることを確認します。コンソール・ブレークアウト・ケーブルに障害がある場合は交換します。 キーボードの問題: すべてのケーブルおよびコンソール・ブレークアウト・ケーブルが正しく接続され、保護されていることを確認します。 マウスの問題: すべてのケーブルおよびコンソール・ブレークアウト・ケーブルが正しく接続され、保護されていることを確認します。
断続的な予期しないリブートの問題	コンピュート・ノードの再始動を示すイベント・コードがないかを確認します。一部の訂正可能エラーでは、コンピュート・ノードをリブートして、マシンが正常に起動できるようにするためにメモリー DIMM やマイクロプロセッサーなどのデバイスを使用不可にする必要があります。 エラーに対するアクション・プランを参照し、問題を解決します。

接続の問題

接続の問題の現象および実行する修正アクションを確認します。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

現象	アクション
1 つ以上のコンピュート・ノードが SAN と通信できない	1. 以下の項目を完了します。 a. I/O モジュールが電源オンで、I/O モジュール上の適切なポートが使用可能であること。 b. IBM シャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) が、I/O モジュールの POST が完了してログにエラーが報告されていないことを報告していること。 c. SAN 装置の電源がオンで正常に機能していること。 d. I/O モジュールと SAN 装置の間のすべてのケーブルが適切にしっかりと接続されていること、および適切なポートの活動 LED が点灯していること。 2. SAN 接続あるいはネットワーク接続の問題のトラブルシューティングについて詳しくは、I/O モジュールの資料を参照してください。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

現象	アクション
1 つのコンピュート・ノードがデータ・ネットワークに接続できない	1. 以下の項目を完了します。 a. I/O モジュールが電源オンで、I/O モジュール上の適切なポートが使用可能であること。 b. I/O モジュールとネットワーク・デバイス (スイッチやルーターなど) の間のすべてのケーブルが適切にしっかりと接続されていること、および適切なポートの活動 LED が点灯していること。 2. コンピュート・ノードのオペレーティング・システムから、ネットワーク・デバイスがアクティブであることを確認します。 ネットワーク・デバイスの確認方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。 3. コンピュート・ノードのオペレーティング・システムから、ネットワーク設定 (IP アドレス、サブネット・マスク (該当する場合)、動的ホスト構成プロトコル (DHCP) 設定、仮想ローカル・エリア・ネットワーク (VLAN) 設定など) を確認し、それらの設定がネットワーク・デバイスの設定と一致していることを確認します。ネットワーク設定の確認方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。 4. 入出力カードの最新のデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認します。 5. IBM サポート Web サイトで、この問題に適用できる可能性があるファームウェア更新がないかを確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを表示して、その更新によって解決される問題を判別できます。 6. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。 ノード背面のコネクターのピンが曲がっていないかを確認します。ピンが曲がっている場合は、IBM サポートに連絡してください。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。 7. コンピュート・ノードを別のコンピュート・ノード・ベイに取り付け、問題が残っているかを判別します。 99 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシへのコンピュート・ノードの取り付け』を参照してください。 まだ問題が起こる場合は、使用可能になっているポートにコンピュート・ノードが接続されていること、および VLAN 設定でそのポートがネットワークに接続することが許可されていることを確認します。 8. IBM サポート Web サイトで、ネットワーク接続に関連する Service Bulletin がないかを確認します。 9. トレーニングを受けたサービス技術員のみ: a. リンク/二重速度を強制的に設定します。 b. I/O モジュールのコネクターを調べて、曲がったピンがないことを確認します。 c. シャーシ・ミッドプレーンのコネクターを調べて、曲がったピンがないことを確認します。 http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.common.nav.doc/chassis.html を参照してください。 d. I/O モジュールを取り外し、動作する I/O モジュールを同じ I/O ベイに取り付けます。 e. 問題が解決した場合は、取り外した I/O モジュールを再取り付けします。 f. 問題が解決しない場合は、ミッドプレーンを取り替えます。
1 つのコンピュート・ノードで接続が突然失われる	イベント・ログにイベントが記録されます。 IBM Flex System Manager (FSM) のアクティブ状況ログ (FSM がインストールされている場合)、ハードウェア管理コンソール (HMC) のイベント・ログ (HMC がインストールされている場合)、Integrated Virtualization Manager (IVM) のイベント・ログ (IVM がインストールされている場合)、または CMM のイベント・ログを参照し、この問題を解決するために必要なアクションを判別します。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

現象	アクション
初回セットアップ時に複数のコンピュート・ノードが通信できない	1. シャーシ内の 1 つ以上のデバイスのファームウェアを更新した直後の場合は (I/O モジュールやCMMなど)、前のレベルのファームウェアをインストールします。 2. 以下の項目を完了します。 a. I/O モジュールの電源がオンになっていて、該当するポートが I/O モジュールで使用可能になっていること。 b. I/O モジュールとネットワーク・デバイス (スイッチまたはルーター) の間のすべてのケーブルが正しくしっかりと接続されていること、および該当するポートの活動 LED が点灯していること。 3. コンピュート・ノードのオペレーティング・システムから、ネットワーク・デバイスがアクティブであることを確認します。 ネットワーク・デバイスの確認方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。 4. コンピュート・ノードのオペレーティング・システムから、IP アドレス、サブネット・マスク (IPv4 を使用している場合)、DNS、DHCP 設定、VLAN 設定などのネットワーク設定を確認し、それらの設定がネットワーク・デバイスの設定と一致していることを確認します。ネットワーク設定の確認方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。 5. IBM サポート Web サイトで、この問題に適用できる可能性があるファームウェア更新がないかを確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを表示して、その更新によって解決される問題を判別できます。 6. IBM サポート Web サイトで、ネットワーク接続に関連する Service Bulletin がないかを確認します。 7. トレーニングを受けたサービス技術員のみ: a. リンク/二重速度を強制的に設定します。 b. I/O モジュールのコネクターを調べて、曲がったピンがないことを確認します。 c. シャーシ・ミッドプレーンのコネクターを調べて、曲がったピンがないことを確認します。 http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.common.nav.doc/chassis.html を参照してください。 d. I/O モジュールを取り外し、動作する I/O モジュールを同じ I/O ベイに取り付けます。 e. 問題が解決した場合は、取り外した I/O モジュールを再取り付けします。 f. 問題が解決しない場合は、ミッドプレーンを取り替えます。
複数のコンピュート・ノードで接続が突然失われる	イベント・ログにイベントが記録されます。 FSM のアクティブ状況ログ (FSM がインストールされている場合)、HMC のイベント・ログ (HMC がインストールされている場合)、イベント・ログ (IVM がインストールされている場合)、または CMM のイベント・ログを参照し、この問題を解決するために必要なアクションを判別します。

PCI 拡張カード (PIOCARD) の問題分離手順

PCI アダプターおよび PCI カード・スロットを制御するハードウェアがエラーを検出しました。 システム参照コード (SRC) の直接選択アドレス (DSA) 部分は、障害が発生しているコンポーネントのロケーション・コードを識別します。

次の表は、IBM シャーシ・マネージメント・モジュール (CMM) に表示される 9 ワードの B700xxxx システム参照コード (SRC) の構文を示しています。イベントに関する追加情報は、メッセージ・フィールドの「**more...**」をクリックして表示することができます。

この例の SRC の最初のワードは、B7001111 で、メッセージ ID です。 この例では、最初のワードの後の各ワードを数字で表し、相対的なワード位置を示しています。 7 番目のワードが直接選択アドレスで、この例では **77777777** となっています。

表 18. CMM イベント・ログの 9 ワードの SRC

重大度	発行元	日付	メッセージ	イベントの追加情報
Critical (クリティカル)	Blade _05	Jan 21, 2012 07:15 AM	Node SN#xxxxxxxxxxx message: (System event) system hardware failure. more...	Firmware. Replace UNKNOWN (5008FECF **B7001111** 22222222 33333333 44444444 55555555 66666666 **77777777** 88888888 99999999)

オペレーティング・システムとインストール済みのユーティリティーによっては、エラー・メッセージはオペレーティング・システムのログにも保管されます。 詳しくは、オペレーティング・システムに付属の資料を参照してください。

515 ページの表 19 は、障害が発生している PCI 拡張カードを分離するための手順を示しています。

表 19. PCI 拡張カードの問題分離手順

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

現象	アクション
B700xxxx エラー・メッセージは、PCI 拡張カードでの問題を示します。	1. エラー・ログ情報を収集します。 2. DSA を入手します。これは、関連した B700xxxx SRC のワード 7 です。 3. DSA の 16 進値を使用して、障害が発生している CRU のロケーション・コードを判別します。 IBM Flex System p260 コンピュート・ノードの場合: • 値が 02000000 または 02100000 の場合、ロケーション・コードは P1-C18 です。 • 値が 02020000 または 02110000 の場合、ロケーション・コードは P1-C19 です。 IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの場合: • 値が 02010000、02020000、または 02100000 の場合、ロケーション・コードは P1-C34 です。 • 値が 02030000、02110000、または 02120000 の場合、ロケーション・コードは P1-C35 です。 • 値が 02210000、02220000、または 02300000 の場合、ロケーション・コードは P1-C36 です。 • 値が 02230000、02310000、または 02320000 の場合、ロケーション・コードは P1-C37 です。 4. 取り付けたばかりのデバイスを交換します。

ハイパーバイザーの問題

ハイパーバイザーは、トラブルシューティングに役立つ関連エラー・コード付きのエラー診断、切り分け手順、およびシンボリック障害アイテムを提供します。

表 20 は、切り分け手順およびシンボリック障害アイテムについて説明しています。

表 20. ハイパーバイザー切り分け手順およびシンボリック障害アイテム

• **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。** • **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。** • **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**		
切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	**現象**	**アクション**
ANYPROC	障害が発生しているコンポーネントは、システム・プロセッサーのいずれか 1 つです。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
CAPACTY	障害が発生しているコンポーネントは、管理カードです。	1. 80 ページの『管理カードの取り外し』および 82 ページの『管理カードの取り付け』で説明されている方法で、管理カードを交換します。 2. カードを交換してコンピュート・ノードをシャーシ・ユニットに取り付けた後、コンピュート・ノードのリブートや他の操作を実行する前に、必ずマネージメント・モジュールがコンピュート・ノードを検出するまで待機し、管理カードで VPD の初期化が行われるようにしてください。そうしない場合、システムが 初期プログラム・ロード (IPL) に失敗する可能性があります。
CLCKMOD	論理オシレーターで障害が発生している。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
FRPORT	この項目は、コンピュート・ノードには適用されません。障害項目リストにある次の項目に進みます。	
HEA	この項目は、コンピュート・ノードには適用されません。障害項目リストにある次の項目に進みます。	
HSL_LNK	この項目は、コンピュート・ノードには適用されません。障害項目リストにある次の項目に進みます。	
LICCODE	ファームウェアの問題が発生しました。	ファームウェア問題の切り分けを参照してください。

表 20. ハイパーバイザー切り分け手順およびシンボリック障害アイテム (続き)

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	現象	アクション
LPARCFG	システムまたは論理区画に構成上の問題があります。	1. このシステム参照コード (SRC) と一緒にログに記録されている他の障害アイテムに関連付けられたすべてのアクションを実行します。それでも問題が解決しない場合は、次にステップを続行します。 2. システムまたはパーティションのプロセッサーとメモリーの割り振りを調べます。 すべてのパーティションに対して、システム内で十分なプロセッサーおよびメモリー・リソースが機能していることを確認します。システムの電源がオンになっているときに障害が発生したか、取り外されたプロセッサーまたはメモリー・リソースが原因で、パーティションで問題が発生した可能性があります。 3. パーティションのバスと入出力アダプターの割り振りを調べます。 パーティションにロード・ソースおよびコンソール入出力リソースがあることを確認します。 4. システムまたは障害が発生しているパーティションの IPL モードを調べます。 5. さらに支援が必要な場合は、IBM サポートに連絡してください。
LSERROR	プラットフォームのライセンス内部コードがパーティション・ロード・ソースの場所を探索する際に、エラーが発生しました。	次のいずれかを選択します。 • ロード・ソースがディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブの場合は、D モード IPL を実行します。見つかったエラーを訂正してください。 • ロード・ソースがディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブではない場合は、メディアを取り替えます。メディアを取り替えても正常に機能しない場合は、他のエラーを探してください。
MA_BRDG	マルチアダプター・ブリッジのハードウェアに障害があります。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
MABIP50	この項目は、コンピュート・ノードには適用されません。障害項目リストにある次の項目に進みます。	
MABIP51	この項目は、コンピュート・ノードには適用されません。障害項目リストにある次の項目に進みます。	
MASBUS	マルチアダプター・ブリッジがコントロールする PCI アダプターへの接続で問題が検出されました。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

表 20. ハイパーバイザー切り分け手順およびシンボリック障害アイテム (続き)

• **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。** • **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。** • **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**		
切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	**現象**	**アクション**
MEMDIMM	障害が発生しているコンポーネントは、メモリー DIMM のいずれか 1 つです。	1. 障害のある DIMM を交換します。ロケーション情報および取り外し手順については、 59 ページの『DIMM の取り外し』を参照してください。 2. 62 ページの『DIMM の取り付け』に説明されているとおりに、新しいメモリー DIMM を取り付けます。 詳しくは、 64 ページの『サポートされる DIMM』を参照してください。
NEXTLVL	IBM サポートに連絡してください。	
OPT_CLN	この項目は、コンピュート・ノードには適用されません。障害項目リストにある次の項目に進みます。	
PCIE_SW	障害項目が PCIe スイッチである可能性があります。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
PCIEBUS	障害項目が PCIe バスである可能性があります。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
PIOCARD	PCI アダプターおよび PCI カード・スロットを制御するハードウェアがエラーを検出しました。 システム参照コード (SRC) の直接選択アドレス (DSA) 部分は、障害が発生しているコンポーネントのロケーション・コードを識別します。	514 ページの『PCI 拡張カード (PIOCARD) の問題分離手順』を使用して、障害が発生しているコンポーネントを判別します。
PRI_PCI	この項目は、コンピュート・ノードには適用されません。障害項目リストにある次の項目に進みます。	
PSI_LNK	障害項目がサービス・プロセッサーである可能性があります。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
SICNTRL	この項目は、コンピュート・ノードには適用されません。障害項目リストにある次の項目に進みます。	

表 20. ハイパーバイザー切り分け手順およびシンボリック障害アイテム (続き)

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	現象	アクション
SIIOADP	入出力ハブまたは入出力ブリッジに障害がある可能性があります。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
SLOTUSE	指定されたスロットのカードを使用できません。	1. SRC は B2002250 または B2002300 ですか? **いいえ:** ステップ 3 に進みます。 **はい:** 参照コードのワード 4 の最初の 2 文字は、スロットのコントロールを持っているプラットフォームのライセンス内部コードのコンポーネントを示します。次のステップを続行します。 2. 参照コードのワード 4 の最初の 2 文字の値は何ですか? • **02** または **03**: 管理コンソールがスロットのコントロールを持っています。管理コンソールがスロットを使用していないことを確認してください。**これで手順は終了です。** • **その他**: 次のレベルのサポートに連絡してください。**これで手順は終了です。** 3. SRC は B2002475 ですか? **いいえ:** 次のレベルのサポートに連絡してください。**これで手順は終了です。** **はい:** 次のステップを続行します。 4. カード・スロットに関連する部品番号およびロケーション・コードのイベント・ログを見てください。 **注:** カード・スロットが空の場合、部品番号はありません。 サーバーをチェックして、カード・スロットにカードが物理的に存在しているかどうかを確認します。カードは物理的に存在していますか? **いいえ:** Symbolic FRU LPARCFG を使用して、パーティション IPL を実行するための必要リソースではないようにカード・スロットを再構成します。**これで手順は終了です。** **はい:** 障害のあるカードを取り替えます。**これで手順は終了です。**
SVCDOCS	システム参照コード (SRC) の説明を読んで、示されているアクションをすべて実行します。記述されているアクションを既に読んで実行した場合は、障害項目リストにある次の障害項目に進みます。	

表 20. ハイパーバイザー切り分け手順およびシンボリック障害アイテム (続き)

• **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。** • **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。** • **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**		
切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	**現象**	**アクション**
SVCPROC	サービス・プロセッサーに障害があります。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
TOPORT	この項目は、コンピュート・ノードには適用されません。障害項目リストにある次の項目に進みます。	

サービス・プロセッサーの問題

サービス・プロセッサーは、トラブルシューティングに役立つ関連エラー・コード付きのエラー診断、切り分け手順、およびシンボリック障害アイテムを提供します。

注: サービス・プロセッサーをリセットすると、POWER7 がリセットおよび再ロードされ、これによってダンプが生成されます。このダンプは、マネージメント・モジュールのイベント・ログに記録されます。リセットおよび再ロードのダンプは、マネージメント・モジュール Web インターフェース経由またはマネージメント・モジュールのコマンド・ライン・インターフェース経由でサービス・プロセッサーをリセットした場合など、サービス・プロセッサーをリセットすると必ず発生します。

サービス・プロセッサーは、切り分け手順およびシンボリック障害アイテムを報告し、具体的な保守アクションを識別します。この切り分け手順とシンボリック障害アイテムは、マネージメント・モジュールのイベント・ログに記録されます。

3 つの手順付きのメッセージは、次の例のようになります。ただし、イベント・ログ内では項目は 1 行に収められます。

```
(SN#YL31W7120029) SYS F/W: CEC Hardware VPD.
See procedure FSPSP07, FSPSP28 then FSP0200
(5000004C B15A3303 22222222 33333333 44444444 55555555
66666666 77777777 88888888 99999999)
```

B15A3303 は、関連したシステム参照コード (SRC) の ID ワードです。 SRC の残りの 9 ワードは、並べて示されます。

シンボリック障害アイテムを識別するメッセージは、次の例のようになります。

```
(SN#YL31W7120029) SYS F/W: Error. Replace PIOCARD then Sys Brd
(500213A0 B7006973 22222222 33333333 44444444 55555555
66666666 77777777 88888888 99999999)
```

複数の切り分け手順またはシンボリック障害アイテムがあるメッセージは、長すぎてすべて表示されない場合があります。そのような場合、メッセージは、ワード 2 で始まる SRC ワードを削除し、削除した各ワードの代わりに X を入れます。 次の例は、ワード 2 および 3 を入れる余地のないエラー・ログ項目を示しています。

(SN#YL31W7120029) SYS F/W: CEC Hardware VPD.
See procedure **FSPSP07, FSPSP28** then **FSP0200**
(50000014 B15A3303 **XX** 44444444 55555555 66666666
77777777 888888888 99999999)

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	現象	アクション
ANYPROC	障害が発生しているコンポーネントは、システム・プロセッサーのいずれか 1 つです。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
CAPACTY	障害が発生しているコンポーネントは、管理カードです。	1. 80 ページの『管理カードの取り外し』および 82 ページの『管理カードの取り付け』で説明されている方法で、管理カードを交換します。 2. カードを交換してコンピュート・ノードをシャーシ・ユニットに取り付けた後、コンピュート・ノードのリブートや他の操作を実行する前に、必ずマネージメント・モジュールがコンピュート・ノードを検出するまで待機し、管理カードで VPD の初期化が行われるようにしてください。そうしない場合、システムが 初期プログラム・ロード (IPL) に失敗する可能性があります。
CHSPWR	コンピュート・ノードで AC 電源が失われました。	この手順は、この手順に進む原因となった電力損失状態の原因を判別する上で役立ちます。電力損失を示していたシステムまたは拡張ユニットが正常に始動する場合、または AC 電源障害の発生後も電源オン状態のままである場合、部品交換の必要はない可能性があります。この状態の原因として、以下の 3 つのシナリオが考えられます。 1. コンピュート・ノードが電源オンのまま切断された場合、この SRC が生成されます。チェック・ログ・インディケーターがオンのままである場合、管理コンソールからオフにすることができます (使用可能な場合)。 2. シャーシの電力が失われました。この状況の原因として、ブラウンアウトまたは PDU の障害が考えられます。 SRC はコンピュート・ノードによって生成されますが、問題はコンピュート・ノードのローカル側で起こっているのではありません。コンピュート・ノード・ハードウェアを交換する必要はありません。 3. コンピュート・ノードのスロットのみで電力が失われましたが、シャーシ内の他のコンピュート・ノードで電源は引き続きオンになっています。この場合は、実際のハードウェア障害が考えられます。コンピュート・ノードのその他の電源関連 (1100xxxx) SRC によって、問題がさらに診断され、切り分けられることが予期されます。
CLCKMOD	論理オシレーターで障害が発生している。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
DTRCARD	エラー・コード 1xxx 267A、267B、または 267F は、コンピュート・ノードが PCI Express (PCIe) 拡張カードの問題を報告していることを示します。	1. PCIe 拡張カードを装着し直します。 2. 問題が解決しない場合は、拡張カードを交換します。 3. 問題が解決しない場合は、 501 ページの『チェックアウト手順』に進んでください。 4. 問題が解決しない場合は、 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	現象	アクション
FSPSP01	システム機能に重要な部分が構成解除されました。各理由コードに関連する障害アイテムがあるエラーがないか、システム・エラー・ログを確認します。	部品を交換してもエラーが解決しない場合は、障害アイテム・リストで FSPSP01 切り分け手順の後にリストされている SRC コードに基づいて、次の手順のいずれかを実行します。 **SRC が B1xxB106 の場合** システムは、プレーナーが構成解除されていることを検出しました。 1. 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。 **SRC が B1xxB107 または B1xxB108 の場合** システムは、クロック・カードの問題を検出しました。 1. 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。 **SRC が B1xxB10C または B1xxB10D の場合** システムは、システムが機能するために必要なメモリー・コントローラーが構成されていないことを検出したか、あるいはメモリーが不十分であるか、またはメモリーが正しく差し込まれていないことを検出しました。 1. システム筐体内のすべてのメモリー DIMM を装着し直しますが、現時点でメモリーは交換しないでください。 62 ページの『DIMM の取り付け』に説明されているとおりに、メモリー DIMM を装着し直します。 2. 問題が解決しない場合は、Symbolic FRU MEMDIMM 用のアクションに従って、各メモリー DIMM を交換します。 3. 各 DIMM を交換した後、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに取り付け、コンピュート・ノードを再始動して問題が解決しているかを確認します。 4. すべての DIMM を交換した後でも問題が解決しない場合は、 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。 **SRC が B1xxB110 または B1xxB111 の場合** システムは、すべての入出力ブリッジが構成されていないことを検出しました。 1. 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
FSPSP02	この手順は、ブート・プロセスの早い時期に終了するブート障害、あるいは管理カードまたは管理カード上の VPD データが作動しないか存在しない場合のブート障害に対する手順です。	1. 80 ページの『管理カードの取り外し』および 82 ページの『管理カードの取り付け』で説明されている方法で、管理カードを交換します。 2. カードを交換してコンピュート・ノードをシャーシ・ユニットに取り付けた後、コンピュート・ノードのリブートや他の操作を実行する前に、必ずマネージメント・モジュールがコンピュート・ノードを検出するまで待機し、管理カードで VPD の初期化が行われるようにしてください。そうしない場合、システムが 初期プログラム・ロード (IPL) に失敗する可能性があります。 3. 問題が解決しない場合は、 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	現象	アクション
FSPSP03	システム・オペレーター・エラーまたはシステム・ユーザー・エラーが発生しました。	実行しようとしている機能の資料を参照してください。
FSPSP04	サービス・プロセッサー・ファームウェアで問題が検出されました。	1. ファームウェアを更新します。 24 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 2. 問題が解決しない場合は、 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
FSPSP05	サービス・プロセッサーが、プラットフォーム・ファームウェアで問題を検出しました。	1. ファームウェアを更新します。 24 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 2. 問題が解決しない場合は、 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
FSPSP06	サービス・プロセッサーが、再現性が低いと考えられる問題を報告してきました。	次のレベルのサポートに連絡してください。

FSPSP07	時刻がデフォルト値にリセットされました。	1. **chdate** コマンドを使用して、Virtual I/O Server の日時を設定します。構文は、以下のいずれかを使用します。
		`chdate [-year YYyy]`
		`[-month mm]`
		`[-day dd]`
		`[-hour HH]`
		`[-minute MM]`
		`[-timezone TZ]`
		
		`chdate mmddHHMM[YYyy|yy]`
		`[-timezone TZ]`
		2. 問題が解決しない場合は、 70 ページの『バッテリーの取り外し』および 71 ページの『バッテリーの取り付け』に説明されているとおりに、バッテリーを交換します。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	現象	アクション
FSPSP09	メモリー DIMM で問題が検出されましたが、特定のメモリー DIMM に分離できません。	障害アイテム・リストでこの切り分け手順の後に示されている障害アイテムを交換します。リストされている障害アイテムが DIMM の場合は、以下の手順を実行してください。 1. ペアになっている両方のメモリー DIMM を交換します。 **DIMM 1 (P1-C1)** DIMM 1 と 2 を交換します。 **DIMM 2 (P1-C2)** DIMM 1 と 2 を交換します。 **DIMM 3 (P1-C3)** DIMM 3 と 4 を交換します。 **DIMM 4 (P1-C4)** DIMM 3 と 4 を交換します。 **DIMM 5 (P1-C5)** DIMM 5 と 6 を交換します。 **DIMM 6 (P1-C6)** DIMM 5 と 6 を交換します。 **DIMM 7 (P1-C7)** DIMM 7 と 8 を交換します。 **DIMM 8 (P1-C8)** DIMM 7 と 8 を交換します。 **DIMM 9 (P1-C9)** DIMM 9 と 10 を交換します。 **DIMM 10 (P1-C10)** DIMM 9 と 10 を交換します。 **DIMM 11 (P1-C11)** DIMM 11 と 12 を交換します。 **DIMM 12 (P1-C12)** DIMM 11 と 12 を交換します。 **DIMM 13 (P1-C13)** DIMM 13 と 14 を交換します。 **DIMM 14 (P1-C14)** DIMM 13 と 14 を交換します。 **DIMM 15 (P1-C15)** DIMM 15 と 16 を交換します。 **DIMM 16 (P1-C16)** DIMM 15 と 16 を交換します。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	現象	アクション
		DIMM 17 (P1-C17) DIMM 17 と 18 を交換します。 **DIMM 18 (P1-C18)** DIMM 17 と 18 を交換します。 **DIMM 19 (P1-C19)** DIMM 19 と 20 を交換します。 **DIMM 20 (P1-C20)** DIMM 19 と 20 を交換します。 **DIMM 21 (P1-C21)** DIMM 21 と 22 を交換します。 **DIMM 22 (P1-C22)** DIMM 21 と 22 を交換します。 **DIMM 23 (P1-C23)** DIMM 23 と 24 を交換します。 **DIMM 24 (P1-C24)** DIMM 23 と 24 を交換します。 **DIMM 25 (P1-C25)** DIMM 25 と 26 を交換します。 **DIMM 26 (P1-C26)** DIMM 25 と 26 を交換します。 **DIMM 27 (P1-C27)** DIMM 27 と 28 を交換します。 **DIMM 28 (P1-C28)** DIMM 27 と 28 を交換します。 **DIMM 29 (P1-C29)** DIMM 29 と 30 を交換します。 **DIMM 30 (P1-C30)** DIMM 29 と 30 を交換します。 **DIMM 31 (P1-C31)** DIMM 31 と 32 を交換します。 **DIMM 32 (P1-C32)** DIMM 31 と 32 を交換します。 2. ロケーション情報および取り外し手順については、 59 ページの『DIMM の取り外し』を参照してください。 3. 62 ページの『DIMM の取り付け』に説明されているとおりに、新しいメモリー DIMM を取り付けます。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	現象	アクション
FSPSP10	障害アイテム・リストでこの手順の後に続く障害アイテムは、このシステムの構成では無効であるか欠落しています。	1. 障害アイテム・リストで、この FSPSP10 切り分け手順の後に障害アイテムが 1 つしかない場合: a. その障害アイテムが正しく取り付け、接続、および装着されていることを確認します。 b. その障害アイテムが正しく装着されていても問題が解決しない場合は、その障害アイテムを交換します。 c. その障害アイテムが欠落している場合は、そのアイテムを追加します。 2. 複数の障害アイテムがリストされている場合は、それらは同じシリアル番号を持っています。その障害アイテムの 1 つを残して、その他はすべて取り外してください。
FSPSP11	サービス・プロセッサーが、システム装置内にエラーを検出しました。	1. ファームウェアを更新します。 24 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 2. 問題が解決しない場合は、 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
FSPSP12	障害アイテム・リスト内にあった DIMM に対する処置では、メモリー・エラーは修正されませんでした。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
FSPSP14	サービス・プロセッサーは、コンピュート・ノード・ファームウェアとの通信を確立できません。コンピュート・ノード・ファームウェアは、通信の回復を試みる一方で、システムおよびパーティションを稼働し続けます。 コンピュート・ノード・ファームウェアのリカバリー・アクションは、約 30 分から 40 分ほど続きます。	1. マネージメント・モジュール内のイベント・ログを表示して、SRC と、イベントがログに記録された時刻を確認します。 500 ページの『エラー・ログ』を参照してください。 進行中コードが表示されている場合、コンピュート・ノード・ファームウェアは、サービス・プロセッサーをリセットし、問題を解決できています。 2. ログが作成された時刻、またはこの SRC に最初に気付いた時刻を記録します。 3. 進行中コードが表示されていない場合は、マネージメント・モジュールのイベント・ログを調べて、A7006995 SRC が表示されているかどうかを確認します。 A7006995 SRC が表示されていた場合、コンピュート・ノードは、パーティションの電源をオフにし、コンピュート・ノード・ダンプを試みています。パーティションが要求に応じて電源遮断されない場合は、A7006995 SRC の説明に記載のアクションに従います。 4. A7006995 SRC が表示されていない場合、A1xx SRC が 40 分を超えて留まっていますか? 留まっている場合、コンピュート・ノードのファームウェアは、パーティションの電源遮断を開始できませんでした。次のレベルのサポートに連絡して、残りのパーティションを電源遮断し、強制的にコンピュート・ノードのダンプを行うための支援を受けてください。サポート用のダンプを収集し、コンピュート・ノードの電源をオフにしてから、再度オンにします。 5. A1xx SRC が 40 分以上留まらない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。
FSPSP16	エラー・ログおよびダンプのデータを保存し、次のレベルのサポートに連絡して、支援を要請してください。	次のレベルのサポートに連絡してください。
FSPSP17	訂正不能システム・エラーが発生しました。	他の保守可能イベントを探します。 指示された SRC を使用して、問題を判別および修正します。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	現象	アクション
FSPSP18	プラットフォーム・ライセンス内部コードで問題が検出されました。	1. ファームウェアを更新します。 24 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 2. 問題が解決しない場合は、 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
FSPSP20	ハードウェア手順により、障害が発生しているアイテムが検出されました。	次のレベルのサポートに連絡してください。
FSPSP22	システムは、JTAG ラインが機能していないため、プロセッサー・チップがシステム構成から欠落していることを検出しました。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
FSPSP23	システムは、サービス・プロセッサー・ダンプを実行する必要があります。	1. 管理者 (admin) ユーザー (または技術員ログイン (celogin) ユーザー ID) として拡張システム管理インターフェース (ASMI) にログインします。 2. 「**システム・サービス補助**」 > 「**サービス・プロセッサー・ダンプ**」をクリックします。 3. 「**ダンプの開始**」をクリックします。 4. 認定サービス・プロバイダーに連絡し、ダンプの報告方法に関する指示を受けてください。
FSPSP24	システムは低下モードで稼働中です。 この問題は、ハードウェアを交換せずに、アレイ・ビット・ステアリングにより修正できる場合があります。	1. 15 ページの『コンピュート・ノードの電源をオフにする』の説明のとおり、コンピュート・ノードの電源をオフにします。 2. コンピュート・ノードを IBM Flex System インフォメーション・センターから取り外してから、コンピュート・ノードを IBM Flex System インフォメーション・センターに再挿入します。 3. 14 ページの『コンピュート・ノードの電源オン』の説明のとおり、コンピュート・ノードの電源をオンにします。 4. 問題が解決しない場合は、障害アイテム・リストでこの手順の後に示されている障害アイテムを交換します。
FSPSP27	アテンション・ラインで問題が検出されました。	障害アイテム・リストでこの切り分け手順の前に示されている障害アイテムを交換します。障害アイテムで問題が修正されない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。
FSPSP28	障害アイテムのリソース ID が重要プロダクト・データ (VPD) テーブルで見つかりませんでした。	1. 障害アイテム・リストで「FSPxxxx」と示されている別のアイテムを見つけます。ここで、「xxxx」は、リソース ID を示す 4 桁の 16 進数です。見つかったリソース ID と、システムの型式を記録します。 2. リソース ID が表している障害アイテムを確認するには、次のレベルのサポートに連絡してください。 3. リソース ID が表している障害アイテムを交換します。
FSPSP29	システムは、すべての入出力ブリッジがシステム構成から欠落していることを検出しました。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	現象	アクション
FSPSP30	管理カードにアクセス中に問題が検出されたか、あるいは管理カード上で検出された重要プロダクト・データ (VPD) が破損しています。 このエラーは、VPD 収集が完了する前に発生したため、ロケーション・コードは作成されていません。	1. 80 ページの『管理カードの取り外し』および 82 ページの『管理カードの取り付け』で説明されている方法で、管理カードを交換します。 2. カードを交換してコンピュート・ノードをシャーシ・ユニットに取り付けた後、コンピュート・ノードのリブートや他の操作を実行する前に、必ずマネージメント・モジュールがコンピュート・ノードを検出するまで待機し、管理カードで VPD の初期化が行われるようにしてください。そうしない場合、システムが 初期プログラム・ロード (IPL) に失敗する可能性があります。 3. 問題が解決しない場合は、 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
FSPSP31	サービス・プロセッサーが、システム VPD の 1 つ以上の必須フィールドが初期化されていないことを検出しました。	この手順は、認定サービス・プロバイダーが実行する必要があり、**celogin** ユーザー ID が必要です。自身が認定サービス・プロバイダーでない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。 1. 拡張システム管理インターフェース (ASMI) にアクセスします。「**システム構成**」 > 「**プログラムの重要プロダクト・データ**」を展開します。必要に応じてシステム VPD 値を設定します。このアクションにより、サービス・プロセッサーが自動的にリセットされます。 2. 14 ページの『コンピュート・ノードの電源オン』の説明のとおり、コンピュート・ノードの電源をオンにします。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	現象	アクション
FSPSP32	格納装置に、以下のいずれかの問題があります。 • 格納装置 VPD が見つからない。 • 格納装置シリアル番号がプログラムされていない。 • 格納装置フィーチャー・コードがプログラムされていない。	理由コードを記録します。理由コードは、SRC の最初のワードの最後の 4 桁です。 理由コードの値に基づいて、次の手順のいずれかを実行します。 • **理由コード A46F** 1. ファームウェアを更新します。 24 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。 2. 問題が解決しない場合は、 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。 • **理由コード A460** この手順は、認定サービス・プロバイダーが実行する必要があり、**celogin** ユーザー ID が必要です。自身が認定サービス・プロバイダーでない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。 1. 拡張システム管理インターフェース (ASMI) にアクセスします。「**システム構成**」 > 「**プログラムの重要プロダクト・データ**」を展開します。格納装置のシリアル番号を設定します。このアクションにより、サービス・プロセッサーが自動的にリセットされます。 2. 14 ページの『コンピュート・ノードの電源オン』の説明のとおり、コンピュート・ノードの電源をオンにします。 • **理由コード A45F** この手順は、認定サービス・プロバイダーが実行する必要があり、**celogin** ユーザー ID が必要です。自身が認定サービス・プロバイダーでない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。 1. 拡張システム管理インターフェース (ASMI) にアクセスします。「**システム構成**」 > 「**プログラムの重要プロダクト・データ**」を展開します。格納装置のフィーチャー・コードを設定します。このアクションにより、サービス・プロセッサーが自動的にリセットされます。 2. 14 ページの『コンピュート・ノードの電源オン』の説明のとおり、コンピュート・ノードの電源をオンにします。 理由コードがリストされていない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	現象	アクション
FSPSP34	メモリー・カードが無効な構成に差し込まれており、システムで使用できません。	IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノード上の各デュアル・プロセッサー用に DIMM を取り付けます。 DIMM プロセッサー 1 および 2 に最初のペアを取り付けます。 続いて表示されるエラー・コードがないか確認します。 最初に見つけたコードの手順に従います。 **SRC B1xx C02A** メモリー・カードがシステムから欠落しています。 障害項目リストにある追加の部品として、欠落しているカードが属しているグループのすべてのメモリー・カードが含まれます。 エラーを訂正するために、システムを目で見て確認して、欠落しているカード特定し、必要なカードを追加してください。 **SRC B1xx C029** 同じグループの他のメモリー・カードとタイプが異なるメモリー・カードがあります。 障害項目リストにある追加の部品として、エラーがあるグループのすべてのメモリー・カードが含まれています。 エラーを訂正するために、正しくないタイプのメモリー・カードを、正しいタイプのものと交換します。 **SRC B1xx C02B** あるグループのメモリー・カードが欠落しており、ボード上の他のメモリー・カードを構成するためには、それらが必要です。 障害項目リストにある追加の部品として、そのグループの欠落しているメモリー・カードすべてが含まれています。 エラーを訂正するために、メモリー・カードを正しい位置に追加または移動します。 **SRC B1xx C036** このシステムでサポートされていないメモリー・カードがあります。 障害項目リストにある追加の部品として、サポートされていないカードが属しているグループのすべてのメモリー・カードが含まれています。 エラーを訂正するために、サポートされていないカードをシステムから取り外すか、または正しいタイプのものと交換してください。
FSPSP35	システムは、メモリー・コントローラーの問題を検出しました。	以下の手順を実行して、冗長使用率を有効にしてください。 1. 15 ページの『コンピュート・ノードの電源をオフにする』の説明のとおり、コンピュート・ノードの電源をオフにします。 2. コンピュート・ノードを IBM Flex System インフォメーション・センターから取り外してから、コンピュート・ノードを再挿入します。 3. 14 ページの『コンピュート・ノードの電源オン』の説明のとおり、コンピュート・ノードの電源をオンにします。
FSPSP38	システムが JTAG パス内でエラーを検出しました。	障害アイテム・リストでこの切り分け手順の前に示されている障害アイテムを交換します。障害アイテムを交換しても問題が修正されない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。
FSPSP42	2 つのシステム・プロセッサー間で正しくない通信が検出されました。	次のレベルのサポートに連絡してください。
FSPSP45	システムが FSI パス内でエラーを検出しました。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
FSPSP46	サービス・プロセッサー上で、フラッシュまたは RAM の破壊領域がいくつか検出されました。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
FSPSP47	システムが PSI リンク内でエラーを検出しました。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	現象	アクション
FSPSP48	診断機能が、外部プロセッサー・インターフェースの問題を検出しました。	障害アイテム・リストでこの切り分け手順の前に示されている障害アイテムで問題が解決されない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。
FSPSP49	診断機能が、内部プロセッサー・インターフェースの問題を検出しました。	障害アイテム・リストでこの切り分け手順の前に示されている障害アイテムで問題が解決されない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。
FSPSP50	診断機能が、プロセッサー・チップと GX チップ間で接続上の問題を検出しました。	障害アイテム・リストでこの切り分け手順の前に示されている障害アイテムで問題が解決されない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	現象	アクション
FSPSP51	ランタイム診断で、しきい値を超えたメモリー・バス訂正可能エラーが検出されました。現時点では、このメモリー・バス訂正可能エラーがシステム操作を妨げることはありません。ただし、システムは低下モードで稼働しています。	障害アイテム・リストでこの切り分け手順の後に示されている障害アイテムを交換します。リストされている障害アイテムが DIMM の場合は、以下の手順を実行してください。 1. ペアになっている両方のメモリー DIMM を交換します。 **DIMM 1 (P1-C1)** DIMM 1 と 2 を交換します。 **DIMM 2 (P1-C2)** DIMM 1 と 2 を交換します。 **DIMM 3 (P1-C3)** DIMM 3 と 4 を交換します。 **DIMM 4 (P1-C4)** DIMM 3 と 4 を交換します。 **DIMM 5 (P1-C5)** DIMM 5 と 6 を交換します。 **DIMM 6 (P1-C6)** DIMM 5 と 6 を交換します。 **DIMM 7 (P1-C7)** DIMM 7 と 8 を交換します。 **DIMM 8 (P1-C8)** DIMM 7 と 8 を交換します。 **DIMM 9 (P1-C9)** DIMM 9 と 10 を交換します。 **DIMM 10 (P1-C10)** DIMM 9 と 10 を交換します。 **DIMM 11 (P1-C11)** DIMM 11 と 12 を交換します。 **DIMM 12 (P1-C12)** DIMM 11 と 12 を交換します。 **DIMM 13 (P1-C13)** DIMM 13 と 14 を交換します。 **DIMM 14 (P1-C14)** DIMM 13 と 14 を交換します。 **DIMM 15 (P1-C15)** DIMM 15 と 16 を交換します。 **DIMM 16 (P1-C16)** DIMM 15 と 16 を交換します。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	現象	アクション
		DIMM 17 (P1-C17) DIMM 17 と 18 を交換します。 **DIMM 18 (P1-C18)** DIMM 17 と 18 を交換します。 **DIMM 19 (P1-C19)** DIMM 19 と 20 を交換します。 **DIMM 20 (P1-C20)** DIMM 19 と 20 を交換します。 **DIMM 21 (P1-C21)** DIMM 21 と 22 を交換します。 **DIMM 22 (P1-C22)** DIMM 21 と 22 を交換します。 **DIMM 23 (P1-C23)** DIMM 23 と 24 を交換します。 **DIMM 24 (P1-C24)** DIMM 23 と 24 を交換します。 **DIMM 25 (P1-C25)** DIMM 25 と 26 を交換します。 **DIMM 26 (P1-C26)** DIMM 25 と 26 を交換します。 **DIMM 27 (P1-C27)** DIMM 27 と 28 を交換します。 **DIMM 28 (P1-C28)** DIMM 27 と 28 を交換します。 **DIMM 29 (P1-C29)** DIMM 29 と 30 を交換します。 **DIMM 30 (P1-C30)** DIMM 29 と 30 を交換します。 **DIMM 31 (P1-C31)** DIMM 31 と 32 を交換します。 **DIMM 32 (P1-C32)** DIMM 31 と 32 を交換します。 2. ロケーション情報および取り外し手順については、 59 ページの『DIMM の取り外し』を参照してください。 3. 62 ページの『DIMM の取り付け』に説明されているとおりに、新しいメモリー DIMM を取り付けます。
FSPSP53	コンピュート・ノード上のサービス・プロセッサーとネットワーク・スイッチの間でネットワーク・エラーが発生しました。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	現象	アクション
FSPSP54	プロセッサー温度超過が検出されました。部品を交換する前に、環境上の問題がないか確認してください。	1. 室温を測定して、通常の稼働範囲の上限内であることを確認します。 上限は 35℃ 未満です。室温がこの上限を超えた場合は、上限より低くなるように室温を下げる必要があります。温度が範囲内の場合は、操作を再試行してください。 2. 温度が許容範囲内である場合は、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの前面および背面をチェックし、前後どちらにも空気の流れを妨げるものがないことを確認します。空気の流れを妨げるものがある場合は、取り除いてください。 必要に応じて、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ・ドロワーの空気の出入口をクリーニングしてください。 妨げとなるものをすべて取り除いたら、操作を再試行してください。 3. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシのファンが正しく動作していることを確認します。 正しく動作していない場合は、回転していないファン、または低速で回転しているファンを交換してください。ファンを交換した場合は、格納装置が冷めるまで待ってから、操作を再試行してください。 4. 冷却コンポーネントが正常に機能している場合は、 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
IOBRDG	障害が発生しているコンポーネントは、IPL パス上の RIO/HSL I/O ブリッジです。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
IOHUB	障害が発生しているコンポーネントは、IPL パス上の RIO/HSL ネットワーク・インターフェース・カード (NIC) です。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
MEMBRD	障害が発生しているコンポーネントは、メモリー DIMM がプラグ接続されているボードです。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
MEMCTLR	障害が発生しているコンポーネントは、メモリー・コントローラーのいずれか 1 つです。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
MEMDIMM	障害が発生しているコンポーネントは、メモリー DIMM のいずれか 1 つです。	1. 障害のある DIMM を交換します。ロケーション情報および取り外し手順については、 59 ページの『DIMM の取り外し』を参照してください。 2. 62 ページの『DIMM の取り付け』に説明されているとおりに、新しいメモリー DIMM を取り付けます。 詳しくは、 64 ページの『サポートされる DIMM』を参照してください。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

切り分け手順またはシンボリック障害アイテム	現象	アクション
NO12VDC	エラー・コード 1xxx2647 は、コンピュート・ノードが、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ・ミッドプレーン上に 12V dc が存在しないことを報告していることを示しています。	1. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの電源問題を示す項目がないか、マネージメント・モジュール・イベント・ログを調べます。 2. 問題があれば、解決します。 3. 15 ページの『コンピュート・ノードの電源をオフにする』の説明のとおり、コンピュート・ノードの電源をオフにします。 4. コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外してから、コンピュート・ノードを再挿入します。 5. コンピュート・ノードの電源をオンにします。 6. コンピュート・ノードの動作をモニターして、問題が解決されたか確認します。 7. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシが正常に機能しているが、1xxx2647 問題が続く場合は、 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』の説明に従って、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
NODEPL	障害が発生しているコンポーネントは、ノード・ミッドプレーンです。	92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。
TOD_BAT	時刻バッテリー用のバッテリーの残量が少ないか、または障害が発生しています。	70 ページの『バッテリーの取り外し』および 71 ページの『バッテリーの取り付け』で説明されている方法で、バッテリーを交換します。
TPMD_OV	温度電源管理ファームウェアが、パワー・サプライの冗長性なしでシステムが稼働していることを検出しました。コンピュート・ノードの構成に基づく電力の上限に達しており、電力消費量を削減するためのアクションが実行されました。	1. IBM Flex System Manager のアクティブ状況ログ、ハードウェア管理コンソール (HMC) のイベント・ログ、または Integrated Virtualization Manager (IVM) のアプリケーション・ログを参照し、電源に関連するイベントを確認し、それらの問題を解決してください。アクティブ状況ログあるいはイベント・ログには、シャーシ・マネージャーからアクセスすることができます。 2. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに対して設定されている電源管理ポリシーを確認してください。電源管理ポリシーは、コンピュート・ノードで使用可能な電力量に影響する可能性があります。これによって、コンピュート・ノードの電力消費量が削減される可能性があります。 3. 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

ソフトウェアの問題

この情報を使用して、ソフトウェアの問題現象を認識し、修正アクションを取ります。

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

現象	アクション
ソフトウェアが原因と思われる問題がある。	1. 問題の原因がソフトウェアにあるかを判別するには、以下の項目を完了します。 • コンピュート・ノードに、ソフトウェアを使用するために必要な最小メモリーが搭載されている。 メモリー要件については、ソフトウェアに付属の情報を参照してください。 **注:** アダプターまたはメモリーを取り付けたばかりの場合は、コンピュート・ノードでメモリー・アドレスの競合が生じている可能性があります。 • このソフトウェアはコンピュート・ノードで作動するように設計されている。 • その他のソフトウェアはコンピュート・ノード上で作動する。 • ソフトウェアは他のコンピュート・ノードで作動している。 2. ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージが表示される場合は、ソフトウェアに付属の資料でメッセージの説明と問題に対する推奨対策を参照してください。 3. ソフトウェアの購入先にお問い合わせください。 4. エラーのソースに関する情報をオペレーティング・システムのログで確認するには、最初に ServerProven 計画を確認した後、以下の項目を完了します。 a. AIX の場合: エラー・ログの要約を表示するには、**errpt** コマンドを使用します。ログ内のエラーに関するデータのフォーマット済みレポートを表示するには、**errpt-a** コマンドを使用します。 b. Linux の場合: `/var/log/messages` テキスト・ファイルを取得し、必要に応じてフィルタリングあるいは表示します。標準化された分析ツールはありませんが、スクリプトを書くことで、必要なものを表示するようにビューを単純化することができます。 c. IBM i の場合: 既存の問題ログ項目は、**WRKPRB** コマンドを使用して入手可能です。新規のログ項目を作成するには、**ANZPRB** コマンドを使用します。

Light Path 診断

Light Path 診断は、コントロール・パネル上とコンピュート・ノードのシステム・ボード上にある LED による診断方式 (体系) です。エラーが発生すると、コンピュート・ノード経由で LED が点灯されます。コントロール・パネルにエラーが示されている場合は、LED の説明を使用して問題を診断し、修正アクションを実行してください。

LED は、次のコンポーネントに有効です。

- バッテリー
- SAS ディスク・ドライブ
- SSD
- 管理カード
- メモリー・モジュール (DIMM)
- ネットワーク・アダプター
- システム・ボードとシャーシ・アセンブリー

Light Path 診断 LED の表示

必要な安全情報を読み終えたら、コントロール・パネルを見て、LED が次善状態を示しているのか、エラーを示しているのかを判別します。

このタスクについて

IBM Flex System Manager 管理ソフトウェアの Web インターフェース内のシャーシ・マネージャーから、システム LED をリモートで表示します。ハードウェア管理コンソール (HMC) を使用してリモートからシステム LED を確認するには、LED 状況を参照してください。Integrated Virtualization Manager (IVM) を使用して LED 状況を確認するには、IVM lsled コマンドを参照してください。メイン LED ページは、コンピュート・ノード上の外部 LED を表示します。コンピュート・ノードの内部 LED は、LED ページからリンクを介して表示することができます。この機能により、コンピュート・ノードを電源オフにしてシャーシから取り外し、Light Path 表示をアクティブにするにすることなく、コンピュート・ノードの内部 LED を確認することができます。

Light Path 診断 LED を見るためのコンピュート・ノード内部での作業の前に、『安全上の注意』トピックおよび 38 ページの『静電気の影響を受けやすい部品の取り扱い』のガイドラインを参照してください。

エラーが発生した場合は、以下の順序で Light Path 診断 LED を確認します。

手順

1. コンピュート・ノード前面のコントロール・パネルを見ます。 13 ページの『コンピュート・ノードのコントロール・パネルのボタンと LED』を参照してください。
   - チェック・ログ LED が点灯している場合、コンピュート・ノードが次善最適状態になった原因を表す情報が、マネージメント・モジュール・イベント・ログに保管されていることを示します。
   - 格納装置障害 LED が点灯している場合、エラーが発生しており、次のステップに進めることを示します。

2. エラーが発生した場合は、Light Path 診断パネルおよび LED を確認します。
   a. コンピュート・ノードのすべてのパーティション上のオペレーティング・システムをシャットダウンし、コンピュート・ノードの電源をオフにします。次に、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外します。 39 ページの『IBM Flex System エンタープライズ・シャーシからの コンピュート・ノード の取り外し』を参照してください。
   b. コンピュート・ノードを帯電防止された平らな面に置きます。
   c. コンピュート・ノードからカバーを取り外します。
   d. フロント・パネルの電源制御ボタンを押したまま保持し、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外す前に点灯していた LED を再点灯させます。 LED は、電源制御ボタンを押している間は点灯し続けます (最大 30 秒)。

次の図は、 IBM Flex System p260 コンピュート・ノード 上の LED を示しています。 次の図および表は、システム・ボード LED を示しています。

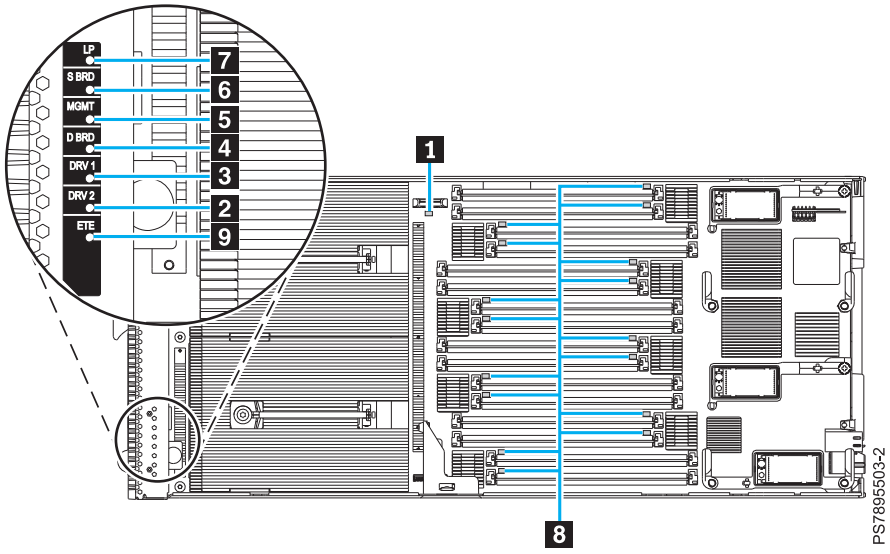


図 47. IBM Flex System p260 コンピュート・ノード のシステム・ボード上にある LED の位置

次の図は、IBM Flex System p460 コンピュート・ノードのシステム・ボードの LED を示しています。

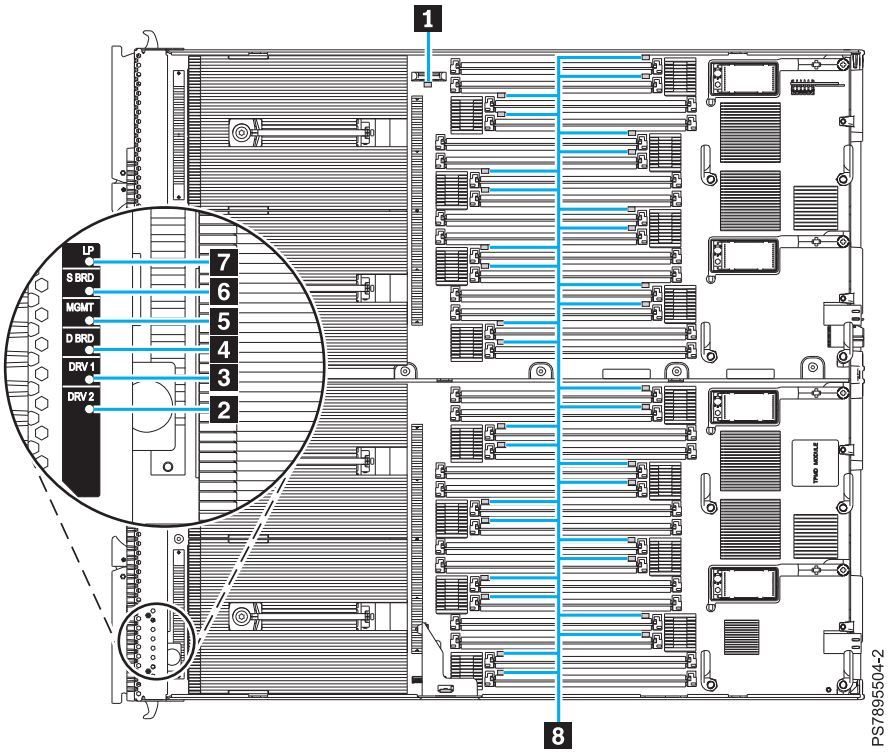


図 48. IBM Flex System p460 コンピュート・ノード のシステム・ボード上にある LED の位置

次の表は、Light Path 診断を識別しています。

表 21. IBM Flex System p260 コンピュート・ノードおよび IBM Flex System p460 コンピュート・ノード の LED

付記	装置 LED
1	3 V リチウム・バッテリー LED
2	DRV2 LED (HDD または SSD)
3	DRV1 LED (HDD または SSD)
4	ドライブ・ボード LED (カバーに組み込まれているソリッド・ステート・ドライブ変換コネクター)
5	管理カード LED
6	システム・ボード LED
7	Light Path 電源 LED
8	DIMM LED
9	ETE コネクター LED

Light Path 診断 LED

LED の説明を使用して問題を診断し、修正アクションを実行します。

表 22 は、システム・ボード上の LED と、検出された問題に対する推奨アクションについて説明しています。

表 22. IBM Flex System p260 コンピュート・ノード

• **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。** • **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。** • **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**		
点灯している Light Path 診断 LED	**説明**	**アクション**
なし	エラーが発生し、切り分けができないか、サービス・プロセッサーに障害が発生しています。	Light Path 診断 LED では表示できないエラーが発生しました。 エラーに関する情報をイベント・ログで調べます。
バッテリー・エラー P1-E1	バッテリー・エラーが発生しました。	70 ページの『バッテリーの取り外し』および 71 ページの『バッテリーの取り付け』で説明されている方法で、バッテリーを交換します。
DIMM x エラー P1-C1 DIMM 1 P1-C2 DIMM 2 P1-C3 DIMM 3 P1-C4 DIMM 4 P1-C5 DIMM 5 P1-C6 DIMM 6 P1-C7 DIMM 7 P1-C8 DIMM 8 P1-C9 DIMM 9 P1-C10 DIMM 10 P1-C11 DIMM 11 P1-C12 DIMM 12 P1-C13 DIMM 13 P1-C14 DIMM 14 P1-C15 DIMM 15 P1-C16 DIMM 16	メモリー・エラーが発生しました。	1. ServerProven Web サイト で説明されているとおりに、点灯した LED が示す DIMM が、サポートされているメモリー・モジュールであることを確認します。 2. 59 ページの『DIMM の取り外し』 および 62 ページの『DIMM の取り付け』 で説明されているとおりに、点灯した LED が示す DIMM を交換します。 **注:** 複数の DIMM LED が点灯している場合、それは必ずしも複数の DIMM 障害を示すものではありません。 複数の DIMM LED が点灯した場合は、一度に 1 個の DIMM を、エラーが解決するまで交換します。
ドライブ 1 のエラー P1-D1 P1-C17-D1	ドライブ 1 でエラーが発生しました。	ディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブを交換します。 49 ページの『SAS ハード・ディスクの取り外し』または 56 ページの『SATA ソリッド・ステート・ドライブの取り外し』を参照してください。

表 22. IBM Flex System p260 コンピュート・ノード (続き)

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

点灯している Light Path 診断 LED	説明	アクション
ドライブ 2 のエラー P1-D2 P1-C17-D2	ドライブ 2 でエラーが発生しました。	ソリッド・ステート・ドライブを交換します。56 ページの『SATA ソリッド・ステート・ドライブの取り外し』を参照してください。
ネットワーク・アダプター・エラー P1-C18 P1-C19	ネットワーク・アダプター・エラーが発生しました。	1. ネットワーク・アダプターがサポートされていることを確認します。 2. 66 ページの『ネットワーク・アダプターの取り外し』および 68 ページの『ネットワーク・アダプターの取り付け』の説明に従って、ネットワーク・アダプターを交換します。 問題が解決しない場合は、ServerProven Web サイトを参照してください。
管理カード・エラー P1-C21	システム・ボード・エラーが発生しました。	80 ページの『管理カードの取り外し』および 82 ページの『管理カードの取り付け』で説明されている方法で、管理カード・アセンブリーを交換します。
システム・ボード・エラー P1	システム・ボードとシャーシ・アセンブリーのエラーが発生しました。マイクロプロセッサー障害が、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーのエラーとして示されています。	1. コンピュート・ノードのカバーを再取り付けし、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに再挿入して、コンピュート・ノードを再始動します。 2. エラーに関する情報をイベント・ログで調べます。 3. 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

表 23 は、システム・ボード上の LED と、検出された問題に対する推奨アクションについて説明しています。

表 23. IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの Light Path 診断 LED 情報

• **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。** • **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。** • **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**		
点灯している Light Path 診断 LED	**説明**	**アクション**
なし	エラーが発生し、切り分けができないか、サービス・プロセッサーに障害が発生しています。	Light Path 診断 LED では表示できないエラーが発生しました。 エラーに関する情報をイベント・ログで調べます。
バッテリー・エラー P1-E1	バッテリー・エラーが発生しました。	70 ページの『バッテリーの取り外し』および 71 ページの『バッテリーの取り付け』で説明されている方法で、バッテリーを交換します。

表 23. IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの Light Path 診断 LED 情報 (続き)

- **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。**
- **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。**
- **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**

点灯している Light Path 診断 LED	説明	アクション
DIMM x エラー P1-C1 DIMM 1 P1-C2 DIMM 2 P1-C3 DIMM 3 P1-C4 DIMM 4 P1-C5 DIMM 5 P1-C6 DIMM 6 P1-C7 DIMM 7 P1-C8 DIMM 8 P1-C9 DIMM 9 P1-C10 DIMM 10 P1-C11 DIMM 11 P1-C12 DIMM 12 P1-C13 DIMM 13 P1-C14 DIMM 14 P1-C15 DIMM 15 P1-C16 DIMM 16 P1-C17 DIMM 17 P1-C18 DIMM 18 P1-C19 DIMM 19 P1-C20 DIMM 20 P1-C21 DIMM 21 P1-C22 DIMM 22 P1-C23 DIMM 23 P1-C24 DIMM 24 P1-C25 DIMM 25 P1-C26 DIMM 26 P1-C27 DIMM 27 P1-C28 DIMM 28 P1-C29 DIMM 29 P1-C30 DIMM 30 P1-C31 DIMM 31 P1-C32 DIMM 32	メモリー・エラーが発生しました。	1. ServerProven Web サイト で説明されているとおりに、点灯した LED が示す DIMM が、サポートされているメモリー・モジュールであることを確認します。 2. 59 ページの『DIMM の取り外し』 および 62 ページの『DIMM の取り付け』 で説明されているとおりに、点灯した LED が示す DIMM を交換します。 **注:** 複数の DIMM LED が点灯している場合、それは必ずしも複数の DIMM 障害を示すものではありません。 複数の DIMM LED が点灯した場合は、一度に 1 個の DIMM を、エラーが解決するまで交換します。
ドライブ 1 のエラー P1-D1 P1-C33-D1	ドライブ 1 でエラーが発生しました。	ディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブを交換します。 49 ページの『SAS ハード・ディスクの取り外し』または 56 ページの『SATA ソリッド・ステート・ドライブの取り外し』を参照してください。

表 23. IBM Flex System p460 コンピュート・ノードの Light Path 診断 LED 情報 (続き)

• **問題が解決するまで、「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。** • **どのコンポーネントがお客様による交換が可能な部品 (CRU) か技術員により交換される部品 (FRU) かを判断するには、 103 ページの『第 7 章 IBM Flex System p260 および p460 コンピュート・ノードの部品リスト』を参照してください。** • **アクションのステップの前に「トレーニングを受けたサービス技術員のみ」と記載されている場合は、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。**		
点灯している Light Path 診断 LED	**説明**	**アクション**
ドライブ 2 のエラー P1-D2 P1-C33-D2	ドライブ 2 でエラーが発生しました。	ソリッド・ステート・ドライブを交換します。 56 ページの『SATA ソリッド・ステート・ドライブの取り外し』を参照してください。
ネットワーク・アダプター・エラー P1-C34 P1-C35 P1-C36 P1-C37	ネットワーク・アダプター・エラーが発生しました。	1. ネットワーク・アダプターがサポートされていることを確認します。 2. 66 ページの『ネットワーク・アダプターの取り外し』および 68 ページの『ネットワーク・アダプターの取り付け』の説明に従って、ネットワーク・アダプターを交換します。 問題が解決しない場合は、ServerProven Web サイトを参照してください。
管理カード・エラー P1-C38	システム・ボード・エラーが発生しました。	80 ページの『管理カードの取り外し』および 82 ページの『管理カードの取り付け』で説明されている方法で、管理カード・アセンブリーを交換します。
システム・ボード・エラー P1	システム・ボードとシャーシ・アセンブリーのエラーが発生しました。マイクロプロセッサー障害が、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーのエラーとして示されています。	1. コンピュート・ノードのカバーを再取り付けし、コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに再挿入して、コンピュート・ノードを再始動します。 2. エラーに関する情報をイベント・ログで調べます。 3. 92 ページの『システム・ボードとシャーシ・アセンブリーの交換』に説明されているとおりに、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを交換します。

ファームウェア問題の切り分け

次の手順を使用して、ファームウェアの問題を分離することができます。

このタスクについて

ファームウェア問題を分離するには、問題が解決するまで、手順に従います。

手順

1. コンピュート・ノードが作動中の場合は、オペレーティング・システムをシャットダウンします。CMM を使用して、仮想再取り付けを実行します。問題が発生しなくなった場合、それ以上のアクションは不要です。 この手順で終了です。
2. PERM イメージを始動します。 547 ページの『PERM イメージの始動』を参照してください。
3. システム・ファームウェアのレベルを確認します。 26 ページの『システム・ファームウェア・レベルの検査』を参照してください。
4. 次のオプションのいずれかを選択してください。
   - 現行のファームウェア・レベルのまま残します。 548 ページの『TEMP イメージを PERM イメージでリカバリーする』を参照してください。
   - RETAIN のヒントおよびコードの変更ヒストリーを確認します。ファームウェア更新が必要な場合は、 24 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。
5. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

vfchost マップ・データの保存

コンピュート・ノード上の物理コンポーネントを交換する前に、最初にコンピュート・ノードの元の仮想ファイバー・チャネル vfchost データを保存する必要がある場合があります。

手順

元の vfchost データおよび元の物理ファイバー・チャネル・アダプター・ポート (fcs) ロケーション・コードを保存するには、**padmin** ユーザー・アカウントを使用して以下のステップを実行します。

1. 元の vfchost データを保存するには、次のように **lsmap** コマンドを使用します。ソース仮想入出力サーバー (VIOS) のコマンド行インターフェースからコマンドを入力してください。

   ```
   lsmap -all -npiv | tee lsmap_OUTPUT_before
   ```

   出力は次の例のようになります。

   ```
   Name            Physloc                                ClntID  ClntName   ClntOS
   --------------- -------------------------------------- ------- ---------- ------
   vfchost1        U7895.42X.9999999-V1-C32                     3

   Status          NOT_LOGGED_IN
   FC name         fcs1                   FC loc code:U78AF.001.startSN-P1-C35-L1-T2
   Ports logged in 0
   Flags           4<NOT_LOGGED>
   VFC client name                        VFC client DRC

   Name            Physloc                                ClntID  ClntName   ClntOS
   --------------- -------------------------------------- ------- ---------- ------
   vfchost2        U7895.42X.9999999-V1-C33                     4 cli_lpar_1 AIX
   Status          LOGGED_IN
   FC name         fcs0                   FC loc code:U78AF.001.startSN-P1-C35-L1-T1
   Ports logged in 1
   Flags           a<LOGGED_IN,STRIP_MERGE>
   VFC client name fcs1                   VFC client DRC:U9999.999.9999999-V4-C32-T1
   ```

この例では、元のシリアル番号は startSN になっています。

2. 各ファイバー・チャネル・アダプター (fcs) のロケーション・コード情報を保存するには、次のように **lsdev** コマンドを入力します。

```
lsdev -vpd | grep fcs | tee LSDEV_OUTPUT_before
```

出力は次の例のようになります。

```
fcs0  U78AF.001.startSN-P1-C35-L1-T1  Dual Port 8Gb FC Mezzanine Card (7710322577107501)
fcs1  U78AF.001.startSN-P1-C35-L1-T2  Dual Port 8Gb FC Mezzanine Card (7710322577107501)
```

この例では、元のシリアル番号は startSN になっています。

vfchost マップ・データの復元

コンピュート・ノード上の物理コンポーネントを交換した後、仮想ファイバー・チャネルの vfchost マッピングを確認する必要があります。コンポーネントの交換後に vfchost マッピングが変更されている場合、マッピングを復元する必要があります。

始める前に

vfchost データを復元するには、最初に元の vfchost データおよび物理ファイバー・チャネル・アダプター (fcs) のロケーション・コード情報を保存しておく必要があります。詳しくは、『 545 ページの『vfchost マップ・データの保存』』を参照してください。

手順

vfchost マッピング・データを復元するには、新規ファイバー・チャネル・アダプター (fcs) のロケーション・コードと元のロケーション・コードの 3 番目のフィールド (シリアル番号フィールド) を比較します。適切な vfchost に対して新規ファイバー・チャネル・アダプター (fcs) の **vfcmap** を実行します。vfchost マッピング・データを復元するには、**padmin** ユーザー・アカウントを使用して以下のステップを実行します。

1. 新規ファイバー・チャネル・アダプター (fcs) のロケーション・コードを保存するには、次のように **lsdev –vpd** コマンドを使用します。ソース仮想入出力サーバー (VIOS) のコマンド行インターフェースからコマンドを入力してください。

```
lsdev -vpd | grep fcs | tee LSDEV_OUTPUT_after1
```

出力は次の例のようになります。

```
fcs0  U78AF.001.startSN-P1-C35-L1-T1  Dual Port 8Gb FC Mezzanine Card (7710322577107501)
fcs1  U78AF.001.startSN-P1-C35-L1-T2  Dual Port 8Gb FC Mezzanine Card (7710322577107501)
```

2. 新規 fcs*x* アダプターを古い fcs*x* アダプターに関連付けるには、アダプター・スロット番号を使用します。次の例に示すように、**grep** コマンドを入力します。

```
grep "P1-C35-L1-T1" LSDEV_OUTPUT_before  LSDEV_OUTPUT_after
```

出力は次の例のようになります。

```
LSDEV_OUTPUT_before:
 fcs0 U78AF.001.startSN-P1-C35-L1-T1 Dual Port 8Gb FC Mezzanine Card (7710322577107501)
LSDEV_OUTPUT_after1:
 fcs0 U78AF.001.newSN99-P1-C35-L1-T1 Dual Port 8Gb FC Mezzanine Card (7710322577107501)
```

この例では、元のシリアル番号が startSN、新規シリアル番号が newSN99 になっており、fcs*x* は fcs0 のままであるため、fcs0 は vfchost ホストにマップされます。

3. 新規 fcs*x* デバイスを正しい vfchost に復元するには、次のように **vfcmap** コマンドを入力します。

```
vfcmap -vadapter vfchost0 -fcp fcs0
```

4. vfchost マッピングを確認するには、次のように **lsmap** コマンドを入力します。

```
lsmap -vadapter vfchost2 -npiv
```

出力は次の例のようになります。

```
Name            Physloc                                ClntID  ClntName   ClntOS
--------------- -------------------------------------- ------- ---------- ------
vfchost2        U7895.42X.9999999-V1-C33                     4

Status          NOT_LOGGED_IN
FC name         fcs0                    FC loc code:U78AF.001.newSN99-P1-C35-L1-T1
Ports logged in 0
Flags           4<NOT_LOGGED>
VFC client name                         VFC client DRC
```

この例では、新規シリアル番号は newSN99 になっています。

システム・ファームウェアの回復

システム・ファームウェアは、コンピュート・ノードのフラッシュ・メモリー内の別個の一時イメージおよび永続イメージに含まれています。これらのイメージはそれぞれ TEMP および PERM と参照されます。コンピュート・ノードは、通常 TEMP イメージから始動し、PERM イメージをバックアップとして使用します。 TEMP イメージが損傷した場合 (例えば、ファームウェア更新中の電源障害などで)、TEMP イメージを PERM イメージからリカバリーすることができます。

このタスクについて

システムがハングした場合は、PERM イメージを始動します。『PERM イメージの始動』を参照してください。

PERM イメージの始動

コンピュート・ノードで強制的に永続 (PERM) イメージを始動することができます。

このタスクについて

コンピュート・ノードで強制的に PERM イメージを始動するには、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.psm.hosts.doc/dpsm_managing_hosts_power_firmware.htmlを参照してください。

TEMP イメージの始動

システム・ファームウェアは、コンピュート・ノードのフラッシュ・メモリー内の別個の一時イメージおよび永続イメージに含まれています。これらのイメージはそれぞれ TEMP および PERM と参照されます。通常、コンピュート・ノードは TEMP イメージから始動します。ファームウェアを更新する前に、TEMP イメージを始動します。

このタスクについて

TEMP イメージを始動するには、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.ibm.acc.psm.hosts.doc/dpsm_managing_hosts_power_firmware.htmlを参照してください。

TEMP イメージを PERM イメージでリカバリーする

TEMP イメージを PERM イメージによりリカバリーするには、リジェクト機能を実行する必要があります。 リジェクト機能は PERM イメージを TEMP イメージにコピーします。

このタスクについて

リジェクト機能を実行するには、以下の手順を実行します。

手順

1. システムを PERM イメージから始動していない場合は、ここで行います。 547 ページの『PERM イメージの始動』を参照してください。
2. ご使用のオペレーティング・システムの該当コマンドを発行して、TEMP イメージをリジェクトします。
   - Red Hat Enterprise Linux または SUSE Linux オペレーティング・システムを使用している場合は、次のコマンドを入力してください。

     ```
     update_flash -r
     ```
   - AIX オペレーティング・システムを使用している場合は、次のコマンドを入力してください。

     ```
     /usr/lpp/diagnostics/bin/update_flash -r
     ```
3. 26 ページの『TEMP イメージの始動』 の説明にしたがって、TEMP イメージを開始します。

次のタスク

ファームウェア・コードを最新バージョンに更新する必要があります。 ファームウェア・コードの更新についての詳細は、24 ページの『ファームウェアの更新』を参照してください。

システム・ファームウェア・レベルの検査

診断プログラムは、一時 (TEMP) イメージおよび永続 (PERM) イメージについて、現行のシステム・ファームウェア・レベルを表示します。また、この機能は、コンピュート・ノードがどちらのイメージを使用して始動したかも表示します。

手順

1. 診断プログラムを開始します。
2. 「**機能の選択 (Function Selection)**」メニューで「**タスクの選択 (Task Selection)**」を選択し、Enter キーを押します。
3. 「**タスク選択リスト (Tasks Selection List)**」メニューで、「**システム・フラッシュの更新と管理 (Update and Manage System Flash)**」を選択し、「**Enter**」キーを押します。

   「**システム・フラッシュの更新と管理 (Update and Manage System Flash)**」メニューの上部に、PERM イメージおよび TEMP イメージのシステム・ファームウェア・レベルと、コンピュート・ノードが始動に使用したイメージが表示されます。

   注: TEMP イメージのレベルが PERM イメージより現行である場合、TEMP イメージをコミットします。
4. ファームウェア・レベルの検査をしたら、「診断操作指示 (Diagnostic Operating Instructions)」ウィンドウが表示されるまで F3 を押してください。次に、再び F3 を押して、診断プログラムを終了します。

TEMP システム・ファームウェア・イメージのコミット

システム・ファームウェアを更新して、一時 (TEMP) イメージからコンピュート・ノードを正常に始動した後、診断プログラムのコミット機能を使用して TEMP イメージを永続 (PERM) イメージにコピーします。

このタスクについて

注: 一時ファームウェア・レベルを Temporary 側から Permanent 側にコミットすることによってコンピュート・ノード・ファームウェア更新を永続的にインストールした場合、Temporary 側および Permanent 側には、同じレベルのファームウェアが入ります。 以前に Permanent 側にあったレベルに戻ることはできません。

手順

1. 診断プログラムをロードします。 503 ページの『診断プログラムの実行』を参照してください。
2. 「Function Selection」メニューから「**タスク選択 (Task Selection)**」を選択して、Enter を押します。
3. 「タスク選択リスト (Tasks Selection List)」メニューで、「**システム・フラッシュの更新と管理 (Update and Manage System Flash)**」を選択し、 Enter を押します。
4. 「システム・フラッシュの更新と管理 (Update and Manage System Flash)」メニューから「**一時イメージのコミット (Commit the Temporary Image)**」を選択し、Enter を押します。

5. コミット機能が完了したら、「診断操作手順 (Diagnostic Operating Instructions)」ウィンドウが表示されるまで F3 を押します。次に、再度 F3 を押し、診断プログラムを終了します。

共用 IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ・リソース問題の解決

共用リソースの問題はコンピュート・ノードで発生しているように見える場合がありますが、実際には IBM Flex System エンタープライズ・シャーシのコンポーネントの問題である可能性があります。

このタスクについて

この情報は、コンピュート・ノードの問題と共用リソース問題を切り分けるのに役立つ手順を提供します。

問題が共用リソースに関するものであると考えられる場合は、以下の資料を参照して追加情報を確認してください。

- ご使用の IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの「*問題判別の手引き*」
- ご使用の IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの「*ハードウェア・メインテナンスおよびトラブルシューティング・ガイド*」
- 問題を解決できない場合は、 552 ページの『未解決問題の解決』を参照してください。

共用リソースの一般的な機能を検査するには、以下の手順を実行します。

手順

1. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに必要な電源モジュールが取り付けられており、動作している電源機構にシャーシが接続されていることを確認します。
2. 電源管理の設定が、ご使用の IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ構成に適したものであることを確認します。
3. 問題が複数のコンピュート・ノードで発生していることを確認します。
4. 動作することが確認できているコンピュート・ノードで、不具合のある機能のテストを実行します。
5. コンピュート・ノードを別のベイに入れて試します。
6. 正常に動作していることが確認できているコンピュート・ノードを、障害が発生しているコンピュート・ノードが装着されているベイに入れて動作を確認します。
7. コンピュート・ノードおよびモニターの電源がオンになっていることを確認します。
8. 551 ページの『共用ネットワーク接続問題の解決』に説明されているとおりに、ネットワーク接続問題の有無を調べます。
9. 551 ページの『共用電源問題の解決』に説明されているとおりに、電源問題の有無を調べます。

共用ネットワーク接続問題の解決

共用リソースの問題はコンピュート・ノードで発生しているように見える場合がありますが、実際には IBM Flex System エンタープライズ・シャーシのネットワーク接続リソースの問題である可能性があります。

このタスクについて

共用ネットワーク接続リソースの一般的な機能を検査するには、以下の手順を実行します。

手順

1. ネットワーク・ケーブルが I/O モジュールにしっかり接続されていることを確認します。
2. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの電源構成が I/O モジュール構成をサポートしていることを確認します。
3. 取り付けた I/O モジュール・タイプを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシおよびコンピュート・ノード・ハードウェアがサポートしていることを確認します。
4. ネットワーク・インターフェース用の I/O モジュールが、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの正しいベイに取り付けられていることを確認します。
5. ネットワーク・インターフェースの I/O モジュールが正しく構成されていることを確認します。
6. I/O モジュールの設定値がコンピュート・ノードに正しいものであることを確認します。 I/O モジュールの一部の設定値は、各コンピュート・ノードに固有のものです。
7. ネットワーク・インターフェースの I/O モジュールが正しく作動していることを確認します。

   I/O モジュールの資料に指示されているとおりに、I/O モジュールのトラブルシューティングを行い、交換します。
8. マネージメント・モジュールが正しく作動していることを確認します。
9. マネージメント・モジュールを交換します。

タスクの結果

これらの手順を実行しても問題が解決されない場合は、コンピュート・ノードの問題である可能性があります。詳しくは、 511 ページの『接続の問題』を参照してください。

共用電源問題の解決

共用リソースの問題はコンピュート・ノードで発生しているように見える場合がありますが、実際には IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの電源コンポーネントの問題である可能性があります。

このタスクについて

共用電源リソースの一般的な機能を検査するには、以下の手順を実行します。

手順

1. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシのすべての電源モジュールの LED が点灯していることを確認します。
2. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに電力が供給されていることを確認します。
3. 取り付けたコンピュート・ノード・タイプを、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシがサポートしていることを確認します。
4. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの電源構成が、コンピュート・ノードが取り付けられているベイをサポートしていることを確認します。
5. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの電源管理構成および状況が、コンピュート・ノードの稼働をサポートしていることを確認します。

   詳しくは、ご使用のマネージメント・モジュールのインフォメーション・センター、または「マネージメント・モジュール *ユーザーズ・ガイド*」あるいは「マネージメント・モジュール *Command-Line Interface リファレンス・ガイド*」を参照してください。
6. コンピュート・ノードのローカル電源制御が正しく設定されていることを確認します。

   詳しくは、ご使用のマネージメント・モジュールのインフォメーション・センター、または「マネージメント・モジュール *ユーザーズ・ガイド*」あるいは「マネージメント・モジュール *Command-Line Interface リファレンス・ガイド*」を参照してください。
7. IBM Flex System エンタープライズ・シャーシのブロワーが正しく取り付けられ、作動していることを確認します。

未解決問題の解決

IBM Flex System p260 コンピュート・ノードまたは IBM Flex System p460 コンピュート・ノードで問題の診断を行う場合、その問題がコンピュート・ノードにあるか IBM Flex System エンタープライズ・シャーシにあるかを判別する必要があります。

このタスクについて

- すべてのコンピュート・ノードに同じ現象がある場合は、IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの問題であると考えられます。

  詳しくは、以下の資料を参照してください。
  - ご使用の IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの「*ハードウェア・メインテナンスおよびトラブルシューティング・ガイド*」
  - ご使用の IBM Flex System エンタープライズ・シャーシの「*問題判別の手引き*」
- IBM Flex System エンタープライズ・シャーシに複数のコンピュート・ノードが搭載されており、そのうちの 1 つのコンピュート・ノードにのみ問題がある場合は、問題があるコンピュート・ノードをトラブルシューティングしてください。

コンピュート・ノードが取り付けられている IBM Flex System エンタープライズ・シャーシのすべてのパワー・サプライ上の LED を確認します。パワー・サプライが正常に作動していることを LED が示しており、コンピュート・ノードの電源オフ/オンで問題が修正されない場合は、以下の手順を実行します。

手順

1. 管理コンソールを使用して、コンピュート・ノードが認識されているかどうかを判別します。
2. 管理コンソールを使用して、電源ポリシー設定によって電源オン許可が拒否されていないことを確認します。
3. コンピュート・ノードの電源をオフにします。
4. コンピュート・ノードを IBM Flex System エンタープライズ・シャーシから取り外して、カバーを取り外します。
5. 以下のデバイスを一度の一つずつ、障害が見つかるまで、取り外すか切り離します。 そのつどコンピュート・ノードを再取り付けし、電源をオンにし、再構成します。
   - I/O 拡張カード。
   - ハード・ディスク。
   - メモリー・モジュール。 最小構成の所要量は 8 GB (4 GB DIMM が 2 個) です。

   コンピュート・ノードが始動可能な最小構成は、次の通りです。
   - システム・ボードとシャーシ・アセンブリー (マイクロプロセッサーは 2 つ搭載)
   - 4 GB DIMM が 2 個
   - 機能している IBM Flex System エンタープライズ・シャーシ
6. コンピュート・ノードを取り付けて、電源をオンにします。問題が解決しない場合は、次に示したコンポーネントを示した順序で調べてください。
   a. DIMM
   b. システム・ボードとシャーシ・アセンブリー

タスクの結果

I/O 拡張カードをコンピュート・ノードから取り外すと問題が解決し、同じ拡張カードを再取り付けすると問題は再発生する場合は、その拡張カードを疑います。別の拡張カードに交換しても問題が再発生する場合は、システム・ボードとシャーシ・アセンブリーを疑います。

ネットワーキングに問題があると思われ、コンピュート・ノードがすべてのシステム・テストにパスした場合は、システムの外側のネットワーク配線の問題を疑ってください。

付録. 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。 日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、製造元の担当者にお尋ねください。 本書で、製造元の製品、プログラム、またはサービスに言及している部分があっても、このことは当該製品、プログラム、またはサービスだけが使用可能であることを意味するものではありません。これらの製品、プログラム、またはサービスに代えて、製造元の有効な知的所有権またはその他の法的に保護された権利を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。 ただし、製造元によって明示的に指定されたものを除き、他社の製品、プログラムまたはサービスを使用した場合の評価と検証はお客様の責任で行っていただきます。

製造元は、本書で解説されている主題について特許権 (特許出願を含む) を所有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用権等の許諾については、製造元に書面にてご照会ください。

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。本書は特定物として「現存するまま」の状態で提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。 本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。 製造元は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において製造元所有以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。 それらの Web サイトにある資料は、この製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様自身の責任でご使用ください。

製造元は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様になんら義務も負わせない適切な方法で、使用もしくは配布することがあります。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。 そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。 一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性がありますが、その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

製造元以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。 製造元は、それらの製品のテストを行っておりません。したがって、製造元以外の他社の製品に関する実行性、互換性、またはその他の損害賠償請求については確証できません。 製造元以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

製造元の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があり、単に目標を示しているものです。

© Copyright IBM Corp. 2012, 2013

表示されている製造元の価格は製造元が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。 卸価格は、異なる場合があります。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。 記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。 より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

本書に示されている図や仕様は、製造元の書面による許可を得ずにその一部または全部を複製してはいけません。

製造元は、指定された特定のマシンを対象として本書を作成しています。 その他の使用および使用結果については、製造元は何ら保証責任を負いません。

製造元のコンピューター・システムには、破壊または損失したデータが検出されない危険性を減少するために設計されたメカニズムが含まれています。 しかし、この危険をゼロにすることはできません。 不意の停電によるシステムの休止やシステム障害、電力の変動または停電、もしくはコンポーネント障害を経験するユーザーは、停電または障害が起きた時刻もしくはその近辺で行われたシステム操作とセーブまたは転送されたデータの正確性を検証する必要があります。 さらに、ユーザーはそのような不安定で危機的な状況で操作されたデータを信頼する前に、独自のデータ検証手順を確立する必要があります。 ユーザーはシステムおよび関連ソフトウェアに適用できる更新情報または修正がないか、定期的に製造元の Web サイトをチェックする必要があります。

認定ステートメント

本製品は、お客様の国で、いかなる方法においても公衆通信ネットワークのインターフェースへの接続について認定されていない可能性があります。そのような接続を行うには、事前に法律によるさらなる認定が必要です。ご不明な点がある場合は、IBM 担当員または販売店にお問い合わせください。

商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。 他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。 現時点での IBM の商標リストについては、 www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft および Windows は、 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

電波障害自主規制特記事項

装置にモニターを接続する場合は、指定されたモニター・ケーブルおよびモニターに付属のすべての干渉抑止装置を使用する必要があります。

VCCI クラス A 情報技術装置

以下のクラス A ステートメントは、POWER7 プロセッサーを搭載した IBM サーバーおよびそのフィーチャーに適用されます。ただし、フィーチャー情報で電磁適合性 (EMC) クラス B として指定されている場合は除きます。

Federal Communications Commission (FCC) statement

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Industry Canada Compliance Statement

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

European Community Compliance Statement

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. IBM cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a non-recommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

This product has been tested and found to comply with the limits for Class A Information Technology Equipment according to European Standard EN 55022. The limits for Class A equipment were derived for commercial and industrial environments to provide reasonable protection against interference with licensed communication equipment.

European Community contact:
IBM Deutschland GmbH

Technical Regulations, Department M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Tele: +49 7032 15 2941
email: lugi@de.ibm.com

Warning: This is a Class A product. この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害
を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求され
ることがあります。 VCCI－A

電子情報技術産業協会 (JEITA) 承認済み高調波指針 (1 相当たりの入力電流が 20 A 以下の機器)

高調波ガイドライン適合品

電子情報技術産業協会 (JEITA) 承認済み (変更付き) 高調波指針 (1 相当たりの入力電流が 20 A を超える機器)

高調波ガイドライン準用品

Electromagnetic Interference (EMI) Statement - People's Republic of China

声 明
此为A级产品，在生活环境中，
该产品可能会造成无线电干扰。
在这种情况下，可能需要用户对其
干扰采取切实可行的措施。

Declaration: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may need to perform practical action.

Electromagnetic Interference (EMI) Statement - Taiwan

警告使用者：
這是甲類的資訊產品，在居住的環境中使用時，可能會造成射頻干擾，在這種情況下，使用者會被要求採取某些適當的對策。

The following is a summary of the EMI Taiwan statement above.

Warning: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user will be required to take adequate measures.

IBM Taiwan Contact Information:

台灣IBM 產品服務聯絡方式：
台灣國際商業機器股份有限公司
台北市松仁路7號3樓
電話：0800-016-888

Electromagnetic Interference (EMI) Statement - Korea

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

Germany Compliance Statement

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse A ein.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der IBM empfohlene Kabel angeschlossen werden. IBM übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung von IBM verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung von IBM gesteckt/eingebaut werden.

EN 55022 Klasse A Geräte müssen mit folgendem Warnhinweis versehen werden:
"Warnung: Dieses ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funk-Störungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen zu ergreifen und dafür aufzukommen."

Deutschland: Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten

Dieses Produkt entspricht dem “Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG)“. Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG) (bzw. der EMC EG Richtlinie 2004/108/EG) für Geräte der Klasse A

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen.

Verantwortlich für die Einhaltung der EMV Vorschriften ist der Hersteller:
International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
Tel: 914-499-1900

Der verantwortliche Ansprechpartner des Herstellers in der EU ist:
IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Abteilung M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Tel: +49 7032 15 2941
email: lugi@de.ibm.com

Generelle Informationen:

Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse A.

Electromagnetic Interference (EMI) Statement - Russia

ВНИМАНИЕ! Настоящее изделие относится к классу А.
В жилых помещениях оно может создавать
радиопомехи, для снижения которых необходимы
дополнительные меры

VCCI クラス B 情報技術装置

以下のクラス B ステートメントは、フィーチャー取り付け情報で電磁適合性 (EMC) クラス B として指定されているフィーチャーに適用されます。

Federal Communications Commission (FCC) statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.

This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult an IBM-authorized dealer or service representative for help.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. Proper cables and connectors are available from IBM-authorized dealers. IBM is not responsible for any radio or television interference caused by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate this equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Industry Canada Compliance Statement

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

European Community Compliance Statement

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2004/108/EC on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. IBM cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a non-recommended modification of the product, including the fitting of non-IBM option cards.

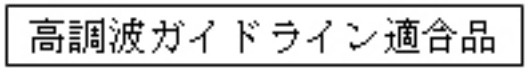
This product has been tested and found to comply with the limits for Class B Information Technology Equipment according to European Standard EN 55022. The limits for Class B equipment were derived for typical residential environments to provide reasonable protection against interference with licensed communication equipment.

European Community contact:
IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Department M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Tele: +49 7032 15 2941
email: lugi@de.ibm.com

VCCI クラス B 情報技術装置

この装置は, クラスB情報技術装置です。この装置は, 家庭環境で使用することを目的としていますが, この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると, 受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI－B

電子情報技術産業協会 (JEITA) 承認済み高調波指針 (1 相当たりの入力電流が 20 A 以下の機器)



電子情報技術産業協会 (JEITA) 承認済み (変更付き) 高調波指針 (1 相当たりの入力電流が 20 A を超える機器)

高調波ガイドライン準用品

IBM Taiwan Contact Information

台灣IBM 產品服務聯絡方式：
台灣國際商業機器股份有限公司
台北市松仁路7號3樓
電話：0800-016-888

Electromagnetic Interference (EMI) Statement - Korea

이 기기는 가정용(B급)으로 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

Germany Compliance Statement

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse B EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2004/108/EG zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der EN 55022 Klasse B ein.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der IBM empfohlene Kabel angeschlossen werden. IBM übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung von IBM verändert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung von IBM gesteckt/eingebaut werden.

Deutschland: Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten

Dieses Produkt entspricht dem “Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG)“. Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2004/108/EG in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten (EMVG) (bzw. der EMC EG Richtlinie 2004/108/EG) für Geräte der Klasse B

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen.

Verantwortlich für die Einhaltung der EMV Vorschriften ist der Hersteller:
International Business Machines Corp.
New Orchard Road
Armonk, New York 10504
Tel: 914-499-1900

Der verantwortliche Ansprechpartner des Herstellers in der EU ist:
IBM Deutschland GmbH
Technical Regulations, Abteilung M372
IBM-Allee 1, 71139 Ehningen, Germany
Tel: +49 7032 15 2941
email: lugi@de.ibm.com

Generelle Informationen:

使用条件

これらの資料は、以下の条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

適用可能性: これらの条件は、IBM Web サイトのすべてのご利用条件に追加されるものです。

個人使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾を得ずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

商業的使用: これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。 ただし、IBM の明示的な承諾を得ずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示したりすることはできません。

権利: ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態で提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。



Printed in Japan

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21